V602SH 基本操作編

マナーもいっしょに携帯しましょう。

V602SH 基本操作編

vodafone

This Manual includes an English Abridgement

vodafone

V602SH
基本操作編

V602SH　取扱説明書
基本操作編

2004年６月　第１版

ボーダフォン株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
　ボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：V602SH
製造元：シャープ株式会社

モバイル・リサイクル・ネットワーク

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※ 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※ プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（メモリダイヤル・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この印刷物は、再生紙を使用しています。

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH SOY INK

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。

TINSJA044AFZZ
04F 151.5　YM AI428①

はじめに

このたびは、「V602SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- V602SHをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- V602SHのボーダフォンライブ！に関する説明は付　のVodafone live!編をご参照ください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.18-20）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

V602SHは1.5GHzの周波数帯を利用し、ボーダフォンのネットワークに対応した仕様になっております。
V602SHは、日本国外ではご使用になれません。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.18-20）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

■電池パック（SHBU01）※
（１タイプ　リチウムイオンバッテリー）

■卓上ホルダー（SHEU01）※

■急速充電器（SHCQ01）※

■L型ビデオ出力ケーブル（SHPU01）※

※ オプション品としても取り扱いしております。

補足
- 付属品／オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.18-20）までご連絡ください。
- V602SHは、SDメモリカードを利用することができますが、本製品にはSDメモリカードは同梱されていません。市販のSDメモリカードをお買い求めいただくことにより、SDメモリカードに関する機能をご利用いただくことができます。

本書の見かた

本書では、V602SHをオープンポジション（☞P.1-11）にした状態での操作を中心に説明しています。
また、本書で記載されている画面は、登　状況などによって、実際の画面とは異なります。操作の目安としてご利用ください。

マルチガイドボタン

メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどは、マルチガイドボタンを使用します。
本書では、マルチガイドボタンでの操作を右のように表記しています。
- 使用するボタンによっては、下のように表記していることもあります。
  - ■ⓤまたはⓓを押すとき ……………ⓤⓓ
  - ■ⓛまたはⓡを押すとき ……………ⓛⓡ
  - ■ⓤⓓⓛⓡを押すとき ………………✥

サイドボタン

ビューアポジション（☞P.1-12）で使用するときなどは、本体右側面の各ボタンを使用します。
本書では、各ボタンでの操作を右のように表記しています。
- ズーム／選択ボタンは、スライドする方向により、働きが異なります。（☞P.1-7）
  本書では、スライド方向別に表記（◄または►）を変えています。

本書の表記

■本文中のマーク

V : Vodafone live!編を示しています。

■補足操作

目次

はじめに i
お買い上げ品の確認 ii
本書の見かた iii
目次 iv
安全上のご注意 xviii
お願いとご注意 xxviii
携帯電話機の比吸収率（SAR）について xxx

1 ご利用になる前に

代表的な機能 1-2
各部の名称と機能 1-4
- ■本体 1-4
- ■ディスプレイ 1-8
- ■サブディスプレイ 1-10

V602SH の取り扱い 1-11
- ■４つのポジションから選ぶ 1-11
- ■ボタンの押し方 1-13
- ■ビューアポジション時のボタン操作 1-13

電池パックと充電器の取り扱い 1-14
- ■電池パックと充電器をご利用になる前に 1-14
- ■電池パックを取り付ける／取り外す 1-18
- ■急速充電器を利用して充電する 1-20
- ■卓上ホルダーを利用して充電する 1-21
- ■シガーライター充電器を利用して充電する 1-22

電源を入れる／切る 1-23
- ■誤ってボタンが押されるのを防ぐ 1-24

日付／時刻の設定 1-25
機能の呼び出し方 1-26
- ■インデックスメニューから機能を呼び出す 1-26
- ■ファンクションメニューから機能を呼び出す 1-27
- ■ソフトキーの使い方 1-29
- ■クイックオペレーション 1-30
- ■機能の操作方法を確認する 1-31

暗証番号 1-32
- ■操作用暗証番号 1-32
- ■交換機用暗証番号 1-32

2 基本的な操作のご案内

電話をかける 2-2
- ●ビューアポジションで電話をかける 2-3
- ■以前かけた電話番号にもう一度かける 2-4
  - ●プリセット登　 2-5
  - ●国際発信／セット発信 2-5

電話を受ける 2-6
- ●ビューアポジションで電話を受ける 2-6
- ■かけてきた相手にかけ直す 2-8

電話に出られないとき 2-9
- ■着信を保留にする 2-9
  - ●ビューアポジションでの応答保留 2-9
- ■メッセージを　音する 2-10

迷惑電話を防止する 2-11
通話中の操作 2-12
- ■受話音量を調節する 2-12
- ■通話中に相手の声を　音する 2-13
- ■数字のメモを登　する 2-14
  - ●ノートパッドメモリの確認 2-14

リダイヤル／着信履歴の確認 2-15
- ●リダイヤル／着信履歴の消去 2-15

インフォメーションメニュー 2-16
- ■インフォメーションメニューの見かた 2-17
- ■インフォメーションメニューを確認する 2-18
- ■各種設定 2-20
  - ●インフォメーションリセット 2-20
  - ●ランプ表示設定 2-20
  - ●タイムアウト設定 2-20

通話時間表示 2-21
- ●累積通話時間 2-21
- ●累積通話時間消去 2-21

通話料金表示 2-22
- ●累積通話料金 2-22
- ●累積通話料金消去 2-22

通話時間／通話料金の自動表示 2-23
自分の電話番号とプロフィールの確認 2-24
- ●オーナー情報の登　 2-24
- ●オーナー情報の消去 2-24
- ●オーナー情報のコピー 2-24

3 マナーモード

マナーについて 3-2
マナーモード設定 3-3
- ■マナーモードを設定／解除する 3-3
- ■マナーモードの設定内容を変更する 3-4
  - ●簡易留守　／マナートークモード 3-4
  - ●着信音量／バイブレータ 3-4
  - ●ランプ設定 3-5
  - ●サウンド再生音量／Vアプリ再生音量 3-5
  - ●Vアプリバイブレータ 3-5

電波の送受信を停止する 3-6

4 文字の入力方法

文字入力について 4-2
■文字入力モード 4-2
■ダイヤルボタンの割り当て 4-3
文字の入力方法 4-4
■漢字／ひらがな／カタカナを入力する 4-4
■英数字を入力する 4-7
■記号／絵文字／顔文字などを入力する 4-7
■E-mailアドレス／URLの一部を簡単に入力する 4-10
■その他の文字入力関連機能 4-11
● 区点コード入力 4-11
● 入力方式切替 4-11
● ポケ　ルコード入力 4-11
文字の変換機能 4-13
■変換方法を設定する 4-13
■音訓変換を利用する 4-13
■一度入力した文字を利用する 4-14
■カナ英数字変換を利用する 4-15
■ワンタッチ変換を利用する 4-16
■変換履歴を消去する 4-18
■よく使う言葉を登　する 4-18
● 修正 4-19
● 1件消去 4-19
● 全消去 4-19
■ダウンロードした辞書を設定する 4-19
● 設定 4-19
● 解除 4-20
文字の編集 4-20
■入力した文字を修正する 4-20
■指定した文字を削除する 4-20
■コピー／切り取り／貼り付けを行う 4-21
■カーソル前後の文字をまとめて消去する 4-22
■メモリダイヤルを利用する 4-23
テキストメモ 4-24
■テキストメモに文章を登　する 4-24
■テキストメモを修正／消去する 4-26
● メモ形式の修正 4-26
● ノート形式の修正 4-26
● 1件消去 4-26
■その他のテキストメモ関連機能 4-26
● vファイルとして保存 4-26
● メモ形式➡ノート形式に変換 4-26

5 メモリダイヤル

メモリダイヤル登録 5-2
■メモリダイヤルに登　できる項目 5-2
■メモリダイヤルに登　する 5-3
■リダイヤル／着信履歴の電話番号を登　する 5-6
■メモリダイヤルの登　件数を確認する 5-6
■メモリカードに登　する 5-7
メモリダイヤル登録時のオプション設定 5-7
■個別に着信音などを設定する（音声着信時） 5-8
■個別に着信音などを設定する（メール受信時） 5-9
■着信時に指定した画像を表示する 5-10
■個別にメールフォルダを設定する 5-10
グループ設定 5-11
■グループ名を変更する 5-11
■グループ着信音を設定する 5-11
メモリダイヤルの利用 5-12
■メモリダイヤルから電話をかける 5-12
● メモリNo検索 5-14
● アカサタナ検索 5-14
● グループ検索 5-14
● 読み検索 5-14
■メモリダイヤルの登　内容をコピーする 5-15
メモリダイヤルの編集 5-16
■メモリダイヤルを修正する 5-16
■メモリダイヤルを消去する 5-16

6 カメラ機能

カメラをご利用になる前に 6-2
■撮影前のご注意 6-2
■カメラ利用時のご注意 6-2
■カメラ機能で使用するボタン 6-4
■光学ズーム 6-6
■オートフォーカス 6-7
静止画の撮影 6-8
■静止画撮影モード 6-8
■静止画を撮影する 6-10
● メモリダイヤル登　 6-12
● サムネイル登　 6-12
● サムネイル90度回転 6-12
■静止画撮影で利用できる機能 6-12
■フレームを付けて撮影する 6-13
■顔に装飾を付けて撮影する 6-14
■静止画を連続して撮影する 6-14
動画の撮影 6-17
■動画撮影モード 6-17
■動画を撮影する 6-19
■動画撮影で利用できる機能 6-21
■顔に装飾を付けて撮影する 6-22

6 カメラ機能

各種撮影方法 6-23
- キー操作ガイド 6-23
- 表示切替 6-23
- マーク表示ON／OFF 6-23
- シャッター音設定 6-23
- セルフタイマー 6-24
- モバイルライト 6-25
- AFモード切替 6-25
- マニュアル撮影 6-26
- 光学ズーム 6-26

各種画像の設定 6-26
- 明るさ設定 6-26
- 撮影サイズ設定 6-26
- シーン別撮影 6-27
- 画質設定 6-27
- 　画設定 6-27
- マイク設定 6-27

その他の設定 6-28
- 登　先設定 6-28
- カメラモード選択 6-28
- 自動保存設定 6-28
- オートリセット設定 6-28

撮影した画像の確認 6-29
- ■静止画の確認 6-29
- ■動画の確認 6-30

メモリ使用状況を確認する 6-31

撮影した動画の編集 6-32
- ■動画を切り出す 6-33
- ■動画の1場面を静止画として保存する 6-34
- ■指定した2点間の動画を切り出す 6-34
- ■動画の一部を消去する 6-35
- ■テロップを編集する 6-36
  - 文字装飾 6-37
  - 表示方法設定 6-38
  - 装飾の取消 6-38

静止画／動画のメール添付 6-38
- ■写メールモードで撮影した静止画を添付する 6-38
- ■デジタルカメラモードで撮影した静止画を添付する 6-40
- ■撮影した動画を添付する 6-40

静止画のプリント指定（DPOF） 6-41
- ■プリントする静止画と枚数を指定する 6-41
- ■DPOFの便利な機能 6-42
  - 枚数一括指定 6-42
  - 日付付加指定 6-42
  - インデックスプリント指定 6-42
  - 指定状況確認 6-42

ポストカード／カレンダー作成 6-43
- ■ポストカードを作成する 6-43
- ■カレンダーを作成する 6-44

7 ディスプレイ設定

壁紙設定 7-2

時計／カレンダー表示設定 7-3
- ■時計の表示形式を設定する 7-3
- ■カレンダーの表示形式を設定する 7-4

文字サイズ（フォント）変更 7-5

マイキャラクタ設定 7-6

ディスプレイ／サブディスプレイ／ボタンの照明設定 7-7

その他のディスプレイ関連機能 7-9
- スクリーンアニメ設定 7-9
- ボーダフォンライブ！アニメ設定 7-9
- Disneyスタイル 7-9
- インデックスメニュー設定 7-9
- 背景パターン設定 7-10
- 背景アニメ設定 7-10
- ウェイクアップ 7-10
- サブディスプレイのON／OFF 7-10
- サブディスプレイの液晶濃度調整 7-10
- サブディスプレイの相手表示設定 7-10
- 日本語／英語切替 7-10

8 音の設定

着信設定 8-2
- ■着信音量を設定する 8-2
- ■着信パターンを設定する 8-3
- ■着信をバイブレータでお知らせする 8-4
- ■モバイルライト／スモールライトを設定する 8-5
- ■着信呼出時間を設定する 8-6

各種効果音の設定 8-6
- ■操作音のパターンを設定する 8-6
- ■その他の着信設定 8-7
  - サウンド音量 8-7
  - サウンド時間 8-7

着信用ボイス録音 8-8

オリジナル着信音の作成 8-9
- ■オリジナル着信音の基礎知識 8-9
- ■オリジナル着信音を作成する 8-13
- ■オリジナル着信音を修正する 8-15
- ■オリジナル着信音を消去する 8-17

オリジナル音色の作成 8-17
- ■オリジナル音色の基礎知識 8-17
- ■オリジナル音色を作成する 8-21

その他の音関連機能 8-22
- スピーカーホン／スピーカー受話設定 8-22
- 音色オクターブ設定 8-22

9 ミュージックプレイヤー

ミュージックプレイヤーをご利用になる前に 9-2
■ミュージックプレイヤーのはたらき 9-2
■はじめてお使いになるとき
（ミュージックキーのご購入とミュージックプレイヤーの起動）... 9-3
音楽の録音 9-4
■オーディオ機器の接続方法 9-6
■　音する 9-8
■音楽　音に関する設定 9-10
●　音モニター音量設定 9-10
●シンクロ　音設定 9-10
●ビットレート設定 9-10
●無音検出レ　ル設定 9-10
音楽の再生 9-12
■再生する 9-14
■音楽再生に関する設定 9-16
●再生設定 9-16
●音質設定 9-16
●再生音量制限（TRAIN） 9-17
●着信優先設定 9-17
■音楽ファイルを管理／編集する 9-17
●情報確認 9-17
●タイトル変更 9-18
●曲移動 9-18
●曲消去 9-18

10 ボイスレコーダー

音声の録音 10-2
■　音する 10-3
■音声　音に関する設定 10-4
●マイク感度設定 10-4
●　音モード設定 10-4
●ファイル消去 10-4
音声の再生 10-5
■再生する 10-6
■音声再生に関する設定 10-7
●１件再生／全件再生 10-7
●再生音量制限（TRAIN） 10-7
●ファイル分割 10-7
録音した音声を着信音に登録 10-8
■着信ボイスを作成する 10-8
■着信音に設定する 10-8

11 メモリカード

メモリカードをご利用になる前に 11-2
■メモリカードの取り扱いについて 11-2
■メモリカードを取り付ける／取り外す 11-3
■メモリカードのメモリ管理方法について 11-5
メモリカードの利用 11-6
■メモリカードをフォーマット（初期化）する 11-6
■保存されているデータを確認する 11-6
データの転送 11-8
■指定したデータをコピー／移動する 11-9
■データをまとめて転送する 11-10
■暗号化を設定する 11-12
その他のメモリカード関連機能 11-12
●使用状況確認 11-12
●SDローカルコンテンツ 11-12
●カード手動シンクロ 11-13
●オートラン 11-13

12 データ管理

データフォルダについて 12-2
■データフォルダの構成 12-2
■データフォルダに登　できるファイル 12-3
■データフォルダの表示方法を設定する 12-5
保存されているファイルの確認 12-6
■データフォルダ内のファイルを確認する 12-6
■プロパティを確認する 12-11
アニメーションの作成 12-12
■簡単アニメを作成する 12-12
■アニメーションの保存形式を変換する 12-15
■E-アニメータを作成する 12-15
■アニメーションを確認する 12-21
画像／アニメーションの利用 12-22
■画像の表示を切り替える 12-22
■画像／アニメーションを壁紙に登　する 12-22
■画像／アニメーションをマイキャラクタに登　する 12-22
■連写画像を個別の画像として登　する 12-22
■フォルダ内の画像を連続して表示する 12-23
画像の編集 12-24
■画像サイズを変更する 12-25
■画像に文字を入力する 12-26
■画像にマーカーを入力する 12-27
■画像を装飾する 12-27
■顔写真を加工する 12-28
■その他の画像編集 12-30
●フレーム 12-30
●ムービングフォトフレーム 12-30
●画像回転 12-31
●保存形式／保存サイズの変更 12-31

12 データ管理

画像の合成 ……… 12-31
■分割画像を作成する ……… 12-32
■２枚の画像をパノラマ合成する ……… 12-33
■分割画像（画像分割メール）を結合する ……… 12-34
メロディファイルの利用 ……… 12-35
■再生音量を設定する ……… 12-35
■着信パターン／効果音に設定する ……… 12-35
着うた®の利用 ……… 12-36
■再生する ……… 12-36
■再生に関する設定 ……… 12-37
●再生設定 ……… 12-37
■着信音に設定する ……… 12-37
vファイルの利用 ……… 12-38
■vファイルのしくみ ……… 12-38
■vファイルの利用方法 ……… 12-38
■vファイルを作成（保存）する ……… 12-40
■vファイルを各機能に取り込む ……… 12-41
SVGファイルの利用 ……… 12-41
電子ブックの利用 ……… 12-42
■書籍データを読む ……… 12-42
■書籍データ内の画像を利用する ……… 12-44
●画像の壁紙設定 ……… 12-44
●画像内情報の利用 ……… 12-44
■辞書データを利用する ……… 12-45
●文字列の検索 ……… 12-45
●辞書データ／書籍データの情報の確認 ……… 12-45
フォルダ／ファイルの編集 ……… 12-45
■新しいフォルダを作成する ……… 12-45
■フォルダ名／ファイル名を変更する ……… 12-46
■フォルダ／ファイルを消去する ……… 12-46
■フォルダを保護する ……… 12-47
■ファイルをコピー／移動する ……… 12-48

13 赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に ……… 13-2
■赤外線通信利用時のご注意 ……… 13-2
■送受信できるデータ ……… 13-3
認証パスワード設定 ……… 13-3
赤外線通信の利用 ……… 13-4
■データを１件ずつ送受信する ……… 13-4
■データを全件送受信する ……… 13-5
■フォルダ単位でデータを送受信する ……… 13-7

14 セキュリティ機能

操作用暗証番号の変更 ……… 14-2
無断で利用されたくないとき ……… 14-2
■ダイヤル操作禁止を設定する ……… 14-2
■電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定する ……… 14-3
■メモリダイヤルの使用を禁止する ……… 14-3
■ダイヤルボタンでの発信を禁止する ……… 14-4
電話の着信制限 ……… 14-4
■リストに電話番号を登　する ……… 14-4
■指定した電話番号の着信を許可する ……… 14-5
■指定した電話番号の着信を拒否する ……… 14-5
■非通知の電話／公衆電話からの着信を拒否する ……… 14-5
秘密にしたい電話番号の登録 ……… 14-6
■シークレットメモリを登　する ……… 14-6
■シークレットモードを設定する ……… 14-7
登録内容をお買い上げ時の状態に戻す ……… 14-8
■各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す ……… 14-8
■メモリダイヤルなどの登　内容を消去する ……… 14-8

15 その他の機能

通話時の便利な機能 ……… 15-2
■電波が弱いことをお知らせする ……… 15-2
■プッシュトーンを送る ……… 15-2
サイドキー設定 ……… 15-3
■着信時の動作を設定する ……… 15-3
■待受時の動作を設定する ……… 15-3
電話を受けられないときに相手からのメッセージを録音する ……… 15-4
■簡易留守　を設定する ……… 15-4
■簡易留守　を解除する ……… 15-5
■　音された用件を聞く ……… 15-6
通話内容や自分の声を録音する ……… 15-7
アラーム設定 ……… 15-8
■アラームを設定する ……… 15-8
■アラームの各種設定 ……… 15-10
●アラーム音選択 ……… 15-10
●アラーム音量調節 ……… 15-10
●鳴動時間 ……… 15-10
●バイブ設定 ……… 15-10
●ランプ設定 ……… 15-11
●スヌーズ設定 ……… 15-11
●予告アラーム設定 ……… 15-11
●電話番号 ……… 15-11
●メール予約 ……… 15-11
■アラームを解除する／再設定する ……… 15-12
●アラーム解除 ……… 15-12
●アラーム消去 ……… 15-12
●アラーム再設定 ……… 15-12

15 その他の機能

■指定時刻に自動的に電源を入れる……15-12
■指定した時刻に電源を切る……15-13
スケジュール機能……15-14
■スケジュールを登　する……15-14
■スケジュールの各種設定……15-17
●シークレット設定……15-18
●ピクチャーメモ……15-18
●日付色……15-18
●待受表示設定……15-18
●自動消去保護……15-19
●状態……15-19
■スケジュールを確認する……15-19
■スケジュールを編集する……15-20
■スケジュールを消去する……15-20
●１件消去……15-20
●１日消去……15-20
●過去／全件消去……15-20
■その他のスケジュール関連機能……15-21
●自動消去設定……15-21
●カレンダー曜日色設定……15-21
●表示設定……15-21
簡単な操作で機能を呼び出す……15-22
■ユーザーショートカットに登　する……15-22
■ユーザーショートカットを利用する……15-23
●名前変更……15-23
●消去……15-23
ストップウォッチ……15-24
キッチンタイマー……15-25
バーコード読み取り……15-26
■モバイルカメラで撮影して読み取る……15-26
■データフォルダ内のバーコードを直接読み取る……15-30
■読取データを確認する……15-30
バーコード作成……15-31
■バーコード専用モードを利用する……15-31
●オーナー情報からバーコード作成……15-31
●メモリダイヤルからバーコード作成……15-31
●メールからバーコード作成……15-32
●テキスト（文字）からバーコード作成……15-32
●メロディ／画像からバーコード作成……15-32
■各情報の画面からバーコードを作成する……15-33
文字を読み取る……15-33
電池の消費を抑える……15-35
■電池パックの消費を抑える……15-35
■ディスプレイの消費を抑える……15-35
簡易電卓……15-36
マネー積算メモ……15-37
●マネー積算メモ入力……15-37
●確認……15-37
●変更……15-37
●消去……15-37
●明細名変更……15-38
スポットライト……15-38
●点灯……15-38
●消灯……15-38
●点灯時間設定……15-38
●点灯カラー設定……15-38
外部出力……15-39
■テレビなどの接続方法……15-39
■外部出力の設定……15-39
マイク付液晶オーディオリモコンの利用……15-41
■ワンタッチで電話をかける……15-41
■ワンタッチで電話を受ける……15-41
■イヤホンからのみ着信音を出す……15-42
外部機器を利用したデータ通信……15-42
●FAX通信……15-42
●パソコン通信……15-42

16 オプションサービス

オプションサービスの概要……16-2
転送電話サービス……16-3
●転送先電話番号登　……16-3
●転送電話サービス開始……16-3
●転送電話サービス停止……16-3
●転送電話サービス設定確認……16-3
留守番電話サービス……16-4
●留守番電話サービス開始……16-4
●留守番電話サービス停止……16-4
●伝言メッセージ再生……16-5
●留守番電話サービス設定確認……16-5
転送電話／留守番電話の呼出し時間設定……16-5
●呼出し時間設定……16-5
割込通話サービス……16-6
●割込通話サービス設定……16-6
●割込通話サービス解除……16-6
●割込通話サービス設定確認……16-6
●割込通話着信……16-6
三者通話サービス……16-7
●通話中発信……16-7
●切替通話……16-7
●通話中転送……16-8
●三者通話……16-8
●三者通話中転送……16-8

17 Abridged English Manual

Accessories 17-2
Safety Precautions 17-2
DANGER 17-3
■ Handset, Battery & Charger 17-3
■ Battery 17-3
WARNING 17-3
■ Handset, Battery & Charger 17-3
■ Handset 17-4
■ Charger 17-5
■ Battery 17-5
■ Handset Use & Electronic Medical Equipment 17-6
CAUTION 17-6
■ Handset, Battery & Charger 17-6
■ Handset 17-7
■ Charger 17-7
■ Battery 17-8
General Notes 17-8
■ General Use 17-8
■ In Automobiles 17-8
■ Aboard Aircraft 17-9
■ Handset Care 17-9
Minding Mobile Manners 17-10
■ Basic Handset Etiquette 17-10
■ Manner-Related Features 17-10
Handset Parts & Functions 17-11
■ Handset (Front) 17-11
■ Handset (Side & Back) 17-13
■ Charging Battery 17-14
■ Display 17-16
■ Symbols 17-19
■ Handset Codes 17-19
Basic Handset Operations 17-20
■ Turning Handset On/Off 17-20
■ Display Language 17-20
■ Your Phone Number 17-20
■ Setting Clock 17-20
■ Initiating a Call 17-21
■ Redial 17-21
■ Total Charges & Talk Time 17-22
■ Incoming Call 17-22
■ Placing a Caller on Hold 17-22
■ Message Recorder & Voice Mail 17-22
■ Forwarding a Call 17-23
■ Calling from Call History 17-23
■ Manner Mode 17-23
Entering Characters 17-24
■ Character Types 17-24
■ Key Assignments 17-25
■ Symbols, Pictographs & Emoticons 17-26
Saving to Phone Book 17-27
■ Phone Book Entry Items 17-27
■ New Phone Book Entries 17-28
■ Editing Phone Book 17-29
■ Saving from Call History 17-29
Dialing from Phone Book 17-30
■ Entry Number Search 17-30
■ Search by Reading 17-30
Mobile Camera 17-31
■ Before Using Camera 17-31
■ Capturing Still Images 17-32
Data Folder 17-32
■ Data Folder Contents 17-32
■ Opening Data Folder 17-33
■ Super Mail Attachments 17-33
Function Shortcuts 17-34
Specifications 17-38
Customer Service 17-40

18 付録

機能一覧 18-2
故障かな？と思ったら 18-6
区点コード一覧 18-9
主な仕様 18-13
索引 18-15
保証書とアフターサービス 18-19
お問い合わせ先一覧 18-20

安全上のご注意

- ご使用の前に、「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客さま、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **危険**	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。**
⚠ **警告**	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。**
⚠ **注意**	**誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。**

■絵表示の意味

記号は	記号は	⚠記号は
してはいけないこと（禁止）を表しています。	しなければならないこと（強制）を表しています。	気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

V602SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

V602SHに使用する充電器および電池パック、卓上ホルダーは、ボーダフォンが指定したものを使用する（☞P.ii）
指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金　などで接触させない
充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。（☞P.ii）。
- 電池パックをV602SHに装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、V602SH専用です。
それ以外の機器には使用しないでください。

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
目に障害を与える恐れがあります。

⚠警告

V602SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れない

V602SHや充電器、卓上ホルダーの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所などの、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かない

V602SHや充電器、卓上ホルダーの近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

引火、爆発の恐れがある場所では使用しない

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない

視力傷害の原因になります。
また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

SDメモリカードやビデオ出力ケーブルを乳幼児の手の届く所に置かない

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

電子レンジや高圧容器に、電池パックやV602SH、充電器、卓上ホルダーを入れない

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、V602SHや充電器、卓上ホルダーの発熱・発煙・発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしない

- V602SHや充電器、卓上ホルダーのキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は、ボーダフォンの故障受付窓口にご依頼ください。
- V602SHや充電器、卓上ホルダーを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは

V602SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

V602SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

衝撃を与えない

V602SHや充電器、卓上ホルダーを持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、V602SHや充電器、卓上ホルダーを落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんな臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、V602SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口に修理を依頼してください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

V602SHの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、V602SHを絶対にお使いにならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、ステレオヘッドホンを絶対に使わないでください。
  交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。
  交通事故の原因となります。

ストラップを持ってV602SHを振り回したり、投げない

本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、V602SHの電源を切る

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する

心臓の弱い方は、設定に注意してください。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動する

落雷・感電の原因となります。

⚠警告

充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しない
指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
- 急速充電器
AC100V
- シガーライター充電器
DC12／24V

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しない
シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。
プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器の取り扱いについて
- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせない
接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。
充電器が発熱したり、発火・感電の原因となります。

卓上ホルダーは自動車内で使用しない
卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。
過大な温度と振動により、火災・故障の原因となることがあります。

事故防止のために
シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。
取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライターコードが傷ついたときは
（芯線の露出、断線など）
ボーダフォンの故障受付窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら
安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。
火災・感電・故障の原因となります。

充電器や卓上ホルダーは、乳幼児の手の届かない所で使用・保管する
感電・けがの原因となります。

⚠警告

電池パックの取り扱いについて

- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、V602SHから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、V602SHの電源を切るようにしてください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、V602SHを持ち込まない。
- 病棟内ではV602SHの電源を切る。
- ロビー等であっても、付近に医用電気機器がある場合は、V602SHの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがう。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカ等にご確認ください。

⚠注意

V602SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。
  露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間当たる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。
  キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
  また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。

置き場所について（続き）

- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多い所では使わないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。
  故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類をV602SHや充電器に近づけないでください。カードに記　されているデータが消えることがあります。

V602SHの取り扱いについて

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない

V602SHのキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

ステレオヘッドホンやビデオ出力変換ケーブルの取り扱いについて

- 抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

自動車内でご使用のとき

V602SH を自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

⚠注意

V602SHの取り扱いについて

皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ医師の診断を受ける。

下記の箇所に金属などを使用しています。お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
キャビネット（メインディスプレイ側）	マグネシウム合金／アクリル系焼付け塗装処理（下地：エポキシ系焼付け塗装）
キャビネット（メインディスプレイ裏側）	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
キャビネット（メインディスプレイ下側）	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ディスプレイ窓	アクリル樹脂
サブディスプレイ窓	アクリル樹脂
カメラ飾り	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アルミ蒸着，アクリル系塗装）
カメラ透明窓	アクリル樹脂
ネジカバー（ディスプレイ上側）	ABS樹脂／塗装
ネジカバー（ディスプレイ下側）	UV硬化樹脂
サイドボタン	ABS樹脂／PC樹脂／クロムメッキ（下地：ニッケル、銅）
キャビネット（操作ボタン側、電池パック側）、電池カバー	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
マルチガイドボタン	ABS樹脂／PC樹脂／クロムメッキ（下地：ニッケル、銅）
ボーダフォンライブ！ボタン、ダイレクトボタン	ABS樹脂／インモールド
電源ボタン、開始ボタン	ABS樹脂／インモールド
ダイヤルボタン、クリアボタン、スケジュール／メモボタン、文字ボタン	PC樹脂
メモリカードスロットカバー	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
イヤホンマイク端子カバー、外部機器端子カバー	エラストマー樹脂
ネジカバー（電池カバー下）	シリコン樹脂
電池パック	PC樹脂／PPフィルム
充電端子	ナイロン6T／BRASS、Auメッキ(下地：ニッケル、銅)
ネジ（メインディスプレイ側）、ネジ（操作ボタン側）	SWCH12A／Niメッキ

⚠注意

充電器の取り扱いについて

急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。
- AC コンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

通電中は卓上ホルダーに長時間触らない

低温やけどの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しない

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。
指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災・故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電器や卓上ホルダーは風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて、V602SHを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

⚠注意

電池パックの取り扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱・発火・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、濡らさないでください。
電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
  端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
  電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。
- 電池パックは乳幼児の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないように注意してください。
- 電池パックの充電温度範囲は5 ℃～35℃です。この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックをお子さまがご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
  また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。
- 電池パックを初めてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などによりV602SH／SDメモリカードに登　したデータ（メモリダイヤル・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なメモリダイヤルなどのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- V602SHは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- V602SHを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- V602SHは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  V602SHは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいた上で、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながらV602SHをご使用になると危険ですので、おやめください。
- V602SHをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- V602SHを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- V602SHの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客さまが登　・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- V602SHは温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- モバイルカメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- V602SHを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
  また、アルコール、シンナー、　ンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- V602SHは精密部品で作られた無線通信装置です。
  絶対に分解、改造はしないでください。
- V602SHのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようご注意ください。
- V602SHを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- ステレオヘッドホンの中には開放型のものがあり、音が外にもれることがあります。
  周囲の人の迷惑にならないように注意してください。
- **V602SHは防水仕様にはなっていません。**
  水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - ■雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - ■エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - ■洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水で濡らす原因となります。
  - ■海辺などに持ち出すときは、バッグなどに入れて、海水がかかったり、直射日光が当たらないようにしてください。
  - ■汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗がV602SHの内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- **V602SHに無理な力がかかるような場所には置かないでください。**
  故障やけがの原因となります。
  - ■V602SHをズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  - ■荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- V602SHのVIDEO　OUT／イヤホンマイク端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、V602SHを傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ずV602SHの電源を切ってから取り外してください。
  データの登　やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データ　ースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

- **この機種【V602SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。**
  この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
- この携帯電話機【V602SH】のSARは、0.44W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
- SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
  ■総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
  ■社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

ご利用になる前に

代表的な機能

● ▬の利用には、市販のSDメモリカードが必要です。

4つのポジション
ディスプレイ部分が180度回転して、使い方に応じて4つのポジションが選べます。
P.1-11

マナーモード
ボタン1つで着信音を鳴らさないようにしたり、簡易留守に設定できます。
P.3-3

多彩な文字変換
近似予測変換、連携予測変換、推測頭出し変換、ワンタッチ変換などが利用できます。
P.4-13、P.4-16、P.4-17、P.4-18

メモリダイヤル
最大500件（1件につき電話番号とE-mailアドレス各3件）まで登　できます。
P.5-2

モバイルカメラ
内蔵のカメラで静止画や動画を撮影できます。モバイルライト撮影も可能です。
P.6-2

プリント指定（DPOF）
SDメモリカード内の静止画にプリント情報を設定し、ショップなどでプリントできます。
P.6-41

画面表示設定
壁紙やマイキャラクタ、文字表示などを設定することができます。
P.7-2、P.7-5、P.7-6

Language／言語選択
メニューや各種メッセージを英語表示に切り替えることができます。
P.7-10

ミュージックプレイヤー
V602SHで音楽を　音したり、再生することができます。（有料）
P.9-2

ボイスレコーダー
V602SHで音声を　音／再生したり、　音した音声を着信音にすることができます。
P.10-2

メモリカード
静止画や動画、メモリダイヤルなど、各種データをSDメモリカードに保存できます。
P.11-2

データフォルダ
静止画や動画、メロディ、アニメなど、各種データをまとめて管理できます。
P.12-2

画像一覧表示
メール添付、壁紙設定など画像を選択するときに画像一覧を表示できます。
P.12-5

着うた®
着うた®（音楽）をダウンロードして、着信音やアラーム音などに設定できます。
P.12-36

電子ブック
SDメモリカード内の電子書籍データ（XMDF形式）を、閲覧することができます。
P.12-42

赤外線通信
赤外線通信を利用して、他の機器との間でデータのやりとりができます。
P.13-2

指定着信許可／拒否
指定した電話だけを受けたり、受けないようにできます。非通知や公衆電話も拒否できます。
P.14-5

スケジュール
時間や期日の決まった予定を登　して、スケジュール管理を行うことができます。
P.15-14

バーコード
バーコードを読み取ったり、メモリダイヤルなどからバーコードを作成できます。
P.15-26

外部出力
テレビなどで、静止画／動画やディスプレイの表示内容を見ることができます。
P.15-39

ボーダフォンライブ！
メール、ウェブ、Vアプリ、ステーションの各機能が利用できます。
別冊

オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
P.16-3

留守番電話サービス
電話に出られないとき、相手のメッセージをお預かりします。
P.16-4

割込通話サービス
通話中にかかってきた電話を受けることができます。
P.16-6

三者通話サービス
3人で同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。
P.16-7

各部の名称と機能

本体

1 ディスプレイ

2 ボーダフォンライブ！ボタン／モバイルカメラ起動ボタン
- ●短押し：ボーダフォンライブ！を利用するときに使用します。
- ●長押し：モバイルカメラ起動時に使用します。

3 開始ボタン
電話をかけるときや受けるときに使用します。

4 クリアボタン
入力した電話番号、文字などを削除するときや各種メニューをキャンセルするときなどに使用します。

5 スケジュール／メモ／A／aボタン
スケジュールを登　／表示するときや、通話内容や声のメモを　音／再生するときに使用します。また、画像表示サイズを切り替えるときにも使用します。文字入力時には、大文字／小文字の切り替えなどに使用します。

6 ダイヤルボタン
- ●短押し：電話番号や文字の入力などを行うときに使用します。
- ●長押し：いろいろな機能のショートカットに使用します。

7 ✻ボタン
メール表示中は、前の表示へ逆戻りします。また、文字入力中は、絵文字リストの表示に使用します。

8 レシーバー（受話口）
相手の声がここから聞こえます。

9 マルチガイドボタン
メニュー項目の選択や決定、カーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。

1 リダイヤル／ノートパッドメモリボタン
- ●短押し：以前かけた電話番号に再度かけるときや前の画面に戻るときに使用します。
- ●長押し：ノートパッドメモリの呼び出しに使用します。

2 メールボタン
- ●短押し：メールを利用するときに使用します。
- ●長押し：受話音量調節に使用します。

3 メモリダイヤルボタン
- ●短押し：メモリダイヤルに登　した電話番号を呼び出すときや機能を選択するときに使用します。
- ●長押し：メモリダイヤル登　に使用します。

4 ファンクション（F）／誤動作防止ボタン
- ●短押し：各種機能を利用するときに他のボタンと組み合わせて使用します。
- ●長押し：誤動作防止機能を設定するときに使用します。

5 着信履歴ボタン
- ●短押し：かかってきた電話の内容を表示するときに使用します。
- ●長押し：受話音量調節に使用します。

10 マイク（送話口）
ビューアポジション時に、自分の声をここから伝えます。

11 ダイレクトボタン
ユーザーショートカットリストを表示するときなどに使用します。

12 電源／終了ボタン
- ●短押し：通話を終了するときや着信時の応答を保留するとき、メニューの設定中止などに使用します。
- ●長押し：電源を入れるときや切るときに使用します。

13 文字／マナー（🔔）ボタン
- ●短押し：文字の種類を変えたり、メモリダイヤルの登　をするときに使用します。
- ●長押し：マナーモードを設定／解除するときに使用します。

14 ＃ボタン
オープンポジションでのモバイルカメラ撮影時に、モバイルライトをON／OFFにするときに使用します。メール表示中は、次の表示へ順送りします。また、文字入力中は、記号リストの表示に使用します。

15 0ボタン
- ●長押し：V602SHに登　されている「**バウリンガル コネクト**」（Vアプリ）を起動するときに使用します。

16 マイク（送話口）
自分の声をここから伝えます。

17 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。

18 VIDEO OUT／イヤホンマイク端子／光デジタル・ライン入力端子
付属品のL型ビデオ出力ケーブルやオプション品のスイッチ付イヤホンマイク、またはオプション品のマイク付液晶リモコンなどを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

19 充電端子

20 外部機器端子
急速充電器やオプション品のシガーライター充電器などを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

21 ストラップ取り付け穴
図のように市販のストラップを取り付ける穴です。

22 メモリカードスロット
SDメモリカードを挿入する場所です。

23 スモールライト
次のように点灯／点滅します。
- 充電中：赤色で点灯
- 着信時：設定したパターンで点滅

24 シャッターボタン
- ビューアポジション時
  - ■短押し：メニュー項目を選択するときや実行するときに使用します。
  - ■長押し：カメラを起動するときに使用します。
    モバイルカメラのときの動作：☞P.6-4

25 Cボタン
連続2回押し：スポットライトを点灯させるときに使用します。
- ビューアポジション時
  - ■短押し：各種メニュー操作をキャンセルするときなどに使用します。
- クローズポジション時
  - ■長押し：サイドキー設定（☞P.15-3）で使用します。
    モバイルカメラのときの動作：☞P.6-4

26 ズーム／選択ボタン
- ビューアポジション時
  - 1 突起部分をシャッターボタンとは反対方向にスライド：メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するときに使用します。（下または右へ移動）
    モバイルカメラのときの動作：☞P.6-4
  - 2 突起部分をシャッターボタン側にスライド：メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するときに使用します。（上または左へ移動）
    モバイルカメラのときの動作：☞P.6-4

27 モバイルライト
電話がかかってくると設定したカラーパターンで点滅します。モバイルカメラでは、モバイルライト撮影に利用できます。また、待受中にはスポットライトとして利用できます。

28 モバイルカメラ（レンズカバー）
ここから撮影した画像がディスプレイに表示されます。

29 サブディスプレイ
着信のお知らせなどが表示されます。

30 スピーカー
着信音がここから聞こえます。また、スピーカーホン／スピーカー受話中に相手の声がここから聞こえます。

31 電池カバー

32 内蔵アンテナ
この部分にアンテナが内蔵されています。
1 ビューアポジション以外のときに送受信します。
2 ビューアポジションのときに送受信します。

注意　内蔵アンテナについて
- V602SHは内蔵アンテナで送受信するため、外部アンテナはありません。
- 内蔵アンテナ部分には、手で触れたり覆わないようにしてお使いください。また、シールなどを貼らないでください。通話品質が悪くなります。
- 体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなります。

ディスプレイ

1 （電池レベル表示）／（スポットライト表示）
電池残量の目安を表示します。また、スポットライト点灯時は「」と「」を交互に表示します。

2 （マナーモード表示）
マナーモードが設定されているときに表示されます。

3 （インフォメーションあり表示）
不在着信、簡易留守、未読のメッセージ、スーパーメール、ウェブ情報、ステーション情報、通信レポート、送信が完了した送信予約メールがあることを表示します。

4 （スピーカーホン表示）／（スピーカー受話表示）／（ステーションメニュー手動更新表示）
スピーカーホンで通話しているときは「」が、スピーカー受話しているときは「」が表示されます。また、ステーションのメニューを手動で更新しているときには「」（グレー）が表示されます。

5 （Vアプリ起動中表示）／（Vアプリ一時停止中表示）
Vアプリを起動しているときには「」が、一時停止しているVアプリがあるときには「」が表示されます。

6 （回線接続表示）／（外部出力表示）
メールサーバーと通信しているときやウェブでサービスセンターと通信しているときなどに表示されます。また、付属品のL型ビデオ出力ケーブルを使って他の機器と接続中は「」が表示されます。

7 （音楽再生／音楽録音中表示）／（音声再生／音声録音中表示）
音楽や音声の再生／　音中は、「」や「」が表示されます。

8 （SDメモリカード状態表示）
SDメモリカードの状態が表示されます。

9 （ユーザーショートカット表示）／（SSL表示）
ユーザーショートカットに登　できる画面では「」が表示されます。また、SSLに対応している情報画面では「」が表示されます。

10 （シークレットモード表示）
シークレットモードのときに表示されます。シークレットメモリを呼び出したときは点滅表示します。

11 （電波状態表示）／（オフラインモード表示）／（赤外線通信中表示）
電波の強さを表示します。の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強　：中　：弱　：微弱　：圏外
また、オフラインモードに設定したときは「」が、赤外線通信中は「」が表示されます。

12 ／（スクロール表示）

13 （メッセージお預かり表示）
留守番電話センターに伝言メッセージが保存されているときに表示されます。

14 （メール受信表示）
スカイメールなどを受信すると表示され、未読のメールがあることをお知らせします。

15 （スーパーメール受信表示）
スーパーメールなどを受信したときに表示され、未読のメールがあることや、メールサーバーにメールをお預かりしていることをお知らせします。

16 （本体表示）／（SDメモリカード表示）
表示されている情報が、V602SHに保存されているときには「」が、SDメモリカードに保存されているときには「」が表示されます。

17 入力モード表示
入力できる文字の種類や入力方法を示します。

18 ／（等倍表示／拡大表示）
画像やメール画面、ウェブ画面の画像表示サイズを示します。

19 （ウェブ受信表示）
ウェブで情報を受信すると表示され、未読の情報があることをお知らせします。

20 （ステーション受信表示）
ステーションの更新情報を受信すると「」（赤色）で表示され、未読の情報があることをお知らせします。

21 （通信レポート受信表示）
メールの通信レポートを受信したときに表示されます。

22 （留守表示）
簡易留守　に設定したときに表示されます。

23 （録音表示）
簡易留守　の用件が　音されているときに表示されます。

24 ／（スケジュール表示）
スケジュールが登　されている日に、まだ設定時刻になっていないスケジュール（アラームON時：／アラームOFF時：）があることをお知らせします。

25 （アラーム表示）
アラームが設定されているときに表示されます。

26 （ダイヤル操作禁止表示）
ダイヤル操作禁止がかかっているときに表示されます。

27 （バイブレータ表示）
通常着信時にバイブレータが設定されているときに表示されます。

28 （サイレント表示）／（ステップ表示）
通常着信時の着信音量が、「**サイレント**」のときは「」、「**ステップ**」のときは「」が表示されます。

29 など（お天気アイコン表示）
ステーションによって、現在いるエリアの天気が表示されます。（別途申し込みが必要です。）

30 （誤動作防止表示）
誤動作防止が設定されているときに表示されます。

補足

- バイブレータと着信音量は、通常着信、ボーダフォンライブ！の各着信のそれぞれに設定できますが、ディスプレイに表示されている「」、「」、「」は、通常着信時の設定状態を示します。
- 壁紙を設定（P.7-2）しているときは、ディスプレイのマーク表示を消すこともできます。（P.7-3）

サブディスプレイ

●それぞれのマークの意味は、ディスプレイと同様です。（☞P.1-8～P.1-9）

15:05
1 2 3 4

1 （電池レベル表示）／（不在着信表示）／（メール受信表示）／（簡易留守録表示）／（メッセージお預かり表示）／（ウェブ受信表示）／（ステーション受信表示）／（アラーム表示）／（スポットライト表示）
通常は「」が表示されます。電話や情報着信時、アラーム動作時には、サブディスプレイ全面に「」「」「」「」「」の各マークと、着信や動作を示すメッセージが表示されます。
また、スポットライト点灯時は、「」と「」を交互に表示します。
●「」が表示されているときに、Ⓢを長く（1秒以上）押すと、着信の種類に応じたマークが表示されます。

2 （電波状態表示）／（オフラインモード表示）
3 （インフォメーションあり表示）
不在着信、メール受信、ウェブ受信、ステーション情報、簡易留守 、留守番電話センターに伝言メッセージがあるときに表示します。
4 時間表示／音楽再生／ボイス再生
現在の時刻を表示します。ストップウォッチやキッチンタイマーの動作中や、音楽や音声などを再生／ 音中は、動作を表すマークと現在の時間を交互に表示します。

補足 クローズポジション時にサイドボタンを操作すると、サブディスプレイのパネル照明が点灯します。（サブディスプレイの照明設定（☞P.7-7）が「OFF」に設定されているときは、点灯しません。）

V602SHの取り扱い

V602SHは使い方に応じて、４つのポジションが選べます。
●本書では、「**オープンポジション**」を中心に操作の説明をします。ただし、モバイルカメラの操作（☞P.6-2）は「**ビューアポジション**」を中心に説明します。

４つのポジションから選ぶ

●ポジションを変更するときは、両手で持ってゆっくりと操作してください。力を入れすぎると、破損の原因になります。

1
2
3 ディスプレイ部分を止まるまで開く。

クローズポジション

ディスプレイを内側にして、２つ折りにした状態です。（お買い上げ時の状態です。）
●携帯するときにおすすめします。

補足 通話することはできません。通話するときは、オープンポジションまたはビューアポジションに変更してください。

オープンポジション

ディスプレイを見ながら、ダイヤルボタン操作をするときの状態です。
●通話や文字入力などに適しています。

4 ディスプレイ部分を右回りに180度回転させる。

セルフショットポジション

ディスプレイを見ながら、ダイヤルボタンを使ってモバイルカメラ操作をするときの状態です。

- 自画撮影など、ディスプレイで画像を確認しながらの撮影に適しています。

注意
- 通話することはできません。通話するときは、オープンポジションまたはビューアポジションに変更してください。
- セルフショットポジションに変更するときは、ディスプレイ部分を左回りに180度回転させることはできません。

5

6 ディスプレイ部分を閉じる。

ビューアポジション

ディスプレイ部分を外側にして、2つ折りにした状態です。

- モバイルカメラの操作（☞P.6-2）や、撮影した画像の確認（☞P.6-29）をするときに適しています。
- ⓢ、ⓒ、▶、◀を使って、オープンポジションとほぼ同様に基本的な操作ができます。

注意
ビューアポジションのまま携帯しないでください。ディスプレイを破損する恐れがあります。

7

ボタンの押し方

一部のボタンでは、押し方によっていくつかの機能が利用できます。次の4種類の押し方を使い分けて操作してください。

短押し※	軽く押します。（本書でのボタン操作の基本的な押し方です。）
長押し	1秒以上押し続けます。（ⓢは押し切った状態で、1秒以上押し続けてください。）
押し切り（ⓢだけの操作）	軽く押したあと、さらに押し切ります。モバイルカメラの撮影操作で使用します。
連続2回押し（ⓒだけの操作）	間隔をあけずに短押しを2回連続でします。スポットライトを点灯するときに使用します。

※ 本書では、ことわりがない限り「**短押し**」は「**押す**」と記載しています。

ビューアポジション時のボタン操作

ビューアポジション時には、ⓢ、ⓒ、▶、◀の各ボタンを使って操作します。

待受画面での操作

ⓢ	長押し	モバイルカメラ起動
	短押し	インデックスメニュー表示
ⓒ	短押し	ユーザーショートカットメニュー表示
▶	短押し	メールメニュー表示※
◀	短押し	着信履歴表示※
◀ ▶	長押し	受話音量変更※

※ カレンダー表示（☞P.7-4）が設定されている場合は除く

待受画面以外での操作（着信中、通話中、モバイルカメラ、Vアプリを除く）

各ボタンは次のように、オープンポジション時のボタンと対応しており、基本的な操作はオープンポジション時とほぼ同様に行えます。

ビューアポジション時のボタン		オープンポジション時のボタン
ⓢ	長押し	◎
	短押し	●
ⓒ	長押し	◎
	短押し	クリア
▶	短押し	◎または◎※
◀	短押し	◎または◎※

※ 動作する方向は、表示される画面によって異なります。

補足
ビューアポジションで操作するときは、対応するボタンに置き換えてお読みください。

電池パックと充電器の取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。極端な温度の状態では、劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度：５℃～35℃
- 指定以外の充電器で充電しないでください。指定以外の充電器を使用すると、充電制御回路が不適だったり、充電制御回路が内蔵されていない場合があり、電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）となる可能性があります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電が開始されるとスモールライトが赤色点灯します。（電源OFF時に充電する場合は、スモールライトが点灯するまでにしばらく時間がかかることがあります。）
- 充電時間は約115分です。
  - ■**常温（電源OFF時）での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。**
- 充電中、充電器や電池パックがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器をテレビやラジオから雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

- 電池パックやV602SH、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 次のような場所でのご使用は避けてください。
  - ■極端な高温や低温環境
  - ■湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■直射日光のあたる場所
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に１回程度、電池パックの補充電を行ってください。
  電池パックが使用できなくなることがあります。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

補足
- 電池パック単体で充電することはできません。
- V602SHに電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。
- 電源を入れて、待受状態でも充電することができます。電源を入れて充電した場合、充電中は「▥」が点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります。
- **V602SHを開いた状態でも充電することができます。**

完全に充電したときの利用可能時間

- **完全に充電したときの利用可能時間**

項目	時間
連続通話時間	約130分
連続待受時間	約450時間
連続操作時間	約230分
連続再生時間	約7.0時間

※上記の各利用可能時間は、パネル明るさ調整が「**明るさ４**」（お買い上げ時）に設定されているときの時間です。

- ■連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能「**OFF**」を設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- ■連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V602SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- ■連続操作時間とは、通話をしないで連続してV602SHを操作し続けたときの利用可能時間です。
- ■連続再生時間とは、オフラインモードで連続して音楽（ミュージック）を再生し続けたときの利用可能時間です。
- ■電池パックの利用可能時間は電波が安定した状態で算出した当社計算値です。

電池パックの持ちについて

次のような使用や操作をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。

- **使用環境**
  - ■極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき（５℃～35℃の温度範囲でお使いください。）
  - ■V602SHや電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき（充電端子が汚れていると、接触が悪くなり正常に充電できなくなります。）
  - ■電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受にしているとき（なるべく電波状態の良い環境でお使いください。）
- **操作**
  - ■Vアプリを起動しているとき
  - ■ステーションを使用しているとき
  - ■モバイルカメラ撮影／バーコード読み取りを多く使用したとき
    また、モバイルライト撮影を多く使用したとき
  - ■動画を再生したとき
  - ■スポットライトを多く使用したとき
  - ■メール作成などの連続したボタン操作（照明の点灯時間が長くなる）を多くしたとき
  - ■音楽（ミュージック）やボイスレコーダーを　音／再生させたとき
  - ■赤外線通信を多く使用したとき
  - ■V602SHのポジションを頻繁に変更したとき
- **設定**
  - ■パネル照明やキー照明の点灯時間を長く設定したとき
  - ■壁紙にアニメーションを設定したとき
  - ■スクリーンアニメを設定したとき
  - ■パネルセーブが働かないように設定したとき
  - ■パネル照明を明るくなるように調整したとき

電池パックの消耗を軽減するには

次の機能の設定を変更していただくと、電池パックの消耗を軽減することができます。

- 照明設定（☞P.7-7～P.7-8）
- サブディスプレイの照明設定（☞P.7-7、P.7-10）
- モバイルライト（☞P.6-25）やスポットライトの継続点灯時間（☞P.15-38）
- パネルセーブ（☞P.15-35）

電池が切れたら

- 電池交換のメッセージが表示され、電池アラーム音が「ピピピ…」と鳴り、約20秒後に電源が切れます。（20秒以内に充電を開始したときは、電源は切れません。）
  電池アラーム音が鳴っているときに㊂を押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。電池パックを充電してください。
  （マナーモード設定時には、警告音は鳴りません。）
  また、通話中に電池が切れた場合は、電池アラーム音「ピピ」と断続音が約5秒間隔で鳴ります。約20秒後に通話が切れ、そのあと電源が切れます。電池パックを充電してください。

不要になった電池パックは

- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
  端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
  電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

電池レベル表示の確認

電池レベルを4段階で表示します

15:05

サブディスプレイ

15:05
2004/07/20 Tue

- 「▯」になると充電することをおすすめする確認メッセージが表示され、電池アラーム音が鳴り、約20秒後に電源が切れます。

■電池レベル表示について

電池レ　ル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。
ディスプレイの電池レ　ル表示と案内表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

電池電圧

このあたりで「**充電して下さい**」を表示します。
すぐに充電するか、充電済の電池パックと交換してください。

V602SHの動作可能電圧

レベル3　レベル2　レベル1　レベル0

電池残量 約70%　約20%　約10%

使用時間

電池残量の目安（常温：25℃で使用した場合の例）

■ご使用の温度条件によって上図の電池レベル表示は次のように変化します

低温下では、レ　ル1が早めに表示されます。
高温下では、レ　ル1が遅めに表示されます。

注意
- 上記の電池レ　ル表示は電池残量の目安です。
- 電池レ　ル表示がレ　ル1になると、音楽の　音や再生、ボイスレコーダーの　音、モーションカメラ（MPEG）モードでの撮影など利用できない機能があります。（☞P.6-19、P.9-4、P.9-12、P.10-3）

スモールライト／電池レベル表示

スモールライトや電池レ　ル表示は、次のような状態をお知らせします。

■電源が入っているとき

スモールライト	電池レベル表示（▥）	状態
消灯	点滅	周囲温度が5℃～35℃以外、電池残量なし
赤色点滅	点滅	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	点滅	充電中
消灯	点灯	充電完了、待受中

■電源が切れているとき

スモールライト	電池レベル表示（▥）	状態
消灯	消灯	周囲温度が5℃～35℃以外、電池残量なし
赤色点滅	消灯	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	消灯	充電中
消灯	消灯	充電完了

電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

1 電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドする。

①
②

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを取り付ける。

●印刷面を上にして、本体のくぼみに電池パックの先を合わせて取り付けます。

4 電池カバーを取り付ける。

●電池カバーとキャビネットとのすき間が生じないように電池カバーを押しながらスライドさせます。

補足

V602SHは、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

● リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
● リサイクルのときは、次のことにご注意ください。火災・感電の原因となります。
  ■ショートさせない。
  ■分解しない。

Li-ion

取り外す

1 電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドする。

①
②

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを持ち上げ、取り外す。

●この部分から電池パックを持ち上げます。

注意

●電池パックは、必ず電源を切ってから取り外してください。
●操作したあとは、すぐに電池パックを取り外さないでください。

急速充電器を利用して充電する

AC100Vコンセント
プラグ
急速充電器
刻印面を上に
リリースボタン
スモールライト
端子キャップ
外部機器端子

1 端子キャップを回転して開き、外部機器端子に接続コネクターを差し込む。

- 「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 プラグを家庭用 AC コンセントに差し込む。

- 充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：☞P.1-17
- ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

- 充電時間：☞P.1-14

4 充電が完了したら…
V602SH から接続コネクターを抜き、プラグをACコンセントから抜く。

- 接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
- V602SH の端子キャップを元に戻してください。

注意 急速充電器を携帯されるときなど、コードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。

卓上ホルダーを利用して充電する

スモールライト
AC100Vコンセント
リリースボタン
ミゾ
急速充電器
プラグ
刻印面を下に
ツメ
接続端子

モバイルライト確認部
充電中に着信したときなど、V602SHのモバイルライトが点灯／点滅することを確認できます。

1 急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む。

- 「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 卓上ホルダーの接続端子は裏側にあります。

2 プラグを家庭用 AC コンセントに差し込む。

- ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 V602SHに電池パックを取り付け卓上ホルダーに置く。

- 1のようにV602SHのミゾを卓上ホルダーのツメに合わせ、2の矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げてください。
- 充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：☞P.1-17）

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

- 充電時間：☞P.1-14

5 充電が完了したら…
V602SHを卓上ホルダーから取り外し、急速充電器のプラグをACコンセントから抜く。

シガーライター充電器を利用して充電する

スモールライト
シガーライターソケット
リリースボタン
端子キャップ
外部機器端子
プラグ
ラベル面を上に

1 端子キャップを回転して開き、外部機器端子に接続コネクターを差し込む。
- 「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む。

3 車のエンジンをかける。
- 充電が開始されます。(スモールライト赤色点灯：☞P.1-17)

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。
- 充電時間：☞P.1-14

5 充電が完了したら…
V602SH から接続コネクターを抜き、プラグをシガーライターソケットから抜く。
- 接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
- V602SH の端子キャップを元に戻してください。

注意
- このシガーライター充電器はマイナスアース車専用です。(12V、24V両用)
- シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。

補足
- シガーライター充電器の操作方法などについては、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。
- シガーライター充電器を使って充電する場合、V602SHを固定させるため、オプション品の車載ホルダーを利用されることをおすすめします。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 V602SH をオープンポジションにする。

2 ☎を長く(1秒以上)押す。

3 ディスプレイが点灯する。

15:05
2004/07/20 Tue

アニメーションのあと、上のような「待受画面」が表示されます。

時刻が設定されていないとき

■ アニメーションのあと、時刻設定の確認画面が表示されます。
「1YES」選択➡◉➡時刻設定画面へ(☞P.1-25)
「2NO」選択➡◉➡時刻未設定の待受画面へ

注意
- 初めてお使いになるときは、V602SH内蔵の時計を合わせてください。(☞P.1-25)
- 電源を入れたときや、切ったときにディスプレイが一瞬暗くなりますが、故障ではありません。

補足
- V602SHをクローズポジションにしたままで、メールなどのボーダフォンライブ！の着信も自動的に受けることができます。
- V602SHは、操作をしない状態(クローズポジションを除く)が続くと、電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。(パネルセーブ：☞P.15-35)

電源を切る

1 ⌒を長く（２秒以上）押す。

2 ディスプレイが消灯する。

アニメーションが表示されたあと、ディスプレイが消灯します。

誤ってボタンが押されるのを防ぐ

カバンの中に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押さないように設定します。（誤動作防止）

誤動作防止を設定する

1 ◉を長く（１秒以上）押す。

「⊙!」が表示され、誤動作防止が設定されます。

補足
誤動作防止設定中は
- 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。通話終了後には、再び誤動作防止が設定されます。
- ⌒を長く（２秒以上）押しても、電源は切れません。

誤動作防止を解除する

1 誤動作防止が設定されている待受中に、◉を長く（１秒以上）押す。

「⊙!」が消え、誤動作防止が解除されます。

日付／時刻の設定

1 ◉ 5 9 の順に押す。

2 西暦の年を入力する。

F59:時刻設定
2004年
■‐月‐‐日(‐)
‐‐：‐‐
●決定

- 入力したい位置に◈でカーソルを移動し、入力してください。

例：2004年➡ 2 0 0 4

3 月・日を入力する。

例：７月20日➡ 0 7 2 0

4 時・分を入力する。

時刻は24時間制で入力します。
例：午後３時５分➡ 1 5 0 5

5 ◉を押す。

設定した時刻の「０秒」から動き始め、時刻設定が終了して、待受画面に戻ります。
曜日は自動的に設定されます。

カーソル

■ 文字入力時に表示される「■」を「**カーソル**」といいます。カーソルは、◈を押すと１文字単位で、◈を押すと１行単位で移動することができます。文字の入力や修正は、カーソル位置に対して行われます。

注意
設定した時刻は、電池パックを交換するときにも保持されますが、約１ヵ月程度電池パックを外しているか、空の状態で放置していると、記憶が消えることがあります。そのときは、西暦・日付・時刻を再設定してください。

補足
- 西暦・日付・時刻を合わせていない場合、着信履歴やリダイヤルなどの日時表示は「--/-- --:--」と表示されます。
- ボタンを押し間違えたときは、◈を押しカーソルを移動したあと、正しい数字を入力してください。
- 待受画面に表示される時計の表示方法を設定したり、カレンダーを表示することもできます。（☞P.7-4）

機能の呼び出し方

ご利用になる前に

インデックスメニューから機能を呼び出す

V602SHのいろいろな操作は、「**インデックスメニュー**」と呼ばれる画面から行います。

1 ◉を押す。

インデックスメニューが表示されます。

●インデックスメニューの表示を変更することもできます。（☞P.7-9）

2 ◎で利用するメニュー項目を選ぶ。

■ オススメメニューの表示：◎

■ Vアプリライブラリの表示：◎

3 ◉を押す。

選んだメニュー項目の画面が表示されます。

■インデックスメニューの項目

ツール	スケジュールや電卓、アラームなど、便利な機能が利用できます。
モバイルカメラ	モバイルカメラメニューが表示され、撮影やバーコード読み取りなどを行うことができます。
設定	ディスプレイや音の設定をはじめ、いろいろな設定を行うことができます。
インフォメーション	インフォメーションメニュー（☞P.2-16）が表示され、簡単な操作で情報を確認することができます。
ファンクション	ファンクションメニュー（☞P.1-27）が表示され、各機能の設定や確認を行うことができます。
電話	メモリダイヤルの登　・検索や、リダイヤル・着信履歴の確認などを行うことができます。
Vodafone live!	メールやウェブ、Vアプリ、ステーションなどの通信サービスが利用できます。
データ確認	V602SHに保存したデータを確認することができます。
メモリカード	メモリカードメニューが表示され、SDメモリカードに保存したデータを確認することができます。

オススメメニュー

■ インデックスメニューで、◎（オススメ）を押すと、オススメメニューが表示されます。
オススメメニューには、新しく追加された機能やおすすめの機能が表示され、簡単に各機能の画面に移動することができます。

インデックスメニュー　　オススメメニュー

ファンクションメニューから機能を呼び出す

インデックスメニューで「**ファンクション**」を選び、◉を押すと、ファンクションメニューが表示されます。

V602SHの各機能の設定や登　、確認はファンクションメニューから行います。ファンクションメニューでは、大分類の下に各機能が分類されており、それぞれの機能に「**F番号**」と呼ばれる番号がつけられています。（☞P.18-2）

■大分類を選ぶ

◎を押し、大分類を選んだあと、◉を押す。

選択した項目は色帯付きで表示されます

■F番号を直接指定して機能を選ぶ

待受画面で◉（インデックスメニュー表示）→「**大分類の番号**」→「**機能の番号**」の順に押すと、該当する機能の操作ができるようになります。

15:05
2004/07/20 Tue

◉ 1 5

15:05
F15:着信音出力切替
1 イヤホンのみ
2 イヤホン+スピーカー
●選択

機能を操作中にメールを利用する

■ 機能を操作中に ➡ Ⓜ（1秒以上）➡ 受信メールリスト画面（☞P.4-3）が表示 ➡ メール確認／受信／返信／メモリダイヤル登

- 機能の画面に戻るときは、クリアを押します。
- 呼び出したメールの画面（受信メールリスト画面を除く）で Ⓜ を長く（1秒以上）押すと、新たに受信メールリスト画面が表示されます。この画面からは、メールの確認だけが行えます。クリアを押すと、最初に呼び出したメールの画面に戻ります。
- メールが呼び出せない機能や状態で操作すると、エラーメッセージが表示されます。
- 通話中や待受画面、Vアプリ画面では操作できません。

機能を操作中に他の機能を呼び出す

■ 機能を操作中に➡ ◉（1秒以上）➡利用できる機能のメニューが表示➡利用する機能を選択➡◉

- 機能の画面に戻るときは、クリアを押します。（「簡易電卓」を利用したあとは、終話を押します。）
- 呼び出した機能の画面で ◉ を長く（1秒以上）押しても、新たに他の機能を呼び出すことはできません。
- 呼び出した機能の画面で Ⓜ を長く（1秒以上）押すと、受信メール画面が表示されます。この画面からは、メールの確認だけが行えます。メールを確認したあとは、クリアを押すと呼び出した機能の画面に戻ります。
- 新たな機能が呼び出せない機能や状態で操作すると、エラーメッセージが表示されます。

ソフトキーの使い方

各メニュー画面や操作画面では、最下行にボタン操作を示すガイダンスが表示されることがあります。

ツール　モバイルカメラ　設定
インフォメーション　ファンクション　電話
Vodafone live!　データ確認　メモリカード
●選択

- ■選択など：◉を押したときの動作を示します。
- ▼変換など：◯を押したときの動作を示します。
- ☒自動など：＊を押したときの動作を示します。
- Ⓜを押したときの動作を示します。
- ⓞを押したときの動作を示します。

●オリジナル着信音の入力画面などで表示される「文字」は、文字を押したときの動作を示します。

ビューアポジション時のソフトキーの使い方

ビューアポジションでは、ソフトキーの表示される位置が2通りあります。モバイルカメラ操作のときは横向きのディスプレイの最上行に、それ以外の操作のときはオープンポジションと同様に、縦向きのディスプレイの最下行に表示されることがあります。

モバイルカメラ撮影時　　モバイルカメラ以外

- Ⓒを長押ししたときの動作を示します。
- Ⓒを押したときの動作を示します。
- Ⓢを押したときの動作を示します。
- Ⓢを長押ししたときの動作を示します。
- ◄►を押したときの動作を示します。

クイックオペレーション

待受画面で数字を入力すると、数字のケタ数に応じて利用できる機能がディスプレイに表示されます。
（右の画面は数字を１ケタ入力したときのものです。）
この状態で、機能名の前に表示されるボタン（スピードダイヤルの場合は⊙）を押すと、その機能が操作できるようになります。
●ビューアポジションでは操作できません。

機能 ＼ 入力する数字のケタ数	1	2	3	4	5〜6	7〜12	13〜24
スピードダイヤル☞P.5-15	○	○	×	×	×	×	×
マネー積算メモ☞P.15-37	○	○	○	○	○	×	×
メモリダイヤル新規登 ☞P.5-3	○	○	○	○	○	○	○
メモリダイヤル検索※1 ☞P.5-13	○	×	×	×	×	×	×
簡易電卓☞P.15-36	○	○	○	○	○	○	×
簡単メール送信☞ P.3-17	○	×	×	×	×	×	×
リピートアラーム設定※2 ☞P.15-8	×	×	×	○	×	×	×
スケジュール表示※3 ☞P.15-14	×	×	×	○	×	×	×

※1　アカサタナ検索で利用できます。
※2　設定したい時刻を24時間制の４ケタで入力します。（すでに５件のリピートアラームが登　されている場合はエラー表示となります。）
※3　表示したい月・日を４ケタで入力します。現在の日付を含む、以後１年間のスケジュールを表示することができます。

ダイヤルボタンでのショートカット

ユーザーショートカット（☞P.15-22）に登　されている機能やデータは、待受画面で、ダイヤルボタンまたは ⊙ を長く（１秒以上）押すと起動します。

機能の操作方法を確認する

F機能以外の操作方法を確認します。（ガイド機能）

1 ◉ 3 0 の順に押す。

ガイド機能画面（マナーモードの操作説明）が表示されます。

2 ⊙を押す。

別の機能の操作説明が表示されます。

3 確認を終わるときは、⊙を押す。

■ガイド機能画面の見かた

操作できるV602SHのポジションを表示
操作方法（ボタン）
機能内容
◉を押すと機能画面が表示（表示されない機能もあります）
操作する状態（例：着信中に操作）

暗証番号

V602SHのご使用にあたっては、「**操作用暗証番号**」と「**交換機用暗証番号**」が必要になります。

操作用暗証番号

「9999」もしくはご契約時にお決めいただいた4ケタの番号です。
V602SHの各機能を操作するときに使用します。
●入力した操作用暗証番号は「＊」で表示されます。
●操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いの確認メッセージが表示されます。操作をやり直してください。

交換機用暗証番号

お客さまがご契約時に申し込み書に記入された4ケタの番号です。
オプションサービスを一般電話から操作するときや、「ウェブの有料情報」の申し込みの際に必要な番号です。

注意
●「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.18-20）までご連絡ください。
●「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

補足
●「**操作用暗証番号**」はV602SHの操作で変更できます。（☞P.14-2）
●「**交換機用暗証番号**」はV602SHの操作では変更できません。「**交換機用暗証番号**」を変更するときは、手続きが必要となります。
●詳しくは、お問い合わせ先（☞P.18-20）までご連絡ください。

基本的な操作のご案内

電話をかける

1
2
3
4

1 電源が入っていることを確認する。

●電波状態を確認してください。
●ディスプレイに「圏外」や「」が表示されているときは、ご利用になれません。（☞P.18-8）

2 市外局番からダイヤルする。

15:05
:発信
:メモリダイヤル新規登録
03123XXXX1
●電卓

●同一市内への通話の場合でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
●ディスプレイに「」「」が表示されているときは、ダイヤルできません。（☞P.18-8）

電話番号通知／非通知の設定

●電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルします。
■通知するとき……1 8 6
■通知しないとき…1 8 4

3 電話番号を確認し、を押す。

電話番号を間違えたとき

●またはを押し、カーソル「＿」を動かしたあと クリア を押すと、カーソル位置の番号が消えます。クリア を長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。を押したあとは、を押して電話を切り、かけ直してください。

相手がお話し中のとき

●を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

4 通話が終わったら、を押す。

●V602SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。V602SHをクローズポジションにしても、電話が切れないようにすることができます。（☞P.2-12）

ビューアポジションで電話をかける

メモリダイヤルを利用して電話をかけます。

■あらかじめメモリダイヤルの登　が必要です。（☞P.5-3）

S➡「電話」選択➡S➡「2メモリダイヤル検索」選択➡S➡メモリダイヤル呼出（☞P.5-13～P.5-14）➡S（メニュー）➡「発信」選択➡S

●ビューアポジションで通話するときは、ディスプレイが見えるように持ち、レシーバー（受話口）を耳にあてます。

●ビューアポジションでの通話中には、次のボタンを使って各操作が行えます。

S	通話中メニュー表示
C（長押し）	通話終了
▶	受話音量大
◀	受話音量小

15:05
通話中メニュー
1通話終了
2音声メモ
3インデックスメニュー
●選択

通話中メニュー

注意

●オフラインモードに設定されているときは、電話をかけることができません。（☞P.3-6）
●通話時マイクがふさがれていると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。
●内蔵アンテナ部分（☞P.1-7 2）には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。
●通話中は、オープンポジションで利用することをおすすめします

マイク（ビューアポジション時）
マイク（オープンポジション時）

補足

●通話後、自動的に通話時間や通話料金の目安を表示することもできます。（☞P.2-23）
●累積の通話時間（☞P.2-21）や通話料金（☞P.2-22）の目安を確認することもできます。
●スピーカーを使って通話することもできます。（☞P.8-22）
●国際電話をかけるときは、「**サービスガイドブック**」を参照してください。

以前かけた電話番号にもう一度かける

以前かけた電話番号を最新の20件まで記憶しています。それらを呼び出して簡単に電話をかけることができます。（リダイヤル）

1 ◉（□）を押す。

15:05
リダイヤル
2: 7/22 15:20
植田ミキオ
1: 7/21 18:45
03123XXXX2
着信履歴
ノートパッド ●選択 メニュー

記憶している電話番号と日時が新しいものから順に、５件まで一覧表示されます。
メモリダイヤルに登　されているときは、相手の名前が表示されます。

- リダイヤルが５件以上あるときは、◉を押すと新しいものから、◉を押すと古いものから順に表示されます。

2 かけたい電話番号を選び、◉を押す。

15:05
リダイヤル
1: 7/21 18:45
03123XXXX2
ノートパッド ●メニュー 着リルキ

- 日時、電話番号のほか、メモリダイヤルに登　されているときは、名前も表示されます。

3 ◉を押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

補足

- 同じ番号に２回以上の電話をかけたときは、最後に電話をかけた日時のデータだけが記憶されます。
- シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
- 電源を切ってもリダイヤルの記憶は消えません。
- 20件を超えたときは、古いものから消去されます。

番号を付加して電話をかける

あらかじめ番号を登　し、メモリダイヤルの先頭に付けて発信します。国際電話専用の「**国際発信**」と、184 や186 などお好みの番号を登　できる「**セット発信**」があります。

プリセット登録　国際発信またはセット発信用の番号を登　します。

お買い上げ時 国際発信：0046010、セット発信：なし

◉ 7 9 ➡「1国際発信登録」／「2セット発信登録」選択➡◉➡番号入力➡◉

- 変更するときは、登　されている番号を消したあとに入力し直します。
- 「**国際発信**」は７　以内、「**セット発信**」は６　以内で入力します。

国際発信／セット発信　登　した番号を付加して電話をかけます。

メモリダイヤル呼出（☞P.5-13〜P.5-14）➡◉➡「国際発信」／「セット発信」選択➡◉

電話を受ける

1
2
3

1 電話がかかってきたら(着信中に)、V602SHをオープンポジションにする。

15:05
《着信中》
03123XXXX1
●メニュー

●V602SHのメモリダイヤルに登録している相手から電話がかかってきたときは、名前や電話番号が表示されます。

2 ⌒を押す。

他のボタンでも受けられます

●次のボタンを押しても、電話を受けることができます。(エニーキーアンサー)
0〜9、*、#、スケジュール、クリア、◉、✓、◉、◎

3 通話が終わったら、⌒を押す。

●V602SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。V602SHをクローズポジションにしても、電話が切れないようにすることができます。(☞P.2-12)

ビューアポジションで電話を受ける ビューアポジションで電話を受けます。

着信中に➡Ⓢ(長押し)➡通話が終わったら➡Ⓒ(長押し)➡通話終了

●ビューアポジションでの着信時には、次のボタンを使って各操作が行えます。

Ⓢ	着信メニュー表示
Ⓢ(長押し)	通話開始
Ⓒ	クイックサイレント(☞P.2-7)
Ⓒ(長押し)	応答保留(☞P.2-9)

■通話中にできること:☞P.2-3

15:05
着信メニュー
03123XXXX1
1通話
2応答保留
3着信拒否
文字 簡易留守録
留守電センター転送
●選択

着信メニュー

着信時の着信音量調節

■着信音が鳴っているときに、◎(小さくする)/◎(大きくする)を押します。押すたびに着信音量が調節できます。(「**サイレント**」〜「**音量5**」)
●上記の操作で着信音量を調節すると、通常着信の着信音量設定(☞P.8-2)に反映されます。
●マナーモード設定時は、調節できません。(☞P.3-3)

着信音量を一時的に「サイレント」にする(クイックサイレント)

■着信中に文字を押すと、その着信に限り、着信音量が「**サイレント**」になります。

電話に出られないときの対応

■着信中に次の操作を行います。

⌒	着信を保留して、相手をお待たせします。(☞P.2-9)
◉文字	V602SHの簡易留守録で応答します。(☞P.2-10)
◉⌒	留守番電話サービスセンターなどに転送します。(☞P.16-4) (関東・甲信/東海/関西地域でご契約され、関東・甲信/東海/関西地域でご利用の場合)

●着信中に◉を押して、着信メニューから操作することもできます。
●ビューアポジション時の操作については、P.2-6を参照してください。

簡易留守録設定中に着信があると

■応答メッセージが流れ、簡易留守録を開始します。(☞P.15-5)
また簡易留守録に設定していないときは、着信中に◉文字の順に押すと、簡易留守録を開始します。(☞P.2-10)
●いずれの場合も相手に通話料金がかかります。

表示について

■電話番号が通知されてこなかったときは、相手の電話番号や名前は表示されません。(☞P.2-2)
■SDメモリカード内のメモリダイヤルに登録している相手からの着信時は、名前やピクチャーコール/メールの画像は表示されません。また、指定着信音で設定した着信音も鳴りません。(☞P.5-10)
■着信内容や時刻は20件まで記憶されており、あとで確認することができます。(☞P.2-8)

注意 オフラインモードに設定されているときは、電話を受けることができません。オフラインモードを解除してください。(☞P.3-6)

補足
●メモリダイヤルやオーナー情報に登録されていない電話番号からの着信について、着信時の動作を約3秒間遅らせることができます。(ワンコールサイレント:☞P.2-11)
●着信音の音量やパターン、モバイルライト/スモールライトの色や点滅パターンを変えたいときは「**着信設定**」(☞P.8-2)を参照してください。

かけてきた相手にかけ直す

かかってきた電話に発信者番号通知があったときは、その番号を表示し電話をかけることができます。過去にかかってきた電話の着信内容と時刻は、着信履歴（☞P.2-15）として最新の20件まで記憶して、確認できます。

1 ⓘを押す。

不在着信
3: 7/23 17:20 木一郎
2: 7/22 11:20 植田ミキオ
1: 7/21 12:45 03123XXXX1
リダイヤル ●選択 メニュー

記憶している電話番号と日時が新しいものから順に、5件まで一覧表示されます。
メモリダイヤルに登　されているときは、相手の名前が表示されます。

- 着信履歴が5件以上あるときは、ⓘを押すと新しいものから、ⓘを押すと古いものから順に表示されます。

2 かけたい電話番号を選び、●を押す。

不在着信
1: 7/21 12:45
03123XXXX1
リダイヤル ●メニュー ノートパッド

- 日時、電話番号のほか、メモリダイヤルに登録されているときは、名前も表示されます。

3 ⌒を押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

補足
- 発信者番号通知があったものは、電話番号が表示されます。
- シークレットメモリの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
- 電源を切っても、着信履歴の記憶は消えません。
- 20件を超えたときは、古いものから消去されます。

電話に出られないとき

着信を保留にする

相手にアナウンスを流し、電話を保留します。（応答保留）

1 着信中に、V602SHをオープンポジションにする。

2 ⌒を押す。

約5秒間、応答保留音が鳴り、そのあと無音状態になります。

3 電話に出られる状態になったら、⌒を押す。

- エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンを押しても電話に出られます。

ビューアポジションでの応答保留　ビューアポジションで応答保留の操作を行います。

着信中に➡Ⓒ（長押し）➡電話に出られる状態になったら➡Ⓢ（長押し）

- 着信中にⓈを押したあと、着信メニュー（☞P.2-6）から操作することもできます。

注意
- 応答保留中に⌒を押すかV602SHをクローズポジションにすると、応答保留中の電話は切れます。（クローズ終話設定（☞P.2-12）を「OFF」に設定しているときは、電話は切れません。）
- 応答保留中に相手が電話を切ると、保留中の電話は切れます。

着信を拒否する

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.15-3）を「3着信拒否」に設定しているとき、着信中にⒸを長く（1秒以上）押すと、かかってきた電話を切ることができます。このときは、着信履歴に「**着信拒否**」が記憶されます。

メッセージを録音する

かかってきた電話を簡易留守　で応答し、相手のメッセージを　音します。（簡易留守　）

1 着信中に、V602SHをオープンポジションにする。

2 着信音が鳴っている間に、●文字の順に押す。

応答文が流れたあと、　音が始まります。この場合、その着信に限り留守　音します。

■　音されたメッセージを聞く：●スケジュール/メモ（☞P.15-6）

補足　　音できる時間が7秒以下のときや、すでに20件　音されているときに操作すると、空き容量不足の確認メッセージが表示され、留守　音はしません。

留守番電話サービス

■留守番電話サービスを開始に設定しておくと、電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないとき（割込通話サービスの設定時を除く）などに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.16-4）

迷惑電話を防止する

「ワンコールサイレント」を「ON」にすると、メモリダイヤルやオーナー情報に登されていない電話番号から電話がかかってきたとき、着信音を鳴らすのを約3秒間遅らせるように設定できます。

●お買い上げ時には「OFF」に設定されています。

1 ●1 0 1の順に押す。

2 「6ワンコールサイレント」を選び、●を押す。

3 「1ON」を選び、●を押す。

通話中の操作

受話音量を調節する

受話口から聞こえる相手の声の大きさを、５段階で調節することができます。
●お買い上げ時には、「音量５」に設定されています。

1 通話中に、◎を押す、または待受画面で◎を長く（１秒以上）押す。

2 ◎（小さくするとき）または◎（大きくするとき）を押す。

押すたびに受話音量が調節できます。
●約５秒そのままにしておくか ◉ を押すと、設定されます。
●一度変更した音量は、電源を切っても保持されます。

クローズ終話設定

■V602SHをオープンポジションからクローズポジションにしても、通話を切らないで、こちらの声を相手に伝えないようにすることができます。
◉1 0 ➡「1 通常着信」選択➡◉➡「7 クローズ終話設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉
●お買い上げ時は、クローズポジションにすると通話を切るよう（「ON」）に設定されています。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中に、[スケジュール/メモ]を長く（１秒以上）押す。

音が開始されます。

2 録音を終了するときは、もう１度[スケジュール/メモ]を押す。

●電源を切っても　音内容は保存されています。
■ 音声メモの再生方法や消去方法：☞P.15-6

注意 クローズ終話設定（☞P.2-12）が「ON」に設定されているときに、V602SHをクローズポジションにすると、電話が切れ、　音も終わります。（このときは、残りの音可能時間は表示されません。）

2 基本的な操作のご案内

数字のメモを登　する

通話中に入力した数字を、最大３件まで登　できます。相手から聞いた電話番号などを控えるときに便利です。（ノートパッドメモリ）

- １件につき、最大24ケタまで登　できます。（数字0～9、✱、＃）
- すでに３件登　されている状態で登　すると、古いものから順に消去されます。
- 登　した番号を、メモリダイヤルに登　することもできます。

1 **通話中に、数字を入力する。**

2 **スケジュール/メモを押す。**

- 通話中に着信があったり、通話を終了したときなどは、自動的に登　されます。

ノートパッドメモリの確認	登　したノートパッドメモリを確認します。

（１秒以上）➡ノートパッドメモリ表示

- 確認終了：
- メモリダイヤルへの登　：ノートパッドメモリ選択➡（**メニュー**）➡「**メモリダイヤル登録**」選択➡●➡☞P.5-3
- ノートパッドメモリの消去：ノートパッドメモリ選択➡（**メニュー**）➡「**一件消去**」／「**全消去**」選択➡●➡「**1YES**」選択➡●

- 新しいものから順に３件まで表示されます。
- を押すと、表示されている番号に電話をかけられます。
- ノートパッドメモリがないときは、確認メッセージが表示されます。
- リダイヤルがあるときは、（**ノートパッド**）の順に押しても、ノートパッドメモリを表示できます。

リダイヤル／着信履歴の確認

リダイヤルを確認する

1 **（□）を押す。**

直前にかけた電話番号と日時が、５件まで表示されます。

- リダイヤルが５件以上あるときは、を押すと新しいものから、を押すと古いものから順に表示されます。
- リダイヤルがないときは着信履歴が表示されます。

- 表示されている電話番号に電話をかける：
- 待受画面に戻る：

着信履歴を確認する

1 **を押す。**

直前にかかってきた電話番号と日時が、５件まで表示されます。

- 着信履歴が５件以上あるときは、を押すと新しいものから、を押すと古いものから順に表示されます。

- 表示されている電話番号に電話をかける：
- 待受画面に戻る：

リダイヤル／着信履歴の消去	リダイヤル／着信履歴を消去します。

消去するリダイヤル／着信履歴表示➡（メニュー）➡「一件消去」／「全消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

着信履歴に表示されるもの

着信履歴	内容
着信通話	かかってきた電話に出たもの
不在着信	かかってきた電話に出なかったもの※
応答保留	応答保留から切断されたもの
簡易留守	簡易留守　で　音されたもの
留守転送	かかってきた電話を留守番電話センターに転送したもの（着信留守電転送）
着信拒否	かかってきた電話を拒否したもの

※ ワンコールサイレントの着信は、「**不在着信**」と表示されます。

補足

- 公衆電話からかかってきたときは、「**公衆電話**」と表示されます。
- 相手が電話番号を通知してこなかったときは、「**非通知設定**」と表示されます。

2 基本的な操作のご案内

インフォメーションメニュー

電話に出られなかったときや、メールなどを受信してすぐに確認できなかったときには、インフォメーションメニューが表示されます。インフォメーションメニューを利用すれば、簡単な操作で情報を確認できます。

1 着信があると…

着信が終了すると、着信のあった日時と不在着信や簡易留守 の件数が表示されます。

2 約5秒後、インフォメーションメニューが表示される。

15:05 インフォメーションメニュー
1 不在着信 1件
2 簡易留守 0件
● 選択 設定

3 ◎で確認する項目を選び、◉を押す。

補足
情報を確認しないで、インフォメーションメニューを終了するときは、操作2のあと⌒を押します。（待受画面に「📄」が表示されています。）
あとで情報を確認するときは、P.2-18を参照してください。

インフォメーションメニューの見かた

確認したい項目を選び◉を押すと、内容が表示されます。

15:05 インフォメーションメニュー
1 不在着信 2件
2 簡易留守 1件
3 メール受信
4 通信レポート受信
5 ウェブ受信
6 ステーション受信
● 選択 設定

項目	内容
不在着信	不在時に着信があったときは、件数が表示されます。
簡易留守	V602SHがお預かりしている、メッセージの件数が表示されます。
メール受信	受信メッセージが届いたことを示しています。（☞ P.4-2）
通信レポート受信	サービスセンターからの通信レポートが届いたことを示しています。（☞ P.4-19）
ウェブ受信	自動配信サービスによるメッセージが届いたことを示しています。（☞ P.8-13）
ステーション受信	新着情報や緊急情報が届いたことを示しています。（☞ P.13-8）

補足
- インフォメーションメニューから表示した各画面で クリア を押すと、インフォメーションメニューに戻ります。（インフォメーションメニューに確認できる情報がないときは、待受画面に戻ります。）
  ただし、簡易留守 の 音データの再生中に クリア を押すと、データ消去の確認画面になります。
- 送信予約メールの送信が完了すると、インフォメーションメニューに「**送信予約メール**」が表示されます。
- サービスセンター内のメールサーバーの蓄積量が、保存できる全容量の80%以上になると、インフォメーションメニューが表示されます。「**メール蓄積量警告**」を選び、◉を押すと、警告画面が表示されます。サーバーからメールを受信するか、サーバーのメールを消去してください。（☞ P.5-3、P.5-4）
- V602SH の蓄積メモリの容量がなくなると、インフォメーションメニューが表示されます。「**本体メモリフル警告**」を選び、◉を押すと、警告画面が表示されます。不要なデータを削除してください。

インフォメーションメニューを確認する

インフォメーションメニュー未確認の情報があるときは、待受画面に「📄」が表示されます。

●V602SHをクローズポジションにしているときは、サブディスプレイに「❗」が表示されます。ⓢを長く（１秒以上）押すと、未確認の情報がマーク（☞P.1-10）で表示されます。

1 ◉を押す。

2「インフォメーション」を選び、◉を押す。

不在時のお知らせ表示

インフォメーションメニューから確認したい内容を選んで◉を押したあと、ⓞをくり返し押すと、不在時の着信内容（着信の種類、着信日時、相手の電話番号や名前）を確認することができます。

不在着信時	簡易留守録時	両方あり
例：不在着信２件	例：簡易留守録３件	例：簡易留守録３件、不在着信２件

●ⓤを押すたびに着信日時の新しいものから順に表示されます。
　ⓓを押すたびに着信日時の古いものから順に表示されます。

●ⓒを押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。

●確認を終わるときは、ⓔを押します。

●不在時の着信内容を確認しないで、インフォメーションメニューを消すときは、ⓔを押します。（このとき、待受画面に「📄」が表示されています。）

●インフォメーションメニューを消したあとで不在時の着信内容を確認できます。（☞P.2-15）

●着信拒否は、着信拒否として記憶されます。

●簡易留守　については、P.15-4を参照してください。

各種設定

インフォメーションリセット インフォメーションメニューの件数をリセットします。

インフォメーションメニューを表示➡(設定)➡「1インフォメーションリセット」選択➡●➡「1YES」選択➡●

補足 インフォメーションリセットを行っても「メール蓄積量警告」、「本体メモリフル警告」の表示はそのままです。

ランプ表示設定 インフォメーションメニューに未確認の情報があるとき、モバイルライトを点滅させます。

お買い上げ時 ランプ表示なし(すべての項目)

インフォメーションメニューを表示➡(設定)➡「2ランプ表示設定」選択➡●➡ランプ表示する項目の選択➡●➡「1モバイルライト」選択➡●➡カラーパターン選択➡●

●ランプ表示設定は、不在着信、メール受信、ウェブ受信など、項目ごとに設定できます。

補足 「モバイルライト」設定時
●オフラインモード設定中(☞P.3-6)にV602SHをクローズポジションにしているときは、オフラインモード中のランプ表示が優先されます。
●「モバイルライト」に設定すると、「ランプ表示なし」に設定しているときに比べて、電池の利用可能時間が短くなります。

タイムアウト設定 インフォメーションメニューを表示したあと、約10秒後に自動的に待受画面に戻ります。

お買い上げ時 タイムアウトしない

インフォメーションメニューを表示➡(設定)➡「3タイムアウト設定」選択➡●➡「1タイムアウトする」選択➡●

通話時間表示

通話が終わったあと、直前(前回)の通話時間の目安を確認します。
●電話をかけた場合と電話がかかってきた場合の両方とも表示します。
●累積の通話時間の目安を確認できます。

1 ●63の順に押す。

2 確認を終わるときは、を押す。

累積通話時間 累積の通話時間の目安を確認します。

●62

確認終了:

累積通話時間消去 累積の通話時間の目安を消去します。

●62➡●➡操作用暗証番号入力(4ケタ)➡「1YES」選択➡●

補足
●電源を切っても、直前の電話の通話時間や累積の通話時間の記憶は消えません。
●着信中や相手を呼び出している時間は計算されません。(応答保留中は計算されます。)

通話料金表示

通話が終わったあと、直前（前回）の通話料金の目安を確認します。
●累積の通話料金の目安を確認できます。

1 ●[6][1]の順に押す。

2 確認を終わるときは、☎を押す。

1
2

累積通話料金	累積の通話料金の目安を確認します。

●[6][0]
■ 確認終了：☎

累積通話料金消去	累積の通話料金の目安を消去します。

●[6][0]➡●➡操作用暗証番号入力（4ケタ）➡「1YES」選択➡●

補足
●電源を切っても、直前の電話の通話料金や累積の通話料金の記憶は消えません。
●直前の通話が着信通話のときなどは、「－－－－－－－－円」と表示されます。
●オプションサービスの三者通話サービスをご利用いただいたときは、合算した通話料金を表示します。
●電波が弱くなって通話が切断された場合など（サービスエリア内からサービスエリア外へ移動したときや、トンネル内などに入ったとき）は、通話料金は表示されません。

通話時間／通話料金の自動表示

通話が終わったあと、自動的に通話時間および通話料金の目安を表示します。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 ●[6][4]の順に押す。

2 「1ON」を選び、●を押す。
■ 表示をやめる：「2OFF」選択➡●

1
2

補足
通話中転送を行った場合は、通話料金は表示されません。

自分の電話番号とプロフィールの確認

お客様ご自身のV602SHの電話番号を確認します。

- V602SH にオーナー情報（プロフィール）として名前、ヨミ、電話番号、E-mail アドレス、郵便番号、パーソナルデータ、ピクチャーコール／メールの画像設定が登　できます。
- V602SHの電話番号は変更できません。

1 ●0の順に押す。

ご自分の電話番号が表示されます。

2 確認を終わるときは、⊖を押す。

■オーナー情報（プロフィール）の確認：●➡0➡✉（詳細）➡操作用暗証番号（４ケタ）

■オーナー情報画面の見かたは、メモリダイヤルと同様です。(☞P.5-12)

■オーナー情報を利用してバーコードを作成できます。(☞P.15-31)

オーナー情報の登録	オーナー情報を登　します。

●0➡✉（詳細）➡操作用暗証番号（４ケタ）➡●（メニュー）➡「修正」選択➡●➡編集項目選択➡☞P.5-16の操作４以降

オーナー情報の消去	登　したオーナー情報を消去します。

●0➡✉（詳細）➡操作用暗証番号（４ケタ）➡●（メニュー）➡「消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

オーナー情報のコピー	オーナー情報の内容を複写します。

●0➡✉（詳細）➡操作用暗証番号（４ケタ）➡●（メニュー）➡「コピー」選択➡●➡☞P.4-21の操作５以降

マナーモード

マナーについて

携帯電話をご使用になるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。
- 劇場や映画館、美術館などでは、まわりの人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

■ **マナーモード**：☞P.3-3
着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、ワンタッチで設定できます。
また、マナートークモード、簡易留守　を同時に設定できます。
電話がかかってくると振動でお知らせします。（マナーモード内容変更の設定による）

■ **バイブ設定**：☞P.8-4
電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに振動でお知らせします。

■ **音量調節**：☞P.8-2
「**サイレント**」に設定すると、電話がかかってきたときなどの音を鳴らさないようにできます。また、ウェブの情報画面表示中やVアプリ実行中の音も鳴らさないようにできます。

■ **マナートークモード**：☞P.3-4
通話中にマイクの感度を上げて、小さな声で話しても伝わるようにします。

■ **メール着信音、ウェブ着信音、ステーション着信音の各設定**：☞P.8-2
メールやウェブ、ステーションの情報が届いたときの音を鳴らさないようにできます。

■ **オフラインモード**：☞P.3-6
電源を入れたままで電波の送受信を停止して、電話をかけたり、受けたりできないようにします。メールの送受信やウェブ、ステーションの利用などもできなくなります。

■ **簡易留守録**：☞P.15-4
電話に出られないときに、相手の用件をV602SHに　音できます。

マナーモード設定

マナーモードを設定／解除する

マナーモードを設定する

1 **［文字］を長く（1秒以上）押す。**

「**：マナーモード**」が点灯します。
また、マナーモードの設定内容に応じて「」（留守表示）「V」（バイブレータ）「S」（サイレント）「」（ステップ）も表示されます。（☞P.3-4）
- ウェブの情報画面やメールの画面（リスト画面、メッセージ画面など）、Vアプリ利用中でも設定／解除することができます。

マナーモードを解除する

1 **マナーモードが設定されている待受中に、［文字］を長く（1秒以上）押す。**

「」が消え、マナーモードが解除されます。

マナーモードに設定すると

■ ボタン確認音／エラー音／パワーON／パワーOFF時のサウンドやバーコード認識完了音、警告音が鳴らなくなります。
■ マナーモードを設定しても、モバイルカメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。
■ ミュージックモードで再生中の音楽や、ボイスレコーダーで再生中の音声が、V602SHのスピーカーから聞こえなくなります。（オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを利用しているときは、イヤホンから聞くことができます。）
■ 簡易留守　、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータが自動的に設定されます。

補足
- マナートークモードが設定されると、通話中に小さな声でお話しできるようになります。（このとき「」が点滅します。）
- マナートークモードを設定していなくても、通話中に［文字］を長く（1秒以上）押すと、マナートークモードの設定をすることができます。通話を終了すると、マナートークモードは解除されます。
- 簡易留守　の　音中は、相手の声が受話口から聞こえます。

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモードを設定したとき自動的に設定される機能（簡易留守　、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータ）を変更します。

●お買い上げ時には、次のように設定されています。

簡易留守録	ON	着信音量	すべてサイレント	バイブレータ	すべてON
ランプ設定	スモールライト	マナートークモード	ON	サウンド再生音量	サイレント
Vアプリ再生音量	サイレント	Vアプリバイブレータ	ON		

簡易留守録／マナートークモード　簡易留守　とマナートークモードを設定します。

◉4 6➡「1簡易留守録」／「5マナートークモード」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉➡◎（戻る）

●マナートークモードに設定すると、マイクの感度を上げて、通話中に小さな声で話しても伝わるようにします。

着信音量／バイブレータ　着信音量とバイブレータを設定します。

◉4 6➡「2着信音量」／「3バイブレータ」選択➡◉➡「1通常着信」～「6配信確認」選択➡◉➡設定内容選択➡◉➡クリア➡◎（戻る）

マナー設定変更で着信音量を「ステップ」に設定

■着信設定の着信音量（☞P.8-2）やアラーム設定のアラーム音量調節（☞P.15-10）を「**サイレント**」に設定していると、音量は「**サイレント**」になります。また「**音量1**」～「**音量5**」に設定していると、設定されている音量までの「**ステップ**」になります。（「**音量3**」に設定しているとき：「**音量1**」→「**音量2**」→「**音量3**」）

マナー設定変更でバイブレータを「ON」に設定

■着信設定のバイブ設定（☞P.8-4）やアラーム設定のバイブ設定（☞P.15-10）を「**OFF**」または「**SMAF連動**」に設定していても、「**ON**」として動作します。

ランプ設定　「**通常動作**」「**スモールライト**」「**OFF**」のいずれかに設定します。

◉4 6➡「4ランプ設定」➡◉➡「1通常動作」～「3OFF」選択➡◉➡◎（戻る）

●変更できる内容は次のとおりです。

通常動作	着信設定（☞P.8-2）などで設定されている内容に従う
スモールライト	スモールライトが点滅
OFF	すべて点滅しない

サウンド再生音量／Vアプリ再生音量　サウンド再生音量とVアプリ再生音量を設定します。

◉4 6➡「6サウンド再生音量」／「7Vアプリ再生音量」選択➡◉➡音量選択➡◉➡◎（戻る）

■「7Vアプリ再生音量」選択時：「1サイレント」／「2音量1」選択➡◉➡◎（戻る）

Vアプリバイブレータ　Vアプリバイブレータを設定します。

◉4 6➡「8Vアプリバイブレータ」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉➡◎（戻る）

電波の送受信を停止する

電源を切らずに、電波の送受信を停止します。(オフラインモード)

- オフラインモードを「ON」に設定すると、電話の発着信、ボーダフォンライブ!、ステーションの利用など、電波のやりとりを行う機能は利用できなくなります。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

オフラインモードを設定する

1 ◉ 3 2 の順に押す。

2 「1ON」を選び、◉を押す。

「」が点灯します。

- オフラインモードを「ON」に設定中は、V602SHをクローズポジションにしていると、スモールライトが次の順に点滅します。
  - ■赤色→緑色→橙色→赤色…

オフラインモードを解除する

1 ◉ 3 2 の順に押す。

2 「2OFF」を選び、◉を押す。

「」が消え、オフラインモードが解除されます。

補足

- 電波のやりとりを行っているときに設定したときは、確認画面が表示され、待受画面に戻ります。しばらくしてからやり直してください。
- ネットワーク接続型のVアプリ(☞ P.10-8)を一時停止しているときにオフラインモードを設定すると、ネットワーク接続不可の確認画面が表示されます。確認画面で、「1YES」を選び、◉を押すと、オフラインモードが「ON」に設定されます。(オフラインモードを「OFF」に設定するまで、ネットワークには接続できません。)

文字の入力方法

文字入力について

ひらがな、漢字、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字が入力できます。文字入力には、かな入力方式とポケ　ル入力方式（☞P.4-11）の２種類の方法があります。

文字入力モード

文字入力選択状態で［文字］を押すごとに、入力できる文字（入力モード）が切り替わります。

漢アｱAａ1絵
メッセージ作成
0/128
現在の入力モード
定型　決定　ﾒﾆｭｰ

選択できる入力モード

漢	漢字（ひらがな）	A	半角英数字（大小文字）
ア	全角カタカナ	a	半角英数字（小文字）
ｱ	半角カタカナ	1	半角数字
Ａ	全角英数字（大小文字）	絵	絵文字コード
ａ	全角英数字（小文字）	区	区点コード

- 入力モード切替中は、◎を押しても上記の順に切り替わります。◎を押すと逆の順に切り替わります。
- メモリダイヤルのヨミ入力やE-mailアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

補足

大小文字と小文字の切り替え

- かな入力方式では、全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで［スケジュール/メモ］を押すと、大小文字⇔小文字が切り替わります。また、ポケ　ル入力方式（☞P.4-11）では全角入力モード、半角入力モードで［スケジュール/メモ］を押すと大文字⇔小文字が切り替わります。

全角英数字入力モード（大小文字）　全角英数字入力モード（小文字）

絵文字コード入力モードと区点コード入力モードの切り替え

- 絵文字コード１～６と区点コード入力モードは、◎を押すと次の順に切り替わります。
  - ■絵文字コード１→絵文字コード２→絵文字コード３→絵文字コード４→絵文字コード５→絵文字コード６→区点コード→絵文字コード１…
- 絵文字コード番号（１～６）は、画面下部で確認できます。

ダイヤルボタンの割り当て

１つのボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。

例：カタカナ入力モードで［1］を３回押すと、「ウ」が表示されます。

- 文字入力中に◎を押すと、表示される文字を逆順に切り替えることができます。（半角数字入力モード、絵文字コード入力モード、区点コード入力モードは除く。）

例：「い」を入力しているときに◎を押すと、「あ」になります。

ボタン	漢字（ひらがな）［全角］	カタカナ［全角／半角］	英数字［全角／半角］	数字［半角］	絵文字コード1～6／区点コード
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@. ／_ー1 □（スペース）	1	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc2	2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4	4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	6	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	9	9
0	わをんー、。↵（改行）※1	ワヲンー、。↵（改行）※1	,. 0 ↵（改行）※1	0	0
＊	゛゜-※2／記号入力（全角）／絵文字入力（全角）※3		E-mailアドレス用／URL用変換（半角）※4	¥-,（ポーズ）※5	――――
＃	履歴／記号入力（全角）※6／絵文字入力（全角）			#	――――
	変換（前候補）	カーソル上移動			
	変換（後候補）	カーソル下移動↵（改行）※1			
	カーソル左移動				
	カーソル右移動				
文字	文字入力モードの切り替え				
スケジュール/メモ	小文字／大文字変換（変換できる文字の場合だけ有効）		小文字／大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	――――	――――
クリア 短押し	１文字消去、変換中止	１文字消去			入力済コード消去／１文字消去
クリア 長押し	全文字消去				
	最大64文字まで復元※7				
	決定				
	――――				絵文字コード1～6／区点コード入力モードの切り替え

※1　改行の入力は、P.4-10を参照してください。
※2「-」は半角カタカナ入力モード選択時だけ入力できます。
※3　変換中の文字があるときは入力できません。
※4　E-mailアドレス、URLの一部が画面に表示され入力できます。
※5「ー」や「,（ポーズ）」は、電話番号入力時だけ有効です。
※6　半角カタカナ入力モードと半角英数字入力モード選択時は半角で入力されます。
※7　［クリア］を押して消去した文字は､直後に◎を連続して押すと､最大64文字まで復元できます。

補足

- 変換できる漢字は、区点全文字（6355文字）です。
- メモリダイヤルのヨミ入力やE-mailアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

漢字（ひらがな）入力モードにしたあと、ひらがなを入力し、漢字に変換します。
- ひらがなをそのまま入力するときは、ひらがなを入力したあと、◉を押します。
- カタカナの入力は、全角カタカナ入力モードまたは半角カタカナ入力モードにして入力します。また、漢字入力モードでひらがなを入力し、変換候補から選んで入力することもできます。

例：「　木」と変換するとき

「す」を入力
（[3][3][3]）

「ず」を入力
（[3][3][3][＊]）

「き」を入力
（[2][2]）

（変換）

変換候補欄に
カーソルを移動

変換候補を選択

（選択）

ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。採用するときは、[▽]を押し変換候補欄にカーソルを移動したあと、[△▽]で入力したい変換候補を選び、◉を押します。
- [次へ]（次へ）／[前へ]（前へ）を押すと、他の変換候補画面が表示されます。
- 変換候補欄で選択を中止するときは、[クリア]を押します。
- 同じボタンを使って次の文字を入力するとき（例：「あい」）は、必ず[▷]を押してカーソルを移動させてから入力してください。

補足
学習機能について
- 漢字変換では、最後に変換した漢字が優先してリストに表示されます。

■目的の漢字に変換されないとき

[クリア]を押し文字入力画面にカーソルを戻したあと、[◁▷]を押し、変換の対象となる文字（反転している文字：下の例の場合は「み」と「ち」）の区切りを変えて変換し直すことができます。

例：「三智」と変換するとき

[スケジュール/メモ]を押すと、複数の変換の対象を一度に採用することもできます。

例：「西山大輔」と変換するとき

（選択）

（選択）

小文字（っ、ッなど）を入力する

ひらがなやカタカナの「**あいうえおつやゆよ**」を小文字に変換します。
小文字に変換したい文字を入力し、[スケジュール/メモ]を押します。

●小文字にできない文字では、[スケジュール/メモ]を押しても受けつけません。

だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

だく点や半だく点を付けたい文字を入力し、[＊]を押します。

●漢字（ひらがな）や全角カタカナ入力モードの場合、「か行」「さ行」「た行」は１回押すとだく点が付き、２回押すと元に戻ります。また、「は行」は１回押すとだく点が付き、２回押すと半だく点が付き、３回押すともとに戻ります。
●ひらがなや全角カタカナのだく点や半だく点を付けられない文字では、[＊]を押しても受けつけません。
●半角カタカナ入力モードの場合は、１回押すとだく点が、２回押すと半だく点が半角１文字分として表示されます。
だく点や半だく点を使わないときは[クリア]を押し、だく点や半だく点を消去します。

英数字を入力する

全角英数字入力モード（大文字／小文字）または半角英数字入力モード（大文字／小文字）で、英数字を入力します。半角数字は、半角数字入力モードでも入力できます。

●同じボタンを使って、次の文字を入力するとき（例：「ＡＢ」）は、必ず[▶]を押してカーソルを移動させてから入力してください。
●全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[スケジュール/メモ]押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号／絵文字を入力する

■リストから入力する

記号変換が可能なモードで[＃]または[＊]を押すと、これまで入力した記号や絵文字が、新しいものから各20件ずつ表示されます。（履歴リスト）

●半角の記号を入力したときは、履歴リストには残りません。
●表示されている記号／絵文字を入力するときは、[◎]で記号／絵文字を選び、[●]を押します。
●他の記号／絵文字を入力するときは、[◎]または[＃]（押すたびに履歴リスト→記号リスト１～３→絵文字リスト６～１の順に切替）を押したあと、記号／絵文字を選び、[●]を押します。
　■[＊]を押すと、各リストが逆の順に表示されます。
　■記号／絵文字リストでは最大６行分の記号や絵文字が表示されます。[▼]を押すと、７行目以降が表示されます。
●記号／絵文字入力を終了するときは、[戻る]（**戻る**）を押します。
●全角のモードで操作したときは全角の記号が、半角のモードで操作したときは半角の記号が入力できます。（絵文字はモードにかかわらず、すべて全角です。）

●漢字（ひらがな）入力モードで、記号１リスト表示中は[スケジュール/メモ]を押すたびに、全角記号⇔半角記号と切り替わります。（記号２、記号３はすべて全角です。）
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**きごう**」と入力し◎（**変換**）を押すと、一部の記号を入力することができます。

記号・絵文字履歴の消去

■ 文字入力画面で、次の操作を行います。
◎（**メニュー**）➡「**0 入力／変換設定**」選択➡◉➡「**5 絵／記号履歴リセット**」選択➡◉➡「**1 実行**」選択➡◉
●文字入力画面に戻るときは、[クリア]を２回押します。
●絵文字コード入力モードでは、記号・絵文字履歴の消去は行えません。

■コードで入力する（絵文字）

絵文字コード入力モードで、２ケタの数字（絵文字コード：☞ P.17-8）を押します。

●絵文字コードを押し間違えたときは、２ケタ目を押す前に[クリア]を押します。

絵文字コード入力モードからの操作

■ 絵文字コード入力モードで◎（**リスト**）を押すと、絵文字リストが表示されます。入力する絵文字を選び、◉を押します。
●絵文字リストを切り替えるときは、◎を押します。（押すたびに絵文字リスト１～６→履歴リストの順に変わります。）

顔文字を入力する

文字入力画面で◎（**メニュー**）を押し、「**8 顔文字**」を選んだあと、◉を押します。

●入力したい顔文字を選んだあと、◉を押して選択します。
●２ケタの数字（01～50）を入力すると、番号の候補が選択され表示されます。
●絵文字１～６入力モードのときは、顔文字は入力できません。
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**かお**」と入力し◎（**変換**）を押すと、上記の操作で入力できる（表示される）顔文字以外の顔文字も入力できます。
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**わーい**」や「**うーん**」などの顔の表情を表す言葉を入力し◎（**変換**）を押しても、顔文字が入力できます。

スペースを入力する

◎を押してカーソルを進めます。英数字入力モードのとき、[1]を７回押してスペースを入力することもできます。

改行する

文末で⊙を押します。（メールのメッセージ本文やテキストメモ、掲示板のメッセージ入力時などで有効です。）

● 文の途中で改行するときは、改行したい位置にカーソルを移動し、[0]を数回押して「↲」を表示させたあと、◉を押します。[0]を押す回数は入力モードによって異なります。（☞P.4-3）

E-mailアドレス／URLの一部を簡単に入力する

英数字入力モードにして、[＊]を押します。

● 入力したい文字を選んだあと、◉を押します。
● 全角／半角モードにかかわらず、E-mailアドレス、URLは半角で入力されます。

その他の文字入力関連機能

区点コード入力

目的の文字が変換候補に表示されなかったときは、区点コードで文字を入力します。

区点コード入力モードにする➡4ケタの数字（区点コード：☞P.18-9〜P.18-12）入力

■ 区点コードの入力間違い：4ケタ目を押す前に[クリア]

● 区点コード表にないコードを入力すると、スペースが入力されることがあります。

入力方式切替

文字の入力方法を「かな入力方式」または「ポケベル入力方式」に設定します。

お買い上げ時 かな入力方式

文字入力画面で㋱（メニュー）➡「0入力／変換設定」選択➡◉➡「1入力方式」選択➡◉➡「1かな」／「2ポケベル」選択➡◉

補足
ポケ　ル入力方式は、通常の入力方式（かな入力方式）にするまで継続します。

ポケベルコード入力

ポケ　ルコードで文字を入力します。

ポケベル入力方式にする➡2ケタの数字（ポケベルコード：☞P.4-12）入力

■ ポケ　ルコードの入力間違い：2ケタ目を押す前に[クリア]

補足
● ポケ　ル入力方式で入力した文字の変換や、区点コード入力、スペース入力、小文字入力、記号入力、E-mailアドレス、URL入力、絵文字入力の操作は、かな入力方式と同じです。
● ポケ　ル入力方式では、カナ英数字変換はできません。
● だく点、半だく点は、ポケ　ルコード一覧を参照して入力してください。（☞P.4-12）

文字入力モードの切替

■ ポケ　ル入力方式のとき、文字入力選択状態で[文字]を押すごとに、入力モードが次のように切り替わります。
全角大文字入力モード（「Ｐ」反転）→半角大文字入力モード（「P」反転）
→絵文字コード1〜6（「絵」反転）／区点コード入力モード（「区」反転）

■ 全角入力モード、半角入力モードで[＊]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

■ 絵文字コード1〜6と区点コード入力モードは、⊙を押すと切り替わります。

■ポケベルコード一覧

全角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン）1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	&		☎	※1
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃	スペース	♥	※2
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

全角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン）1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ゃ		ゅ		ょ					※2
9										
0				、	。					

半角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン）1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	※1
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	スペース	♥	※2
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

半角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン）1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ｬ		ｭ		ｮ					※2
9										
0				,	.					

※1 [7][0]と押すと、改行が入力されます。（改行は、メールのメッセージ本文、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力時などに有効です。）

※2 [8][0]と押すと、大文字モード（左表）と小文字モード（右表）が切り替わります。

- 「♥」、「☎」は半角２文字分となります。
- 空欄は、空白を示します。（何も入力されません。）
- ▒ 部分は、文字入力後[スケジュール/メモ]を押すたびに、大文字⇔小文字と切り替わります。

文字の変換機能

変換方法を設定する

漢字変換では、「**近似予測変換**」と「**連携予測変換**」という便利な変換機能が利用できます。

近似予測変換	ひらがなを１～５文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登　されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力・変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

- お買い上げ時には、両方の変換機能が「ON」（使用する）に設定されています。
- メモリダイヤルの登　（☞P.5-3）やオーナー情報の登　（☞P.2-24）など、名前を入力するときは、人名が優先して変換されます。

1 **文字入力画面で、☑（メニュー）を押す。**

2 **「0入力／変換設定」を選び、◉を押す。**

3 **「2近似予測」または「3連携予測」を選び、◉を押す。**

4 **「1ON」または「2OFF」を選び、◉を押す。**

音訓変換を利用する

通常変換で入力したい漢字が見つからないときは、漢字の読みを入力して１文字ずつ漢字に変換します。
漢字（ひらがな）入力モードで、ひらがなを入力し、◎（音訓）を押して、漢字に変換します。

◎（音訓）

- 入力したい漢字を選んだあと、◉を押して採用します。

一度入力した文字を利用する

一度、通常の変換方法で入力した漢字を次回入力するときには、先頭の１文字を入力すると漢字に変換します。（１文字変換）

例：以前に「　木」を変換したとき

（変換）→（選択）→

- １文字変換で記憶されるメモリは、ユーザー辞書（☞P.4-18）と共用しています。（１文字変換は、ユーザー辞書の空きメモリに自動的に記憶されます。）
  そのため、ユーザー辞書の登　内容や件数によっては、１文字変換が記憶できないことがあります。
- １文字変換で記憶される件数は、同じ見出し語（１文字）に対して、ユーザー辞書と合わせて最大５件です。
  記憶可能な件数を超える場合、古い１文字変換の記憶から順に消去されます。（ユーザー辞書は消去されません。）

カナ英数字変換を利用する

漢字入力モードのまま、カタカナや英字、数字が入力できます。文字を入力したあと（カナ英数）を押し、で入力したい文字を選び、を押します。

例：「明日は、AM10時に集合です。」と入力するとき

「明日は、」と入力したあと…

2 6 を押す。→（カナ英数）→ →

1 0 →（カナ英数）→ →

このあと「時に集合です」と入力し文章を完成させます。

●英字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点つきも同様です。）

あ	@	い	.	う	／	え	＿	お	スペース
か	A	き	B	く	C	け	スペース	こ	スペース
さ	D	し	E	す	F	せ	スペース	そ	スペース
た	G	ち	H	つ	I	て	スペース	と	スペース
な	J	に	K	ぬ	L	ね	スペース	の	スペース
は	M	ひ	N	ふ	O	へ	スペース	ほ	スペース
ま	P	み	Q	む	R	め	S	も	スペース
や	T	ゆ	U	よ	V	―	―	―	―
ら	W	り	X	る	Y	れ	Z	ろ	スペース
わ	,	を	.	ん	スペース	ー（長音）、。改行			スペース

●数字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点つきも同様です。）

■あ行…１　■か行…２　■さ行…３　■た行…４　■な行…５　■は行…６　■ま行…７
■や行…８　■ら行…９　■わ／を／ん／ー（長音）／、／。／改行…０

ワンタッチ変換を利用する

押したボタンに割り当てられている、すべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換を行うことができます。
ワンタッチ変換を利用するときは、ひらがなを入力したあと、◎を押します。
目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

例：「時計」を入力するとき

通常の変換	4 4 4 4 4（と）2 2 2 2（け）1 1（い）◎（変換）
ワンタッチ変換	4（た）2（か）1（あ）◎（ワンタッチ変換）

変換用文字を入力
（4 2 1）

ワンタッチ変換

変換候補から選択

「ちかあ」と入力しても「たかあ」と同じ変換が行えます。

入力したい候補を選び◉を押すと採用されます。

- ワンタッチ変換は、主に名詞に対応しています。
- ワンタッチ変換状態では、カーソルが緑色になります。他のワンタッチ変換の変換候補を表示するときは、◎を押します。
- ワンタッチ変換状態（緑色のカーソル）のとき、◎を押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えることもできます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。
- ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。
- ひらがな以外を入力しているときは、ワンタッチ変換は働きません。
- だく点・半だく点付きの文字を指定するときは、元の文字が割り当てられているボタンを１回押したあと、だく点・半だく点を入力します。（例：「**べんきょう**」の場合「**ばわかやあ**」と入力）
- 通常変換に戻すときは、変換候補表示中にクリアを押したあと、◎（**通常変換**）を押します。

推測頭出し変換

１文字だけ入力してワンタッチ変換を行うと、入力した文字の行の文字（「**あ**」を入力した場合「**あ**」「**い**」「**う**」「**え**」「**お**」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

例：「あ」を入力した場合

5:00〜10:59　11:00〜16:59　17:00〜22:59　23:00〜4:59

- 表示される言葉は、あらかじめ登　されています。
- 表示される言葉は、5:00〜10:59、11:00〜16:59、17:00〜22:59、23:00〜4:59の時間帯で変わります。
- 時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00〜16:59の内容が表示されます。

ワンタッチ１文字学習

以前にワンタッチ変換を行った文字列の先頭の１文字を入力してワンタッチ変換を行うと、以前の変換結果が最初に表示されます。

例：以前に「あたあさわ」と入力して、ワンタッチ変換で「お父さん」を採用していた場合

変換履歴を消去する

文字変換や近似予測などで、これまでによく変換した文字列の変換履歴を消去します。

1 **文字入力画面で、⊛（メニュー）を押す。**

2 **「0入力／変換設定」を選び、◉を押す。**

3 **「4学習辞書リセット」を選び、◉を押す。**

4 **「1実行」を選び、◉を押す。**
- ユーザー辞書に登　している単語は消去されません。

よく使う言葉を登録する

よく使う言葉（単語）に見出し語をつけて、最大100件まで登　できます。（ユーザー辞書）
登　した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示され入力できます。
- 同じ見出し語は５件まで登　できます。

ユーザー辞書に登録する

1 **◉4 3の順に押す。**

2 **「1新規登録」を選び、◉を押す。**
- すでに100件登　されているときは、確認画面が表示され、操作１の画面に戻ります。不要なユーザー辞書を消去してやり直してください。（☞P.4-19）

3 **単語を入力する。**
- 最大全角15文字（半角30文字）まで入力できます。
- 改行や半角スペースは入力できません。

4 **◉を押し、見出し語を入力する。**
- ひらがなで最大８文字まで入力できます。

15:05
語句
植田ミキオの
見出し語は？
う
取消　●決定　メニュー

5 **◉を押す。**
すでに同じ見出し語が５件登　されているときは、確認画面が表示され、操作４の画面に戻ります。
■ 別の単語の登　：操作２～５をくり返す

補足 １文字の見出し語に登　できるユーザー辞書の件数は、１文字変換の記憶と合わせて最大５件です。ユーザー辞書を登　して、登　可能な件数を超える場合、古い１文字変換の記憶から順に消去されます。（ユーザー辞書は消去されません。）

ユーザー辞書を修正／消去する

修正　ユーザー辞書を修正します。

◉4 3➡「2辞書編集」選択➡◉➡修正する単語を選択➡◉➡単語修正➡◉➡見出し語修正➡◉➡「1上書登録」／「2新規登録」選択➡◉

1件消去　ユーザー辞書に登　している単語を１件ずつ消去します。

◉4 3➡「2辞書編集」選択➡◉➡消去する単語を選択➡⊛（メニュー）➡「2消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
- 消去した単語以降の番号が、繰り上がります。

全消去　ユーザー辞書に登　している単語を全消去します。

◉4 3➡「2辞書編集」選択➡◉➡⊛（メニュー）➡「3全消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

ダウンロードした辞書を設定する

ボーダフォンライブ！などでダウンロードした日本語変換用の辞書を使用します（２件）。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登　されている用語が変換候補に表示されるようになります。
- 辞書ファイルの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space　Town」（☞P.8-12）でご案内しています。

設定　ダウンロードした辞書を使用します。

◉4 3➡「3ダウンロード辞書」選択➡◉➡登録する番号を選択➡◉➡登録する辞書を選択➡◉

補足 **すでにダウンロード辞書が登録されている番号への登録**
- 辞書を登　する番号を選んだあと、⊛（メニュー）を押し、「変更」を選びます。データフォルダのetcフォルダ画面が表示されますので、登　する辞書を選び、◉を押します。

データフォルダに登録した辞書ファイルを設定する

■ ボーダフォンライブ！などで、データフォルダにダウンロードした日本語変換用の辞書を、漢字変換用の辞書として設定します。
データフォルダ画面で、利用する辞書ファイルを選択➡⊛（メニュー）➡「ダウンロード辞書登録」選択➡◉➡登　する番号を選択➡◉
- すでに辞書登　されている番号へ上書き登　するときは「1YES」を選び、◉を押します。上書き登　しないときは「2NO」を選び、◉を押して、操作をやり直します。

解除	ダウンロード辞書の使用を解除します。

◉[4][3]➡「3ダウンロード辞書」選択➡◉➡使用を解除する番号を選択➡◉➡✉（メニュー）➡「設定解除」選択➡◉

文字の編集

入力した文字を修正する

✥でカーソルを訂正したい文字まで移動し、[クリア]を押して不要な文字を消去したあと、正しい文字を入力します。

指定した文字を削除する

カーソルを消去したい文字まで移動し、[クリア]を押します。

- [クリア]を押すとカーソル上の１文字が消えます。
- [クリア]を押して消去した文字は、直後に↶を連続して押すと、最大64文字まで復元することができます。（↶を押して復元途中に、↶以外のボタンを押すと、それ以上復元することはできません。）
- [クリア]を長く（１秒以上）押すと、すべての文字が消えます。この場合は↶を押しても、消去した文字は復元できません。（「**カーソル後消去**」、「**カーソル前消去**」を行った場合も、↶では復元できません。）

コピー／切り取り／貼り付けを行う

連続した文字列を、他の場所に複写／移動します。

- 同じ画面内にも他の画面にも複写／移動できます。（「**メニュー**」が表示されていない画面へは複写／移動できません。）

1 **文字入力画面で、✉（メニュー）を押す。**

2 **「1コピー」（複写するとき）または「2カット」（移動するとき）を選び、◉を押す。**

3 **複写／移動する文字列の最初の文字にカーソルを移動し、◉（開始）を押す。**

文字列の開始位置が指定されます。（「終了」が表示されます。）

■ 開始位置の再指定：[クリア]➡操作３へ

4 **複写／移動する文字列の最後の文字にカーソルを移動し、◉（終了）を押す。**

- 最大全角約7500文字（半角約15000文字）まで指定できます。
- 移動する場合、指定した文字列が元の画面から消去されます。

5 **複写／移動先の画面を表示する。**

6 **✉（メニュー）を押したあと、「3ペースト」を選び、◉を押す。**

7 **複写／移動する位置にカーソルを移動し、◉を押す。**

記憶している文字列が挿入されます。

カーソル前後の文字をまとめて消去する

（メニュー）を押し、「6カーソル後消去」または「7カーソル前消去」を選んだあと、◉を押します。カーソルを移動したあと、◉を押すと、消去されます。

例：「6カーソル後消去」の場合

（メニュー）→ ◉ → カーソル移動 → ◉

メモリダイヤルを利用する

文字入力中にメモリダイヤルを呼び出し、登　している電話番号やE-mailアドレスなどの文字列を作成中の文章に挿入します。

文字入力画面で（メニュー）を押し、（TEL）を押すと、メモリダイヤルを呼び出すことができます。このあと、を押して入力したい項目を選び◉を押すと、選んだ項目の内容を記憶します。

を押し、文字列を挿入する位置にカーソルを移動したあと、◉を押すと、記憶されていた文字列が挿入されます。

- 利用できる項目は、「名前」、「電話番号１～３」、「メールアドレス１～３」、「パーソナルデータ」です。

例：「植田ミキオ」の「電話番号１」を挿入するとき

（メニュー）→（TEL）→ メモリダイヤル呼出 → ◉ → 挿入位置決定後◉

- メール本文作成中に<ペースト>の画面で次の操作を行うと、電話番号やE-mailアドレスの前に「TEL:」や「mailto:」をつけることができます。
  （セット）➡「1TEL:」／「2mailto:」選択➡◉

文字入力中にオーナー情報を呼び出す

■ 文字入力中に、次の操作を行います。

（メニュー）➡ ➡「1オーナー情報入力」選択➡◉➡暗証番号入力➡オーナー情報表示

- 以降の操作は、上記のメモリダイヤルを呼び出したあとの操作と同様です。

テキストメモ

よく使う文章を登　し、メッセージの本文入力などで利用します。

- お買い上げ時には、「**記号絵文字**」が10件登　されています。これらの記号絵文字を編集し、文章を入力し直して登　することもできます。
- 1件のテキストメモに登　できる最大文字数は、メモ形式の場合、最大全角約500文字（半角約1000文字）です。また、ノート形式の場合は、最大全角約64文字（半角約128文字）です。
- V602SHには最大20件、SDメモリカードには最大300件のテキストメモを登　できます。
- テキストメモを最大件数まで登　すると、新規作成をすることができません。不要なテキストメモを消去するときは、P.4-26を参照してください。
- ノート形式のテキストメモは、赤外線通信で送信できます。（☞P.13-3）

テキストメモに文章を登録する

メモ形式で登録する

1 **◉を押したあと、「データ確認」を選び、◉を押す。**

2 **「7テキストメモ」を選び、◉を押す。**

あらかじめ登　されている記号絵文字のタイトルや、登　した文章の最初の部分が表示されます。

- テキストメモの確認：テキストメモ選択➡◉
- SDメモリカード内のテキストメモの利用：Ⓜ（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉（☞P.11-6）

3 **Ⓜ（メニュー）を押す。**

4 **「新規作成」を選び、◉を押す。**

5 **「1新規メモ」を選び、◉を押す。**

6 **文章を入力し、◉を押す。**

- SDメモリカードに登　：◉（▣）
  - ■V602SHに戻す：上記操作のあと、◉（▯）

7 **「1YES」を選び、◉を押す。**

テキストメモに登　されます。

- 他のテキストメモの登　：操作3～7をくり返す
- テキストメモの登　終了：⌒

メールやメモリダイヤルなどの文字入力画面から登録

■ メールやメモリダイヤルの文字入力画面で、次の操作を行います。

Ⓜ（**メニュー**）➡「**4テキストメモ登録**」選択➡◉➡登　したい文字列の最初の文字にカーソルを移動➡◉（**開始**）➡登　したい文字列の最後の文字にカーソルを移動➡◉（**終了**）➡「**1YES**」選択➡◉

ノート形式で登録する

1 **◉を押したあと、「データ確認」を選び、◉を押す。**

2 **「7テキストメモ」を選び、◉を押す。**

3 **Ⓜ（メニュー）を押す。**

4 **「新規作成」を選び、◉を押す。**

5 **「2新規ノート」を選び、◉を押す。**

6 **「本文」を選び、◉を押す。**

7 **文章を入力し、◉を押す。**

8 **「カテゴリ」を選び、◉を押す。**

9 **設定するカテゴリを選び、◉を押す。**

- 作成日時・修正日時の確認：「**詳細**」選択➡◉
  - ■作成画面に戻る：上記操作のあと、クリア

10 **◉（完了）を押す。**

- SDメモリカードに登　：◉（▣）
  - ■V602SHに戻す：上記操作のあと、◉（▯）

11 **「1YES」を選び、◉を押す。**

- 他のノートを登　：操作3～11をくり返す
- テキストメモの登　終了：⌒

テキストメモを修正／消去する

メモ形式の修正　メモ形式のテキストメモを修正します。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「7テキストメモ」選択➡◉➡修正するテキストメモを選択➡㋞（メニュー）➡「メモ編集」選択➡◉➡文章の修正➡◉➡「1新規登録」／「2上書登録」選択➡◉

ノート形式の修正　ノート形式のテキストメモを修正します。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「7テキストメモ」選択➡◉➡修正するテキストメモを選択➡㋞（メニュー）➡「メモ編集」選択➡◉➡「本文」／「カテゴリ」選択➡◉➡文章の修正／カテゴリの選択➡◉➡◎（完了）➡「1新規登録」／「2上書登録」選択➡◉

1件消去　テキストメモを1件ずつ消去します。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「7テキストメモ」選択➡◉➡消去するテキストメモを選択➡㋞（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

その他のテキストメモ関連機能

vファイルとして保存　ノート形式のテキストメモをvファイルとしてデータフォルダのetcフォルダに保存します。（☞P.12-40）

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「7テキストメモ」選択➡◉➡テキストメモを選択➡㋞（メニュー）➡「データフォルダに保存」選択➡◉➡タイトル入力➡◉➡登録先選択➡◉

- メモ形式のテキストメモはvファイルとして保存できません。Text形式として保存されます。
- 新規作成したフォルダにも保存できます。

メモ形式➡ノート形式に変換　メモ形式のテキストメモを、ノート形式に変換します。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「7テキストメモ」選択➡◉➡テキストメモを選択➡㋞（メニュー）➡「ノート形式へ変換」選択➡◉

- テキストメモの内容によっては、変換時に内容が変化することがあります。
- ノート形式のテキストメモを、メモ形式に変換することはできません。

メモリダイヤル

メモリダイヤル登録

メモリダイヤルに登録できる項目

項目		内容
:名前		最大全角９文字（半角18文字）まで登　できます。 漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、絵文字が登　できます。
:ヨミ		名前を入力すると、入力した文字がカタカナ、英数字、記号で自動的に入力されます。最大半角18文字（だく点、半だく点含む）まで登　できます。
:電話番号		メモリダイヤル１件につき、最大３件の電話番号を登　することができます。(「*」や「#」も入力できます。)
:E-mailアドレス		メモリダイヤル１件につき、最大３件のE-mailアドレスを登　することができます。E-mailアドレスは、それぞれ最大半角60文字まで登　できます。
:グループ		メモリダイヤルを、最大10種類のグループ（グループ０〜グループ９）に分けて管理できます。グループ名を登　／変更したり、グループごとに着信音を設定できます。
:パーソナルデータ		登　した相手の個人情報を、最大全角30文字（半角60文字）まで登　できます。
:シークレット設定		他人に見られたくないメモリダイヤルを、秘密のメモリダイヤルとして登　できます。
:フォト設定		画像をメモリダイヤルの画面に表示することができます。オプション設定のピクチャーコール／メールを「ON」に設定すると、登　した相手から電話がかかってきたときやメールが届いたとき、登　した画像が表示されます。
オプション設定	指定着信音	登　した相手から電話がかかってきたときの着信パターンなどを設定できます。
	メールコール	登　した相手からメールが届いたときの着信パターンなどを設定できます。
	ピクチャーコール／メール	着信時に、フォト設定に登　している画像を表示するかどうかを設定します。フォト設定に画像を登　した場合は、自動的に「ON」に設定されます。
	メールフォルダ	送受信したメールを、自動的に設定したフォルダに振り分けることができます。

- V602SHのメモリダイヤルには、000〜499番の最大500件まで登　できます。
- SDメモリカードのメモリダイヤルには、0000〜9999番の最大10000件まで登　できます。

注意

大切なデータを失わないために

- メモリダイヤルに登　した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なメモリダイヤルなどは、控えをとっておかれることをおすすめします。なお、メモリダイヤルが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

補足

メモリダイヤルを誤って消去したり、他人が使用できないように設定することもできます。（☞P.14-3）

メモリダイヤルに登録する

ここでは、V602SHのメモリダイヤルに新規登　するときを例に、相手の名前とヨミ、電話番号、E-mailアドレスの登　を順に説明します。

名前を入力する

1 **文字を押す。**

2 **相手の名前を入力する。**

3 **●を押す。**

「 :」の行に、名前に入力した文字（漢字の読み）が半角カタカナで自動的に入力され表示されます。

- ワンタッチ変換、コピー・ペーストなどで入力したとき、絵文字を入力したときは、ヨミは入力されません。
- カタカナ、英字、数字、記号を入力したときは、入力した文字が半角で自動的に表示されます。

■ ヨミの変更：「 :」選択➡●➡ヨミ入力➡●
■ 登　の中止：◎（取消）➡「1YES」選択➡●

15:05
:植田ミキオ
:ｳｴﾀﾞ ﾐｷｵ
:<未登録>
:<未登録>
:名称なし
:<未登録>
:OFF
:<未登録>
オプション設定
取消 ●選択 登録

メモリダイヤル入力画面

電話番号を入力する

名前を入力したあと、続けて次の操作を行います。

1 **メモリダイヤル入力画面で、「 :」を選び、●を押す。**

電話番号の入力画面が表示されます。

2 **電話番号を入力する。**

- 一般電話の場合は、市外局番も必ず入力してください。
- *を２回押すと、「-」が表示されます。(「-」も電話番号の１ケタとしてカウントされます。)

■ 入力間違い：◎（カーソルを間違った数字に移動）➡クリア（数字が消去）➡正しい数字を入力（クリアを長く（１秒以上）押すと、数字がすべて消えます。）

3 **●を押す。**

4 **アイコンを選び、●を押す。**

■ 複数の電話番号の登　：「 :<未登録>」選択➡●➡操作３〜４

E-mailアドレスを入力する

電話番号を入力したあと、続けて次の操作を行います。

1 **メモリダイヤル入力画面で、「✉:」を選び、◉を押す。**

2 **E-mailアドレスを入力する。**

3 **◉を押す。**

4 **アイコンを選び、◉を押す。**

■ 複数のE-mailアドレスの登　:「✉:<未登録>」選択➡◉➡操作2～4を行う

グループの設定

■ メモリダイヤル入力画面で、次の操作を行います。
「👥:」選択➡◉➡グループ選択➡◉

パーソナルデータの設定

■ メモリダイヤル入力画面で、次の操作を行います。
「👤:」選択➡◉➡パーソナルデータ入力➡◉

フォトの設定

■ フォトを設定すると、メモリダイヤルにフォトが表示されます。

■ データフォルダの画像を登
メモリダイヤル入力画面で「📷:」選択➡◉➡「❶データフォルダ」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

●データフォルダから画像を選択する場合、サイズが大きな画像は選択できないことがあります。

■ モバイルカメラを起動して撮影した画像を登
メモリダイヤル入力画面で「📷:」選択➡◉➡「❷写メール撮影」選択➡◉➡ 画像をディスプレイに表示➡◉（撮影）➡◉（登録）

●モバイルカメラ撮影時の詳細：☞P.6-10

メモリダイヤル編集中の着信があると

■ 編集中の内容は一時的に記憶（保護）されています。通話終了後、編集中の画面に戻ります。

登録する

1 **✓（登録）を押す。**

メモリ番号（1件ごとのメモリダイヤルにつけられている固有の番号）の入力画面が表示されます。

■ SDメモリカードへ登　：☞P.5-7

2 **メモリ番号（3ケタ：000～499）を入力する。**

1件分のメモリダイヤルが登　されます。

■ オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを使った発信用：メモリ番号000を入力（☞P.15-41）

■ スピードダイヤルを使った発信用：メモリ番号000～099を入力（☞P.5-15）

空いているメモリ番号に自動登録する

■ [*]を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登　されます。

■ 百の位、十の位の数字を押したあと[*]を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定することができます。

●**百の位を指定するとき（数字を1ケタ入力後➡[*]）**
[3][*]と押すと、300～399の最も小さいメモリ番号へ登　されます。

●**十の位を指定するとき（数字を2ケタ入力後➡[*]）**
[2][1][*]と押すと、210～219の最も小さいメモリ番号へ登　されます。

こんな表示が出たときは

画面表示	理由	操作
上書きしますか?	指定したメモリ番号がすでに使われています。	上書きするときは、「❶YES」を選び、◉を押します。他のメモリ番号に登　するときは、「❷NO」を選び、◉を押してから、他のメモリ番号を入力してください。
これ以上登録できません	空いているメモリ番号がありません。	不要なメモリ番号に上書きしてください。または、不要なメモリダイヤルを消去してください。（☞P.5-16）
シークレットデータが登録されています	シークレットメモリに登　されているメモリ番号を指定しています。	シークレットモードに設定すると、書き換えられます。（☞P.14-7）

リダイヤル／着信履歴の電話番号を登録する

1 **メモリダイヤルに登録したいリダイヤルまたは着信履歴のデータを表示する。**（☞P.2-15）

2 **Ⓥ（メニュー）を押す。**

3 **「メモリダイヤル登録」を選び、◉を押す。**

4 ***新規登録するとき***

1「1新規登録」を選び、◉を押す。

2 名前を入力して、◉を押す。

自動的に電話番号が入力されます。このあと、他の項目を入力してメモリダイヤルの登　を完了します。

追加登録するとき

1「2追加登録」を選び、◉を押す。

2 追加登録したいメモリダイヤルを呼び出す。（☞P.5-13〜P.5-14）

自動的に電話番号が入力されます。

- すでに３件の電話番号を登　しているときは、追加登　できません。
- このあと、他の項目を入力してメモリダイヤルの登　を完了します。
- 受信メールやノートパッドメモリからも追加登　できます。

注意 着信履歴のデータには、発信者番号通知がないものも記憶されます。発信者番号通知がないものは、メモリダイヤルに登　できません。

補足 赤外線通信機能を利用して、他の機器との間で、メモリダイヤルのやりとりができます。（☞P.13-2）

メモリダイヤルの登録件数を確認する

1 **◉31の順に押す。**

メモリダイヤルに登　されている件数が表示されます。

- 詳しい登　状況を確認するときには、「1メモリダイヤル」を選び◉を押します。電話番号とE-mailアドレスの登　数が表示されます。（最大登　数は電話番号：1500番号、E-mailアドレス：1500アドレスです。）

■ 確認終了：Ⓢ

15:05
F31:メモリ確認
1メモリダイヤル XXX件
2蓄積メモリ XXX%
3ファイルBOX XXX%
●選択 メニュー

メモリカードに登録する

1 **名前、電話番号、E-mailアドレスなどを入力し、Ⓥを押す。**（☞P.5-3〜P.5-5）

2 **◎（SD）を押す。**

- SDメモリカードが取り付けられていないときは、「SD」は表示されません。

■ V602SHに登　：再度◎（📱）

3 **メモリ番号（４ケタ：0000〜9999）を入力する。**

SDメモリカードに登　されます。

SDメモリカードの空いているメモリ番号に自動登録する

■ [＊]を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登　されます。

■ 千の位や百の位、十の位の数字を押したあと[＊]を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定することができます。

- **千の位を指定するとき（数字を１ケタ入力後➡[＊]）**
  [3][＊]と押すと、3000〜3999の最も小さいメモリ番号へ登　されます。
- **百の位を指定するとき（数字を２ケタ入力後➡[＊]）**
  [2][1][＊]と押すと、メモリカードの場合は2100〜2199の最も小さいメモリ番号へ登　されます。
- **十の位を指定するとき（数字を３ケタ入力後➡[＊]）**
  [1][2][3][＊]と押すと、1230〜1239の最も小さいメモリ番号へ登　されます。

補足 V602SHとSDメモリカードの間で、メモリダイヤルのやりとりができます。（☞P.11-9）

メモリダイヤル登録時のオプション設定

電話番号やE-mailアドレスを入力したあと（☞P.5-3〜P.5-4）、オプション設定を行うこともできます。オプション設定では、指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メール、メールフォルダの設定ができます。

- １件のメモリダイヤルに複数の電話番号／E-mailアドレスが登　されているときに、一括設定で、電話番号／E-mailアドレスに対してまとめて設定できます。個別設定は、電話番号／E-mailアドレスに対して個別に設定できます。

補足 個別設定が行われているメモリダイヤルに対して一括設定を行うと、個別設定はすべて解除されます。また、一括設定が行われているメモリダイヤルに対して個別設定を行うと、一括設定で設定されていた内容は無視され、個別設定を行った電話番号に対してだけ、設定した内容が有効となります。

個別に着信音などを設定する（音声着信時）

電話がかかってきたときの着信パターンやバイブレータ、モバイルライト／スモールライトの色や点滅のしかたを設定します。

1 メモリダイヤル入力画面で、「オプション設定」を選び、◉を押す。
オプション設定の画面が表示されます。

2「1指定着信音」を選び、◉を押す。

3 ***一括設定するとき***

1「1一括設定」を選び、◉を押す。

個別設定するとき

1「2個別設定」を選び、◉を押す。
2 電話番号を選び、◉を押す。
3「1ON」を選び、◉を押す。
■ 個別設定の解除：「2OFF」選択➡◉➡操作７へ

指定着信音を解除するとき

1「3OFF」を選び、◉を押す。
オプション設定の画面に戻ります。
●設定を完了するときは、操作８へ進みます。

4「1着信パターン」を選び、◉を押す。

5 着信パターンを選び、◉を押す。
■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.8-3

6 他の項目を設定するときは、「2 バイブ設定」～「4 ランプ設定」を選び、◉を押す。
選んだ項目の設定画面が表示されます。
■ バイブレータ／ランプの設定方法：☞P.8-4～P.8-5

7 ◎（完了）を押す。
指定着信音の相手先として設定され、オプション設定の画面に戻ります。
■ 個別設定時：操作７のあと電話番号選択画面表示➡◎（完了）➡オプション設定画面へ

8 ◎（完了）を押す。

注意
- 指定着信音の着信パターンにデータフォルダ内のファイルを設定している場合、以下の操作を行うと、着信パターンは「**パターン１**」に変更されます。
  - ■ファイルの消去／ファイル名の変更／SDメモリカードへ移動
- 設定したメモリダイヤルがシークレットメモリの場合、シークレットモードに設定されていないときは、指定着信音の設定は無効となります。

個別に着信音などを設定する（メール受信時）

登　した相手からメッセージが届いたときの着信パターンなどを設定します。
●ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールコールを設定しても、設定は無効となります。

1 メモリダイヤル入力画面で、「オプション設定」を選び、◉を押す。
オプション設定の画面が表示されます。

2「2メールコール」を選び、◉を押す。

3 ***一括設定するとき***

1「1一括設定」を選び、◉を押す。

個別設定するとき

1「2個別設定」を選び、◉を押す。
2 E-mailアドレス／電話番号を選び、◉を押す。
3「1ON」を選び、◉を押す。
■ 個別設定の解除：「2OFF」選択➡◉➡操作７へ

メールコールを解除するとき

1「3OFF」を選び、◉を押す。
オプション設定の画面に戻ります。
●設定を完了するときは、操作８へ進みます。

4「1着信パターン」を選び、◉を押す。

5 着信パターンを選び、◉を押す。
■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.8-3

6 他の項目を設定するときは、「2バイブ設定」～「5着信呼出時間」のいずれかを選び、◉を押す。
選んだ項目の設定画面が表示されます。
■ バイブレータ／ランプの設定方法：☞P.8-4～P.8-5
■ 着信呼出時間の設定方法：「**5着信呼出時間**」選択➡◉➡呼出時間入力（01～99秒）➡◉

7 ◎（完了）を押す。
メールコールの相手先として設定され、オプション設定の画面に戻ります。
■ 個別設定時：操作７のあとE-mailアドレス／電話番号選択画面表示➡◎（完了）➡オプション設定画面へ

8 ◎（完了）を押す。

注意
- メールコールの着信パターンにデータフォルダ内のファイルを設定している場合、以下の操作を行うと、着信パターンは「**効果音 メール**」に変更されます。
  - ■ファイルの消去／ファイル名の変更／SDメモリカードへ移動
- 設定したメモリダイヤルがシークレットメモリの場合、シークレットモードに設定されていないときは、メールコールの設定は無効となります。

着信時に指定した画像を表示する

フォト設定に画像を登　した相手から電話がかかってきたときや、メールが送られてきたとき、登　している画像がディスプレイに表示されます。
●お買い上げ時には、「OFF」（表示しない）に設定されています。

1 メモリダイヤル入力画面で、「オプション設定」を選び、◉を押す。
オプション設定の画面が表示されます。

2「3ピクチャーコール／メール」を選び、◉を押す。
●フォト設定に画像を登　していないとき、「3ピクチャーコール／メール」は選べません。

3「1ON」を選び、◉を押す。
■ 設定の解除：「2OFF」

4 ◎（完了）を押す。

注意　フォト設定に登　したデータフォルダ内の元の画像を消去すると、ピクチャーコール／メールは解除（OFF）されます。

個別にメールフォルダを設定する

登　した相手から届いたメールや送信したメールを、指定したメールフォルダに自動的に振り分けます。
●ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールフォルダを設定しても、設定は無効となります。

1 メモリダイヤル入力画面で、「オプション設定」を選び、◉を押す。
オプション設定の画面が表示されます。

2「4メールフォルダ」を選び、◉を押す。

3「1受信メール自動振分け」または「2送信メール自動振分け」を選び、◉を押す。

4 *一括設定するとき*

1「1一括設定」を選び、◉を押す。

個別設定するとき

1「2個別設定」を選び、◉を押す。

2 設定するE-mailアドレス／電話番号を選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。
■ 個別設定の解除：「2OFF」選択➡◉

メールフォルダを解除するとき

1「3OFF」を選び、◉を押す。
●メールフォルダ設定画面に戻ります。
●設定を完了するときは、操作6へ進みます。

5 振り分けるメールフォルダを選び、◉を押す。
振り分けるメールフォルダが設定され、メールフォルダ設定の画面に戻ります。
■ 個別設定時：操作5のあとE-mailアドレス／電話番号選択画面表示➡◎（完了）➡メールフォルダ設定の画面へ

6 ◎（完了）を押す。
オプション設定の画面に戻ります。

7 ◎（完了）を押す。

グループ設定

メモリダイヤルで使用するグループ名を変更したり、グループごとに着信音を設定します。
●指定着信音やメールコールを設定しているとき（☞P.5-8～P.5-9）は、グループ着信の設定は無効となります。

グループ名を変更する

1 ◉ 3 7 の順に押す。

2「1グループ名変更」を選び、◉を押す。
●「グループ0（名称なし）」はグループ名を変更できません。

3 グループ名を選び、◉を押す。

4 グループ名を入力する。
●最大全角5文字（半角10文字）まで入力できます。

5 ◉を押す。
■ 別のグループ名の変更：操作3～5をくり返す

6 変更を終わるときは、⊜を押す。

グループ着信音を設定する

グループ別に着信音（通常着信、メール着信）を設定します。
●お買い上げ時には、すべてのグループで「OFF」に設定されています。
●グループ着信音を「OFF」に設定しているときは、通常着信音の設定に従います。

1 ◉ 3 7 の順に押す。

2「2グループ着信」を選び、◉を押す。

3 設定するグループを選び、◉を押す。
●メール機能を「OFF」にしているときは、「2メール着信」は、選択できません。

4「1通常着信」または「2メール着信」を選び、◉を押す。

●着信設定を「OFF」に設定しているときは、「1着信設定」だけ選択できます。（項目名が選択できないときは、利用できません。）

5「1着信設定」を選び、◉を押す。

6「1ON」を選び、◉を押す。

■ 着信設定の解除：「2OFF」選択➡◉

7「2着信パターン」〜「6着信呼出時間」を選び、◉を押す。

●着信呼出時間は、メール着信のときだけの設定です。

■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.8-3

■ バイブレータ／ランプの設定方法：☞P.8-4〜P.8-5

■ 着信呼出時間の設定方法：☞P.5-9の操作6

8 設定を終わるときは、⌒を押す。

メモリダイヤルの利用

メモリダイヤルから電話をかける

ディスプレイ表示

メモリダイヤル画面の見かたは、次のとおりです。

相手の名前

メモリ番号

グループ名

マークを選ぶと、登録内容が表示されます。

☎:／☎:／▯:／☎:（電話番号）

☎:電話／☎:自宅／▯:携帯電話／☎:会社

✉:／✉:（E-mailアドレス）

✉:インターネット／✉:携帯電話

👤:パーソナルデータ※／📷:フォト設定※

フォト設定に登録されている画像

指定着信音またはメールコールに設定している着信音色や、自動振り分けに設定しているメールフォルダ名

☎♪:指定着信音／✉♪:メールコール／

📁:受信メールフォルダ／📁:送信メールフォルダ

相手の電話番号やE-mailアドレス

（選んだマークによって、表示が変わります。）

※「👤:」（パーソナルデータ）を選んだときは、登　内容が表示されます。また「📷:」（フォト設定）を選んだときは、登　されている画像が表示されます。いずれの場合も◎（戻る）を押すと、メモリダイヤルリストに戻ります。

補足
●メモリ使用禁止を設定（☞P.14-3）しているときは、メモリダイヤルは使えません。
●シークレットメモリを使って電話をかけるときは、シークレットモードに設定しておいてください。（☞P.14-7）

メモリダイヤルリストに画像を表示する

メモリダイヤルのフォト設定に登　されている画像を、メモリダイヤルリストの画面に表示することができます。

メモリダイヤルリスト表示（メモリNo検索時）

フォト付メモリダイヤルリスト表示（メモリNo検索時）

1 ◎（TEL）◎（検索）の順に押す。

2 ◎（メニュー）を押す。

3「フォト付表示」を選び、◉を押す。

フォト設定に登　されている画像が表示されます。

■ リスト表示の設定：フォト付表示時に◎（メニュー）➡「リスト表示」選択➡◉

メモリダイヤルの各種検索方法

メモリダイヤル検索には、次の４つの方法があります。

●お買い上げ時は、「メモリNo検索」に設定されています。

メモリNo検索	指定したメモリ番号のメモリダイヤルを表示する方法です。
アカサタナ検索	指定した「ヨミ」の行のメモリダイヤルを表示する方法です。
グループ検索	指定したグループ内のメモリダイヤルを表示する方法です。
読み検索	入力した「ヨミ」ではじまるメモリダイヤルを表示する方法です。

1 ◎（TEL）を押す。

前回利用した検索方法の画面が表示されます。

2 ◎（メニュー）を押し、検索方法を選ぶ。

3 ◉を押す。

選んだ検索方法の画面が表示されます。

4 各検索方法の操作を行い、メモリダイヤルを呼び出す。（☞P.5-14）

■ 登　されていないメモリダイヤルを呼び出し：エラー表示➡◎（他のメモリダイヤルリスト表示）

■ 複数の電話番号やE-mailアドレスを登　時：◎（他のマーク選択）➡他の電話番号やメールアドレス表示

SDメモリカード内のメモリダイヤルの呼び出し

■ 操作２のあと、次の操作を行います。

◎（切替）➡SDメモリカードのメモリ番号を選択➡◉➡（メニュー）➡検索方法を選択

- SDメモリカードのメモリダイヤルは、メモリ番号500件ごとに分類されています。メモリダイヤルが１件も登　されていない場合、その番号はとばして表示されます。

メモリNo検索　指定したメモリ番号を入力してメモリダイヤルを表示します。

■検索方法を「**メモリNo検索**」に設定してください。（☞P.5-13）

◎（TEL）➡３ケタのメモリ番号（000〜499）入力➡メモリダイヤル選択➡◉

- メモリダイヤルの内容表示：（前のデータ）／（次のデータ）
- 通話：上記操作のあと

アカサタナ検索　「ヨミ」の行を指定してメモリダイヤルを表示します。

■検索方法を「**アカサタナ検索**」に設定してください。（☞P.5-13）

◎（TEL）➡ヨミの行を指定➡メモリダイヤル選択➡◉

- メモリダイヤルの内容表示：（前のデータ）／（次のデータ）
- 通話：上記操作のあと

●読みの行の指定方法

ア行	1	カ行	2	サ行	3	タ行	4
ナ行	5	行	6	マ行	7	ヤ行	8
ラ行	9	ワ行	0	その他	#		

■英字、数字、記号または「ヨミ」の入力がされていないデータのときは、「**その他**」になります。

グループ検索　グループを指定してメモリダイヤルを表示します。

■検索方法を「**グループ検索**」に設定してください。（☞P.5-13）

◎（TEL）➡グループ選択➡◉➡メモリダイヤル選択➡◉

- メモリダイヤルの内容表示：（前のデータ）／（次のデータ）
- 通話：上記操作のあと

読み検索　「:」に登　した「ヨミ」を入力してメモリダイヤルを表示します。

■検索方法を「**読み検索**」に設定してください。（☞P.5-13）

◎（TEL）➡ヨミ（最大半角18文字まで）を入力➡◉➡メモリダイヤル選択➡◉

- メモリダイヤルの内容表示：（前のデータ）／（次のデータ）
- 通話：上記操作のあと

スピードダイヤルで電話をかける

V602SHのメモリ番号000〜099に登　したメモリダイヤルは、簡単な操作で発信できます。

1 *メモリ番号000〜009にかけるとき*

1 メモリダイヤルのメモリ番号の下１ケタの数字（０〜９）を押す。

メモリ番号010〜099にかけるとき

1 メモリダイヤルのメモリ番号の下２ケタの数字（10〜99）を押す。

2 **を押す。**

相手の名前と電話番号が表示され、ダイヤルされます。

- 登　されていないときは、電話番号未登　の確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。
- 複数の電話番号が登　されているときは、１番目に登　されている電話番号がダイヤルされます。

注意
- メモリ使用禁止を設定しているときは、この機能は使用できません。（☞P.14-3）
- シークレットメモリを使って電話をかけるときは、この操作の前にシークレットモードに設定しておいてください。（☞P.14-7）
  通常モードのままで操作すると、確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

メモリダイヤルの登録内容をコピーする

メモリダイヤルに登　している電話番号やE-mailアドレス、パーソナルデータを文字入力画面にコピーすることができます。

1 複写したいメモリダイヤルを呼び出す。

- 呼び出し方法：☞P.5-13〜P.5-14

2 複写する電話番号やE-mailアドレス、パーソナルデータを選ぶ。

3 ◉を押す。

4 「コピー」を選び、◉を押す。

選んだ電話番号やE-mailアドレス、パーソナルデータが記憶されます。

- 以降の操作：☞P.4-21の操作５以降

メモリダイヤルの編集

メモリダイヤルを修正する

1 **修正したいメモリダイヤルを呼び出す。**

2 **◉を押す。**

3 **「修正」を選び、◉を押す。**

4 **修正する項目を選び、◉を押す。**

選んだ項目が修正できるようになります。

● このあと、登　時と同様の操作で修正を行います。

5 **修正が終われば、◉を押す。**

メモリダイヤル入力画面が表示されます。

■ 続けて他の項目を修正：操作４～５をくり返す

■ 操作の中止：◎（取消）➡「1YES」選択➡◉

6 **㋹（登録）を押す。**

7 **◉を押す。**

8 **「1YES」を選び、◉を押す。**

変更した内容が元のメモリ番号に登　されます。

■ 別のメモリ番号で登　：「2NO」選択 ➡◉➡ メモリ番号入力（または*）

注意 名前を修正したとき､「ヨミ」は自動的に修正されません｡「ヨミ」も修正してください。

メモリダイヤルを消去する

1 **消去したいメモリダイヤルを呼び出す。**

2 **◉を押す。**

3 **「消去」を選び、◉を押す。**

4 **「1YES」を選び、◉を押す。**

メモリダイヤルが消去されたあと、次のメモリダイヤルを表示します。次のメモリダイヤルがないときは、待受画面に戻ります。

注意 指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メールが登　されているメモリダイヤルを消去しても、データフォルダ内のメロディやオリジナル着信音、着うた®、ボイスファイル、画像は消去されません。

カメラ機能

カメラをご利用になる前に

V602SHは有効画素数202万画素、オートフォーカス対応のCCDモバイルカメラを搭載し、静止画や動画の撮影が可能です。

- 静止画（☞P.6-8）　●動画（☞P.6-17）
- カメラ機能で使用するボタン（☞P.6-4）　●各種撮影方法（☞P.6-23）

※ カメラ機能はオープンポジション、ビューアポジションで利用できるため、操作方法は以下のように併記して説明しています。
　例：Ⓢ（Ⓒ）または◉、Ⓢ（Ⓒ）／◉

■保存形式や登録場所について

モード	保存形式	登録場所
写メールモード	JPEGファイル（.jpg）	V602SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）（☞P.12-3）
デジタルカメラモード	JPEGファイル（.jpg）	V602SHまたはSDメモリカードのデジタルカメラフォルダ（☞P.11-7）
ムービー写メールモード	Nancyファイル（.noa）	V602SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ムービー）（☞P.12-3）
	MPEG-4ファイル（.3gp）	
モーションカメラ（MPEG）モード	MPEG-4ファイル（.3gp）	V602SHまたはSDメモリカードのモーションカメラフォルダ（☞P.11-8）
ビデオカメラモード	MPEG-4ファイル（.ASF）	V602SHまたはSDメモリカードのビデオカメラフォルダ（☞P.11-7）

撮影前のご注意

- レンズカバー（☞P.1-7）に指紋や油脂がつくとピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズカバーをきれいにしてください。

カメラ利用時のご注意

- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。V602SHが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所においてセルフタイマー（☞P.6-24）で撮影してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- V602SHを暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を登　したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。

自動終了

■ モバイルカメラ起動中、画像を撮影する前に約5分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

ディスプレイ

- 連写モード時のマークについては、P.6-15を参照してください。

ビューアポジション　　オープンポジション

1 **フォーカス表示（☞P.6-7）**
AF：標準／MF：マニュアル／：接写／：風景

2 **明るさ表示（☞P.6-26）**
暗い ⇐標準⇒ 明るい

3 **シーン別撮影表示（☞P.6-27）／マイクON表示（☞P.6-27）**
AUTO：オートモード／：夜景モード／：スポーツモード／：文字モード
：マイクON／：マイクOFF（ムービー写メールモード／ビデオカメラモード）
：マイクON（ノーマル）／：マイクON（ファイン）／：マイクOFF［モーションカメラ（MPEG）モード］

4 **画質表示（☞P.6-27）／録画表示（☞P.6-27）**
Normal：ノーマル／Fine：ファイン／HQ：ハイクオリティ（デジタルカメラモード）
15：動き優先／10：画質優先

5 **画像表示（☞P.6-23）**
：等倍／：2倍（写メールモード）
：等倍／：拡大［ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モード］

6 **撮影サイズ表示（☞P.6-26）／ムービー変装表示（☞P.6-14、P.6-22）**
：ムービー変装撮影時

7 **モード表示（☞P.6-28）**
：写メールモード／D：デジタルカメラモード／
：ムービー写メールモード（Nancyモード）／
MPG：ムービー写メールモード（MPEGモード）、モーションカメラ（MPEG）モード、ビデオカメラモード

8 **光学ズームON表示（☞P.6-26）**

9 **モバイルライトON表示（☞P.6-25）**
：通常／AUTO：オート／：接写

10 **登録先表示（☞P.6-28）**
：本体（V602SH）／：メモリカード（SDメモリカード）

11 **登録可能件数表示（写メールモード／デジタルカメラモード：☞P.6-9、ムービー写メールモード：☞P.6-18）**
各モードでの撮影（登　）可能件数が表示されます。
- 100件以上撮影（登　）可能なときは、「100」が表示されます。
- 5件以下になると、背景が赤く表示されます。

12 **セルフタイマーON表示（☞P.6-24）**

カメラ機能で使用するボタン

モバイルカメラを利用するときは、次のボタンを使用します。

オープンポジション　ビューアポジション

●ビューアポジションの主な操作は、メニュー画面から行います。詳しくは、各機能のページを参照してください。
●撮影モードによって利用できる機能は異なります。各モードで利用できる機能（☞P.6-12、P.6-21）などでご確認ください。

1ファインダー
オープンポジションは縦向きに、ビューアポジションは横向きに表示されます。
（ビューアポジションでも、メニュー項目を選ぶ表示などは縦向きに表示されます。）

2明るさ調整（☞P.6-26）
（明るくなる）／（暗くなる）

3カメラ起動、光学ズームON／OFF
待受画面で1秒以上押すと、前回使用していたモードでモバイルカメラが起動します。
（お買い上げ時「**写メールモード**」）
●オープンポジションでは、撮影中に光学ズームのON／OFFを切り替えるときにも使います。（AFモードを「**接写**」にしているときは、利用できません。）

4フォーカスロック（☞P.6-7）
オープンポジションでフォーカスロックするときに使います。

5表示切替（☞P.6-23）、マーク表示ON/OFF（☞P.6-23）
押すたびに、次のように切り替わります。
●写メールモード（撮影サイズ「240　320」は除く）
「**2倍（アイコンあり）**」→「**2倍（アイコンなし）**」→「**等倍（アイコンあり）**」
●ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEGモード）
「**拡大（アイコンあり）**」→「**拡大（アイコンなし）**」→「**等倍（アイコンあり）**」
●写メールモード（撮影サイズ「240　320」）、デジタルカメラモード、ビデオカメラモード
「**アイコンなし**」⇔「**アイコンあり**」

6キャンセル
オープンポジションで、撮影をやり直すときに使います。

7カメラモード切替（☞P.6-28）
カメラモード起動後に押すと、次のモードに切り替わります。

1	写メールモード（☞P.6-8）	5	ビデオカメラモード（☞P.6-17）
2	デジタルカメラモード（☞P.6-8）	6	バーコード読み取り（☞P.15-26）
3	ムービー写メールモード（☞P.6-17）	7	文字読み取り（☞P.15-33）
4	モーションカメラモード（☞P.6-17）		

8撮影サイズ切替（☞P.6-26）
押すたびに切り替わります。

9メニュー表示
ビューアポジションでは、動画撮影中に光学ズームのON／OFFを切り替えるときにも使います。
また、ビューアポジションの撮影画面で1秒以上押すと、カメラが終了します。

10シャッター
Ⓢは押すとフォーカスロック、押し切るとシャッターの役割をします。このほかメニュー項目を選んだあとの決定などにも使います。

11デジタルズーム
／を押すとズームダウン（画像縮小）、／を押すとズームアップ（画像拡大）します。
ビューアポジションでメニュー項目を選ぶときのスクロールにも使います。

12カメラ終了

13AFモード切替（☞P.6-25）
押すたびに、「**マニュアル**」→「**接写**」→「**風景**」→「**標準**」の順に切り替わります。
●光学ズームを設定しているときは、「**接写**」は表示されません。

14瞬間ズーム（拡大）
写メールモードは、9を押したあとを押すと、最大ズームに切り替わります。

15モバイルライト（☞P.6-25）
押すたびに、「ON（**通常撮影用**）」（「」点灯）→「ON（**オート撮影用**）」（「」点灯）→「ON（**接写撮影用**）」（「」点灯）→「OFF」の順に切り替わります。

16瞬間ズーム（縮小）

補足　利用できるボタン操作を、ディスプレイに表示することもできます。（☞P.6-23）

静止画撮影直後／動画撮影中に着信があると

■ 撮影した静止画は保護されています。通話などを終わると、撮影後の画面に戻ります。◉を押すと、登　できます。
●撮影中の動画は保護されません。

デジタルカメラモード／ビデオカメラモード撮影時のご注意

■ オープンポジション（縦向き）で、デジタルカメラモードで撮影した静止画／ビデオカメラモードで撮影した動画は、パソコンなど他の機器で確認したとき、90度回転した横長の画像となります。デジタルカメラモード／ビデオカメラモードで撮影するときは、ビューポジション（横向き）にすることをおすすめします。

外部出力

■ 付属品のL型ビデオ出力ケーブルを利用して、テレビやビデオなど他の機器を接続し、他の機器にV602SHのディスプレイを表示することができます。（☞P.15-39）

6 カメラ機能

光学ズーム

V602SHではモバイルカメラのズーム機能として、光学ズームを利用できます。
●光学ズームは、レンズを動かすことで被写体との焦点距離を変えています。実際に写る大きさも変わりますので、画質が劣化することはありません。
●光学ズームは、デジタルズームと併用できます。

注意
●AF モード切替（☞P.6-25）を「**接写**」にしているときは、光学ズームは利用できません。
●光学ズーム（２倍）を利用しているときは、近い距離で焦点（ピント）を合わせることはできません。
●光学ズームやオートフォーカスを操作したときや、モバイルカメラを終了したときは、カメラのモーター音が鳴りますが、故障ではありません。動画（ムービー写メールモード／モーションカメラモード／ビデオカメラモード）を撮影中に、光学ズームやオートフォーカスを操作すると、マイク設定が「ON」の場合でも、一時的に音声は　音されません。

オートフォーカス

V602SHには自動的に被写体との距離を検知し焦点（ピント）を合わせる、「**オートフォーカス（AF）**」が搭載されています。
撮影操作を行う（Ⓢまたは◉を押す）と、ピントの自動調整を行ったあと、画像が撮影されます。

撮影前 → ◉ → ピント自動調整中 → ピント合致後撮影

●被写体やまわりの状況に応じて、オートフォーカスモード（AFモード）を「**接写**」、「**風景**」に切り替えたり、手動でピントを合わせて撮影（マニュアル撮影）することもできます。（☞P.6-26）

フォーカスロック

あらかじめピントを合わせた状態（フォーカスロック）で構図を変えて撮影できます。

	ビューアポジション	オープンポジション
フォーカスロックの操作	Ⓢを押し続けます。（押し続けているときだけフォーカスロックされます。）	⤾を押します。
フォーカスロック操作後の動作	ディスプレイ中央に白枠が表示されたあと、ピントの自動調整が行われます。ピントが合えば、枠が緑色に変わり、「**ピピ**」と鳴ったあと、フォーカスロックされます。	
フォーカスロック状態での撮影	Ⓢを押し切ります。	◉を押します。

●フォーカスロック状態で撮影すると、ピントの自動調整の動作なしに、すぐに撮影されます。
●フォーカスロックを解除するときは、押したⓈを離すか、もう一度⤾を押します。
●動画撮影では、撮影開始後にフォーカスロックの操作を行い、ピントを合わせ直すこともできます。

注意
手ぶれがあるときや、動いている被写体を撮影するとき、また、被写体との距離やまわりの明るさなどによっては、ピントの自動調整やフォーカスロックができないことがあります。

6 カメラ機能

静止画の撮影

静止画撮影モード

写メールモード
メール添付や壁紙登　が可能
連写、装飾なども可能
V602SHのディスプレイなどに合ったサイズで撮影可能

こんなときに → **メール添付や壁紙登録など、V602SHで利用する静止画を手軽に撮影するとき**

デジタルカメラモード
最大横1632×縦1224ドットの大きな静止画が撮影可能
SDメモリカード経由でパソコンなどに取り込み可能
DPOFに対応、V602SHでプリントアウトの指定が可能

こんなときに → **パソコンで加工／印刷するなど、いろいろな用途に利用できる静止画を撮影するとき**

補足
- V602SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルスチルカメラの画像ファイルなどを、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
ただし、「**DCF規格**」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した中から、プリントしたい画像や枚数などの設定情報をSDメモリカードなどの記　媒体に記するためのフォーマットです。

- ムービー変装はN-VisionのVirtual Accessoryエンジンを利用しています。

N-Vision
MACHINE VISION TECHNOLOGY

静止画撮影モードの機能比較

	写メールモード	デジタルカメラモード
撮影サイズ	横240×縦320ドット（QVGA） 横120×縦160ドット（QQVGA） 横120×縦128ドット	横1632×縦1224ドット※1 横1280×縦960ドット（SXGA）※1 横1024×縦768ドット（XGA）※1 横640×縦480ドット（VGA）※1
静止画の登録先	V602SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）	V602SHまたはSDメモリカードのデジタルカメラフォルダ（DCIM）
画質	ノーマル／ファイン	ノーマル／ファイン／ハイクオリティ
光学ズーム	2倍（2段階）	
デジタルズーム	横240×縦320ドット：1～10倍 横120×縦160ドット：1～20倍 横120×縦128ドット：1～20倍	横1632×縦1224ドット：なし 横1280×縦960ドット：なし 横1024×縦768ドット：1～1.6倍 横640×縦480ドット：1～2.5倍
スーパーメール添付	可能	可能※2
ファイル形式	JPEG形式（.jpg）	
登録可能数（目安）	1220ファイル※3	140ファイル※3

※1 デジタルカメラモードで撮影すると、指定したサイズの画像とサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）が同時に保存されます。
※2 サムネイルまたは横240×縦320ドットの縮小画像が添付できます。また、データフォルダに登　した画像も添付できます。
※3 お買い上げ時の状態（画像サイズ、画質）で撮影し、V602SHに登　したときの画像数です。

補足
- V602SHのデータフォルダのメモリは、ムービーやアニメーション、メロディ、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登　状況によって、撮影（登　）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.6-31を参照してください。

静止画のファイル名

写メールモード	撮影（登　）日時のファイル名が付きます。（例：2004年07月16日午後12時34分に撮影→「04-07-16_12-34.jpg」）※
デジタルカメラモード	「VFSH0001.JPG」、「VFSH0002.JPG」…の順に、ファイル名が付きます。

※ 登　先に同じ名前のファイルがあるときは、登　したファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加します。
- 写メールモードのファイル名は、変更できます。（☞P.12-46）

注意
デジタルカメラモードで撮影した静止画のファイル名は、V602SHでは変更できません。パソコンなどでファイル名を変更すると、V602SHで静止画が表示できなくなることがあります。ファイル名は変更しないことをおすすめします。

静止画を撮影する

ビューアポジションで撮影する

- 各種撮影方法などのメニューの選択画面は、縦向きに表示されます。
- カメラモード選択画面や撮影モードの選択画面では、利用できるボタン操作や内容をディスプレイに表示させることができます。（☞P.6-23）

1 ビューアポジション（☞P.1-12）で、ⓢを長く（１秒以上）押す。

お買い上げ時には、写メールモードでカメラが起動します。以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動します。

2 ⓒ（機能）を押したあと、「カメラモード選択」を選び、ⓢを押す。

3「1写メールモード」または「2デジタルカメラモード」を選び、ⓢを押す。

4 画像をディスプレイに表示する。

- ビューアポジションで使用するボタン：☞P.6-4
- 各種撮影方法：☞P.6-23
- マニュアル撮影時：☞P.6-26
- フォーカスロック撮影：☞P.6-7

5 ⓢを押し切る。

ピントの自動調整（☞P.6-7）を行ったあと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

- 撮影のやり直し：ⓒ（１秒以上）➡「1YES」選択➡ⓢ
- 画像編集：☞P.12-24～P.12-31

注意
シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更できません。

補足
- シャッター音のパターンは変更できます。（☞P.6-23）
- 撮影後自動的に静止画を登　するように設定することもできます。（自動保存設定：☞P.6-28）
  このときは、操作６は必要ありません。

6 静止画を登録するときは、ⓢを押す。

登　中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登　されます。操作４の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

7 モバイルカメラを終了するときは、ⓒを長く（１秒以上）押す。

補足
登録していない画像があるとき
カメラに戻るかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 「1YES」を選び、ⓢを押すと、撮影画面に戻ります。
- 「2NO」を選び、ⓢを押すと、撮影後の画面に戻ります。

オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する

1 ◉を押したあと、「モバイルカメラ」を選び、◉を押す。

2「1写メールモード」または「2デジタルカメラモード」を選び、◉を押す。

3 画像をディスプレイに表示する。

- オープンポジションで使用するボタン：☞P.6-4
- 各種撮影方法：☞P.6-23
- マニュアル撮影時：☞P.6-26
- フォーカスロック撮影：☞P.6-7

4 ◉を押す。

ピントの自動調整（☞P.6-7）を行ったあと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

- 撮影のやり直し：クリア➡「1YES」選択➡◉
- 画像編集：☞P.12-24～P.12-31

注意
シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更できません。

補足
- シャッター音のパターンは変更できます。（☞P.6-23）
- 撮影後自動的に静止画を登　するように設定することもできます。（自動保存設定：☞P.6-28）
  このときは、操作５は必要ありません。

5 静止画を登録するときは、◉を押す。

登　中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登　されます。操作３の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

6 モバイルカメラを終了するときは、⌒を押す。

注意
セルフショットポジションで撮影するとき
撮影前のディスプレイには、鏡で映したように反転した画像が表示されますが、撮影後のディスプレイには反転していない画像が表示されます。

補足
登録していない画像があるとき
終了の確認メッセージが表示されます。
- 「1YES」を選び、◉を押すと、撮影した静止画を登　せずに、モバイルカメラを終了し、待受画面に戻ります。
- 「2NO」を選び、◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

撮影後にできること

メモリダイヤル登録	写メールモードで撮影した静止画をメモリダイヤルに登　します。

ⓒ／Ⓥ（機能）➡「5メモリダイヤル登録」選択➡ⓢ／◉

■ 以降の操作：☞P.5-6操作4

サムネイル登録	デジタルカメラモードで撮影した静止画のサムネイルだけを登　します。

ⓒ／Ⓥ（機能）➡「1サムネイル登録」選択➡ⓢ／◉

- データフォルダのピクチャーフォルダに登　されます。

サムネイル90度回転	デジタルカメラモードで撮影した静止画を回転し、画像の向きを変えて登　できます。

ⓒ／Ⓥ（機能）➡「2サムネイル90度回転」選択➡ⓢ／◉

- さらに回転するときは、ⓒ（1秒以上）またはⓋ（回転）を押します。

■ 回転後のサムネイル登　：ⓢ／◉

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にⓒ／Ⓥ（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

	項目	説明
光学ズームON／OFF		光学ズームを設定します。（☞P.6-26）
撮影サイズ設定		撮影する画像のサイズを設定します。（☞P.6-26）
AFモード切替		オートフォーカス撮影／マニュアル撮影を設定します。（☞P.6-25）
画質設定		画質を設定します。（☞P.6-27）
モバイルライト		モバイルライトの点灯時間とカラーを設定します。（☞P.6-25）
ムービー変装※		顔に装飾を付けて撮影します。（☞P.6-14）
シーン別撮影		シャッターを撮影シーンに合わせて設定します。（☞P.6-27）
表示切替		画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）
特殊撮影設定	タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.6-24）
特殊撮影設定	連写設定	連写モードや連写スピードを設定します。（☞P.6-14）
特殊撮影設定	フレーム設定※	画像にフレームを設定します。（☞P.6-13）
オプション設定	シャッター音設定	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.6-23）
オプション設定	登録先	静止画の登　先（V602SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-28）
オプション設定	自動保存設定	撮影後自動的に静止画を保存するかどうかを設定します。（☞P.6-28）
オプション設定	オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.6-28）
データ消去		V602SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-32）
キー操作ガイド		現在の撮影モードで利用できる機能を表示します。（☞P.6-23）
明るさ設定		明るさを調整します。（☞P.6-26）
カメラモード選択		モバイルカメラのモードを設定します。（☞P.6-28）

※ 写メールモードで利用できます。

撮影直後（静止画登録前）

静止画の撮影直後（画像登　前）にⓒ／Ⓥ（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

■写メールモード

機能	説明
表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）
画像編集	撮影した静止画を編集します。（☞P.12-24～P.12-31）
登録先	静止画の登　先（V602SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-28）
メール添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞P.6-38）
メモリダイヤル登録	撮影した静止画をメモリダイヤルに登　します。（☞P.6-12）
データ消去	V602SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-32）

■デジタルカメラモード

機能	説明
サムネイル登録	サムネイルだけを登　します。（☞P.6-12）
サムネイル90度回転	サムネイルを90度に回転して表示します。（☞P.6-12）
メール添付	サムネイルまたは縮小した画像をメールに添付します。（☞P.6-40）
登録先	静止画の登　先（V602SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-28）
データ消去	V602SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-32）
表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）

フレームを付けて撮影する

写メールモードで利用可能

- ボーダフォンライブ！などで入手した画像（透過PNG形式の画像）も利用できます。
- 連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。

1 写メールモード（☞P.6-10、P.6-11）で、ⓒまたはⓋ（機能）を押す。

2 「9特殊撮影設定」を選び、ⓢまたは◉を押す。

3 「3フレーム設定」を選び、ⓢまたは◉を押す。

4 ***あらかじめ登録されているフレームを利用するとき***

1「1固定フレーム」を選び、ⓢまたは◉を押す。

2 フレームを選び、ⓢまたは◉を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ オープンポジションでのフレームの変更：◎（前へ）／Ⓥ（次へ）

3 ⓢまたは◉を押す。

オリジナルフレームを利用するとき

1「2オリジナル」を選び、ⓢまたは◉を押す。

- フレームに利用できない画像は、選択できません。

2 フレーム画像を選び、ⓢまたは◉を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：ⓒ／◎（戻る）➡画像選択➡ⓢ／◉

3 ⓢまたは◉を押す。

●撮影サイズ「240　320」のときに、横120×縦160ドットよりも小さいフレームを選択すると、フレームは拡大して表示されます。

フレームを解除するとき

1「3OFF」を選び、ⓢまたは◉を押す。

顔に装飾を付けて撮影する

写メールモードで利用可能

●ボーダフォンライブ！などで入手したアイテム（MSK形式の画像）も利用できます。
●ムービー変装は、撮影サイズ「240　320」で起動します。ムービー変装起動中は、撮影サイズの切替、フレーム／連写設定、カメラモードの切替などはできません。

1 写メールモード（☞P.6-10、P.6-11）で、ⓒまたは㋮（機能）を押す。

2 「6ムービー変装」を選び、ⓢまたは◉を押す。

3 「1固定アイテム」または「2オリジナル」を選び、ⓢまたは◉を押す。

4 種類を選び、ⓢまたは◉を押す。

■ フレームの変更：⊡または◎（前へ）／⊡または㋮（次へ）
●ムービー変装に利用できないファイルは、選択できません。

5 ⓢまたは◉を押す。

選んだ装飾を付けて撮影できる状態になります。
●フォーカスロック（☞P.6-7）したり、オープンポジションで ◎（認識）を押すと、顔の位置に合わせて装飾が表示されます。
■ ムービー変装の解除：ⓒ／㋮（機能）➡「ムービー変装終了」選択➡ⓢ／◉

静止画を連続して撮影する

撮影前に連写モードを設定しておくと、静止画を連続して撮影できます。
連写モードの種類は、次のとおりです。

4枚連写	4枚の静止画を連続して撮影し、4枚の静止画と分割画像を作成します。
9枚連写	9枚の静止画を連続して撮影し、9枚の静止画と分割画像を作成します。
25枚高速連写※	25枚の静止画を連続して撮影し、25枚の静止画と分割画像を作成します。
ブラケット連写	画像の明るさやモバイルライトの色を変えて9枚の静止画を撮影し、9枚の静止画と分割画像を作成します。
オーバーラップ連写	連続して5枚の静止画を撮影し、5枚の静止画と合成画像を作成します。

※ 撮影サイズ「240　320」の写メールモードでは、25枚高速連写は利用できません。
●デジタルカメラモードでは、撮影サイズ「480　640」のときに4枚連写だけ利用できます。
●連写モードでは、1枚目のシャッター（ⓢまたは◉）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分撮影されます。
●4枚または9枚連写では、自動的に撮影される間隔（連写スピード）を設定できます。また、回数分シャッターを押す、「マニュアル」に設定することもできます。

補足　連写画像から1枚の静止画を選択して登　したり（☞P.12-22）、スーパーメールに添付して送信する（☞P.6-38）こともできます。

ディスプレイ

●通常のカメラモードのマークについては、P.6-3を参照してください。

1 枚数表示
　1/4～4/4：右下の数字は、連写枚数を示します。また、左上の数字は撮影済または表示中の枚数を示します。
　⊞：分割画像（オーバーラップ連写は合成画像）を確認中に表示されます。
2 連写モード表示
　：4枚連写ON／：9枚連写ON／：25枚高速連写ON
　：ブラケット連写ON／：オーバーラップ連写ON
3 連写スピード表示
　：速い／：やや速い／：普通／：やや遅い／：遅い／：マニュアル
　：高速／：通常（ブラケット連写、オーバーラップ連写）

連写モードを設定する

1 写メールモードまたはデジタルカメラモード（☞P.6-10、P.6-11）で、ⓒまたは㋮（機能）を押す。

2 「特殊撮影設定」を選び、ⓢまたは◉を押す。

3 「2連写設定」を選び、ⓢまたは◉を押す。

4 *写メールモードのとき*

1「14枚連写ON」～「オーバーラップ連写ON」のいずれかを選び、ⓢまたは◉を押す。

写メールモードの「25枚高速連写」を選んだときは連写モードマークが点灯し（☞上記）、撮影画面に戻ります。
■ 連写モードの解除：「OFF」選択➡ⓢ／◉（操作完了）

デジタルカメラモードのとき

1「14枚連写ON」を選び、ⓢまたは◉を押す。

■ 連写モードの解除：「2OFF」選択➡ⓢ／◉（操作完了）

5 連写スピードを選び、ⓢまたは◉を押す。

連写モードマークが点灯し（☞上記）、撮影画面に戻ります。

注意
●暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
●モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

連写モードで撮影する

●あらかじめ、連写モードを設定しておいてください。（☞P.6-15）

1 画像をディスプレイに表示し、Ⓢを押し切るか、◉を押す。

1枚目の静止画が撮影されます。このあと、一定間隔おきに、残りの回数分の画像が撮影されます。

- 連写の中止：Ⓒ／㋲（停止）
  - ■中止前に撮影した枚数分の連写画像の登　：上記操作のあと、Ⓢ／◉
- 連写の取消（マニュアル時）：Ⓒ（1秒以上）／◎（取消）➡「1YES」選択➡Ⓢ／◉（途中まで撮影した画像は消去されます。）

補足
手動（マニュアル）で撮影するとき（4枚連写／9枚連写）
●1枚目の静止画を撮影したあと、同様に残りの回数分シャッターを押します。（Ⓢ押し切り／◉）

2 連写が終われば、合成画像が表示される。

デジタルカメラモードは、1枚目に撮影した静止画が表示されます。

- 連写画像内の静止画の確認：◀▶／◎
- 連写画像内の静止画の登　：◀▶／◎（画像選択：分割画像も可能）➡Ⓒ／㋲（機能）➡「1表示画像登録」選択➡Ⓢ／◉
- 連写画像内の静止画のメール送信：◀▶／◎➡Ⓒ／㋲（機能）➡「2表示画像添付」選択➡Ⓢ／◉（画像サイズによっては、選択メニューが表示されます。）

15:05 AF 120×160 写メール ●登録 機能

4枚連写

3 連写画像を登録するときは、Ⓢまたは◉（登録）を押す。

連写モードのままで元のモードに戻ります。

●写メールモードは、分割画像と設定した回数分の静止画をまとめた連写画像が登　されます。（登　場所：データフォルダ内の連写フォルダ）
●デジタルカメラモードは、1枚ずつ個別に登　されます。（登　場所：デジタルカメラフォルダ）

■撮影直後に利用できる機能

画像登　前にⒸ／㋲（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

表示画像登録	撮影した静止画を選んで登　します。
表示画像添付	撮影した静止画をメールに添付します。
登録先	連写画像の登　先（V602SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-28）
データ消去	V602SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-32）
表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）

動画の撮影

動画撮影モード

ムービー写メールモード
最大横128×縦96ドットで、
5秒間または10秒間の動画が撮影可能
Nancy形式、MPEG-4形式に対応
メール添付も可能
こんなときに ➡ ムービー写メール用の画像やちょっとした記録用として、手軽に動画を撮影するとき

モーションカメラ（MPEG）モード
1回の撮影で、最長30分の
動画撮影が可能
メール添付用の切り出しや
簡単な編集が可能
こんなときに ➡ 簡易ビデオカメラとして、長めの動画を撮影するとき

ビデオカメラモード
横320×縦240ドットの大画面で
動画が撮影可能
簡単な編集が可能
こんなときに ➡ より高品位な動画を撮影するとき

●動画の撮影／保存／再生には、Nancy Technologyが使われています。
Nancy **Nancy** OFFICE NOA INC. は、株式会社オフィスノアの商標です。

●動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

補足
動画を撮影するときは、なるべくカメラから1.5mまでの距離で、また明るい状態で撮影されることをおすすめします。

動画撮影モードの機能比較

	ムービー写メールモード		モーションカメラ（MPEG）モード	ビデオカメラモード
	Nancyモード	MPEGモード		
撮影サイズ	横80×縦60ドット	横128×縦96ドット（SubQCIF） 横80×縦60ドット	横176×縦144ドット（QCIF） 横128×縦96ドット（SubQCIF）	横320×縦240ドット（QVGA）
動画の登録先	V602SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ムービー）※1		V602SH またはSDメモリカードのモーションカメラフォルダ	V602SH またはSDメモリカードのビデオカメラフォルダ
最大録画時間（１回あたり）	５秒	５秒（横128×縦96ドット） 10秒（横80×縦60ドット）	約３分45秒（登　先：V602SH） 最長30分（登　先：SDメモリカード）	約30秒（登　先：V602SH） カード容量により変動（登　先：SDメモリカード）
光学ズーム	２倍（２段階）			
デジタルズーム	１～15倍	１～9.5倍（横128×縦96ドット） １～15倍（横80×縦60ドット）	１～6.9倍（横176×縦144ドット） １～9.5倍（横128×縦96ドット）	１～2.5倍（　画設定：動き優先） １～５倍（　画設定：画質優先）
スーパーメール添付	可能		切り出した部分だけ可能	不可
ファイル形式	Nancy形式（.noa）	MPEG-４形式（.3gp）		MPEG-４形式（.ASF）
登録可能数（目安）	380ファイル※2	180ファイル※2	16分※3	90秒※3

※1　登　時にフォルダを選択できます。
※2　お買い上げ時の状態で撮影したときの画像数です。
※3　お買い上げ時の状態（撮影サイズ、マイク設定、画質設定［モーションカメラ（MPEG）モード］）で、V602SHに登　したときの　音時間です。

補足
- V602SHのデータフォルダのメモリは、ムービーやアニメーション、メロディ、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登　状況によって、撮影（登　）できる動画数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.6-31を参照してください。

動画のファイル名

ムービー写メールモード（Nancyモード）	撮影（登　）日時のファイル名が付きます。 （例：2004年７月16日午後12時34分に撮影→「04-07-16_12-34.noa」）※
ムービー写メールモード（MPEGモード） モーションカメラ（MPEG）モード	撮影（登　）日時のファイル名が付きます。 （例：2004年７月16日午後12時34分に撮影→「04-07-16_12-34.3gp」）※
ビデオカメラモード	「MOL001.ASF」、「MOL002.ASF」…の順に、ファイル名が付きます。

※ 登　先に同じ名前のファイルがあるときは、登　したファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加します。
- ムービー写メールモード、モーションカメラ(MPEG）モードのファイル名は変更できます。（☞P.12-46）

動画を撮影する

- ご利用前に電池残量をご確認ください。モーションカメラ（MPEG）モードやビデオカメラモードは、電池レ　ル表示が「▯」のときは撮影できません。また、撮影中に電池レ　ル表示が「▯」になると、電池残量不足の確認メッセージが表示され、撮影が中止されます。

1 ビューアポジション（☞P.1-12）で、Ⓢを長く（１秒以上）押す。

お買い上げ時には、写メールモードでカメラが起動します。以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動します。
- オープンポジションの操作：◉➡「モバイルカメラ」選択➡◉➡操作３へ

2 Ⓒ（機能）を押したあと、「カメラモード選択」を選び、Ⓢを押す。

3 「3ムービー写メールモード」、「4モーションカメラ（MPEG）モード」、「5ビデオカメラモード」のいずれかを選び、Ⓢまたは◉を押す。

- 「3 ムービー写メールモード」選択時：「1Nancy モード」／「2MPEG モード」選択➡Ⓢ／◉
- 「4モーションカメラ（MPEG）モード」、「5ビデオカメラモード」選択時：　画中の着信確認表示➡「1YES」／「2NO」選択➡Ⓢ／◉
  - 通常は着信しない（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。

4 画像をディスプレイに表示する。

- カメラ機能で使用するボタン：☞P.6-4
- 各種撮影方法：☞P.6-23
- マニュアル撮影時：☞P.6-26
- フォーカスロック撮影：☞P.6-7

ムービー写メールモード

補足

モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードの撮影可能残り時間
- 「-000」のときは、１分未満であることを示しています。
- モーションカメラ（MPEG）モードの１回あたりの撮影可能時間は、可能残り時間の表示にかかわらず、最長30分です。（SDメモリカードに登　時）
  １回の撮影で30分が経過すると自動的に撮影が終了し、確認メッセージが表示されます。
- ビデオカメラモードで、AFモードを「接写」で撮影するときの１回あたりの撮影可能時間は、可能残り時間の表示にかかわらず、最長10分です。１回の撮影で10分が経過すると自動的に撮影が終了し、確認メッセージが表示されます。
- 撮影する画像によっては、表示される撮影可能残り時間まで撮影できないことや、撮影可能残り時間より長く撮影できることがあります。あくまで目安としてご利用ください。

撮影時間
撮影可能残り時間（分）
モーションカメラ（MPEG）モード

5 ⓢを押し切るか、◉を押す。

ピントの自動調整（☞P.6-7）を行ったあと、撮影開始音が鳴り、動画の撮影が始まります。（撮影開始まで、しばらく時間がかかることもあります。）

- マイク設定を「**マイクON**」に設定しているときは、音声はマイクから50cm程度の距離を目安に　音してください。

注意
撮影開始音や撮影終了音は、マナーモードを設定していても鳴ります。
また、音量を変更することはできません。

補足
撮影前にメモリが不足しているとき
- 空き容量不足の確認メッセージが表示され、P.6-19の操作4の画面に戻ります。不要な画像を消去（☞P.6-32）すると、撮影できます。

モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードの撮影中にメモリが一杯になると
- 自動的に撮影が終了し、空き容量不足の確認メッセージが表示されます。このあと「❶**完了**」を選び、ⓢまたは◉を押すと、途中まで撮影した動画が登録されます。

6 ***ムービー写メールモードの撮影***

❶ 撮影を終了するときは、ⓢを押し切るか、◉を押す。

15:05 AF 80×60
ムービー写メールモード
❶登録
❷画像確認
❸取消
❹登録先
❺メール添付
写メール　●選択

撮影終了音が鳴り、動画の撮影が終了します。
- 撮影可能時間が経過したときは、自動的に終了します。

■ 撮影した動画の再生：「❷**画像確認**」選択➡ⓢ／◉
■ 撮影やり直し：「❸**取消**」選択➡ⓢ／◉➡「❶**YES**」選択➡ⓢ／◉
■ MPEGモード撮影時のテロップ編集：「❻**テロップ編集**」選択➡ⓢ／◉➡☞P.6-36操作5以降

❷「❶登録」を選び、ⓢまたは◉を押す。

撮影した動画が登　されます。P.6-19の操作4の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

補足
メモリが一杯のとき
- P.6-32の操作で他の画像を消去したあとに、登　できます。
- SDメモリカードを取り付けているときは、撮影後の画面で「❹**登録先**」を選び、ⓢまたは◉を押すと、登　先を変更できます。

モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードの撮影

❶ 撮影を終了するときは、ⓢを押し切るか、◉を押す。

撮影終了音が鳴り、完了確認画面が表示されます。

■ SDメモリカード登　設定時：確認画面表示➡ⓢ／◉（操作完了）
■ 撮影のやり直し（登　先「V602SH」）：「❷**取消**」選択➡ⓢ／◉➡「❶**YES**」選択➡ⓢ／◉

❷「❶完了」を選び、ⓢまたは◉を押す。

撮影した動画が登　されます。P.6-19の操作4の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

7 モバイルカメラを終了するときは、ⓒを長く（1秒以上）または⌒を押す。

操作3で「❷NO」を選び、オフラインモードを設定していたときは、自動的にオフラインモードは解除されます。

補足
登録していない画像があるとき
カメラに戻るかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 「❶YES」を選び、ⓢまたは◉を押すと、撮影画面に戻ります。
- 「❷NO」を選び、ⓢまたは◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

動画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にⓒ／✓（**機能**）を押すと、次の機能が利用できます。

機能	説明
光学ズームON／OFF	光学ズームを設定します。（☞P.6-26）
撮影サイズ設定※1	撮影する画像のサイズを設定します。（☞P.6-26）
AFモード切替	オートフォーカス撮影／マニュアル撮影を設定します。（☞P.6-25）
画質設定※2	画質を設定します。（☞P.6-27）
モバイルライト	モバイルライトのカラーや点灯時間を設定します。（☞P.6-25）
ムービー変装※3	顔に装飾を付けて撮影します。（☞P.6-14）
タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.6-24）
表示切替※4	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）
マーク表示ON／OFF※5	撮影時のアイコンを表示するかどうかを切り替えます。（☞P.6-23）
マイク設定	音声　音を設定します。（☞P.6-27）
録画設定※5	画方法（動き優先／画質優先）を設定します。（☞P.6-27）
オプション設定　登録先	動画の登　先（V602SH／SDメモリカード）を指定します。（☞P.6-28）
オプション設定　オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.6-28）
データ消去	V602SHまたはSDメモリカード内の動画を消去します。（☞P.6-32）
キー操作ガイド	現在の撮影モードで利用できる機能を表示します。（☞P.6-23）
明るさ設定	明るさを調整します。（☞P.6-26）
カメラモード選択	モバイルカメラのモードを設定します。（☞P.6-28）

※1 ムービー写メールモード（MPEGモード）、モーションカメラ（MPEG）モードで利用できます。
※2 モーションカメラ（MPEG）モードで利用できます。
※3 ムービー写メールモード（MPEGモード）で利用できます。
※4 ビデオカメラモードでは、利用できません。
※5 ビデオカメラモードで利用できます。

撮影直後（動画登録前）

ムービー写メールモードでの動画の撮影直後（登　前）には、メニュー画面が自動的に表示され次の機能が利用できます。

登録	撮影した動画を登　します。（☞P.6-20）
画像確認	撮影した動画を再生します。（☞P.6-20）
取消	撮影をやり直します。（☞P.6-20）
登録先	動画の登　先（V602SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-28）
メール添付	撮影した動画をメールに添付します。（☞P.6-40）
テロップ編集※	動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を表示できます。（☞P.6-36）

※ MPEGモードで利用できます。

顔に装飾を付けて撮影する

ムービー写メールモード（MPEGモード）で利用可能

●ボーダフォンライブ！などで入手したアイテム（MSK形式の画像）も利用できます。
●ムービー変装は、撮影サイズ「128　96」、画質「ファイン」で起動します。ムービー変装起動中は、撮影サイズの切替、カメラモードの切替はできません。

1 ムービー写メールモード（MPEGモード：☞P.6-19）で、ⓒまたはⓥ（機能）を押す。

2 「5ムービー変装」を選び、ⓢまたは◉を押す。

3 「1固定アイテム」または「2オリジナル」を選び、ⓢまたは◉を押す。

4 種類を選び、ⓢまたは◉を押す。

■ フレームの変更：◀またはⓐ（前へ）／▶またはⓥ（次へ）
●ムービー変装に利用できないファイルは、選択できません。

5 ⓢまたは◉を押す。

選んだ装飾を付けて撮影できる状態になります。
●フォーカスロック（☞P.6-7）したり、オープンポジションで ⓞ（認識）を押すと、顔の位置に合わせて装飾が表示されます。
■ ムービー変装の解除：ⓒ／ⓥ（機能）➡「ムービー変装終了」選択➡ⓢ／◉

各種撮影方法

AFモード切替や光学ズームなど、撮影時の状態に合わせて撮影方法を設定できます。
●モバイルカメラ起動中にⓒまたはⓥを押したあとの、機能メニュー画面で操作します。

キー操作ガイド　現在の撮影モード利用中に、オープンポジションでできるボタン操作をディスプレイに表示します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

ⓒ／ⓥ（機能）➡「キー操作ガイド」選択➡ⓢ／◉

表示切替　撮影時の画面表示を大きくしたり、アイコンを消したりすることができます。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	×

お買い上げ時 等倍（ムービー写メールモード［Nancyモード］：拡大）

ⓒ／ⓥ（機能）➡「表示切替」選択➡ⓢ／◉
●モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

マーク表示ON／OFF　撮影時にアイコンを表示するかどうかを設定します。

写メールモード	×	デジタルカメラモード	×	ムービー写メールモード（Nancy）	×
ムービー写メールモード（MPEG）	×	モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	○

お買い上げ時 マーク表示ON

ⓒ／ⓥ➡「5マーク表示ON」／「5マーク表示OFF」選択➡ⓢ／◉
●アイコンを表示しているときは「**マーク表示OFF**」、アイコンを消しているときは「**マーク表示ON**」を選んで押すと切り替わります。
●モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

シャッター音設定　撮影時に鳴るシャッター音を設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	×
ムービー写メールモード（MPEG）	×	モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	×

お買い上げ時 パターン1

ⓒ／ⓥ（機能）➡「オプション設定」選択➡ⓢ／◉➡「1シャッター音設定」選択➡ⓢ／◉➡シャッター音選択➡ⓢ／◉
■ シャッター音確認：ⓞ（再生）
■ 再生の停止：上記操作のあと、ⓞ（停止）

注意
●シャッター音の音量は変更できません。
●連写撮影時のシャッター音は固定です。ここでの設定は、反映されません。

セルフタイマー

タイマーの動作／動作するまでの時間を設定し、セルフタイマーで撮影します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

お買い上げ時 OFF／10秒

セルフタイマー設定（静止画）

撮影画面でⓒ／㋖（機能）➡「特殊撮影設定」選択➡ⓢ／◉➡「タイマー設定」選択➡ⓢ／◉➡「1タイマーON」選択➡ⓢ／◉

●「」が表示され、タイマーが設定されます。

セルフタイマー設定（動画）

撮影画面でⓒ／㋖（機能）➡「タイマー設定」選択➡ⓢ／◉➡「1タイマーON」選択➡ⓢ／◉

●「」が表示され、タイマーが設定されます。

タイマーが動作するまでの時間設定（静止画）

撮影画面でⓒ／㋖（機能）➡「特殊撮影設定」選択➡ⓢ／◉➡「タイマー設定」選択➡ⓢ／◉➡「2時間設定」選択➡ⓢ／◉➡時間選択➡ⓢ／◉

タイマーが動作するまでの時間設定（動画）

撮影画面でⓒ／㋖（機能）➡「タイマー設定」選択➡ⓢ／◉➡「2時間設定」選択➡ⓢ／◉➡時間選択➡ⓢ／◉

セルフタイマー撮影（静止画）

撮影画面でⓢ（押し切り）／◉

●タイマー音のあと、設定した時間経過後に撮影されます。

■ 撮影後の画像の登　：ⓢ／◉

セルフタイマー撮影（動画）

撮影画面でⓢ（押し切り）／◉➡設定した時間経過後に撮影開始（タイマー音）➡ⓢ／◉

■ 撮影後の画像の登　（登　先「V602SH」）：「1完了」／「1登録」選択➡ⓢ／◉

セルフタイマー撮影時のご注意（静止画／動画）

■ セルフタイマーをやり直すときは、次の操作を行います。

セルフタイマー動作中にⓒ／◎（取消）／クリア

●セルフタイマーが解除されないまま、撮影できる状態に戻ります。

■ セルフタイマー動作中ⓢまたは◉を押すと、その時点で撮影され、タイマーは解除されます。

■ セルフタイマー動作中に着信やアラーム動作があると、撮影は中止されます。このとき、セルフタイマー設定は解除されません。

■ セルフタイマー動作中に、次の操作はできません。

●明るさの調整、モバイルライトの点灯、カメラモードの変更

モバイルライト

モバイルライトの点灯（方法）／点灯時間／点灯カラーを設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

お買い上げ時 OFF／1分／ライチフルーツ（白色系統）

モバイルライト設定

ⓒ／㋖（機能）➡「モバイルライト」選択➡ⓢ／◉➡「通常」～「OFF」選択➡ⓢ／◉

●点灯するときは次のモードから選びます。

通常	モバイルライトが点灯します。静止画撮影時には、さらに強い光で発光します。
オート（静止画のみ）	周囲の明るさによって、自動的にモバイルライトが点灯します。静止画撮影時には、さらに強い光で発光します。
接写	撮影時も同じ光量のまま、モバイルライトが点灯します。

継続点灯時間設定

ⓒ／㋖（機能）➡「モバイルライト」選択➡ⓢ／◉➡「点灯設定」選択➡ⓢ／◉➡「1継続点灯時間」選択➡ⓢ／◉➡点灯時間選択➡ⓢ／◉

点灯カラー設定

ⓒ／㋖（機能）➡「モバイルライト」選択➡ⓢ／◉➡「点灯設定」選択➡ⓢ／◉➡「2点灯カラー」選択➡ⓢ／◉➡カラー選択➡ⓢ／◉

注意

●モバイルライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してからご使用ください。

●電池レ　ル表示が「」のとき、連写モードで連写スピード設定を「**高速**」または「**速い**」に設定したり、25枚高速連写でモバイルライトを利用すると、撮影時の光量は変わりません。

補足

モバイルライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減することができます。

AFモード切替

オートフォーカスの状態を設定したり、マニュアル撮影に切り替えることができます。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

お買い上げ時 標準

ⓒ／㋖（機能）➡「AFモード切替」選択➡ⓢ／◉➡撮影状態選択➡ⓢ／◉

●光学ズームを設定しているときは、「**接写**」は利用できません。

●切り替えられる撮影状態は次のとおりです。

標準	自動的に被写体との距離を感知し、ピントを合わせます。お買い上げ時の設定です。
マニュアル	手動でピントを合わせて撮影できます。（☞P.6-26）
接写	近い距離を撮影するときに、すばやくピントを合わせます。
風景	遠い距離を撮影するときに、すばやくピントを合わせます。

マニュアル撮影

手動でピントを合わせて撮影します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

■あらかじめ、AFモード切替を「**マニュアル**」に設定しておいてください。

画像をディスプレイ表示➡◀▶／⊙でピント調整➡Ⓢ／◉

●ピント調整中は、ズームは利用できません。

■ 以降の操作：☞P.6-10操作５／☞P.6-11操作４／☞P.6-20操作５

光学ズーム

光学ズームを「ON（２倍）」または「OFF（等倍）」に切り替えます。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

お買い上げ時 光学ズームOFF

Ⓒ／Ⓥ（機能）➡「光学ズームON」／「光学ズームOFF」選択➡Ⓢ／◉

●ビューアポジションで動画撮影中は、Ⓒ（**光学**）を押して切り替えることができます。
●AFモードを「**接写**」に設定しているときは、光学ズームは利用できません。
●近い距離で撮影するときに光学ズームを「ON（２倍）」に設定すると、フォーカスロックできないことがあります。

補足　撮影モードによっては、デジタルズーム（☞P.6-5）を併用できます。利用できる倍率など詳しくは、P.6-9、P.6-18でご確認ください。

各種画像の設定

画像の明るさや画質など、撮影する画像に関する設定を変更できます。
●モバイルカメラ起動中にⒸまたはⓋを押したあとの、機能メニュー画面で操作します。

明るさ設定

静止画や動画の明るさを調整します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

お買い上げ時 0（標準）

Ⓒ／Ⓥ（機能）➡「明るさ設定」選択➡Ⓢ／◉➡明るさ選択➡Ⓢ／◉

●モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

撮影サイズ設定

静止画や動画の撮影サイズを変更します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	×
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	×

お買い上げ時 写メールモード：120×160、デジタルカメラモード：480×640、ムービー写メールモード（MPEGモード）：128×96、モーションカメラ（MPEGモード）：128×96

Ⓒ／Ⓥ（機能）➡「撮影サイズ設定」選択➡Ⓢ／◉➡サイズ選択➡Ⓢ／◉

シーン別撮影

静止画の撮影環境を変更します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	×
ムービー写メールモード（MPEG）	×	モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	×

お買い上げ時 オートモード

Ⓒ／Ⓥ（機能）➡「シーン別撮影」選択➡Ⓢ／◉➡撮影環境選択➡Ⓢ／◉

●設定できる撮影環境は、次のとおりです。

オートモード	周りの環境に応じて自動的に調整します。
夜景モード	夜景など光の少ない場所での撮影に適しています。
スポーツモード	スポーツなど動きの多い被写体の撮影に適しています。
文字モード	白と黒などコントラストがはっきりとした被写体の撮影に適しています。

画質設定

撮影前に画質を設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	×
ムービー写メールモード（MPEG）	×	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	×

お買い上げ時 ノーマル（写メールモード「240　320」：ファイン）

Ⓒ／Ⓥ（機能）➡「画質設定」選択➡Ⓢ／◉➡画質選択➡Ⓢ／◉

■ フィルター（画像補正）の設定（デジタルカメラモードのみ）：画質設定画面でⒸ（１秒以上）／Ⓥ（**フィルター**）➡「1ON」選択➡Ⓢ／◉

●デジタルカメラモードでは、「　**イクオリティ**」も利用できます。

補足　「**ノーマル**」→「**ファイン**」→「　**イクオリティ**」の順に画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、登　可能画像数や　画可能時間は減ります。

録画設定

動画の　画方法を「**動き優先**」または「**画質優先**」に設定します。

写メールモード	×	デジタルカメラモード	×	ムービー写メールモード（Nancy）	×
ムービー写メールモード（MPEG）	×	モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	○

お買い上げ時 動き優先

Ⓒ／Ⓥ（機能）➡「7録画設定」選択➡Ⓢ／◉➡「1動き優先」／「2画質優先」選択➡Ⓢ／◉

●「**動き優先**」は、「**画質優先**」に比べて画質は落ちますが、動きはなめらかになります。

マイク設定

動画の撮影時に、音声も同時に　音するかどうかを設定します。

写メールモード	×	デジタルカメラモード	×	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

お買い上げ時 マイクON

Ⓒ／Ⓥ（機能）➡「マイク設定」選択➡Ⓢ／◉➡内容選択➡Ⓢ／◉

●モーションカメラ（MPEGモード）では、音質（「**ノーマル**」（お買い上げ時）、「**ファイン**」）も選べます。

注意
●「**マイクON**」と「**マイクOFF**」では、画質が若干異なります。
●モーションカメラ（MPEGモード）で「**マイクON（ファイン）**」に設定するとファイル容量が大きくなるため、登　できる　音時間は減ります。

その他の設定

●モバイルカメラ起動中にⒸまたは㊇を押したあとの、機能メニュー画面で操作します。

登録先設定　画像の登　先を「**本体**」（V602SH）または「**メモリカード**」（SDメモリカード）に設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

お買い上げ時 本体

Ⓒ／㊇（機能）➡「オプション設定」選択➡ⓢ／◉➡「登録先」選択➡ⓢ／◉➡「1本体」／「2メモリカード」選択➡ⓢ／◉

カメラモード選択　モバイルカメラの撮影モードを切り替えます。

写メールモード	※	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	※	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

※「**ムービー変装**」にしているときは、利用できません。

お買い上げ時 写メールモード

Ⓒ／㊇（機能）➡「カメラモード選択」選択➡ⓢ／◉➡カメラモード選択➡ⓢ／◉

自動保存設定　撮影した静止画を自動的に保存するかどうかを設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	×
ムービー写メールモード（MPEG）	×	モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	×

お買い上げ時 OFF

Ⓒ／㊇（機能）➡「オプション設定」選択➡ⓢ／◉➡「自動保存設定」選択➡ⓢ／◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡ⓢ／◉

オートリセット設定　モバイルカメラを終了したときに、各設定をリセットするかどうかを設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード（Nancy）	○
ムービー写メールモード（MPEG）	○	モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○

お買い上げ時 OFF

Ⓒ／㊇（機能）➡「オプション設定」選択➡ⓢ／◉➡「オートリセット設定」選択➡ⓢ／◉➡「1ON」（リセットする）／「2OFF」（リセットしない）選択➡ⓢ／◉

●オートリセットは、各カメラモード共通の設定です。いずれかの設定を変更すると、すべてのカメラモードに反映されます。

撮影した画像の確認

静止画の確認

●データフォルダの操作で確認することもできます。（☞P.12-6）
●テレビやビデオなど、他の機器で見ることもできます。（☞P.15-39）

1 **ⓢまたは◉を押したあと、「モバイルカメラ」を選び、ⓢまたは◉を押す。**

2 **「8カメラデータ確認」を選び、ⓢまたは◉を押す。**

3 **「1写メールデータ」または「2デジタルカメラデータ」を選び、ⓢまたは◉を押す。**
- 「2デジタルカメラデータ」選択時：フォルダ選択➡ⓢ／◉
- SDメモリカード内の画像の確認：Ⓒ（1秒以上）／㊇（**メニュー**）➡「メモリカードへ切替」選択➡ⓢ／◉

写メールデータ

4 **静止画を選び、ⓢまたは◉を押す。**
静止画が表示されます。
- 別の静止画の確認：Ⓒ／クリア➡操作4をくり返す

補足　静止画表示中にⒸ（1秒以上）／㊇（**メニュー**）を押すと、その画像に対して利用できる機能が表示されます。以降の操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。（☞P.12-22～P.12-34）

デジタルカメラデータの静止画

■ディスプレイのサイズに合わせて、縮小されたサイズで表示されます。原寸で表示することもできます。（☞P.6-30）
●✣を押すと、上下左右にスクロールします。
●ⓢまたは◉（**回転**）を押すと、90度ずつ静止画が回転します。

連写画像の確認

写メールモードで撮影した連写画像を確認します。
●デジタルカメラモードで撮影した連写画像は、通常の静止画の確認（☞上記）で行えます。

1 **◎5の順に押す。**
- SDメモリカード内の画像の確認：㊇（**メニュー**）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2 **連写フォルダを選び、◉を押す。**

3 **連写画像（「連」表示）を選び、◉を押す。**
●このあと◎／◎を押すと、1枚目／逆の順に静止画が表示されます。

サムネイル／原寸で確認する

デジタルカメラデータで操作します。

1 静止画表示中に、㋱（メニュー）を押す。

2「サムネイル表示」または「実画像表示」を選び、◉を押す。

サムネイルまたは実画像（原寸画像）が表示されます。

■ 元の画像サイズに戻す：㋱（**メニュー**）➡「**通常表示**」選択➡◉

壁紙登録／データフォルダに保存する

デジタルカメラモードで撮影した静止画を壁紙として登　したり、データフォルダに保存することができます。データフォルダに保存した静止画は、写メールモードで撮影した静止画と同様にメール添付などに利用できます。

1 静止画表示中に、㋱（メニュー）を押す。

2「壁紙登録」または「データフォルダに保存」を選び、◉を押す。

■ 壁紙登　時：◉

■ データフォルダに保存時：フォルダ選択➡◉

補足

- 静止画を壁紙に登　したり、データフォルダに保存したときは、画質が変わることがあります。
- 通常表示状態からデータフォルダに保存したときは、ディスプレイサイズに縮小された画像が登　されます。
- サムネイル表示状態からデータフォルダに保存したときは、横120×縦160ドットの画像（サムネイル）が登　されます。
- 実画像表示状態からデータフォルダに保存したときは、ディスプレイに表示されている画像（横240×縦320ドット）部分が登　されます。

動画の確認

- データフォルダの操作で確認することもできます。（☞P.12-6）
- テレビやビデオなど、他の機器で見ることもできます。（☞P.15-39）

1 ⓢまたは◉を押したあと、「モバイルカメラ」を選び、ⓢまたは◉を押す。

2「8カメラデータ確認」を選び、ⓢまたは◉を押す。

3「3 ムービー写メールデータ」、「4 モーションカメラ（MPEG）データ」、「5ビデオカメラデータ」のいずれかを選び、ⓢまたは◉を押す。

■「5ビデオカメラデータ」選択時：フォルダ選択➡ⓢ／◉

■ SDメモリカード内の動画の確認：ⓒ（1秒以上）／㋱（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡ⓢ／◉

ムービー写メールデータ

4 動画を選び、ⓢまたは◉を押す。

動画が再生されます。再生が終わると、自動的に停止します。

- SDメモリカード内のビデオカメラデータは、前回再生した続きから再生が開始されます。

■ 動画を回転：ⓒ（1秒以上）／㋱（**メニュー**）➡「**回転表示**」選択➡ⓢ／◉➡角度／回転無し選択➡ⓢ／◉

■ 先頭から再生：ⓒ（1秒以上）／㋱（**メニュー**）➡「**先頭から再生**」選択➡ⓢ／◉

■ ムービー写メールデータ（MPEGモード）のテロップ編集：ⓒ（1秒以上）／㋱（**メニュー**）➡☞P.6-36操作3以降

■ 別の動画の確認：ⓒ／◎（**戻る**）

注意

V602SHで再生できるモーションカメラデータは、「**MPEG-4形式**」だけです。J-SH52で撮影したモーションカメラデータ（Nancy形式）は再生できません。

再生中にできること

早送りする※1	◎を押します。早送り中に◉（**停止**）を押すと、一時停止状態になります。
早戻しする※1	◎を押します。早戻し中に◉（**停止**）を押すと、一時停止状態になります。
停止する	◉（**停止**）を押します。一時停止状態になります。
音量を変える	◎（音量大）または◎（音量小）を押します。（ボイス設定「ON」時） 音量は「0」～「5」の6段階で調整できます。
表示を変える※2	▭を押すたびに、「**拡大**」→「**拡大（アイコンなし）**」→「**等倍**」…の順に切り替わります。 （表示サイズを「**拡大**」にすると、表示画像の一部が切れることがあります。）

※1　ムービー写メールデータでは、利用できません。

※2　ビデオカメラモードでは、「**アイコンなし**」⇔「**アイコンあり**」に切り替わります。

メモリ使用状況を確認する

1 ◉31の順に押す。

■ SDメモリカード使用状況の確認：㋱（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

2「3ファイルBOX」を選び、◉を押す。

各メモリの使用状況（％）が表示されます。

メモリが一杯のとき

静止画の撮影後の登　時に、空き容量不足の確認メッセージが表示されることがあります。このときは、Ⓒまたは⊖を押すと撮影後の状態に戻りますので、次の操作を行い他の画像を消去すると、撮影した静止画や動画を登　できます。

1 **Ⓒまたは⊗（機能）を押したあと、「データ消去」を選び、ⓢまたは◉を押す。**

2 **データの種類を選び、ⓢまたは◉を押す。**

■ SDメモリカード内の画像の選択：Ⓒ（1秒以上）／⊗（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡ⓢ／◉

3 **消去する画像を選び、ⓢまたは◉を押す。**

4 **「1YES」を選び、ⓢまたは◉を押す。**

撮影した動画の編集

撮影モードによって、次の編集が行えます。

切り出し※1	指定したコマから切り出し可能秒数までを別の動画として切り出します。
静止画キャプチャー※1	動画の1場面を静止画として保存します。
2点間切り出し※2	指定した2点間の動画を切り出します。
前部分消去※2	指定したコマより前の部分を消去して、残った部分を新しい動画として登します。
後部分消去※2	指定したコマより後の部分を消去して、残った部分を新しい動画として登します。
全消去※2	再生中の動画を消去します。
テロップ編集※3	画像の再生に合わせて、文字（テロップ）を流します。

※1 モーションカメラ（MPEG）モードで利用できます。
※2 モーションカメラ（MPEG）モード、ビデオカメラモードで利用できます。
※3 ムービー写メールモード（MPEGモード）で利用できます。

注意
- 動画のデータ内容によっては、編集できないことがあります。
- V602SH以外でフォーマットしたSDメモリカードを使用しているときは、編集した動画が正しく再生されないことがあります。

補足
「切り出し」を行うと、新しいMPEG-4ファイル（.3gp）として、データフォルダのムービーフォルダに登　されます。この動画を利用すると、スーパーメール送信用の動画を作成したり、テロップ編集できるようになります。

動画を切り出す

- 切り出し後の画像サイズを設定したり、切り出しモード（縮小／切り抜き）を設定することができます。
- 切り出し時の画像サイズ（☞P.6-34）で「80　60」を選んでいるときは最長10秒まで、「128　96」を選んでいるときは最長5秒まで切り出しできます。
- マイク設定を「マイクON（ファイン）」に設定して撮影した動画を切り出すと、「マイクOFF」で切り出されます。

1 **再生中に、切り出すコマの付近で、◉を押す。**

一時停止状態になります。

2 **⊗（編集）を押す。**

3 **「1切り出し」を選び、◉を押す。**

4 **「1YES」を選び、◉を押す。**

5 **⊙で切り出す最初のコマを表示する。**

■ 切り出しの中止：⊙（戻る）

6 **◉を押す。**

選んだコマから切り出し可能秒数までの動画が切り出されます。
切り出し可能秒数以内に切り出しを終わるときは、このあと、◉（停止）を押します。

■ 切り出した動画の確認：「2画像確認」選択➡◉
■ 切り出しのやり直し：「3取消」選択➡◉
■ 切り出した動画の登　先を指定：「4登録先」選択➡◉➡登　先選択➡◉
■ 切り出した動画の送信：「5メール添付」選択➡◉➡☞P.6-40操作2
■ テロップ入力：「6テロップ編集」選択➡◉➡☞P.6-36操作5以降

7 **動画を登録するときは、「1登録」を選び、◉を押す。**

画像サイズ設定（☞P.6-34）で設定されているサイズに切り出され、データフォルダのムービーフォルダに登　されます。

画像サイズや切り出しモードを設定する

切り出し時の画像サイズを「80　60」または「128　96」に設定できます。
（画像サイズ設定）
また、この切り出し時の画像サイズより、撮影サイズが大きいときにモード設定を行うと、次の方法で切り出すことができます。

縮小	設定されている画像サイズに合わせて動画全体を縮小します。
切り抜き	設定されている画像サイズに合わせて中央部を切り抜きます。

1 再生中に、切り出すコマの付近で、◉を押す。
一時停止状態になります。

2 ㋶（編集）を押す。

3「2切り出し設定」を選び、◉を押す。

4 *モードを設定するとき*
1「1モード設定」を選び、◉を押す。
2「1切り抜き」または「2縮小」を選び、◉を押す。
画像サイズを設定するとき
1「2画像サイズ設定」を選び、◉を押す。
2 画像サイズを選び、◉を押す。

動画の１場面を静止画として保存する

1 再生中に、保存するコマで、◉を押す。
一時停止状態になります。
●このあと◎を押すと、コマを変更することができます。

2 ㋶（編集）を押す。

3「3静止画キャプチャー」を選び、◉を押す。

4 ◉を押す。
静止画として保存され、一時停止中の画面に戻ります。

指定した２点間の動画を切り出す

1 再生中に、切り出す最初のコマで、◉を押す。
一時停止状態になります。
●このあと◎を押すと、コマを変更することができます。

2 ㋶（編集）を押す。

3「4２点間切り出し」を選び、◉を押す。

4「1YES」を選び、◉を押す。
●このあと◎を押すと、コマを変更することができます。

5 ◉を押す。
切り出しの開始点が指定され、再生が再開されます。

6 切り出す最後のコマで、◉を押す。

7 ㋶（完了）を押す。
切り出した動画が保存され、一時停止中の画面に戻ります。

動画の一部を消去する

指定したコマから前または後ろの部分を消去して、残った部分を新しい動画として保存します。

1 再生中に、消去の開始位置で、◉を押す。
一時停止状態になります。
●このあと◎を押すと、コマを変更することができます。

2 ㋶（編集）を押す。

3「5前部分消去」または「6後部分消去」を選び、◉を押す。
■ 一時停止中の動画の消去：「9全消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉（操作完了）

注意　動画の最初と最後のコマは、消去の開始位置として指定できないため、「5前部分消去」／「6後部分消去」が選択できません。

4「1YES」を選び、◉を押す。

5 ◎で消去の開始位置となるコマを表示する。
●前部分消去は、ここで表示したコマから前の動画がすべて消去されます。また、後部分消去は、ここで表示したコマから後の動画がすべて消去されます。
■ 消去の中止：◎（戻る）

6 ◉を押す。

7「1YES」を選び、◉を押す。
登　の確認メッセージが表示され、新しい動画として登　されます。

テロップを編集する

動画の再生に合わせて、文字（テロップ）をディスプレイ中央に表示します。
- 表示位置を変更したり、文字を装飾することもできます。
- テロップ表示、編集はムービー写メールモード（MPEGモード）の動画だけ可能です。

テロップ編集中に着信があると

■ 編集中のデータは保護されています。通話などを終わると、続きから編集できます。

注意　ビューアポジション時は、テロップは表示されません。

テロップを入力する

テロップは最大10件まで入力できます。また、1件あたり最大全角24文字（半角48文字）、3行まで登　できます。
- テロップを入力したあとは、動画のどの位置に表示するか（表示時間）を指定してください。テロップの設定ができません。
- ムービー写メールモード（MPEGモード）の撮影直後にテロップ編集するときは、操作4から行います。

1 動画データから、ムービー写メールデータ（MPEG-4ファイル）を選ぶ。
（☞P.6-30操作1～3）

2 ⓥ（メニュー）を押す。

3「その他編集機能」を選び、◉を押す。

4「テロップ編集」を選び、◉を押す。

5 番号を選び、◉を押す。
- 登　済のテロップの編集：ⓥ（メニュー）➡「2変更」選択➡◉
- 登　済のテロップの消去：ⓥ（メニュー）➡「3消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉（操作完了）
- 登　済のテロップの全消去：ⓥ（メニュー）➡「4一括消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

6「1テロップ文字列」を選び、◉を押す。

7 テロップを入力し、◉を押す。

8「2表示時間」を選び、◉を押す。
動画の再生画面が表示されます。

9 ◎でテロップを流す最初の位置を表示し、ⓥ（開始）を押す。
- ◉を押すたびに、再生／停止します。◎でコマを変更したり、◉を押したりして、テロップの位置を指定してください。

注意　すでにテロップが設定されている位置は指定できません。（ⓥ（開始）が表示されません。）

10 テロップを流す最後の位置で、ⓥ（終了）を押す。
- 文字の装飾：☞下記

11 ⊙（設定）を押す。
1件のテロップが入力されます。
- 他のテロップの入力：操作5～11をくり返す
- テロップ入力の終了：⊙（完了）

15:05 ムービー写メールモード
テロップ編集
1テロップ文字列
2表示時間
3文字装飾
⊙設定 ●選択

テロップを装飾する

文字装飾	テロップ入力した文字を装飾します。

■上記の操作10のあとに行います。

文字色の全体指定
「3文字装飾」選択➡◉➡「1文字色」選択➡◉➡「1全体」選択➡◉➡色選択➡◉

文字色の部分指定
「3文字装飾」選択➡◉➡「1文字色」選択➡◉➡「2文字指定」選択➡◉➡◎で開始文字選択➡◉➡◎で終了文字選択➡◉➡色選択➡◉

背景色の設定
「3文字装飾」選択➡◉➡「2テロップ背景色」選択➡◉➡色選択➡◉

文字の強調
「3文字装飾」選択➡◉➡「4　イライト」選択➡◉➡◎で開始文字選択➡◉➡◎で終了文字選択➡◉➡色選択➡◉

文字の点滅
「3文字装飾」選択➡◉➡「5点滅文字」選択➡◉➡◎で開始文字選択➡◉➡◎で終了文字選択➡◉

文字サイズ設定
「3文字装飾」選択➡◉➡「6文字サイズ」選択➡◉➡「1中」／「2小」選択➡◉

表示方法設定	テロップの流れる方向や、表示効果などを設定します。

■P.6-36の操作10のあとに行います。

表示方向の設定

「3文字装飾」選択➡◉➡「3スクロール」選択➡◉➡「1方向」選択➡◉➡「1左から右」/「2右から左」選択➡◉

効果の設定

「3文字装飾」選択➡◉➡「3スクロール」選択➡◉➡「2効果」選択➡◉➡効果選択➡◉

スクロールイン	画面の外から中へテロップが流れます。
スクロールアウト	画面の中から外へテロップが流れます。
スクロールイン & スクロールアウト	画面の外から中へ、そして画面の外へテロップが流れます。

装飾の取消	文字装飾で指定した内容をすべて解除します。

■P.6-36の操作10のあとに行います。

「3文字装飾」選択➡◉➡「7装飾取消」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

静止画/動画のメール添付

写メールモードで撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接スーパーメールに添付して送信します。

●連写画像を添付するときは、分割画像を含め、◎で添付する静止画を選んでから操作してください。

●撮影した静止画を登　したあとは、データフォルダの操作で送信します。(☞P.12-10)

1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.6-10、P.6-11）で、◎（写メール）を押す。

静止画がデータフォルダに登　されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登　せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ O P.6-8）

15:05
スーパーメール
To [宛先なし]
Title [件名なし]
Text [本文なし]
Att [04-07-21_15-05]
オプション設定
送信予約ﾒｰﾙ登録 OFF
メール容量
5.4K / 30K
保存 選択 送信

補足

簡単メール宛先が登録されているとき

●登　されている相手の名前が表示されます。送信する相手を選び、◉を押すと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（☞ O P.3-3）

●簡単メール宛先の登　方法：☞ O P.6-2

簡単メール宛先に登録されていない相手に送信するとき

●「0<宛先入力>」を選び、◉を押します。

2 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞ O P.3-3）

補足

●画像編集した静止画は、モバイルカメラからは添付できません。データフォルダに登　したあと、データフォルダの操作で送信してください。

●相手機種のサービス対応状況については、「**ボーダフォンライブ！ガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

QVGAサイズの静止画を添付する

撮影サイズ「240　320」で撮影した静止画を、そのままのサイズ（実画像）で送信したり、横120×縦160ドットに縮小して送信します。

●相手機種によっては、実画像を受信できないことがあります。

1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.6-10、P.6-11）で、㋲（機能）を押す。

2 「4メール添付」を選び、◉を押す。

3 「1実画像添付」または「3 1/4サイズで添付」を選び、◉を押す。

静止画がデータフォルダに登　されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登　せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ O P.6-8）

■ 簡単メール宛先登　時：☞P.6-38

4 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞ O P.3-3）

画像を4分割して添付する

撮影サイズ「240　320」で撮影した静止画を、4分割してメール送信します。

●画像分割メールを送信すると、4通分のスーパーメール料金がかかります。

1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.6-10、P.6-11）で、㋲（機能）を押す。

2 「4メール添付」を選び、◉を押す。

3 「2画像分割メール添付」を選び、◉を押す。

宛先選択の画面が表示されます。

■ 簡単メール宛先登　時：☞P.6-38

4 宛先を選択または入力する。（☞ O P.3-4）

分割された画像を添付した4通のメールが、送信トレイに保存されます。

補足

送信トレイに保存された4通のメールには、それぞれ「**件名**」に「**画像分割メール左上**」「**画像分割メール右上**」「**画像分割メール左下**」「**画像分割メール右下**」が自動的に入力されています。

5 *送信トレイに保存したスーパーメールを送信するとき*

1「1YES」を選び、◉を押す。

このあと、送信トレイからメールを送信します。（☞ P.4-19）

送信トレイへの保存だけを行うとき

1「2NO」を選び、◉を押す。

デジタルカメラモードで撮影した静止画を添付する

サムネイルを送信したり、横240×縦320ドットに縮小して送信します。

●撮影した静止画を登　したあとは、デジタルカメラフォルダの操作で送信します。

1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.6-10、P.6-11）で、㋮（機能）を押す。

2「3メール添付」を選び、◉を押す。

3「1サムネイル添付」または「2240×320サイズで添付」を選び、◉を押す。

静止画がデジタルカメラフォルダに登　されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●デジタルカメラフォルダに登　せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ P.6-8）

■ 簡単メール宛先登　時：☞P.6-38

4 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞ P.3-3）

補足
●相手機種がロングメール対応機やスーパーメール対応機であっても、横240×縦320ドットの静止画を受信できないことがあります。
●相手機種のサービス対応状況については、「**ボーダフォンライブ！ガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

撮影した動画を添付する

ムービー写メールモードで撮影した動画を、直接メールに添付して送信します。

●撮影した動画を登　したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.12-10）

1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.6-20）で、◎（写メール）を押す。

動画がデータフォルダに登　されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（動画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登　せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ P.6-8）

■ 簡単メール宛先登　時：☞P.6-38

2 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞ P.3-3）

注意
●スーパーメール非対応のボーダフォン携帯電話には動画は送信できません。
●ムービー写メールの「MPEGモード」で撮影した動画は、MPEG-4対応機以外のボーダフォン携帯電話には送信できません。

補足
●相手機種がスーパーメール対応機であっても、動画を受信できないことがあります。
●モーションカメラ（MPEG）モードで撮影した動画は、切り出し（☞P.6-33～P.6-34）を行うと、スーパーメールに添付して送信することができます。（MPEG-4対応機限定）
●相手機種のサービス対応状況については、「**ボーダフォンライブ！ガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

静止画のプリント指定（DPOF）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。V602SHのデジタルカメラモードで撮影したSDメモリカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントを行えます。

●ボーダフォンライブ！などから入手した静止画はプリント指定できません。

●操作中にSDメモリカードの容量が不足すると、容量不足の確認メッセージが表示されます。このときは、一旦操作を終了し、不要なデータを削除してやり直してください。

●プリント時の操作など、詳しくはプリントする機器の操作説明書をご覧ください。

プリントする静止画と枚数を指定する

●SDメモリカード内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定することもできます。（☞P.6-42）

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2「4プリント指定（DPOF）」を選び、◉を押す。

3 フォルダを選び、◉を押す。

選んだフォルダ内の静止画のサムネイルが表示されます。（この画面がプリントの指定画面となります。）

4 ◈で静止画を選び、㋮（枚数）を押す。

5 プリント枚数（01～99枚）を入力し、◉を押す。

●最大99枚まで指定できます。

■ 指定の解除：「00」入力➡◉

6 操作4～5をくり返し、静止画と枚数を指定する。

7 ◎（完了）を押す。

プリントが指定されます。

■ 他のフォルダの指定：操作3～7をくり返す

8 プリント指定が終われば、◎（完了）を押す。

注意

- V602SHでは、他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）は変更できません。
- 他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定(DPOF)があるときに、V602SHでプリント指定を行うと、以前設定されていたプリント指定は消去されます。
- デジタルカメラプリントショップまたはプリンタによっては、機能が一部制限されることがあります。
- プリント指定する画像数が多いと、プリント指定に時間がかかることがあります。
- パソコン等でSDメモリカード内の画像を削除したり名前の変更を行うと、プリント指定が正しく行われなくなります。このときは、枚数一括解除（☞下記）を行ってからプリント指定し直してください。

DPOFの便利な機能

枚数一括指定	デジタルカメラフォルダ内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定できます。

枚数の一括指定

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「4プリント指定（DPOF）」選択➡◉➡「DCIM」選択➡◉➡「1枚数一括指定」選択➡◉➡プリント枚数（01～99枚）入力➡◉

- 最大99枚まで指定できます。

指定した枚数の一括解除

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「4プリント指定（DPOF）」選択➡◉➡「DCIM」選択➡◉➡「2枚数一括解除」選択➡◉➡「1実行」選択➡◉

日付付加指定	デジタルカメラフォルダ内の静止画をプリントするときに日付を付けるかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「4プリント指定（DPOF）」選択➡◉➡「DCIM」選択➡◉➡「3日付付加指定」選択➡◉➡「1ON」（日付を付ける）／「2OFF」（日付なし）選択➡◉

インデックスプリント指定	静止画の画像一覧を並べたインデックスプリントが、必要かどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「4プリント指定（DPOF）」選択➡◉➡「DCIM」選択➡◉➡「4インデックスプリント指定」選択➡◉➡「1ON」（必要）／「2OFF」（不要）選択➡◉

指定状況確認	印刷画像数や総印刷枚数などのプリントの指定状況を確認します。

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「4プリント指定（DPOF）」選択➡◉➡「DCIM」選択➡◉➡「5指定状況確認」選択➡◉

ポストカード／カレンダー作成

デジタルカメラモードで撮影した静止画に、文字やカレンダースタンプを貼り付けて、オリジナルのポストカードやカレンダーを作成します。

- 作成したポストカード／カレンダーは、新しい画像として、デジタルカメラフォルダに登　されます。（登　後の操作は、デジタルカメラモードで撮影した静止画と同様です。）
- ポストカードメーカーで作成した画像は、再圧縮されるため、画質が変わることがあります。

ポストカードを作成する

1. ◉を押したあと、「モバイルカメラ」を選び、◉を押す。
2. 「8カメラデータ確認」を選び、◉を押す。
3. 「2デジタルカメラデータ」を選び、◉を押す。
4. フォルダを選び、◉を押す。
5. 静止画を選び、◉を押す。
   - 静止画を選び、Ⓥ（メニュー）を押しても操作できます。このときは操作7へ進みます。
   - ■ 静止画表示中の画像回転：◉（押すたびに「横」⇔「縦」90度回転）
6. Ⓥ（メニュー）を押す。
7. 「ポストカードメーカー」を選び、◉を押す。
8. 「1テキスト」を選び、◉を押す。
9. 文字を入力し、◉を押す。
   - 最大全角100文字（全角20文字×5行）まで、入力できます。
   - 動く絵文字を利用した場合、ポストカードメーカーで作成した画像では、絵文字は動きません。
10. 文字色の種類を選び、◉を押す。
    - ■ 文字を縁取らない：「0縁どり設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉
11. 文字サイズを選び、◉を押す。
    テキスト貼付位置が枠で表示されます。
12. ✣で貼付位置を選び、◉を押す。
    画像確認画面が表示されます。
13. ◉を押す。

15:05
ポストカードメーカー
1テキスト
2カレンダー
6行以上のテキストは削除されます
●選択

⊙戻る ●決定

14「1本体」または「2メモリカード」を選び、●を押す。

補足 ポストカードを登　すると、サムネイル（☞P.6-9）も同時に登　されます。ただし、利用する静止画のサイズによっては、サムネイルの一部が黒く塗られることがあります。

カレンダーを作成する

1 ●を押したあと、「モバイルカメラ」を選び、●を押す。

2「8カメラデータ確認」を選び、●を押す。

3「2デジタルカメラデータ」を選び、●を押す。

4 フォルダを選び、●を押す。

5 静止画を選び、●を押す。

●静止画を選び、㋱（メニュー）を押しても操作できます。このときは操作7へ進みます。

■ 静止画表示中の画像回転：●（押すたびに「横」⇔「縦」90度回転）

6 ㋱（メニュー）を押す。

7「ポストカードメーカー」を選び、●を押す。

8「2カレンダー」を選び、●を押す。

9「1 1ヶ月（小）」または「2 2ヶ月」を選び、●を押す。

現在月が表示されます。

10 カレンダーの表示月を入力し、●を押す。

カレンダー表示位置が枠で表示されます。

11 ◎で貼付位置を選び、●を押す。

画像確認画面が表示されます。

12 ●を押す。

13「1本体」または「2メモリカード」を選び、●を押す。

戻る　●決定

補足
●カレンダーの曜日色は、カレンダー表示形式の曜日色設定（☞P.7-4）が反映されます。
●カレンダーを登　すると、サムネイル（☞P.6-9）も同時に登　されます。ただし、利用する静止画のサイズによっては、サムネイルの一部が黒く塗られることがあります。

ディスプレイ設定

壁紙設定

あらかじめ登 されている内蔵画像や、モバイルカメラで撮影した静止画、ボーダフォンライブ！などで入手した画像やアニメーションを、待受画面の壁紙として利用します。

- 「**オリジナル**」を選ぶと最大4枚まで壁紙を設定できます。複数の壁紙を設定すると、2時間ごとに表示が切り替わります。（表示が切り替わる間隔も変更できます。）
- 画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 **◉40の順に押す。**

2 **「1壁紙設定」を選び、◉を押す。**

3 ***内蔵画像を利用するとき***

1「1内蔵画像」を選び、◉を押す。

2 画像を選び、◉を押す。

オリジナル画像を利用するとき

1「2オリジナル」を選び、◉を押す。

■ 複数の壁紙設定時の表示時間の変更：(メニュー）➡「3切替時間設定」選択➡◉➡切替時間（01～24時間ごと）入力➡◉

2「1」を選び、◉を押す。

■ 登 済の画像の消去：番号選択➡（メニュー）➡「2消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
（「2」～「4」に壁紙が設定されているときは、「1」の画像は消去できません。）

3 データフォルダ（☞P.12-6）から画像を選び、◉を押す。

表示方法の選択画面が表示されます。利用する画像のサイズによっては、選んだ画像が表示されます。このときは、操作5へ進みます。

4 表示方法を選び、◉を押す。

センタリング表示	そのままのサイズでディスプレイ中央に表示
並べて表示	そのままのサイズで、同じ画像を並べて表示
全画面表示	ディスプレイサイズいっぱいに拡大表示
拡大表示	縦横どちらかが、ディスプレイサイズになるまで拡大表示

5 ◉を押す。

すでに登 されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。（画像をデータフォルダに登 せずに、ボーダフォンライブ！などから直接壁紙に設定していたときは、画像は消去されます。）

■ 複数の壁紙の設定：操作2～5をくり返す
- このとき操作2では、「2」～「4」の番号を選んでください。

4 **設定を終わるときは、◉（完了）を押す。**

補足

- ボーダフォンライブ！やデータフォルダで、画像を壁紙に登 すると、壁紙設定は自動的に「ON」に設定されます。（待受画面に戻ると、壁紙が表示されます。）
- VアプリをVアプリ待受に設定していると、壁紙を設定しても表示されないことがあります。
- 壁紙を「ON」に設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。（アニメーションを選んだときや複数の画像を設定すると、さらに短くなります。）
- カレンダー（☞P.7-4）を「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ+スケジュール表示**」に設定すると、壁紙は表示されません。
- アニメーションを選んでも、待受画面で約15秒間何も操作しないときは、静止画像になることがあります。また、カレンダー（☞P.7-4）を「**1ヶ月表示（大）**」～「**6ヶ月表示**」に設定中のアニメーションは「**時計小1**」で表示されます。

待受画面のアイコン表示

■ 壁紙を設定しているときの待受画面のアイコン（電波状態表示や電池レ ル表示）は、次の操作で消すことができます。
◉40➡「**5マーク表示設定**」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

■「**マーク表示設定**」を「OFF」に設定している場合に待受画面にアイコンを表示するときは、を押します。（約5秒間表示されます。）
- 壁紙を設定していないときや待受画面以外では、マーク表示設定にかかわらずアイコンが表示されます。

時計／カレンダー表示設定

時計の表示形式を設定する

- お買い上げ時には、「**時計大1**」に設定されています。

1 **◉53の順に押す。**

2 **「1時計大1」～「4時計小2」のいずれかを選び、◉を押す。**

■ 時計の非表示：「6OFF」選択➡◉

カレンダーの表示形式を設定する

１ヶ月表示（「**スタンプ表示（大）**」、「**スタンプ+スケジュール表示**」、「**大**」、「**小**」）２ヶ月／４ヶ月／６ヶ月表示の７種類から選べます。
- 「**スタンプ表示（大）**」を選ぶと、１ヶ月表示（大）のカレンダーに、スケジュールで登したスタンプを表示できます。また、「**スタンプ＋スケジュール表示**」を選ぶと、スケジュール内容もあわせて表示できます。
- 「**１ヶ月表示（小）**」、「**２ヶ月表示**」は、表示位置を変更できます。
- お買い上げ時には、「**スタンプ表示（大）**」に設定されています。

1 ◉5 3の順に押す。

2 「5カレンダー」を選び、◉を押す。
■ カレンダー曜日色の設定：「8曜日色設定」選択➡◉➡曜日選択➡◉➡色選択➡◉

3 「1スタンプ表示（大）」〜「7６ヶ月表示」のいずれかを選び、◉を押す。
■「4１ヶ月表示（小）」、「5２ヶ月表示」選択時：表示位置指定➡◉

カレンダーの見かた

「スタンプ表示（大）」設定時

現在の日付
- 現在の日付は、反転表示されています。

スケジュールが設定されている日付
- スケジュール（☞P.15-14）が設定されている日付には、アンダーラインが表示されます。（スタンプ設定時は除く）

スタンプ
- スケジュールで設定したスタンプが表示されます。（☞P.15-15）

- ⓢ を一度押すと前の月のカレンダーが、ⓢ を押すと次の月のカレンダーが表示されます。ⓢを押し続けると、表示される月が連続して変わります。（「２ヶ月表示」はひと月ずつ順に、「４ヶ月表示」、「６ヶ月表示」はふた月ずつ順に送られます。）クリアを押すと、現在日のカレンダー表示に戻ります。
- カレンダー表示中にⓈを押し一時的にカレンダー表示を消すと、ⓢ（メールの利用）やⓢ（着信履歴の確認）を行うことができます。
このあとカレンダー表示に戻るときは、もう一度Ⓢを押します。

補足
- 壁紙を「ON」に設定しているときは、壁紙の画像の上にカレンダーが表示されます。ただし、カレンダーを「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ＋スケジュール表示**」に設定しているときは表示されません。
- 壁紙でアニメーションが動作しているときは、アニメーション終了後、カレンダーが表示されます。
- Vアプリ待受を設定していると、カレンダーが表示されないことがあります。

文字サイズ（フォント）変更

ディスプレイに表示される文字の大きさ、太さ、書体を変更します。
- 文字の大きさは、メニュー／リスト表示や文字入力時、メール、ウェブ、それぞれ別に指定できます。（太さや書体は、共通です。）
- 書体の変更は、漢字以外の文字（ひらがな、カタカナ、英字など）に対して有効です。
- お買い上げ時には、大きさは「**中**」、太さは「**ふつう**」、書体は「**通常**」に設定されています。

1 ◉3 6の順に押す。

2 *大きさを設定する*
1「1文字サイズ設定」を選び、◉を押す。
2「1メニュー／リスト表示中」〜「4ウェブ閲覧中」のいずれかを選び、◉を押す。
3文字サイズを選び、◉を押す。

太さを設定する
1「2文字太さ設定」を選び、◉を押す。
2「1極細」〜「4太い」のいずれかを選び、◉を押す。

書体を設定する
1「3書体設定」を選び、◉を押す。
2「1通常」または「2ポップ」を選び、◉を押す。

文字入力中の文字サイズ変更

■ 文字入力中に、次の操作を行います。
ⓜ（メニュー）➡「9文字サイズ設定」選択➡◉➡「1小」／「2中」／「3大」選択➡◉

注意
- Vアプリ、E-アニメータ、SMAFファイルなど、あらかじめ各ファイルに設定されている文字の大きさ、太さ、書体は変更できません。
- 電子ブックの書体は変更できません。

補足
この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONT及びLCロゴマークは、シャープ株式会社の登　商標です。

マイキャラクタ設定

電源ON／OFF時やアラーム動作時、着信中に、モバイルカメラで撮影した画像やボーダフォンライブ！で入手した画像などを、マイキャラクタとして表示します。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 ◉40の順に押す。

2「2マイキャラクタ」を選び、◉を押す。

3 表示場面を選び、◉を押す。
●マイキャラクタの表示場面が「3着信」または「4アラーム」のときは、E-アニメータ／MNGファイルの画像は利用できません。

4「1キャラクタ」、「2Disney」、「3オリジナル」のいずれかを選び、◉を押す。
●「1キャラクタ」または「2Disney」を選んだときは、このあと操作7へ進みます。
■ マイキャラクタ設定の解除：「4OFF」選択➡◉（操作完了）
■ オリジナル選択時の画像の変更：㋮（変更）

5 データフォルダ（☞P.12-6）から画像を選び、◉を押す。
選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。
●利用できない画像は表示されません。

パワー ON	横120×縦130ドット	着信	横120×縦38ドット
パワー OFF	横120×縦130ドット	アラーム	横120×縦51ドット

●マイキャラクタとして表示されるときは、２倍に拡大表示されます。
■ 画像の表示サイズの変更：スケジュール/メモ（「等倍」⇔「２倍」切替）

6 ◈で画像の表示範囲を指定する。
●画像サイズによっては、表示範囲を指定できないことがあります。
■ 画像の変更：クリア➡操作５からやり直す

7 ◉を押す。
マイキャラクタが設定されます。
●すでに登　されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。(画像をデータフォルダに登　せずに、ボーダフォンライブ！などから直接マイキャラクタに設定していたときは、画像は消去されます。)

注意　マイキャラクタの「3着信」を「3オリジナル」に設定している場合に、メモリダイヤルのピクチャーコール／メールを登　している相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、マイキャラクタの設定は無効になります。

ディスプレイ／サブディスプレイ／ボタンの照明設定

それぞれの照明の点灯時間を変更したり、点灯しないようにします。
●サブディスプレイは、着信があったときやサイドボタンを押したときの照明です。
●１日の中で特定の時間帯だけ点灯するようにも設定できます。
このときは、あらかじめ現在時刻を合わせておいてください。（☞P.1-25）
●お買い上げ時には、「ON」（15秒）に設定されています。

1 *ディスプレイの照明を設定するとき*
1 ◉34の順に押す。
2「1パネル照明ON／OFF」を選び、◉を押す。

サブディスプレイの照明を設定するとき
1 ◉47の順に押す。
2「2照明設定」を選び、◉を押す。

注意　他のポジションからクローズポジションにしたときのサブディスプレイの点灯時間は、設定した時間（秒）にかかわらず最長で３秒間です。「１秒」または「２秒」に設定したときは、設定した秒数だけ点灯します。

ボタンの照明を設定するとき
1 ◉34の順に押す。
2「2キー照明ON／OFF」を選び、◉を押す。

2 *点灯時間を変更するとき*
1「1ON」を選び、◉を押す。
2 点灯時間（01~99秒）を入力し、◉を押す。
点灯時間が設定されます。

点灯しないようにするとき
1「2OFF」を選び、◉を押す。
●「OFF」に設定しても、モバイルカメラ起動中はパネル照明が点灯します。

点灯する時間帯を設定するとき
1「3点灯時間帯」を選び、◉を押す。
2 開始時刻と終了時刻（各４ケタ）を入力し、◉を押す。
開始時刻から終了時刻までの間、パネル照明が点灯します。
3 点灯時間（01~99秒）を入力し、◉を押す。

補足
●時刻を設定していないときは、点灯時間帯での設定は反映されません。
●ビューアポジションでは、キー照明は点灯しません。
●パネル照明やキー照明の点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

ディスプレイの明るさを設定する

ディスプレイの照明の明るさを4段階で調整します。
●サブディスプレイの明るさは、「液晶濃度調整」(☞P.7-10)で設定してください。
●お買い上げ時には、「明るさ4」に設定されています。

1 ◉ 3 4 の順に押す。

2 「4パネル明るさ調整」を選び、◉を押す。

3 ◌(明るくする)または◌(暗くする)で、明るさを選ぶ。
押すごとにパネル照明の明るさが変わります。

4 ◉を押す。

シガーライター充電器に接続したときの照明を設定する

オプション品のシガーライター充電器で充電するとき、ディスプレイやボタンの照明を点灯するようにします。
●お買い上げ時には、「OFF」(点灯しない)に設定されています。

1 ◉ 3 4 の順に押す。

2 「3車載時設定」を選び、◉を押す。

3 「1ON」を選び、◉を押す。
■ 車載時設定の解除:「2OFF」選択➡◉

その他のディスプレイ関連機能

スクリーンアニメ設定 操作しない状態(クローズポジション除く)で一定時間以上経過したとき、アニメーションを表示します。
お買い上げ時 OFF

内蔵アニメーションの利用
◉ 4 8 ➡「1スクリーンアニメ」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「1 アニメーション選択」選択 ➡◉➡「1 スクエアウェーブ」/「2Disney」選択➡◉➡◉

ボーダフォンライブ!などで入手したアニメーションの利用
◉ 4 8 ➡「1スクリーンアニメ」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「1アニメーション選択」選択➡◉➡「3オリジナル」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

スクリーンアニメ起動時間の設定
◉ 4 8 ➡「1スクリーンアニメ」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「2起動時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

スクリーンアニメの解除
◉ 4 8 ➡「1スクリーンアニメ」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉
●スクリーンアニメに利用できるアニメーションは、E-アニメータ(.nva)だけです。
●スクリーンアニメ表示中に何かボタンを押すと、スクリーンアニメは停止します。
●待受画面やモバイルカメラ起動中などV602SHの動作状態や操作内容によっては、スクリーンアニメが表示されないことがあります。

補足 スクリーンアニメを「ON」に設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

ボーダフォンライブ!アニメ設定 メール送受信時や情報受信時にアニメーションを表示するかどうかを、表示場面ごとに設定します。
お買い上げ時 ON

◉ 4 8 ➡「3ボーダフォンライブ!アニメ」選択➡◉➡「1メール送信」~「5ステーション受信」選択➡◉➡「1ON」/「2OFF」選択➡◉

Disneyスタイル 通話中やメール送受信時、アラーム画面などで、Disneyキャラクターを表示するかどうかを設定します。
お買い上げ時 OFF

◉ 4 5 ➡「1ON」/「2OFF」選択➡◉
●「ON」に設定すると、メインディスプレイの電波状態や電池レ ル表示も、Disneyキャラクター表示になります。

インデックスメニュー設定 インデックスメニューの表示を設定します。
お買い上げ時 3D

◉ 4 0 ➡「7インデックスメニュー設定」選択➡◉➡「13D」/「22D」選択➡◉

背景パターン設定	機能メニューなど、リスト画面の背景パターンを９種類の中から選べます。

お買い上げ時 背景１

◉4 0 ➡「4背景パターン設定」選択➡◉➡「1背景１」〜「9背景９」選択➡◉

背景アニメ設定	インデックスメニューの９つの項目を選んだときなどのアニメーションを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ON

◉4 8 ➡「2背景アニメ」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

- SDメモリカードの使用中（データの読み出し中や書き込み中など）は、背景アニメが表示されないことがあります。

ウェイクアップ	電源を入れたときに、ディスプレイ下部にメッセージなどを表示します。

お買い上げ時 OFF

◉4 0 ➡「3ウェイクアップ」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡内容入力➡◉

- 最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

ウェイクアップの解除

◉4 0 ➡「3ウェイクアップ」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

サブディスプレイのON／OFF	サブディスプレイのON（表示する）／OFF（表示しない）を設定します。

お買い上げ時 ON

◉4 7 ➡「1サブディスプレイON／OFF」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

サブディスプレイの液晶濃度調整	サブディスプレイの液晶濃度を、９段階で調整します。

お買い上げ時 濃度５

◉4 7 ➡「3濃度調整」選択➡◉➡◌（濃くする）／◌（薄くする）➡◉

サブディスプレイの相手表示設定	着信時に相手の電話番号（名前）を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ON

◉4 7 ➡「4相手表示設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

日本語／英語切替	ディスプレイの表示を、日本語または英語に設定します。

お買い上げ時 日本語

◉3 5 ➡「1日本語」／「2English」選択➡◉

音の設定

着信設定

着信音のパターンや音量、バイブレータの動作、ランプの色や点滅パターン、着信音の鳴る時間を設定します。着信の種類とお買い上げ時の設定は次のとおりです。

	通常着信	メール着信	ウェブ着信	ステーション着信	受信完了通知	配信確認
着信パターン	パターン1	効果音 メール	効果音 ウェブ	効果音 ステーション	パターン5	効果音 レポート
着信音量	音量5	音量5	音量5	音量5	音量1	音量5
バイブ設定	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
バイブパターン	バイブ1	バイブ2	バイブ3	バイブ4	バイブ5	バイブ2
ランプ設定	モバイルライト	スモールライト	スモールライト	スモールライト	スモールライト	スモールライト
モバイルライトカラーパターン	マスカット（緑色系統）	—	—	—	—	—
モバイルライト／スモールライト点滅パターン	パターン1	パターン1	パターン1	パターン1	パターン1	パターン1
着信呼出時間	—	10秒	10秒	10秒	1秒	10秒

●「受信完了通知」とは、次のようなときの動作です。
- ■メールサーバーからメッセージの続きやメールリストを取得したとき
- ■メールサーバーのメッセージを消去したとき
- ■ステーションのメインリストや位置情報履歴を手動で更新したとき

●「配信確認」とは、サービスセンターから通信レポートを受信したときの動作です。（☞ P.4-19）

●設定した内容は、電源を切っても保持されます。

補足　着信と連動するタイプのVアプリをVアプリ待受に設定していると、着信設定で設定している着信パターンやバイブパターンとは異なる動作をすることがあります。

着信音量を設定する

1 ●［1］［0］の順に押す。

2 着信の種類を選び、●を押す。

3「2着信音量」を選び、●を押す。

4 ◎で音量を選ぶ。

●「音量5」が最大です。「ステップ」に設定すると、約3秒ごとに、「音量1」～「音量5」の順に段々と音が大きくなります。

■ 音量の確認：◎（♪再生）
- ■マナーモード設定中の音量はマナー設定内容と連動します。
- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

5 ●を押す。

通常着信を「ステップ」に設定すると「図」が、「サイレント」に設定すると、「図」が待受画面に表示されます。

着信パターンを設定する

あらかじめ登録されているパターンやメロディ（☞ P.8-4）の他に、オリジナル着信音、着うた®、ボイスファイルなどから選べます。

1 ●［1］［0］の順に押す。

2 着信の種類を選び、●を押す。

3「1着信パターン」を選び、●を押す。

4 *あらかじめ登録されているパターンを選ぶとき*

1「1固定パターン」または「2固定メロディ」を選び、●を押す。

データフォルダに登録したメロディを選ぶとき

1「3データフォルダ（メロディ）」を選び、●を押す。

●V602SHには、あらかじめ「世界に一つだけの花」が登録されています。

許諾番号：T-0450160 JASRAC

データフォルダに登録した着うた®を選ぶとき

1「4データフォルダ（オーディオ）」を選び、●を押す。

ボイスフォルダに登録したボイスファイルを選ぶとき

1「5ボイスフォルダ」を選び、●を押す。

注意
- ●SDメモリカード内のサウンドは、着信パターンに設定できません。
- ●ボイスファイルは、「受信完了通知」には利用できません。
- ●ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるサウンドは、着信パターンに設定できません。
- ●サウンドのデータ内容などによっては、着信音として登録できないことがあります。

5 メロディなどを選ぶ。

■ パターンの確認：◎（♪再生）
- ■再生の停止：上記操作のあと、◎（停止）

■ サウンドの再生：☑（メニュー）➡「再生」選択➡●
- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）
- ■マナーモード設定中や、着信音量をサイレント、ステップに設定しているときでも、「音量1」で再生されます。

補足　あらかじめ登録されているメロディを着信パターンに設定した場合、バイブ設定（☞ P.8-4）が「SMAF連動」に設定されているときに再生すると、メロディ内のバイブレータが動作します。

6 ●を押す。

補足　着信パターンを設定したデータフォルダ内のサウンドまたはボイスファイルを消去したり、ファイル名を変更すると、着信パターンはお買い上げ時の状態に戻ります。

あらかじめ登録されているメロディ

曲　名	作曲者名	画面表示
イコール	ACIDMAN	イコール（着うた）
森のくまさん	アメリカ民謡	森のくまさん
組曲「惑星」より「木星」	HOLST GUSTAV	組曲「惑星」より「木星」
新世界より「第4楽章」	DVORAK ANTONIN	新世界より「第4楽章」
愛の挨拶	ELGAR EDWARD	愛の挨拶
ノクターン	CHOPIN FREDERIC FRANCOIS	ノクターン
ブラームスの子守唄	BRAHMS JOHANNES	ブラームスの子守唄
DIGITAL WORLD	TJK	DIGITAL WORLD
FLASH TRANCE	TJK	FLASH TRANCE
TECHNO VOX	TJK	TECHNO VOX

着信をバイブレータでお知らせする

バイブレータを設定する

1 ◉ 1 0 の順に押す。

2 着信の種類を選び、◉を押す。

3「3バイブ設定」を選び、◉を押す。

補足
- 「3SMAF連動」は、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されている場合、メロディ内のバイブレータを動作させるときに選びます。
- バイブレータが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効です。

4「1ON」、「2OFF」、「3SMAF連動」のいずれかを選び、◉を押す。
通常着信のバイブ設定を「ON」にすると「V」（緑色）が、「SMAF連動」に設定すると「V」（黄色）が待受時に表示されます。

注意
バイブレータを設定中、V602SHを机の上などに置いておくと、着信があったとき振動により落下することがあります。充電するときは、落下防止のためにもバイブ設定を「OFF」にすることをおすすめします。

バイブパターンを設定する

- バイブレータが「ON」に設定されているとき（☞上記）のパターンを設定します。

1 ◉ 1 0 の順に押す。

2 着信の種類を選び、◉を押す。

3「4バイブパターン」を選び、◉を押す。

4 バイブパターンを選び、◉を押す。

バイブパターン	動作
バイブ1	0.75秒振動→0.75秒停止のくり返し
バイブ2	0.25秒振動→0.25秒停止→0.25秒振動→1秒停止のくり返し
バイブ3	1秒振動→2秒停止のくり返し
バイブ4	1秒振動→1秒停止→1秒振動→2秒停止のくり返し
バイブ5	0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1秒停止のくり返し

モバイルライト／スモールライトを設定する

1 ◉ 1 0 の順に押す。

2 着信の種類を選び、◉を押す。

3「5ランプ設定」を選び、◉を押す。

4 *モバイルライトに設定するとき*
1「1モバイルライト」を選び、◉を押す。
2カラーパターンを選び、◉を押す。

スモールライトに設定するとき
1「2スモールライト」を選び、◉を押す。
- スモールライトは、固定色（緑色）です。

点滅しないようにするとき
1「3OFF」を選び、◉を押す。

5 点滅パターンを選ぶ。
- 点滅パターンの確認：⦾（点灯）
- 点滅の停止：上記操作のあと、点滅中に⦾（停止）

点滅パターン	動作
パターン1	0.75秒点灯→0.75秒消灯のくり返し
パターン2	0.25秒点灯→0.25秒消灯→0.25秒点灯→1秒消灯のくり返し
パターン3	1秒点灯→2秒消灯のくり返し
パターン4	1秒点灯→1秒消灯→1秒点灯→2秒消灯のくり返し
パターン5	0.5秒点灯→0.5秒消灯→0.5秒点灯→1秒消灯のくり返し
SMAF連動	SMAFに連動（モバイルライトで設定可能）

補足
「6SMAF連動」は、メロディ（SMAFファイル）にランプが設定されている場合、メロディ内のランプを動作させるときに選びます。

6 ◉を押す。

着信呼出時間を設定する

●通常着信では設定できません。

1 ◉[1][0]の順に押す。

2 着信の種類（「1通常着信」以外）を選び、◉を押す。

3 「6着信呼出時間」を選び、◉を押す。

4 呼出し時間（01〜99秒）を入力し、◉を押す。（例：９秒のとき[0][9]）

各種効果音の設定

効果音設定は、操作音の種類ごとに設定します。操作音の種類とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

	ボタン確認音	エラー音	パワー ON	パワー OFF	サウンド再生音量	サウンドランプ設定
設定	ON	ON	ON	ON	音量５	スモールライト
サウンド選択	プッシュトーン	効果音 エラー音	効果音 オープニング1	効果音 エンディング1		
サウンド音量	音量中	音量中	音量5	音量5		
サウンド時間	0.05秒	0.5秒	３秒	３秒		

●「パワー ON」は電源を入れたとき、「パワー OFF」は電源を切ったときを意味します。
●「サウンド再生音量」はデータフォルダのサウンドや、メールに添付されたサウンド、ウェブ上のサウンドなどの再生音量を意味します。
●「サウンドランプ設定」はサウンドを再生したときのランプ設定を意味します。
●設定した各種効果音設定は、電源を切っても保持されます。

操作音のパターンを設定する

●操作音を鳴らないようにすることもできます。

1 ◉[1][3]の順に押す。

2 「1ボタン確認音」、「2エラー音」、「3パワー ON」、「4パワー OFF」のいずれかを選び、◉を押す。

サウンド再生音量の設定：「5サウンド再生音量」選択➡◉➡音量選択➡◉

サウンドランプの設定：「6サウンドランプ設定」選択➡◉➡「1モバイルライト」／「2スモールライト」／「3OFF」選択➡◉

■モバイルライト選択時：上記操作のあと、カラーパターン選択➡◉

3 「1ON」を選び、◉を押す。

効果音なし：「2OFF」選択➡◉

4 「1サウンド選択」を選び、◉を押す。

5 *あらかじめ登録されているパターンを選ぶとき*

1「1固定パターン」または「2固定メロディ」を選び、◉を押す。

データフォルダに登録したメロディを選ぶとき

1「3データフォルダ（メロディ）」を選び、◉を押す。

注意
●SDメモリカード内のサウンドは、操作音のパターンに設定できません。
●ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるサウンドは、操作音のパターンに設定できません。
●サウンドのデータ内容などによっては、操作音として登　できないことがあります。

「ピッ」という音にするとき（ボタン確認音）

1「4プッシュトーン」を選び、◉を押す。

操作音のパターンが設定されます。（操作完了）

6 メロディなどを選ぶ。

パターンの確認：◎（♪再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

サウンドの再生：㋱（メニュー）➡「再生」選択➡◉

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

7 ◉を押す。

補足
操作音に設定したデータフォルダ内のサウンドを消去したり、ファイル名を変更すると、操作音のパターンはお買い上げ時の状態に戻ります。

その他の着信設定

サウンド音量 操作音を「ON」に設定したときの音量を、３段階または５段階で設定します。

お買い上げ時 ☞P.8-6

◉[1][3]➡「1ボタン確認音」〜「4パワー OFF」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「2サウンド音量」選択➡◉➡◎で音量選択➡◉

サウンド時間 操作音をどれくらいの時間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時 ☞P.8-6

ボタン確認音／エラー音のサウンド時間設定

◉[1][3]➡「1ボタン確認音」／「2エラー音」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「3サウンド時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

パワー ON／パワー OFFのサウンド時間設定

◉[1][3]➡「3パワー ON」／「4パワー OFF」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「3サウンド時間」選択➡◉➡時間（01〜10秒）入力➡◉

補足
●ボタン確認音やエラー音で選択したサウンドによっては、サウンド時間が短いと操作音が鳴らないことがあります。
●「4プッシュトーン」を選んだときのボタン確認音は、サウンド時間の設定にかかわらず「10.05秒」で鳴ります。

着信用ボイス録音

V602SHで　音した音声を、着信音やアラーム音として利用できます。
- 　音可能時間は30秒です。

1 **◉ 1 7 の順に押す。**

2 **「2着信用ボイス録音」を選び、◉を押す。**

3 **タイトルを入力し、◉を押す。**
入力したタイトルは、自動的にファイル名として登　されます。
●最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

4 **◉を押す。**
　音が始まります。

5 **録音を終わるときは、◉を押す。**
V602SHのボイスフォルダのフォルダ１に登　されます。

録音内容の確認

■ 操作５のあと次の操作を行います。
ボイスファイル選択➡◉（**再生**）
▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に ◎（**戻る**）

ボイスファイルの着信音設定

■ 操作５のあと次の操作を行います。
ボイスファイル選択➡㋱（**メニュー**）➡「**着信音設定**」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉

注意　　音中に着信があると　音は中止されます。（　音内容は消去されます。）

オリジナル着信音の作成

自分でメロディを作り、着信音として利用したり、スーパーメールに添付して送信できます。
- 1 曲あたり95音×32和音または190音×16和音、380音×８和音のいずれかまで入力できます。
- オリジナル着信音は、データフォルダ（☞P.12-3）に登　されます。

注意
- オリジナル着信音はSJM形式で保存されます。オリジナル着信音をシャープ製ボーダフォンライブ！パケット対応機以外の相手機種に送信するときは、メロディ形式またはSMAF形式に変換したあと、送信してください。ファイル形式によっては、旋律（和音）が削除されたり、設定が変わることがありますので、変換の際は「**ファイル形式を変換して添付する**」（☞ P.3-12）をご確認ください。
- 受信側の相手機種によっては、変換したファイルを再生できないことがあります。

オリジナル着信音の基礎知識

ディスプレイ

入力中の和音
- ♯1：旋律１、♯2：旋律２
♯3：旋律３…♯32：旋律32

メロディの音色

メロディの強弱

音の高さ
- 「₮」→「▾」→「マークなし」→「▴」→「⩲」の順に音が高くなります。
- 半音では、「♯」が表示されます。
- 休符では、「㊡」が表示されます。

１音分の音
- 音の高さと音符で表示されます。

カーソル位置の音番号

入力済の音数（休符も含みます。）

カーソル
- 入力や編集の対象になっている音を示しています。

音の長さ
- 音符または休符のキャラクタで表示されます。
- ３連符では「³」、スラーでは「_」が表示されます。

入力できる音の高さ

約４オクターブ入力できます。（半音も使えます。）

入力できる音符／休符

音符	休符	長　さ	音符	休符	長　さ
𝅝	𝄻	全音符（休符）	𝅗𝅥.	𝄼.	付点２分音符（休符）
𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）	𝅝𝅝𝅝	𝄻𝄻𝄻	全音３連符（休符）
♪	𝄾	８分音符（休符）	𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯	𝄿𝄿𝄿	16分３連符（休符）
♪.	𝄾.	付点８分音符（休符）	♪♪♪	𝄾𝄾𝄾	８分３連符（休符）
♩	𝄽	４分音符（休符）	♩♩♩	𝄽𝄽𝄽	４分３連符（休符）
♩.	𝄽.	付点４分音符（休符）	𝅗𝅥𝅗𝅥𝅗𝅥	𝄼𝄼𝄼	２分３連符（休符）
𝅗𝅥	𝄼	２分音符（休符）			

作成の流れ

1 オリジナル着信音のタイトルを入力する

- ここで入力したタイトルが、着信音選択時に表示されます。
- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

2 曲のテンポを指定する

- 「速い」、「普通」、「やや遅い」、「遅い」のいずれかを選びます。
- テンポの目安は、次のとおりです。（「♩」の数は１分間に鳴る４分音符の数です。）

1 速い	♩=150	3 やや遅い	♩=107
2 普通	♩=125	4 遅い	♩=94

3 和音数を指定する

- 「８和音」、「16和音」、「32和音」のいずれかを選びます。

4 メロディ（旋律１ 1）を１音ずつ入力する

- 音の高さやオクターブ、長さなどを順に入力します。半音や３連符の入力も可能です。（☞P.8-11～P.8-12）
- 入力中に◎（再生）を押すと、それまで入力したすべての旋律のメロディが流れます。
  また[スケジュール/メモ]を押すと、表示している旋律のメロディがカーソルのある位置まで流れます。音量は、サウンド再生音量（☞P.8-6）と連動します。
  マナーモード設定中でも、◎（再生）や[スケジュール/メモ]を押すとメロディが流れます。（音量を「サイレント」に設定していても、「音量１」で流れます。）
- 入力中に㋱（メニュー）を押すと、入力中の旋律の音色や強弱を設定できます。

5 ハーモニー（旋律２ 2、旋律３ 3…旋律32 32）を入力する

- [文字]を押すと、他の旋律の入力画面に切り替わります。
- 入力方法は、旋律１と同様です。

6 メロディの音色を設定する

- お買い上げ時には、すべての旋律が「ピアノ」に設定されています。
- あらかじめ登　されている音色や新しく作成した音色（☞P.8-17）から選びます。
- 旋律１と旋律17、旋律２と旋律18、旋律３と旋律19…旋律16と旋律32は、それぞれ同じ音色になります。

7 メロディの強弱を設定する

- お買い上げ時には、すべての旋律が「強い」に設定されています。
- 旋律ごとに「強い」、「普通」、「弱い」のいずれかを選びます。

8 入力したメロディを登録する

- すべて入力できれば、登　します。
- 着信パターン（☞P.8-3）で、データフォルダに登　したオリジナル着信音を選べば、着信音として利用できます。

メロディの入力方法

１音ごとに次の手順で入力します。

- 旋律１～旋律32とも、同様の操作で入力します。

1 音の高さや休符を指定する

下表のボタンを使用します。

ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	休符
1	2	3	4	5	6	7	0

<音の高さの指定>

- 上記のボタンを１回押すと、４分音符が指定されます。同じボタンをくり返し押すと、同じ音で１オクターブ上または下の音が順番に選択できます。

ラ →6→ ラ▲ →6→ ラ▼ →6→ ラ▼ →6→ ラ

- 音が指定された状態で◎を押すと、半音ずつ上または下に高さが変わります。

…ド ⇄ ド# ⇄ レ ⇄ レ# ⇄ ミ…

<休符の入力>

- [0]を押します。「㊡」が表示され、４分休符が入力されます。

2 音符や休符の種類を指定する

[*]または[#]をくり返し押します。

４分音符（４分休符）→[*]→８分音符（８分休符）→[*]→16分音符（16分休符）→[*]→全音符（全休符）→[*]→２分音符（２分休符）→[*]→４分音符

<付点付きの音符や3連符の指定>
●音符を選んだあと、9を押します。
付点が利用できるのは、2分音符(2分休符)、4分音符(4分休符)、8分音符(8分休符)です。

なし 付点 3連符 なし

●3連符は3つ続けて入力してください。

例)

注意 3つ続いていない3連符が入力されているメロディは、正しく再生できなかったり、スーパーメールに添付できないことがあります。
また、音の高さが極端に違う3連符が入力されているメロディも、スーパーメールに添付できないことがあります。

<スラーの指定>
●音符を選んだあと、8を押します。音符の右に「_」が表示され、次の音となめらかにつながるようになります。

なし スラー なし

■これで、1つの音の指定は終了です。
次の音を入力するときは、で、カーソルを1つ右に進めたあと、前ページの操作からくり返します。
●音符が入力されていない位置にカーソルがあるとき、を押すと、直前の音符と同じ音符が入力できます。

注意
●同じ音階(高さ)の音を複数の旋律で同時に鳴らしたときは、正しく再生されないことがあります。
●同時に多くの旋律を鳴らすと、ひずみや音割れを起こすことがあります。

補足 メロディを入力するとき、ボタンを押すと指定した音が鳴ります。ただし、マナーモード(P.3-3)設定中は鳴りません。

オリジナル着信音を作成する

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、オリジナル着信音を登 できません。不要なファイルを消去(P.12-46)してから作成してください。

1 **●17の順に押す。**

2 **「1新規作成」を選び、●を押す。**

3 **タイトルを入力し、●を押す。**
●全角12文字(半角24文字)以内で必ず入力してください。
●入力したタイトルは、自動的にファイル名としても登 されます。ファイル名は変更できます。(P.12-46)

4 **テンポ(P.8-10)を選び、●を押す。**

5 **和音数を選び、●を押す。**

6 **音の高さや休符を指定する。(P.8-11)**

7 **音符や休符の種類を指定する。(P.8-11)**

8 **1つの音が入力できれば、を押す。**
カーソルが1つ右に移動し、次の音が入力できます。

9 **操作6~8をくり返し、音を順に入力する。**
●このあと(メニュー)を押すと、操作11~20の音色設定、強弱設定をここで行うこともできます。
- すべての旋律のメロディの再生:(♪再生)
  - ■再生の停止:上記操作のあと、再生中に(停止)
- 表示中の旋律のメロディを再生(カーソル位置まで):
  - ■再生の停止:上記操作のあと、再生中に(停止)
- 他の旋律のメロディ入力:(押すたびに旋律切り替え)

10 **すべての音が入力できれば、●を押す。**
●音色や強弱を設定しないときは、このあとP.8-14操作21へ進み、作成したオリジナル着信音を登 してください。
- 入力済のメロディ修正:「2修正」選択➡●(修正の詳細:P.8-15~P.8-16)

11 **「音色設定」を選び、●を押す。**

12 **旋律を選び、●を押す。**

13 **で音色のジャンルを選び、で音色を選ぶ。**
●オリジナル音色を選ぶときは、「**オリジナル(FM)**」または「**オリジナル(WT)**」を選んでください。
- 作成したメロディ再生:(**再生**)
  - ■再生の停止:上記操作のあと、再生中に(**停止**)
- 音色の確認:(**確認**)➡「**ドレミファソラシド**」再生
  - ■再生の停止:上記操作のあと、再生中に(**停止**)

14 **●を押す。**
- 他の旋律の設定:操作12~14をくり返す

15 ✓（完了）を押す。

●強弱を設定しないときは、このあと操作21へ進みます。

16「強弱設定」を選び、◉を押す。

17 旋律を選び、◉を押す。

18「1強い」～「3弱い」のいずれかを選ぶ。

■ メロディの強弱の確認：◎（再生）

▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

19 ◉を押す。

■ 他の旋律の設定：操作17～19をくり返す

■ 設定したメロディの確認：◎（再生）

▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

20 ✓（完了）を押す。

21「1登録」を選び、◉を押す。

22 ◉を押す。

V602SHのデータフォルダのメロディフォルダに登　されます。

●別のフォルダを選んで登　したり、SDメモリカードに登　することもできます。

補足 フォルダ内に同じ名前のオリジナル着信音があるときは、ファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

オリジナル着信音作成中に着信があると

■ 作成中の内容は保存されています。通話終了後、オリジナル着信音の画面に戻ります。

注意 スピーカーから聞こえる音は、実際の楽器の音色とは異なることがあります。
また、音色や音階によっては、聞こえる音量が異なったり、ひずんだように聞こえることがあります。

補足 多くの旋律に16分音符のような短い音符や３連符を多く入力すると、◎（再生）を押しても再生できないことがあります。また、◉（登録）を押したときも確認メッセージが表示され、登　できないことがあります。
このときは、旋律の数を減らしたり、短い音符を長い音符に変更したり、３連符を普通の音符に変更するとエラーを解消できます。

設定できる音色

128種類の基本音色と、61種類の拡張音色があります。

●ご自分で作ったオリジナル音色を８種類登　できます。

●それぞれの音色の音程（オクターブ）も変更できます。（音色オクターブ設定：☞P.8-22）

オリジナル着信音を修正する

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、修正したオリジナル着信音を登　できません。不要なファイルを消去（☞P.12-46）してから修正してください。

1 ◉[1][7]の順に押す。

2「3データフォルダ」を選び、◉を押す。

オリジナル着信音には「♫」が表示されます。

■ SDメモリカード内のサウンドの修正：✓（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

3 オリジナル着信音を選び、✓（メニュー）を押す。

4「その他編集機能」を選び、◉を押す。

5「データ編集」を選び、◉を押す。

■ 音色の修正：☞P.8-13～P.8-14操作11～15

■ 強弱の修正：☞P.8-14操作16～20

6 タイトルを修正し、◉を押す。

7 テンポを選び、◉を押す。

8 和音数を選び、◉を押す。

■ 他の旋律の修正：[文字]

9 修正する音に、カーソルを移動する。

和音数の変更

■ 和音数を変更すると、データの一部が失われることがある旨の確認画面が表示されることがあります。「1YES」を選び、◉を押すと、和音数が変更されます。（下記の表を参照してください。）
和音数の変更を中止するときは、「2NO」を選び、◉を押したあと、やり直してください。

元の和音	変更後の和音	消去される内容
８和音	16和音	各旋律の191音目以降の音
８和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	８和音	旋律９～16
32和音	８和音	旋律９～32
32和音	16和音	旋律17～32

■ 和音数を変更すると、音色が変わることがあります。

10 *音を変更するとき*

1 ◎で音の高さを、#/*/8/9の各ボタンで音符や休符の種類を変更する。（☞P.8-11）

- 1 ～ 7 の各ボタンで音の高さを変えたり、音符⇔休符の変更はできません。

音を追加するとき

1 追加する音を入力する。

- カーソル位置に、新しく入力した音が追加されます。
- 入力できる音数（☞P.8-9）を超えると、追加できません。

音を消去するとき

1 クリアを押す。

カーソル位置の1音が消去されます。

- すべての音を消去するときは、クリアを1秒以上押します。

■ 連続したメロディの消去：◎（メニュー）➡「6 カーソル後消去」／「7 カーソル前消去」選択➡◉

コピー／切り取りを行うとき

1 ◎（メニュー）を押したあと、「3コピー」または「4カット」を選び、◉を押す。

2 コピー／切り取るメロディの最初の音を指定し、◉を押す。

3 コピー／切り取るメロディの最後の音を指定し、◉を押す。

切り取ると、指定したメロディが元の画面から消去されます。

4 コピー／貼り付け先を表示する。

- 他のメロディにコピー／貼り付けするときは、コピー／貼り付け元の編集を中止するか登　したあと、コピー／貼り付け先を表示させてください。

5 ◎（メニュー）を押したあと、「5ペースト」を選び、◉を押す。

6 コピー／貼り付けする位置で、◉を押す。

11 修正が終われば、◉を押す。

■ 音色や強弱の修正：☞P.8-13～P.8-14操作11～20

12「1登録」を選び、◉を押す。

13「2上書登録」を選び、◉を押す。

修正したオリジナル着信音が登　されます。

補足 「1新規登録」を選び◉を押すと、登　先選択画面が表示されます。このあと、登　先（フォルダ）を選び◉を押すと、修正前のメロディは変更されず、新しいメロディとして登　できます。（ファイル名には自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。）

8 音の設定

オリジナル着信音を消去する

1 ◉1 7の順に押す。

2「3データフォルダ」を選び、◉を押す。

3 オリジナル着信音を選び、◎（メニュー）を押す。

4「消去」を選び、◉を押す。

5「1YES」を選び、◉を押す。

オリジナル音色の作成

新しく音色を作り、オリジナル着信音などの音色として利用できます。

- 8和音用／16和音用、32和音用、WT音源それぞれ、8種類まで登　できます。

オリジナル音色の基礎知識

オリジナル音色は、FM音源のしくみを利用し「アルゴリズム」、「オペレータ」、「エフェクト周波数」の動作（パラメータ）を設定することにより、お好みの音色を作成するものです。

- あらかじめ登　されている音色、または新しく作成したオリジナル音色を利用します。実際に音色を再生しながら、オリジナル音色を作成してください。
- WT音源の音色も作成できます。

作成の流れ

1 和音の種類を選ぶ

- 「8,16和音用」、「32和音用」、「WT音源」のいずれかを選びます。

2 オリジナル音色の登録先を選ぶ

3 オリジナル音色の名前を入力する

- ここで入力した名前が、音色選択時に表示されます。
- 最大全角6文字（半角12文字）まで入力できます。

4 ベースになる音色を選ぶ

- あらかじめ登　されている音色から選びます。

15:05
ベース音色設定
◀[ピアノ]▶
ピアノ
ブライトピアノ
グランドピアノ
ホンキートンクピアノ
エレクトリックピアノ1
エレクトリックピアノ2
ハープシコード
クラビ
再生 ●選択

8 音の設定

5 アルゴリズムを選ぶ

- 8 ,16 和音は6種類、32 和音は2種類のアルゴリズムから選びます。
- WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

15:05
1 アルゴリズム3
2 アルゴリズム4
3 アルゴリズム5
4 アルゴリズム6
5 アルゴリズム7
6 アルゴリズム8
●選択

6 各オペレータのパラメータを設定する

- 8 ,16 和音は4種類、32 和音は2種類のオペレータが設定できます。
- 選んだ音色のパラメータが自動的に設定されています。
- で設定するパラメータを選び、で内容を変更できます。
- 設定中に（**再生**）を押すと、音色が流れます。

15:05
OP1設定
マルチプル 1
サスティーン ON
キースケールレート 2
キースケールレベル 0
トータルレベル 38
アタックレート 0
ディケイレート 15
サスティーンレベル 2
サスティーンレート 14
リリースレート 11
KEYOFF無視 OFF
波形選択 波形1
再生 設定 完了

7 エフェクト周波数や基本オクターブなどを設定する

8 音色を登録する

- 設定がすべて完了すれば、登　します。
- 登　したオリジナル音色は、オリジナル着信音の音色として利用できます。

> **WT音源**
>
> ■ 楽器などの音色の波形データを記　したものを読み出して利用する形式の音源です。原音に近い音色を着信音として利用できます。

FM音源

「**オペレータ**」と呼ばれる1つの正弦波を発生させる機能を組み合わせることで、色々な音色を合成します。
オペレータの組み合わせ方法を「**アルゴリズム**」といいます。
オペレータはこのアルゴリズムの違いにより、「**モジュレータ**」（変調をかける方）、「**キャリア**」（変調をかけられる方）として動作します。

フィードバック
オペレータ1
変調をかける
オペレータ2
色々な音
「モジュレータ」
「キャリア」

- 各オペレータには、マルチプルやサスティーンといった様々な動作（パラメータ）を設定することができます。
- 特定のオペレータに対して、フィードバックを設定することで、より幅広い音色を作ることができます。

アルゴリズムの設定

オペレータの組み合わせを設定します。8和音／16和音用は6種類、32和音用は2種類の組み合わせから選びます。

8和音／16和音用

アルゴリズム3　アルゴリズム4　アルゴリズム5　アルゴリズム6
アルゴリズム7　アルゴリズム8

32和音用

アルゴリズム1　アルゴリズム2

1 （**網がけ数字**）
モジュレータ（変調をかける方）を示します。

2 （**白数字**）
キャリア（変調をかけられる方）を示します。

- 選んだアルゴリズムにより、機能するオペレータが変化します。
- WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

オペレータの設定

オペレータに設定できるパラメータの意味と設定内容は次のとおりです。

- 和音数によっては、設定できるパラメータの項目が制限されることがあります。

パラメータ	意　味
マルチプル（13段階）	音色に最も影響を与えるパラメータで、キャリアの値が大きいと高い音になります。モジュレータの値を変えることでいろいろな音色を設定できます。
サスティーン（ON/OFF）	1音符の発音長（1つの音符の長さ）終了後もそのまま音を伸ばすかどうかを設定します。ピアノ、打楽器系などで余韻を残す音を作りたいときは、「ON」に設定してください。
キースケールレート（2段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど音の立ち上がりや立ち下がりが早くなります。「2」に設定すると、より強調されます。
キースケールレベル（4段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど、音量が小さくなるものがあります。この度合いをキースケールレ　ルをかけないものを含めて、4段階から選択します。
トータルレベル（64段階）	（1）**キャリア** この値が大きくなると音量も大きくなります。 音量を抑えたい伴奏などは小さい値に設定し、それ以外は最大（64）に設定することをおすすめします。 （2）**モジュレータ** この値が大きくなると明るい、きらびやかな音色になります。 逆に値が小さくなると柔らかい音色になります。通常はこの値を目安として40〜64の範囲に設定すると、音色の変化を楽しめます。

パラメータ	意　味
アタックレート（15段階）	音が出始めてから最大音量になるまでの時間を設定します。 この時間を長く設定すると音が出ないことがありますので、この時間を長くする音色を使用するときは長い音符にしたり、テンポを遅く設定するようにしてください。
ディケイレート（16段階）	最大音量になったあと、サスティーンレ　ル（持続音量、減衰開始音量）まで音量が下がる時間を設定します。
サスティーンレベル（16段階）	持続音では持続して出る音量を表し、減衰音では減衰を開始する音量を表します。この値が大きいほど音量は大きくなります。
サスティーンレート（16段階）	サスティーンレ　ルに達してからの減衰を設定します。値が小さいほどサスティーンレ　ルを持続する時間が長くなります。また、「16」に設定すると持続音、それ以外では減衰音となります。
リリースレート（16段階）	持続音では音符の長さの発音を終了してから音が出なくなるまでの時間を表し、減衰音では減衰開始から音が出なくなるまでの時間を表します。 この時間が短いほど早く鳴り終わります。 余韻が必要な音色では時間を長く設定してください。
KEYOFF無視（ON/OFF）	ドラムなどの減衰音では「ON」にすることにより、音が急に途切れる現象を防ぐことができます。
波形選択（29種類）	基本となる波形を選択します。
ビブラート（４段階/OFF）	音程の変化（ビブラート）を有効にするかどうかを設定します。
AM変調（４段階/OFF）	音の強さの変化（トレモロ）を有効にするかどうかを設定します。
フィードバック（8段階）	フィードバックされるオペレータを選択します。

補足　リリースレートが大きい持続音は、音符の次に休符があっても、鳴り続けます。

その他の設定

パラメータ	意　味
エフェクト周波数（４段階）	音程の変化（ビブラート）および音の強さの変化（トレモロ）の揺れの周期を設定します。数字が大きくなるほど、周期が短くなります。
基本オクターブ（４段階）	音色の音程（オクターブ）を設定します。
パンポット（30段階）	音の左右の定位を設定します。L（左）、R（右）の組み合わせで設定し、数字が大きいほど、左または右によった音になります。
サスティーン（ON/OFF）	音をのばすかどうかを設定します。
ビブラート倍率（４段階/OFF）	ビブラートの倍率を設定します。また、ビブラートを無効にすることもできます。

●WT音源では、「基本オクターブ」、「サスティーン」、「ビブラート倍率」の設定はありません。

オリジナル音色を作成する

1 ◉ 1 8 の順に押す。

2「❶8,16和音用」、「❷32和音用」、「❸WT音源」のいずれかを選び、◉を押す。
すでに名前を変更して音色を設定しているときは、変更された名前が表示されます。

3 登録先を選び、◉を２回押す。
●名前を変更しないときは、◉を１回押したあと、操作５へ進みます。

4 名前を入力し、◉を押す。
●最大全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

5「ベース音色設定」を選び、◉を押す。

6 ◈でベースとなる音色のジャンルを選び、◈で音色を選ぶ。
■ 選んだ音色の確認：◎（再生）
■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

7 ◉を押す。

8「音色設定」を選び、◉を押す。
●アルゴリズムを変更しないときは、このあと操作11へ進みます。

9「アルゴリズム」を選び、◉を押す。
設定できるアルゴリズムが表示されます。

10 利用するアルゴリズムを選び、◉を押す。
●オペレータを変更しないときは、このあと操作15へ進みます。

11 OP1などのオペレータを選び、◉を押す。
ース音色のパラメータが、あらかじめ設定されています。

12 ◈でパラメータを選び、◈で内容を変更する。
■ パラメータの内容：☞P.8-19～P.8-20

13 操作12をくり返し、必要なパラメータをすべて変更する。
■ 変更後の音色の確認：◎（再生）
■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

14 ◉または◎（完了）を押す。

15「エフェクト周波数」を選び、◉を押す。

16 ビブラート／トレモロの周期を選び、◉を押す。
エフェクト周波数設定完了の確認メッセージが表示されます。

17「基本オクターブ」を選び、◉を押す。

18 音色の音程を選び、◉を押す。
オクターブ設定完了の確認メッセージが表示されます。

19「パンポット」を選び、◎で値を選ぶ。

20「サスティーン」を選び、◎で「ON」または「OFF」を選ぶ。

21「ビブラート倍率」を選び、◎で倍率を選ぶ。

22 ◎（完了）を押す。

23 すべての設定が終われば、◎（完了）を押す。
■ 別のオリジナル音色の作成：☞P.8-21～P.8-22の操作3～23をくり返す

その他の音関連機能

スピーカーホン／スピーカー受話設定

スピーカーを使っての通話時に「**スピーカーホン**」か「**スピーカー受話**」に設定できます。

お買い上げ時 OFF

◉ 1 6 ➡「1スピーカーホン」／「2スピーカー受話」選択 ➡ ◉

通常の通話

◉ 1 6 ➡「3OFF」選択 ➡ ◉

スピーカー利用時の通話方法

■ ダイヤル前やダイヤル後、または着信中や通話中に、◎を1秒以上押します。
●「1 **スピーカーホン**」に設定しているときは「🔊」が、「2 **スピーカー受話**」に設定しているときは「🔈」が表示されます。
●「3OFF」に設定しているときは、通常の通話となります。
■ 通話を終了すると、スピーカーを使っての通話も解除されます。
■ 通話中にスピーカーを使っての通話を解除するときは、◎を1秒以上押します。

注意
●オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンなどの利用中は、スピーカーでの通話はできません。
●「**スピーカーホン**」にして電話をかけると、呼出音がスピーカーから聞こえないことがあります。また、周りの騒音が大きいときなどは、会話が聞こえにくくなることがあります。
●「**スピーカー受話**」にすると、こちらの声は相手に届きませんので、通話できません。

音色オクターブ設定

音色の音程（オクターブ）を、音色ごとに4段階で設定します。

◉ 1 9 ➡ ◎でジャンル、◎で音色選択 ➡ ◉ ➡ 音程選択 ➡ ◉

■ 音色や音程の確認：◎（♪再生）
▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

●オリジナル音色の音程は、「**基本オクターブ**」（☞P.8-21～P.8-22操作17、18）で変更してください。

ミュージックプレイヤー

ミュージックプレイヤーをご利用になる前に

ミュージックプレイヤーのはたらき

V602SHとオーディオ機器を接続して、V602SHに取り付けたSDメモリカードにCDなどの音楽を　音できます。この　音した音楽を、V602SHのミュージックプレイヤーで再生します。

- パソコンなどでSDメモリカードに保存した音楽データ（SD-Audio規格で保存されたセキュアMP3データ）を、V602SHで再生できます。ただし、音楽データの形式やSDメモリカードの状態、保存方法などにより、再生できないこともあります。
- V602SHにはSDMI（Secure Digital Music Initiative）の取り決めに従い、著作権保護のための暗号技術が組み込まれています。データを記　する際にSDメモリカードとの間でデータの暗号化／認証の処理を行うことで、データの不正な複製や再生ができなくなっています。認証された機器以外ではこの暗号化されたデータは再生できません。また、SDMIの取り決めに従い、コピーが禁止されているデータは　音できません。

ミュージックプレイヤーをご利用になるために必要なもの

- ボーダフォンライブ！のご契約
- ミュージックキー（有料）のダウンロード
- 市販のSDメモリカードのご購入（8Mバイト／16Mバイト／32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256Mバイト／512Mバイト推奨）

オーディオ機器から録音するために必要なもの

- オプション品（光デジタル変換ケーブル、アナログ変換ケーブル：☞P.9-6、P.9-7）のご購入
- 市販の接続ケーブルのご購入

はじめてお使いになるとき（ミュージックキーのご購入とミュージックプレイヤーの起動）

次の手順でミュージックキーをダウンロード（有料）してください。

- ミュージックキーのダウンロードはウェブを利用します。電波の届く場所で操作してください。
- 一度ミュージックキーをダウンロードいただいたあとは、通常の機能と同様にご利用いただけます。

1 ◉◎（オススメ）の順に押す。

2 「ミュージックプレイヤー」を選び、◉を押す。

ミュージックプレイヤーのご利用に関する画面が表示されます。

- すでにミュージックキーをダウンロードされているときは、ミュージックプレイヤーの画面が表示されます。

15:05
ミュージックプレイヤー(1/4)
ミュージックプレイヤーをご利用いただくためには有料のミュージックキーが必要です。ミュージックキー代金のほかに別途通信料がかかります。
次のページへ

3 ◎を3回押し、「ミュージックプレイヤー（4／4）」の画面を表示する。

4 ◎（YES）を押す。

ウェブに接続され、ミュージックキーダウンロードの画面が表示されます。

- ミュージックキーダウンロードの画面では、次の内容などが確認できます。
  - ■ミュージックキーの料金
  - ■お支払方法
  - ■利用規約
  - ■ミュージックキーに関するお問い合わせ先

操作の中止：◎（NO）

5 利用規約などの内容を十分確認したうえで、画面の内容に従い、ミュージックキーをダウンロードする。

6 ダウンロード完了後、ミュージックプレイヤーが起動する。

15:05
ミュージックプレイヤー
1再生モード
2録音モード
3プレイリスト
●選択

- 再生モード：SDメモリカード内の音楽を再生します。（☞P.9-14）
- 録音モード：オーディオ機器と接続して音楽を　音します。（☞P.9-8）
- プレイリスト：SDメモリカード内の音楽データを管理します。（☞P.9-17）

ミュージックプレイヤー（選択画面）

ミュージックプレイヤーの終了：◎

補足 ミュージックプレイヤー（選択画面）で約5分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

音楽の録音

録音時のご注意

充電しながら録音してください。

- 　音中に電池が切れることを防ぐため、必ず急速充電器を使用して、充電しながら　音してください。
- 電池レ　ル表示が「[電池]」以下のときは　音できません。また、　音中に電池レ　ル表示が「[電池]」になると、　音が中止されます。

音楽データは、SDメモリカードに保存されます。

- あらかじめ、V602SHでフォーマット（初期化）したSDメモリカードを取り付けておいてください。（☞P.11-3、P.11-6）

録音中は、オフラインモードに設定することをおすすめします。（☞P.9-8）

- 　音中に電話の着信やメールの受信があると、オーディオ機器の出力端子を傷める恐れがあります。また、　音が正常に行えないことがあります。
（オフラインモードにすると、電話やメールの発着信はできなくなります。）

録音中は、絶対にSDメモリカードを取り出さないでください。

- 　音データが消えたり、SDメモリカードが故障する原因となります。

注意
- お客様が　音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 　音した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 　音したデータを、別のSDメモリカードなど他のメディアにデジタル　音（コピー）することはできません。

録音時間

データが何も保存されていないSDメモリカードの　音時間の目安は次のとおりです。

SDメモリカード容量	ビットレート	録音時間
64Mバイト	96kbps	約80分
	128kbps	約60分

- 　音できる時間は、SDメモリカードの容量やビットレートの設定によって異なります。
- ビットレートとは、音楽データを記　する際の１秒あたりのデータ量を示す単位です。数字が大きいほどデータ量が多く、音の再現性がよくなります。

デジタル入力録音とアナログ入力録音

接続するオーディオ機器の出力端子に応じて、　音方法を選びます。

デジタル入力録音	光出力端子の付いたオーディオ機器と接続して　音が行えます。CDなどのデジタル信号を直接圧縮するため、高音質の音楽をSDメモリカードに保存できます。
アナログ入力録音	ライン出力端子やヘッドホン端子の付いたオーディオ機器と接続して　音が行えます。アナログ信号をデジタル信号に変換するためデジタル　音に比べて音質は劣ります。

ディスプレイ

1 録音中表示
　音中に固定表示されます。

2 シンクロ録音表示（☞P.9-10）
シンクロ　音が「ON」に設定されているときに表示されます。

3 録音入力識別表示
DIGITAL：デジタル入力　音／ANALOG：アナログ入力　音

4 動作状態表示
［○］REC：　音中／［■］STOP：停止中

5 トラック番号

6 ビットレート設定表示（☞P.9-10）

7 タイトル

8 録音レベルメータ（☞P.9-8）
アナログ　音のときに表示されます。

9 録音レベル（☞P.9-8）

10 トラックマーク表示（☞P.9-11）

11 現在の録音経過時間

12 サンプリング周波数表示（☞P.9-11）

13 録音可能な残り時間
１トラックごとに変化します。

オーディオ機器の接続方法

V602SHとオーディオ機器の接続方法を、デジタル入力　音、アナログ入力　音別に説明します。

接続時のご注意

■ オプション品の光デジタル変換ケーブルまたはアナログ変換ケーブルは、市販の光接続ケーブルまたは接続ケーブルを取り付けたあと、V602SHへゆっくりと確実に差し込んでください。
また、抜くときは、オプション品の光デジタル変換ケーブルまたはアナログ変換ケーブルとV602SHを持って、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルを強くひっぱったり、無理な力を加えると、V602SHの光デジタル／ライン入力端子が破損する恐れがあります。

■ オプション品の光デジタル変換ケーブルまたはアナログ変換ケーブルは、指定品以外は使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、V602SHや接続先のオーディオ機器を傷める恐れがあります。

デジタル入力録音

市販の光接続ケーブルとオプション品の光デジタル変換ケーブルを利用して、オーディオ機器の「**光出力端子**」とV602SHの「**光デジタル／ライン入力端子**」を接続します。

OPTICAL OUT　光出力端子へ（丸型へ）
市販の光接続ケーブル
直径3.5mmの光ミニプラグ
市販の光接続ケーブル
AC100V コンセント
オプション品の光デジタル変換ケーブル
光デジタル／ライン入力端子
DIGITAL OUT　光出力端子へ（角型へ）

アナログ入力録音

市販の接続ケーブルとオプション品のアナログ変換ケーブルを利用して、オーディオ機器の「**ライン出力端子**」または「**ヘッドホン端子**」とV602SHの「**光デジタル／ライン入力端子**」を接続します。

- アナログ入力　音のV602SHとオーディオ機器との接続は、P.9-8の操作1～4でオフラインモードにしてから行います。

LINE OUT　ライン出力端子またはヘッドホン端子へ
市販の接続ケーブル
直径3.5mm ステレオ ミニプラグ
AC100V コンセント
市販の接続ケーブル
左（赤）
R
L
右（白）　ライン出力端子へ
オプション品のアナログ変換ケーブル
光デジタル／ライン入力端子

注意
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用できません。（市販の接続ケーブルは抵抗が入っているものがあります。）
- 　音するときは、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンは利用できません。

録音する

接続したオーディオ機器で音楽を再生し、V602SHで　音します。
- 　音の前に、　音時のご注意（☞P.9-4）をご確認ください。
- 　音中の音を聞きながら　音することができます。（　音モニター）
  このときの、　音モニター音量は　音前に調整します。（☞P.9-10）
- 再生側のオーディオ機器は、あらかじめ電源を入れ、再生する曲の頭出しを行ったうえで、一時停止状態にしておいてください。

1 **◉◎（おすすめ）の順に押す。**

2 **「ミュージックプレイヤー」を選び、◉を押す。**

3 **「2録音モード」を選び、◉を押す。**

オフラインモードの設定画面が表示されます。
- 通常はオフラインモードにする（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。（☞P.9-4）
- すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」に設定しているときは、操作5へ進みます。

15:05
録音モード
録音中
着信しますか？
1YES
2NO
YES NO
●選択

4 **「2NO」を選び、◉を押す。**

　音画面が表示されます。
- 　音前に、「**音楽録音に関する設定**」（☞P.9-10）で　音状態を設定できます。

■ オフラインモードにしない：「1YES」選択➡◉

15:05
MUSIC PLAYER
ANALOG SYNC TR.AUTO
STOP
STATUS TRACK ELAPSED TIME
001 00:00:00
96 kbps kHz
TITLE
LV REMAIN
9 00:04:58
戻る ●録音 メニュー

録音レベルメーター　赤いバー

5 **オーディオ機器と接続したあと、オーディオ機器で音楽を再生し、録音レベルを確認／調整する。**

補足
- デジタル入力　音の　音レ　ルは、自動的に調整されます。
- アナログ入力　音の　音レ　ルは、お客様が調整します。
  - ■調整方法：　音開始前にオーディオ機器を再生➡◎
  - ■最も大きいときでも、　音レ　ルメーターの赤いバーが表示しないように、　音レ　ルを調整してください。
  - ■　音中は、　音レ　ルを調整できません。
- 　音停止中に約20分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

6 **◉を押す。**

「REC」と「●」が点滅して、シンクロ　音（☞P.9-10）の待機状態になります。

■ シンクロ　音を「OFF」に設定時（☞P.9-10）：◉（**録音**）➡オーディオ機器で音楽を再生
- ■ 　音の終了：上記操作のあと、◉（**停止**）

注意
- 　音中は、　音が終了するまで、絶対にSDメモリカードを取り出したり、電池パックを外さないでください。　音データが消えたり、SDメモリカードが故障する原因となります。
- 　音中は、接続ケーブルや変換プラグに触れないでください。雑音や音とびの原因となります。

7 **接続したオーディオ機器で、音楽を再生する。**

接続した機器のデータ（音）を検知して、自動的に　音を開始します。このあと、オーディオ機器で再生が終了し、一定時間以上無音が続くと、自動的に　音が終了します。
- アナログ入力　音は、接続した機器によっては、オーディオ機器が一時停止中でも　音を開始することがあります。
- P.9-8の操作4で「2NO」を選びオフラインモードを設定していたときは、　音終了後自動的に、オフラインモードは解除されます。

■ 　音停止：◉（**停止**）

補足
録音中にトラックマーク（☞P.9-11）を手動で付けるとき
- 　音中に、トラックマークを付けたいところで、㊙（**マーク**）を押します。

注意
- パソコンやサウンドボード、BS／CSデジタルチューナーで再生すると、　音レ　ルが低くなることがあります。
- 　音未チェック曲が入ってるSDメモリカードを、V602SHに取り付けてミュージックプレイヤーを利用すると、　音未チェック曲は削除されます。
  （　音未チェック曲は、J-SH51またはJ-SH52で　音時、チェックせずに　音モードを終了したときに作成されます。）

補足
- 　音中に、リピートアラームなどの予定の時刻になっても、アラーム音は鳴りません。　音モードを終了したあと、待受画面に戻るとアラーム音が鳴ります。
- V602SHで　音（保存）した音楽データには、自動的に　音日時のタイトルが付きます。タイトルは、あとで変更することができます。（☞P.9-18）

音楽録音に関する設定

● 音画面(音停止中)で㋱(メニュー)を押したあとの、 音メニュー画面で操作します。

録音モニター音量設定	音中の音を聞きながら 音するときの音量を設定します。

お買い上げ時 音量3

㋱(メニュー)➡「録音モニター音量設定」選択➡◉➡◌で音量選択➡◉

シンクロ録音設定	オーディオ機器の再生と同時に 音を開始するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ON

㋱(メニュー)➡「シンクロ録音」選択➡◉➡「1ON」/「2OFF」選択➡◉

ビットレート設定	音時のビットレートを設定します。

お買い上げ時 96kbps

㋱(メニュー)➡「ビットレート設定」選択➡◉➡「1 96kbps」/「2 128kbps」選択➡◉

●数字が大きいほど音質はよくなりますが、データ量が大きくなるため、 音可能時間は短くなります。

無音検出レベル設定	自動的にトラックマークを付けるとき、無音部分として判別するレ ルを設定します。

お買い上げ時 -41dB

㋱(メニュー)➡「無音検出レベル設定」選択➡◉➡「1 -41dB」/「2 -59dB」選択➡◉

●音量レ ルの低い状態が続く曲で「-59dB」に設定すると、トラックマークを付きにくくできます。

トラックマーク

トラックマークとは、プレイリスト内のトラック(曲)にトラック番号を付ける機能です。リピート再生やランダム再生は、このトラック単位で行います。 音開始後、下表の状態を検知すると、トラックが自動的に付きます。

デジタル入力録音	曲間の無音データを検知したとき(CDやMDなどのトラック情報を含むデータは、 音元のトラックに従ってトラックマークが付きます。)
アナログ入力録音	曲間の無音状態を検知したとき

●曲間の無音状態が正しく検知できないときは、1つのトラックとして扱われます。
●シンクロ 音を「ON」に設定しているときは、上記の状態が検知されると、 音一時停止状態になります。次のデータ(または音)を検知すると 音を再開します。
●シンクロ 音を「ON」に設定しているときは、 音一時停止状態が約15秒間続くと、 音を終了します。
●トラックマークを付けると、音が一瞬途切れます。
●接続した機器によっては、トラックマークが自動的に付かないことがあります。このときは、手動でトラックマークを付けてください。(☞P.9-9)

注意 無音(または音量レ ルの低い音)が続く曲を 音すると、無音(または音量レ ル の低い音)だけのトラックが作られることがあります。

サンプリング周波数

サンプリング周波数とは、1秒間に何回データ量(音の強さ)を記 するかを示すものです。ビットレートと同様に 音時の音質を左右し、数字が大きいほど記 回数が増え、音の再現性がよくなります。V602SHでは、 音方法や再生側の機器によって、自動的にサンプリング周波数が設定されます。

録音方法	サンプリング周波数
デジタル入力録音	再生側の機器に従い、32kHz/44.1kHz/48kHzのいずれかに自動的に設定されます。 (DVDプレーヤー出力では、DTSを「OFF」に設定してください。)
アナログ入力録音	44.1kHz固定になります。

注意 デジタル入力 音では、信号形式の内容によっては、うまく 音できないことがあります。

音楽の再生

SDメモリカードに　音（保存）した音楽を再生します。
- 再生音は、市販のステレオヘッドホンとオプション品のアナログ変換ケーブルやマイク付液晶オーディオリモコンを利用して聞くことができます。右の図を参考に差し込んでください。
- V602SHのスピーカーから聞くこともできます。

左（L）
右（R）
市販のステレオヘッドホン
①
②
オプション品のアナログ変換ケーブル

補足　オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを利用すると、音楽の再生中に音量調整できます。

再生時のご注意

- 市販のステレオヘッドホンを取り付けたり、取り外すときは、オプション品のアナログ変換ケーブルを持って行ってください。また、オプション品のアナログ変換ケーブルに無理な力を加えないでください。
  V602SHのイヤホンマイク端子が破損したり、コードが切れたりする恐れがあります。
- オプション品のアナログ変換ケーブルやマイク付液晶オーディオリモコン以外は、使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、V602SHのイヤホンマイク端子や市販のステレオヘッドホンが破損する恐れがあります。
- 市販のステレオヘッドホンとオプション品のアナログ変換ケーブルを使って再生中に電話をかけてきた相手とお話するときは、市販のステレオヘッドホンとオプション品のアナログ変換ケーブルを取り外してください。
- 電池レ　ル表示が「[電池アイコン]」以下のときは再生できません。また、再生中に電池レ　ル表示が「[電池アイコン]」になると、ミュージックプレイヤーは終了します。
- スピーカーでの再生時に、曲や再生音量によっては、ひずんだように聞こえることがあります。このときは、再生音量を下げてください。

ディスプレイ

1 再生中表示
2 音質調整表示（TONE CONTROL：P.9-16）
[Tru Bass1]：BASS1（低音強調小）／[Tru Bass2]：BASS2（低音強調大）／
[SRS]：サラウンド／[WOW]：サラウンドバス
- 何も表示されないときは、「ノーマル」設定です。

3 リピート／ランダム再生表示（PLAY SETTING：P.9-16）
[1]：1曲リピート再生／[ALL]：全曲リピート再生／RANDOM：ランダム再生
- 何も表示されないときは、「リピート再生OFF」設定です。

4 動作状態表示
［▶］PLAY：再生中／［■］STOP：停止中／［▶▶］FF：早送り中／
［◀◀］REW：早戻し中
5 トラック番号
6 ビットレート表示（P.9-10）
7 タイトル／アーティスト名
8 再生音量制限表示（TRAIN：P.9-17）
TRAIN：再生音量制限「ON」
- 何も表示されないときは、「OFF」設定です。

9 着信優先設定（P.9-17）
[着信優先アイコン]：着信優先／[着信通知アイコン]：着信通知
10 現在の再生経過時間
11 サンプリング周波数表示（P.9-11）

ミュージックプレイヤー

再生する

1 ◉◎（ ）の順に押す。

2「ミュージックプレイヤー」を選び、◉を押す。

3「1再生モード」を選び、◉を押す。

再生画面が表示されます。

- 他のトラック（曲）の再生：（メニュー）➡「プレイリスト」選択➡◉➡トラック（曲）選択➡◉

4 ◉を押す。

1曲目から再生が始まります。（途中で再生を停止していたときは、続きから再生が始まります。）

- ●最後のトラック（曲）まで再生すると、自動的に止まります。（「リピート再生OFF」時：☞P.9-16）
- 途中で再生を停止：◉（停止）
- 音量の調整：（上げる）／（下げる）
  - ■TRAIN（再生音量制限：☞P.9-17）を「ON」に設定しているときは、「音量13」より大きくはなりません。

補足　再生画面で、音楽を再生しない状態で、約5分間操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

再生中に電話やメールの着信などがあると

■再生中に電話やメール、ウェブ、ステーション（緊急情報を除く）の着信があると、再生は継続したまま、専用の着信音でお知らせします。（再生画面上部にメールの着信通知、「」や「」などが点滅します。）

●自動的に再生を停止するように設定しておくこともできます。（☞P.9-17）

■再生中に次のような動作があると、再生が自動的に停止します。続きを再生するときは、「再生する」（☞P.9-14）の操作1～4を行ってください。

- ●アラームやスケジュール、自動電源ONなどのアラームが鳴ったとき
- ●ステーションの緊急情報を受信したとき
- ●簡易留守　設定時に電話がかかり、応答文が流れたとき
- ●指定着信拒否の非通知拒否、公衆電話拒否設定時に、拒否先から電話がかかり、おことわりのメッセージが流れたとき

再生中にできること

再生中の曲を最初から再生する	を押します。 くり返し押すと、前の曲を再生します。※1
次の曲を再生する	を押します。 くり返し押すと、次の曲を再生します。※2
早送りする	を押し続けます。 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
早戻しする	を押し続けます。 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
一時停止する	◉（停止）を押します。※3 もう一度◉を押すと、再生が再開します。

※1　ランダム再生中は、をくり返し押しても再生中の曲を最初から再生します。
※2　1曲リピート再生中やランダム再生中は、を押すと再生中の次の曲から再生します。
※3　一時停止中は、早送り（早戻し）や、次（前）の曲を再生することはできません。

再生中の操作

■終了操作

再生中にを押すと、右の画面が表示されます。

- ●「1再生停止し終了」を選び◉を押すと、再生が停止し、待受画面に戻ります。
- ●「2再生継続し終了」を選び◉を押すと、再生を継続したまま、待受画面に戻ります。
- ●「3キャンセル」を選び◉を押すと、再生画面に戻ります。

15:05
ミュージックプレイヤー
終了しますか？
1再生停止し終了
2再生継続し終了
3キャンセル
●選択

■他の機能の操作

再生中でもメモリダイヤルやメール作成など、他の機能の操作を行えます。ただし、次の操作を行うと、再生を中止するかどうかの確認画面が表示されます。

電話の発信／カメラの利用／SDメモリカードの利用／スーパーメールの送信／メロディ再生／データフォルダの利用／Vアプリの起動　など

- ●「1YES」を選び◉を押すと、再生を中止し各機能が利用できるようになります。（スーパーメールは、メール送信完了後、自動的に再生が再開されます。）
- ●「2NO」を選び◉を押すと、各機能の動作を中止し、再生を継続します。

補足　再生中の待受画面でを押しても、同様の確認画面が表示されます。

音楽再生に関する設定

再生画面で㋱（メニュー）を押したあとの、再生メニュー画面で操作します。

再生設定 曲を再生するときの再生方法を設定します。

■1曲リピート再生に設定するときは、その曲の表示中（再生中または停止中）に操作してください。

お買い上げ時 リピート再生OFF

㋱（メニュー）➡「各種設定」選択➡◉➡「1再生設定」選択➡◉➡再生モード選択➡◉

音質設定 ヘッドホン利用時に低音を強調し迫力のある音にしたり、サラウンドで再生できます。

お買い上げ時 ノーマル

㋱（メニュー）➡「各種設定」選択➡◉➡「2音質設定」選択➡◉➡音質選択➡◉

●音質の種類は次のとおりです。

ノーマル	保存データをそのまま再生
BASS1	低音強調小
BASS2	低音強調大
サラウンド	SRS（サラウンド効果が得られます）
サラウンドバス	サラウンド＋BASSの効果

注意
ここでの設定は、スピーカーでの再生時には、無効となります。
また、モノラル音楽では、「**サラウンド**」は無効となります。

補足
- 再生音量を上げすぎると、曲によっては音がひずむことがあります。このときは、音質を変えるか、再生音量を下げてください。
- 「BASS1」は「**音量14**」以上に設定したとき、「BASS2」は「**音量12**」以上に設定したときに音のひずみを少なくするため、強調レベルが自動的に調整されます。
- SRS、TruBass、WOWと(●)®記号は、SRS Labs, Inc.の商標です。SRS、TruBass、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

再生音量制限（TRAIN） 再生音量の上げすぎを防ぐため、音量を「**音量13**」より大きくならないように設定します。

お買い上げ時 OFF

㋱（メニュー）➡「各種設定」選択➡◉➡「3TRAIN」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

補足
「**音量14**」以上に設定されている状態で、TRAINを「ON」に設定すると、自動的に「**音量13**」に切り替わります。
ただしこのあとTRAINを「OFF」に設定しても、「**音量14**」以上の元の状態には戻りません。

着信優先設定 音楽再生中に電話がかかってきたときの動作を設定します。

お買い上げ時 着信通知

㋱（メニュー）➡「各種設定」選択➡◉➡「4着信優先設定」選択➡◉➡「1着信優先」／「2着信通知」選択➡◉

●次のいずれかを選びます。

着信優先	設定されている着信音が鳴り、再生は停止します。
着信通知	専用の着信音が鳴り、再生は継続します。

音楽ファイルを管理／編集する

「**プレイリスト**」は、録音（保存）時にSDメモリカードに作成される、トラック（曲）の管理リストです。

●プレイリストの編集や消去中に、SDメモリカードを取り出したり、電池パックを外さないでください。データが消えたり、SDメモリカードが故障する原因となります。
●電池残量をご確認ください。プレイリストの編集や消去中に電池レベル表示が「▭」になると、ミュージックプレイヤーは終了します。
●再生中には、プレイリストの編集はできません。

プレイリスト名
15:05
プレイリスト
デフォルトプレイリスト
001.04-07-22_20-10
002.04-07-22_20-14
003 04-07-22_20-19
●再生 メニュー
トラック番号 トラックのタイトル

情報確認 プレイリストやトラック（曲）の情報を表示します。

◉◎（オススメ）➡「ミュージックプレイヤー」選択➡◉➡「3プレイリスト」選択➡◉➡プレイリスト名／タイトル選択➡㋱（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

9 ミュージックプレイヤー

タイトル変更	プレイリスト名、曲名（タイトル）、アーティスト名を変更できます。

タイトル名の変更

◉◎（オススメ）➡「ミュージックプレイヤー」選択➡◉➡「3プレイリスト」選択➡◉➡タイトル選択➡㋱（メニュー）➡「トラック情報編集」選択➡◉➡「1タイトル」選択➡◉➡タイトル入力➡◉

アーティスト名の変更

◉◎（オススメ）➡「ミュージックプレイヤー」選択➡◉➡「3プレイリスト」選択➡◉➡タイトル選択➡㋱（メニュー）➡「トラック情報編集」選択➡「2アーティスト」選択➡◉➡アーティスト名入力➡◉

プレイリスト名の変更

◉◎（オススメ）➡「ミュージックプレイヤー」選択➡◉➡「3プレイリスト」選択➡◉➡「♪」の行選択➡㋱（メニュー）➡「リストタイトル編集」選択➡◉➡リストタイトル入力➡◉

曲移動	プレイリストに表示される曲の順番を入れ替えることで、再生順を変更できます。

◉◎（オススメ）➡「ミュージックプレイヤー」選択➡◉➡「3プレイリスト」選択➡◉➡㋱（メニュー）➡「移動」選択➡◉➡曲選択➡◉➡移動先選択➡◉

曲消去	1曲ずつまたはプレイリスト内のすべての曲を消去します。

1曲消去

◉◎（オススメ）➡「ミュージックプレイヤー」選択➡◉➡「3プレイリスト」選択➡◉➡タイトル選択➡㋱（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

プレイリスト内の全曲消去

◉◎（オススメ）➡「ミュージックプレイヤー」選択➡◉➡「3プレイリスト」選択➡◉➡「♪」の行選択➡㋱（メニュー）➡「リスト内全消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

ボイスレコーダー

音声の録音

ディスプレイ

1 **録音中表示**
　音中に赤色表示されます。

2 **録音モード表示**（☞P.10-4）
LONG：ロング／FINE：ファイン

3 **動作状態表示**
［○］REC：　音中／［■］STOP：停止中

4 **現在の録音経過時間**

5 **登録フォルダ**

6 **登録先表示**
：本体（V602SH）／：メモリカード（SDメモリカード）

7 **マイク感度表示**（☞P.10-4）
：会議用／：口述用

8 **タイトル**

9 **録音可能な残り時間**
　音を終了する（　音した音声を登　する）、または　音中に㋮（**マーク**）を押すと変化します。

録音する

V602SHのマイクを利用して、V602SHやSDメモリカードに音声を　音します。

●お買い上げ時の状態でV602SHに　音できるのは、　音モード「**ロング**」で最大100分、　音モード「**ファイン**」で最大20分です。（最大　音時間10分／回）
●1フォルダあたり最大100ファイルまで　音して登　できます。
●通話中の音声の　音はできません。
●外部マイクとして利用できないプラグなどをイヤホンマイク端子に接続すると、正しく　音ができないことがあります。
●ご利用の前に、電池残量をご確認ください。（電池レ　ル表示が「　」では　音できません。　音中に電池レ　ル表示が「　」になると、　音は中止されます。）

1 ◉◎（　）の順に押す。

2「ボイスレコーダー」を選び、◉を押す。

3「2録音モード」を選び、◉を押す。
オフラインモードの設定画面が表示されます。
●　音中に着信があると　音は停止します。通常はオフラインモードにする（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。
●すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」に設定しているときは、操作5へ進みます。

録音モード
録音中
着信しますか？
1YES
2NO
YES NO
●選択

補足
はじめて録音するときや前回登録したフォルダが消去されているとき
●ボイスフォルダ画面が表示されます。このあと、　音した音声を登　するフォルダを選び、◉を押します。
●フォルダを作成するときは、次の操作を行います。
㋮（**メニュー**）➡「**フォルダ作成**」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉
■このあと、作成したフォルダを選び、◉を押すと、　音した音声の登　先として指定されます。

4「2NO」を選び、◉を押す。
　音画面が表示されます。
■登　先の変更：㋮（**メニュー**）➡「**フォルダ選択**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉
■新しいフォルダの作成：㋮（**メニュー**）➡「**フォルダ選択**」選択　➡◉➡㋮（**メニュー**）➡「**フォルダ作成**」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉
■登　先の切替（V602SH⇔SDメモリカード間）：㋮（**メニュー**）➡「**フォルダ選択**」選択➡◉➡㋮（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」／「**本体へ切替**」選択➡◉
■オフラインモードにしない：「1YES」選択➡◉

5 ◉を押す。
　音が始まります。（　音中はスモールライトが確認点灯します。）
●　音中に㋮（**マーク**）を押すと、以降の音声を別ファイルに分割できます。

注意
●　音中は、V602SHに衝撃を与えないでください。雑音や音とびの原因となります。
●SDメモリカードに音声が大量に保存されているときは、　音開始までにしばらく時間がかかることがあります。

6 録音を終了するときは、◉を押す。

音した音声が登　されます。

- 再び◉（録音）を押すと、　音を再開できます。このときは、別のファイルとして同じフォルダに登　されます。

補足
- V602SHで　音した音声データには、自動的に　音日時のタイトルが付きます。タイトルは、あとで変更することができます。
- オフラインモードが設定されていない状態で　音中に着信があると、　音が自動的に終了したあと、設定されている着信音が鳴り、着信をお知らせします。（途中までの　音内容は保護されています。）
- 　音中は、リピートアラームの予定の時刻になっても、アラームは動作せず　音が継続されます。　音終了後、アラームが動作します。
- P.10-3の操作４で、「2NO」を選びオフラインモードを設定していたときは、　音モードを終了すると自動的にオフラインモードは解除されます。

音声録音に関する設定

マイク感度設定　広い場所に適した「会議用」または対面打合せなどに適した「口述用」に設定します。

お買い上げ時 会議用

録音画面で㋱（メニュー）➡「マイク感度設定」選択➡◉➡「1会議用」／「2口述用」選択➡◉

- ご使用の目安は、「会議用」でV602SHのマイクから２m前後、「口述用」で20〜30cmです。（いずれも、一度試しに　音することをおすすめします。）

録音モード設定　音モードを「ロング」または「ファイン」に設定します。

お買い上げ時 ファイン

録音画面で㋱（メニュー）➡「録音モード設定」選択➡◉➡「1ロング」／「2ファイン」選択➡◉

- 「ファイン」に設定すると音質は良くなりますが、ファイル容量が大きくなるため、　音可能時間は短くなります。
- ボイス着信音用の音声を　音するときは、「ファイン」で　音してください。

ファイル消去　音した音声を１件ずつ消去します。

録音画面で㋱（メニュー）➡「データ消去」選択➡◉➡音声選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

音声の再生

ディスプレイ

1 再生中表示
再生中に緑色表示されます。

2 再生モード表示（☞P.10-7）
1：１件再生／ALL：全件再生

3 動作状態表示
［▶］PLAY：再生中／［■］STOP：停止中／［▶▶］FF：早送り中／［◀◀］REW：早戻し中

4 再生音量（☞P.10-6）

5 フォルダ名

6 ファイル名

7 登録先
本体（V602SH）／SD：メモリカード（SDメモリカード）

8 再生音量制限表示（TRAIN：☞P.10-7）
TRAIN：再生音量制限「ON」
- 何も表示されないときは、「OFF」設定です。

9 現在の再生経過時間

再生する

- 再生音は、V602SHのスピーカーから聞こえます。
- 市販のステレオヘッドホンとオプション品のアナログ変換ケーブルを利用して再生することもできます。(☞P.9-12)

1 ◉◎(オススメ)の順に押す。

2「ボイスレコーダー」を選び、◉を押す。

3「1再生モード」を選び、◉を押す。

再生画面が表示されます。

■ 別の音声の再生:Ⓜ(メニュー)➡「ボイスフォルダ」選択➡◉➡◎➡フォルダ選択➡◉➡音声選択➡◉

補足

はじめて再生するときや前回再生したフォルダが消去されているとき
- ボイスフォルダ画面が表示されます。このあと、次の操作を行い、再生する音声を指定します。
  フォルダ選択➡◉➡音声選択➡◉

ボイスフォルダ画面での操作
- フォルダ作成
  ◎➡Ⓜ(メニュー)➡「フォルダ作成」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉
- 名前の変更
  音声選択➡Ⓜ(メニュー)➡「名前の変更」選択➡◉➡ファイル名入力➡◉
- ファイル消去
  音声選択➡Ⓜ(メニュー)➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
- ファイル移動(V602SH⇔SDメモリカード間)
  音声選択➡Ⓜ(メニュー)➡「移動」選択➡◉➡「1本体」/「2メモリカード」選択➡◉➡移動先フォルダ選択➡◉➡◉

SDメモリカード内の音声を再生するとき
- ボイスフォルダ画面で、Ⓜ(メニュー)を押したあと、「メモリカードへ切替」を選び、◉を押します。

4 ◉を押す。

再生が始まります。

■ 音量の調整:◎(上げる)/◎(下げる)
- TRAIN(再生音量制限:☞P.10-7)を「ON」に設定しているときは、「音量4」より大きくはなりません。

再生中に電話やメールの着信があると

■ 電話がかかってきたときは、再生は停止し、設定されている着信音が鳴ったあと、着信をお知らせします。
■ メールなどの着信があったときの動作は、音楽再生時と同様です。(☞P.9-14)

再生中にできること

再生中の音声を最初から再生する	◎を押します。 くり返し押すと、前の音声を再生します。
次の音声を再生する	◎を押します。 くり返し押すと、次の音声を再生します。
早送りする	◎を押し続けます。※1 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。※2
早戻しする	◎を押し続けます。※1 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。※2
一時停止する	◉(停止)を押します。 もう一度◉を押すと、再生が再開します。

※1 停止中は操作できません。
※2 1件再生にしているときは、ファイルをまたいでの早送り、早戻しはできません。

音声再生に関する設定

1件再生/全件再生 指定した音声だけ再生するか、同じフォルダ内の音声を連続再生するかを設定します。

お買い上げ時 1件再生

再生画面(再生停止中)でⓂ(メニュー)➡「各種設定」選択➡◉➡「1再生設定」選択➡◉➡「11件再生」/「2全件再生」選択➡◉

再生音量制限(TRAIN) 再生音量の上げすぎを防ぐため、音量を「音量4」より大きくならないように設定します。

お買い上げ時 OFF

再生画面(再生停止中)でⓂ(メニュー)➡「各種設定」選択➡◉➡「2TRAIN」選択➡◉➡「1ON」/「2OFF」選択➡◉

補足

「音量5」に設定されている状態で、TRAINを「ON」に設定すると、自動的に「音量4」に切り替わります。ただし、このあとTRAINを「OFF」に設定しても、「音量5」には戻りません。

ファイル分割 再生中に指定した位置または一時停止している位置で、ファイルを2つに分割します。

再生中/一時停止中にⓂ(メニュー)➡「データ分割」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

注意

- 音声の先頭および末尾から約20秒程度の間は、データ分割はできません。
- V602SHまたはSDメモリカードの空き容量によっては、分割できないことがあります。
- V602SH以外でフォーマットしたSDメモリカードを使用すると、データ分割したファイルが正しく再生されないことがあります。

録音した音声を着信音に登録

ボイスレコーダーで　音した音声の一部を切り出し、ボイス着信音に利用できるボイスファイルを作成します。

●ボイス着信音に利用できるのは、　音モードを「**ファイン**」に設定し、V602SHのボイスフォルダ（フォルダ1）に登　したファイルです。
●切り出しは、再生中に指定した位置、または一時停止している位置から行います。（最大約30秒）
●切り出したボイスファイルは、新しいファイルとしてV602SHのボイスフォルダ（フォルダ1）に保存されます。

着信ボイスを作成する

1 再生中に、切り出しを始める位置で、㋲（メニュー）を押す。

●一時停止中でも操作できます。

2「切り出し」を選び、◉を押す。

3 ◉を押す。

再生が再開されます。

4 切り出しを終わる位置で、◉を押す。

■ ボイスファイルの確認：「2再生確認」選択➡◉
　■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◉
■ 切り出しのやり直し：「3取消」選択➡◉

5「1登録」を選び、◉を押す。

着信音に設定する

1 再生画面で、㋲（メニュー）を押す。

2「ボイスフォルダ」を選び、◉を押す。

3 ボイスファイルを選び、㋲（メニュー）を押す。

4「着信音設定」を選び、◉を押す。

●「着信音設定」が選択できないボイスファイルは、利用できません。

5 着信の種類を選び、◉を押す。

メモリカード

SDロゴは商標です。

Verance

Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.

メモリカードをご利用になる前に

撮影した画像や音楽の保存、V602SH内のデータフォルダやメモリダイヤルなどのデータの保存に、SDメモリカードを利用できます。

- V602SHには、SDメモリカードは同梱されておりません。市販のSDメモリカードをご購入のうえ、ご利用ください。
- 市販のSDメモリカードをV602SHで使用する際は、フォーマットしてください。（☞P.11-6）
- SDメモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。

メモリカードの取り扱いについて

SDメモリカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

- V602SHの電源を入れた状態でSDメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- 貼られているラ　ルは、はがさないでください。SDメモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 新たにラ　ルやシールを貼らないでください。SDメモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラ　ルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。
  鉛筆やボールペンは、ご使用にならないでください。SDメモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- SDメモリカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- SDメモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。
- SDメモリカードは、推奨のものをご使用ください。推奨以外のSDメモリカードは使用できないことや正しく動作しないことがあります。

注意　SDメモリカードの登　内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。
なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

補足
- V602SHは**SDメモリカード**および**SD-ROMカード**に対応しています。
- V602SHで推奨するSDメモリカードは、8Mバイト／16Mバイト／32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256Mバイト／512MバイトのSDメモリカードです。
- 8MバイトのSDメモリカードは容量が少ないため、ご使用方法によっては、用途が制限されることがあります。

メモリカードを取り付ける／取り外す

取り付ける

必ずV602SHの電源を切った状態で取り付けてください。

1 メモリカードスロットのカバーを開く。

- メモリカードスロットには、ご購入時に保護カードがセットされていますので、SDメモリカードを入れる前に、保護カードを取り外してください。

2 SDメモリカードを「カチッ」と音がするまで、ゆっくり奥まで入れる。

- この部分を強く押さないでください。SDメモリカードの挿入、取り出しができなくなることがあります。

ラベル面を上に

3 カバーを閉じる。

書き込み禁止スイッチ

■ SDメモリカードには、データの誤消去を防止する「**書き込み禁止スイッチ**」がついています。「**書き込み禁止スイッチ**」を「LOCK」にすると、データの消去や保存などができなくなります。

書き込み禁止スイッチ
LOCK
矢印の方向へずらす

注意
- 他の機器で使用していたSDメモリカードをお使いになるときは、必ず「**カード手動シンクロ**」（☞P.11-13）を行ってください。ただし、他の機器で使用していたSDメモリカードは、データが正しく表示されないことがあります。
- SDメモリカード以外のものを挿入しないでください。カードやV602SHが破損する恐れがあります。

補足　保護カードは大切に保管し、SDメモリカードを使用しないときは、V602SH保護のためメモリカードスロットにセットしておいてください。

取り外す

必ずV602SHの電源を切った状態で取り外してください。

1 メモリカードスロットのカバーを開き、SDメモリカードを軽く押し込む。

- SDメモリカードは、軽く押し込んで手を離すと少し飛び出てきますので、指で軽く押さえてください。

2 SDメモリカードを取り出す。

- この部分を強く押さないでください。SDメモリカードの挿入、取り出しができなくなることがあります。
- ゆっくりとまっすぐ引き抜いてください。SDメモリカードを取り出したあと、カバーを閉じます。

注意 データの読み出し中や書き込み中は、絶対にSDメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外さないでください。SDメモリカードまたはV602SHが破損する恐れがあります。

補足 V602SHにSDメモリカードを取り付け、電源を入れたときは、SDメモリカード内の情報確認のため、待受画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
（SDメモリカードの容量や書き込まれているデータ量により、待受画面が表示されるまでの時間が異なります。）
また、Vアプリライブラリ手動シンクロの確認メッセージが表示されることがあります。（☞P.10-4）

メモリカードのアイコン

SDメモリカードを取り付けると、画面に次のようなアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	SDメモリカードが取り付けられています。
	SDメモリカードが使用中（読み出し中や書き込み中）です。（緑色点滅または赤色点滅）
	SDメモリカードが書き込み禁止です。（赤色点灯）

メモリカードのメモリ管理方法について

SDメモリカードのメモリ管理方法は、基本的にV602SH（本体）と同様です。各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」とがあります。それぞれのメモリには、次の方法でV602SHからデータを保存します。

- V602SHとSDメモリカードには、それぞれ別のデータを保存することも、同じデータを保存することもできます。（ウェブのメッセージやブックマーク、Vアプリライブラリ、データフォルダのコピー／転送禁止ファイルなどは、同じデータを保存できないことがあります。）目的に応じて使い分けてください。

メモリカードの利用

メモリカードをフォーマット（初期化）する

フォーマット（初期化）されていないSDメモリカードをV602SHで使うときは、フォーマットしてください。

注意
- SDメモリカードをフォーマットすると、SDメモリカード内のすべてのデータが消去されます。
- 他の機器でフォーマットしたメモリカードは、V602SHでは正常に使用できないことがあります。（動作が遅くなったり、利用できない機能があります。）
- メモリカードフォーマット中は、絶対にSDメモリカードや電池パックを抜かないでください。SDメモリカードまたはV602SHが破損する恐れがあります。

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2「9メモリカード設定」を選び、◉を押す。

3「2メモリカードフォーマット」を選び、◉を押す。

4 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

5「1YES」を選び、◉を押す。

保存されているデータを確認する

各機能から確認する

「メモリカードへ切替」が表示される機能では、直接SDメモリカード内のデータを利用できます。

- メモリダイヤル
- ブックマーク（ウェブ）
- 保存情報（ステーション）
- スケジュール
- メッセージフォルダ（ウェブ）

など

1 各機能の画面で、✉（メニュー）を押す。
- ブックマークの画面からは、◉（メニュー）を押します。

■ SDメモリカード内のメモリダイヤルの確認：メモリダイヤルの検索画面またはリスト画面➡◎（切替）

2「メモリカードへ切替」を選び、◉を押す。

■ V602SHに登録されているデータの利用：「本体へ切替」選択➡◉

データフォルダから確認する

SDメモリカード内のフォルダやファイルも、V602SH内のデータフォルダと同様に、いろいろな管理や設定（☞P.12-45～P.12-46、P.12-48）を行えます。

1 ◎5の順に押す。

2 ✉（メニュー）◎（SD）の順に押す。

SDメモリカード内のデータフォルダ画面が表示されます。
（画面２行目の右端に「SD」が表示されます。）

■ V602SHのデータフォルダを利用：✉（メニュー）➡◎（📱）

3 ファイルを選び、◉を押す。

選んだファイルの種類に応じて、再生や表示が行われます。

メモリカード内のデジタルカメラフォルダ／ビデオカメラフォルダから確認する

デジタルカメラモードやビデオカメラモードで撮影した画像（「登録先」を「メモリカード」に設定しているとき）は、SDメモリカード内の「デジタルカメラフォルダ」や「ビデオカメラフォルダ」に登録されます。

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2「3メモリカードデータ確認」を選び、◉を押す。

3「3 デジタルカメラフォルダ」または「5 ビデオカメラフォルダ」を選び、◉を押す。

デジタルカメラフォルダは「DCIM」、ビデオカメラフォルダは「SD_VIDEO」の内容が表示されます。

4 フォルダを選び、◉を押す。
- デジタルカメラモードで撮影した静止画は、通常「100IMAGE」フォルダ内に登録されています。
- ビデオカメラモードで撮影した動画は、通常「PRL001」フォルダ内に登録されています。

■ 壁紙登録：☞P.12-22
■ 消去：静止画／動画選択➡✉（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

5 画像を選び、◉を押す。

■ 別の画像の確認：◎（戻る）

補足
デジタルカメラフォルダの静止画は、プリント枚数などを指定することができます。（DPOF：☞P.6-41）
また、デジタルカメラフォルダの静止画とテキスト／カレンダースタンプを利用して、ポストカードやカレンダーを作成（☞P.6-43）することもできます。

パソコンなど他の機器での画像編集

■ V602SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。
■ デジタルカメラモードの画像をパソコンで加工／編集するときは、SDメモリカード内の元ファイルをパソコンのハードディスクなどにコピーしたあと、コピーした画像ファイルを操作することをおすすめします。
■ V602SH で撮影したデジタルカメラ画像をパソコンで加工／編集し、上書き保存した場合、自動的にDCF規格（☞P.6-8）以外のファイルとなってしまい、V602SHで画像を再表示できなくなることがあります。

メモリカード内のモーションカメラフォルダから確認する

モーションカメラモードで撮影した動画（「登録先」を「メモリカード」に設定しているとき）は、SDメモリカード内の「モーションカメラフォルダ」に登　されます。

1 **◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。**

2 **「3メモリカードデータ確認」を選び、◉を押す。**

3 **「4モーションカメラフォルダ」を選び、◉を押す。**
- 名前の変更／動画の消去：☞P.12-46
- 動画の情報の確認：動画選択➡㊂（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉
  - ■メニュー画面に戻る：上記操作のあと、◎（戻る）

4 **動画を選び、◉を押す。**
再生が始まります。◉（停止）を押すと、一時停止します。
- 再生中にできること：☞P.6-31
- 別の動画の確認：◎（戻る）

データの転送

V602SHとSDメモリカード間のデータの転送方法は、次のとおりです。

コピー／移動	指定したデータを、1件ずつメモリカードに移動／コピーします。 コピー／移動できるデータ メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモ、データフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、オーディオ、etc、ユーザー作成フォルダ）、デジタルカメラデータ、モーションカメラデータ、ビデオカメラデータ、ボイスデータ、ウェブのメッセージフォルダ、ウェブのブックマーク、Vアプリライブラリ、ステーションの保存情報
一括転送（☞P.11-10）	データの種類ごとに、すべてのデータをメモリカードに転送します。 転送できるデータ 上記のコピー／移動できる各データ、メール（受信メール、送信メール、送信トレイ）

データ転送時のご注意

■ 電池残量が少ないときは、一括転送できません。
■ 著作権で保護されているデータはコピーできません。
- 著作権で保護されている（コピー不可）データをV602SHからSDメモリカードに一括転送すると、V602SHからは削除されます。また同様に、SDメモリカードからV602SHへ一括転送したときも、SDメモリカードからは削除されます。
- 第三者（お客様以外の電話番号）のボーダフォン携帯電話に転用することはできません。
- SDメモリカードに一括転送した著作権で保護されている（コピー不可）データを再度読み込むことができるのは、お客様のボーダフォン携帯電話だけです。

■ V602SH または SD メモリカードの空き容量が少ないときは、データの登　（移動／コピー／一括転送）が正常に行えないことがあります。
■ データの内容によっては、V602SH から SD メモリカードに転送できないことがあります。また、V602SHから一括転送されたデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
■ データ転送は、個人データのバックアップや同機種間（SDメモリカード対応機）での情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的でご利用になることをおすすめします。

指定したデータをコピー／移動する

SDメモリカードへのデータのコピー／移動は、「登録先変更（コピー）」、「登録先変更（移動）」などが表示される機能や画面で行えます。
- データフォルダ内のファイルを別のフォルダへコピー／移動するときは、P.12-48を参照してください。

1 **コピー／移動するデータを選び、◉（メニュー）を押す。**

2 ***コピーするとき***

1「登録先変更（コピー）」、「本体へコピー」、「メモリカードへコピー」のいずれかを選び、◉を押す。
指定したデータがコピーされます。
- メモリダイヤルのデータをコピーするときは、このあと操作3へ進みます。

移動するとき

1「登録先変更（移動）」、「本体へ移動」、「メモリカードへ移動」のいずれかを選び、◉を押す。
移動したデータは、移動元から消去されます。
- メモリダイヤルのデータを移動するときは、このあと操作3へ進みます。

3 **◎（▣）を押す。**
登　先がSDメモリカードに切り替わります。このあとメモリ番号を入力すると、指定したメモリダイヤルがコピー／移動されます。
- 登　先の切替：◎（押すたびに「▯」⇔「▣」切替）

データをまとめて転送する

一括転送できるデータの種類と、転送後のファイルの状態は次のとおりです。

1つのファイルにまとめて保存	次の各機能では、機能内のすべてのデータを1つのバックアップファイルとしてメモリカードに保存します。（転送日のファイル名が付きます。） メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモ、メール（受信メール、送信メール、送信トレイ）、ウェブのブックマーク メモリカードへの保存後は、V602SHから確認できません。
個別のファイルで保存	次の各機能では、機能内のデータが個別にメモリカードに保存されます。 データフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、オーディオ、etc、ユーザー作成フォルダ）、デジタルカメラデータ、モーションカメラデータ、ビデオカメラデータ、ボイスデータ、Vアプリライブラリ、ウェブのメッセージフォルダ、ステーションの保存情報 メモリカードに保存後も、V602SHから確認できます。

●データの種類を指定して一括転送することもできます。

メモリカードに一括転送する

●ご利用の前に、データ転送時のご注意（☞P.11-9）をご確認ください。

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2「5データ一括転送」を選び、◉を押す。

3「1メモリカードへ保存」を選び、◉を押す。

オフラインモードの設定画面が表示されます。
●通常はオフラインモードにする（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。
●すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」に設定しているときは、操作5へ進みます。

4「2NO」を選び、◉を押す。

■ オフラインモードにしない：「1YES」選択➡◉

5 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

6 一括転送するデータの種類を選び、◉を押す。

■「全て」、「メモリダイヤル」の選択時：画像データ転送の確認画面表示➡「1YES」／「2NO」選択➡◉

7「1YES」を選び、◉を押す。

SDメモリカードへの一括転送が完了すると、データ一括転送の画面に戻ります。
■ 他のデータの種類の一括転送：操作3～7をくり返す
■ 一括転送を途中で中止：◎（キャンセル）

注意
●同じファイル名のデータは転送されません。（データフォルダ内のファイルは除く）
●暗号化を設定（☞P.11-12）してSDメモリカードに一括転送したメモリダイヤル、メール、スケジュールを利用できるのは、お客様のV602SHだけです。

メモリカードから読み込む

●SDメモリカードからデータを読み込むと、V602SH内のデータは消去されます。
●ご利用の前に、データ転送時のご注意（☞P.11-9）をご確認ください。

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2「5データ一括転送」を選び、◉を押す。

3「2カードから読込み」を選び、◉を押す。

オフラインモードの設定画面が表示されます。
●通常はオフラインモードにする（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。
●すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」に設定しているときは、操作5へ進みます。

4「2NO」を選び、◉を押す。

■ オフラインモードにしない：「1YES」選択➡◉

5 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

●転送できないデータの種類は、選択できません。

6 データの種類を選び、◉を押す。

●メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモ、メール、ブックマーク以外のデータを選択したときは、このあと操作8へ進みます。

7 ファイルを選び、◉を押す。

●ファイルが複数あるときは、ファイル名の転送日を確認して選んでください。

例：2004年7月20日に一括転送したときのファイル名
「040720XX」
（XXは、00～99、aa～zzの2ケタの数字、英字）

■ SD メモリカードに一括転送したファイルの消去：ファイル選択➡㋱（消去）➡「1YES」選択➡◉

8「1YES」を選び、◉を押す。

9「1実行」を選び、◉を押す。

読み込みが開始されます。V602SHへの読み込みが完了すると、データ一括転送の画面に戻ります。
■ 他の種類のデータの読み込み：操作3～9をくり返す
■ 読み込みの中止：◎（キャンセル）

暗号化を設定する

V602SH内のデータをSDメモリカードにまとめて転送する際に、暗号化して保存するかどうかを設定します。暗号化してSDメモリカードに保存されたデータが正しく表示できるのは、お客様のV602SHだけです。

- 暗号化は、メモリダイヤル、メール、スケジュール、それぞれ個別に設定できます。
- お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2「5データ一括転送」を選び、◉を押す。

3「3暗号化設定」を選び、◉を押す。

4 データの種類を選び、◉を押す。

5「1ON」を選び、◉を押す。

■ 暗号化しない：「2OFF」選択➡◉

■ 他のデータの種類の設定：操作4～5をくり返す

その他のメモリカード関連機能

使用状況確認　SDメモリカード内のメモリの使用状況を確認します。

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「1メモリカードメモリ確認」選択➡◉

補足　SDメモリカードのメモリは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。
例：64MBのSDメモリカード
- ユーザー領域は、約60.6MBになります。メモリカードメモリ確認の「カード容量」で表示される数値は、ユーザー領域のメモリ容量です。

SDローカルコンテンツ　HTMLファイルを表示して、SDメモリカード内のファイルやインターネットにアクセスします。

■SDメモリカードにHTMLファイルがないときは、利用できません。
■あらかじめウェブを「ON」に設定しておいてください。（☞ P.1-8）

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「7SDローカルコンテンツ」選択➡◉➡タイトル選択➡◉

補足
- パソコンでSDメモリカードを確認したとき、ローカルコンテンツは「Private/SDJPHONE/SDコンテンツ」フォルダに保存されています。
- auto runファイルを削除したときは、「SDローカルコンテンツ」を利用してHTMLファイルを表示します。

カード手動シンクロ　他の機器で利用したSDメモリカードをV602SHで利用するため、SDメモリカード内の情報を更新します。

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「9メモリカード設定」選択➡◉➡「1カード手動シンクロ」選択➡◉➡データ選択➡◉➡「1実行」選択➡◉

■ SDメモリカードの情報更新中の中止：◉➡「1YES」選択➡◉

- 他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用（データ編集など）したSDメモリカードをV602SHで利用するときは、必ず「**カード手動シンクロ**」を行い、情報を更新してください。

注意
- SDメモリカードに空き容量がないときは、カード手動シンクロができないことがあります。
- SDメモリカード内のファイル数やデータ量によっては、情報更新が完了するまでに時間がかかることがあります。

オートラン　auto runファイルで指定されたローカルコンテンツ対応のHTMLファイルを、自動的に表示するようにします。

■SDメモリカードにauto runファイルがないときは、利用できません。

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「6オートラン」選択➡◉➡「1手動オートラン」選択➡◉

オートランファイルの削除

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「6オートラン」選択➡◉➡「2オートラン削除」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1実行」選択➡◉

- auto runファイルを削除しても、ローカルコンテンツ対応のHTMLファイルは削除されません。

注意　削除したauto runファイルは、元に戻すことはできません。また、「**オートラン**」機能は利用できなくなります。

データ管理

データフォルダについて

データフォルダの構成

V602SHのメモリには、メモリダイヤルやメッセージなど、各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」があります。

●V602SHで作成または入手したデータは、利用した機能やファイル形式によって専用メモリまたはファイルBOXに自動的に振り分けて保存されるようになっています。

V602SHのメモリ構造

専用メモリ
- メモリダイヤル
- スケジュール
- テキストメモ
- メールボックス
- ブックマーク
- メッセージフォルダ
- 保存情報

各機能で作成／入手したデータが保存される専用メモリです。機能ごとに登録できる容量（件数など）が決められています。

ファイルBOX
- データフォルダ
  - モバイルカメラ（ショートカット）
  - ピクチャー
  - メロディ
  - アニメーション
  - ムービー
  - オーディオ
  - etc
  - YS6DATA
  - 新規作成フォルダ
  - ⋮
- Vアプリライブラリ
- デジタルカメラフォルダ
- モーションカメラフォルダ
- ビデオカメラフォルダ
- ボイスフォルダ
- バーコード

各機能で作成／入手したデータの形式によって自動的に振り分けて保存されるメモリです。ファイルBOX全体の容量が決められています。

●専用メモリ内のデータには、「**vファイル**」として、ファイルBOXのデータフォルダに登録できるものがあります。（☞P.12-38）

●V602SHのファイルBOXには、最大約６Mバイトまで登　できます。

補足 ファイルBOXのメモリ使用状況の確認

●◉3 1 の順に押します。メモリ確認の画面が表示されますので、「3 ファイルBOX」を選び、◉を押します。

データフォルダに登録できるファイル

データフォルダには、ファイルの種類別にいくつかのフォルダがあらかじめ登　されており、各機能でデータを作成したり、メールやウェブなどでデータを入手すると、ファイル形式に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。

●各フォルダには、次のファイル形式のデータが保存されます。

データフォルダ
- モバイルカメラ（ショートカット）：モバイルカメラデータへのショートカット
  - ●写メールモードのファイル
  - ●デジタルカメラモードのファイル
  - ●ムービー写メールモードのファイル
  - ●モーションカメラ（MPEG）モードのファイル
  - ●ビデオカメラモードのファイル
- ピクチャー：V602SHで撮影した静止画などの画像（ピクチャー）ファイル
- メロディ：V602SHで作成したオリジナル着信音などのメロディファイル
- アニメーション：V602SHで作成したアニメーションなどのアニメファイル
- ムービー：V602SHで撮影した動画などのムービーファイル
- オーディオ：ダウンロードした着うた®ファイル
- etc：上記ファイルのほか、vファイル、HTMLファイル、MMLファイル、EMLファイル、SVGファイル、辞書ファイルなど
  - ムービー変装：ダウンロードしたムービー変装ファイル
- YS6DATA：Vアプリ「イースVIナピシュテムの匣」で使用するファイル（☞📖P.10-4）
- 新規作成フォルダ：お客様が作成されたフォルダ（ファイル形式はetcフォルダと同様）
- ⋮

●連写画像を撮影／登　すると、連写フォルダが自動的に作成されます。

ディスプレイ

データフォルダ画面は、待受中に◉を押したあと、「5 **データフォルダ**」を選び、◉を押すと表示されます。

●データフォルダ内のファイル表示方法は設定できます。（☞P.12-5）

15:05
データフォルダ
モバイルカメラ
モバイルカメラ ピクチャー メロディ アニメーション ムービー オーディオ etc YS6DATA My Folder
開く メニュー

- （携帯アイコン）：V602SHのデータフォルダ
- （SDアイコン）：SDメモリカードのデータフォルダ
- あらかじめ登　されているフォルダ
- 新規作成したフォルダ（☞P.12-45）

データフォルダ画面（V602SH内のデータフォルダ選択時）

各種アイコンについて

■静止画やアニメーションファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
※1	JPEGファイル（.jpg）	JPEG形式の静止画像
※1	PNGファイル（.png）	PNG形式の静止画像
	連写画像（分割画像＋4枚、9枚、25枚のJPEGファイル）（.SRG）	連写モードで撮影した画像
	E-アニメータファイル（NEVAファイル）（.nva）	アニメーション（サウンド付きもあり）
	アニメファイル（JPEGアニメ、PNGアニメ、JPEG/PNGアニメ）※2	アニメーション
	MNGファイル（.mng）	JPEGファイルやPNGファイルを組み合わせた簡易アニメーション

※1 文字が青色のアイコンは［転送可］、文字が赤色のアイコンは［転送不可］
※2 JPEGアニメ、PNGアニメ、JPEG/PNGアニメは、拡張子は表示されません。

■動画ファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
	Nancyファイル（.noa）	Nancy形式のムービー画像
	MPEG-4ファイル（.3gp）	MPEG-4形式のムービー画像
	MPEG-4ファイル（.ASF）	MPEG-4形式のムービー画像

■サウンドファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
	SMAFファイル（.mmf）	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ（画像付きもあり）［（青）：転送可／（赤）：転送不可］
	メロディファイル（.smd）	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ［（青）：転送可／（赤）：転送不可］
	オリジナル着信音ファイル（.sjm）	自作メロディ
	ボイスファイル※	お客様が　音した音声[転送可]
	オーディオファイル（.mp4）	ダウンロードした着うた®

※ ボイスファイルは、拡張子は表示されません。

メモリカード

V602SHでは、V602SHで　音した音楽や撮影した画像や動画などの保存場所として「**SDメモリカード**」を利用することができます。また、V602SH内のデータを一括保存したり、作成したデータをSDメモリカード内に直接登　したり、V602SHとSDメモリカード間でデータをコピー／移動することもできます。
●SDメモリカードについては、P.11-2を参照してください。

注意
●メールボックスのデータ（メール）は、個別にSDメモリカードにコピー／移動することはできません。ただし、メールボックスのメールをvMessage形式のデータとしてデータフォルダに保存したり、データフォルダにあるvMessage形式のデータをメールボックスに読み込むことはできます。
●データの種類や内容によっては、コピー／移動できないことがあります。
●SDメモリカードに保存したデータの種類や内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
●他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用（データ編集や追加、消去など）したときは、「**カード手動シンクロ**」を行い、SDメモリカードの情報を更新する必要があります。（☞P.11-13）

データフォルダの表示方法を設定する

画像一覧／ファイル名一覧を切り替える

ファイル表示画面（☞P.12-7）を画像一覧表示またはファイル名一覧表示に切り替えます。
●ここでの設定は、選んだフォルダだけでなく、すべてのフォルダで有効になります。

1 **◎5の順に押す。**
2 **（メニュー）を押す。**
3 **「便利機能」を選び、◉を押す。**
4 **「画像一覧表示」または「ファイル名一覧表示」を選び、◉を押す。**
●これ以降、選んだ方法で表示されます。

ファイルを日付順や名前順に並べ替える

●ここでの設定は、選んだフォルダだけでなく、すべてのフォルダで有効になります。

1 **◎5の順に押す。**
2 **（メニュー）を押す。**
3 **「便利機能」を選び、◉を押す。**
4 **「並べ替え」を選び、◉を押す。**
5 **並べ替え方法を選び、◉を押す。**

注意
フォルダ内のファイル数が181以上あると、並べ替えはできません。また、フォルダ内のファイル数が多いときに並べ替えを行うと、フォルダ内のファイル表示に時間がかかることがあります。

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

1 **◎5の順に押す。**

■ SDメモリカード内のデータの確認：㋡（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2 **フォルダを選び、◉を押す。**

フォルダ内のファイル（画像一覧またはファイル名一覧）が表示されます。（☞P.12-7）

●フォルダ内のファイルは、日時順やファイル名順に並べ替えて表示することもできます。（☞P.12-5）

■ フォルダの選びかた：☞P.12-8

画像一覧表示

3 **ファイルを選び、◉を押す。**

選んだファイルのファイル形式に応じて、再生または表示されます。

●オーディオフォルダやピクチャーフォルダ内のファイルを再生／表示しているときは、*を押すと次のファイル、#を押すと前のファイルが再生／表示できます。

> **補足**
>
> **連写画像を確認したとき**
>
> ●分割画像が表示されます。◉ を押すと、連写画像内の静止画を1枚ずつ確認することができます。
>
> **横240　縦320ドットより大きい画像（JPEGファイル）の確認**
>
> ●画面サイズに縮小して表示されます。実際のサイズを表示するときは、㋡（**メニュー**）を押したあと、「**実画像表示**」を選び、◉を押します。

4 **データフォルダ画面に戻るときは、クリアを押す。**

> **補足**
>
> 赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間で、データフォルダ内のデータをやりとりできます。（☞P.13-3）

ディスプレイ

V602SH内のピクチャーフォルダを選んだときの例です。

■画像一覧のファイル表示画面

- 選択されている画像の形式、ファイル名
- ファイル容量
- 登　されているファイル
  - ●画像以外のファイルや、V602SHで表示できない画像はアイコンで表示されます。
  - ●フォルダは「■」が表示されます。

■ファイル名一覧のファイル表示画面

- フォルダ名
- 登　されているファイル（画像の形式、ファイル名）

フォルダを選択する

データフォルダ画面で、目的のフォルダを選び、◉を押します。

- 選んだフォルダ内のファイルやフォルダが表示されます。（第２階層）
  さらにフォルダを選び、◉を押すと、下の階層のファイルが表示されます。
- フォルダ内のファイルを選び、◉を押すと、選んだファイルの形式に応じて、表示または再生などが行われます。

データフォルダ画面（第１階層）

フォルダを選ぶ

選んだフォルダ内のファイルやフォルダが表示（第２階層）

フォルダを選ぶ

選んだフォルダ内のファイルが表示（第３階層）

- 前の画面（１つ上の階層）に戻るときは、クリアを押します。
- データフォルダでは、新しくフォルダを作ることにより、３階層までの構造でファイルを管理することができます。（下の図は、「**マイフォルダ**」、「**マイピクチャー**」を新規作成したときの例です。）

第１階層
<データフォルダ>
ピクチャー
メロディ
アニメーション
ムービー
オーディオ
etc
YS6DATA
マイフォルダ
⋮

第２階層
<ピクチャー>
ファイル
マイピクチャー
⋮

第３階層
<マイピクチャー>
ファイル

12 データ管理

メモリカードのデータフォルダを利用する

V602SHのデータフォルダとSDメモリカード内のデータフォルダは、メニュー操作で切り替えます。

- 現在利用しているデータフォルダの種類は、画面右上のマークで確認できます。
（「」: V602SHのデータフォルダ、「」: SDメモリカードのデータフォルダ）

V602SHのデータフォルダを利用中

「メモリカードへ切替」を選ぶ

SDメモリカードのデータフォルダが利用可能

- V602SHのデータフォルダに戻すときは、「**本体へ切替**」を選びます。

データ登録

V602SHで作成したオリジナル着信音やアニメーション、ボーダフォンライブ！で入手したデータやvファイルなどは、データフォルダへの登　時に、登　先を選べます。

- データの登　前に、タイトル（ファイル名）入力画面が表示されることがあります。
- データの登　時には、それぞれのファイル形式に応じたフォルダが最初に表示されることもあります。（下の図は、JPEGファイルを登　するときの例です。）

登録するフォルダを選ぶ

選んだフォルダ内が表示

登録

- 登　先に利用できないフォルダは、選択できません。

補足 フォルダ内に同じ名前のファイルがあるときに登　すると、登　するファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00〜99、aa〜zz）が付加されることがあります。

12 データ管理

ファイルのメール添付

データフォルダ画面から、各種ファイルを直接スーパーメールに添付して送信します。

1 **データフォルダから、ファイルを選ぶ。**

2 **(メニュー)を押す。**

3 **「メール添付」を選び、◉を押す。**

- JPEG画像選択時:「1実画像添付」/「3 1/4サイズで添付」選択➡◉
- オリジナル着信音選択時:変換形式(P.3-12)選択➡◉

4 **宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。**
(P.3-3)

連写画像内の1枚の画像のスーパーメール添付

■ ◎5➡連写フォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉➡◎で画像選択➡(メニュー)➡「表示画像のみ添付」選択➡◉(以降の操作:P.3-3)

画像を分割してスーパーメール添付

■ ◎5➡フォルダ選択➡◉➡画像選択➡(メニュー)➡「メール添付」選択➡◉➡「2画像分割メール添付」選択➡◉➡宛先選択/宛先入力(P.3-3)
■ 画像分割メールを送信すると、4通分のメール料金がかかります。

プロパティを確認する

1 **データフォルダ画面またはファイル表示画面で、フォルダまたはファイルを選ぶ。**

2 **(メニュー)を押す。**

3 **「プロパティ」を選び、◉を押す。**

フォルダやファイルの情報が表示されます。◎を押すと、隠れている項目が表示されます。

●各項目の内容は以下のとおりです。

項目	内容
タイトル※1	メロディファイルのタイトル名
ファイル数※2	ファイル数を表示
種類	ファイルの種類
場所	データやファイルの保存場所
データサイズ	データサイズ※3
保存サイズ	V602SHまたはSDメモリカード内で実際に使用しているデータサイズ
作成日時	作成された年日時を表示
コピー転送	メール添付やデータ加工、データフォルダ内でのコピー可/不可※4
保存	データフォルダへの保存可/不可※4
外部転送	SDメモリカードへのコピーや移動の可/不可※4
フォルダ保護※5	あり/なし
データフォルダ保護	あり/なし
着信音設定※1	あり/なし※4
効果音設定※1	あり/なし※4
グループ着信設定※1	あり/なし※4
デジタルカメラ登録※6	デジタルカメラフォルダへのコピー可/不可
幅※7	画像の横幅をドットで表示
高さ※7	画像の縦幅をドットで表示

※1 メロディファイルのときに表示されます。
※2 チェックマーク(P.12-47)が複数選択されているときに表示されます。
※3 チェックマーク(P.12-47)が複数選択されているときは、合計のデータサイズが表示されます。
※4 チェックマークが複数選択されている場合、その中のファイルが1つでも該当するときは「不可」または「あり」と表示されます。
※5 フォルダのときに表示されます。
※6 JPEG画像で表示されます。
※7 JPEG/PNG/MTN/MNG/EVA画像で表示されます。
サイズが40Kバイトを超えるファイルは、空欄となります。

F48

アニメーションの作成

簡単アニメを作成する

モバイルカメラで撮影した画像やボーダフォンライブ！で入手した画像などを、最大４枚まで指定した間隔で連続表示します。

- 簡単アニメで利用できる画像は、PNGファイルとJPEGファイルです。
- データフォルダのメモリが一杯のときは、簡単アニメを登　できません。不要なファイルを消去（☞P.12-46）してから、作成してください。
- 指定した画像によっては、元の画像と画質が変わることがあります。

簡単アニメを新規作成する

1 ◉4 8の順に押す。

2「4アニメ作成ツール」を選び、◉を押す。

3「1簡単アニメ」を選び、◉を押す。

4「1新規作成」を選び、◉を押す。

5 タイトルを入力し、◉を押す。

- 全角12文字（半角24文字）以内で必ず入力してください。
- 入力したタイトルは、自動的にファイル名としても登　されます。ファイル名は変更できます。（☞P.12-46）

6 速さを選び、◉を押す。

ここで指定した速さで、番号順に画像が切り替わります。

15:05
画像選択
0.0KB
1
2
3
4
完了　●選択

7 指定先の番号を選び、◉を押す。

8 データフォルダから画像を選び、◉を押す。

- データフォルダの操作：☞P.12-6
- ４枚連写画像の利用：クリア➡連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉➡「1 4枚をアニメ」選択➡◉
- 連写画像内の１枚の画像の利用：クリア➡連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉➡「2 1枚を選択」選択➡◉➡画質／画像サイズ選択➡◉➡◎で画像選択➡◉
- 画像の変更：☑（変更）
- 表示順の変更：◎（戻る）➡操作７からやり直す

9 画質／画像サイズを選び、◉を押す。

- 横120×縦160ドット以下の画像は、「240　320」には設定できません。

10 ◉を押す。

画像が指定されます。

15:05
画像選択
2.4KB
1 04-07-21_11-48.jpg
2
3
4
完了　●選択　メニュー

- 簡単アニメの再生：☑（メニュー）➡「1再生」選択➡◉
  - 再生の停止：上記操作のあと、◎（戻る）
- 画像の変更：画像選択➡☑（メニュー）➡「2画像変更」選択➡◉➡操作８からやり直す
- 画像の圧縮／縮小：画像選択➡☑（メニュー）➡「3圧縮・縮小処理」選択➡◉➡「1圧縮」／「2縮小」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
  - 画像によっては、圧縮／縮小できないことがあります。
- 画像の消去：画像選択 ➡☑（メニュー）➡「4 消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

11 操作７～10をくり返し、画像を指定する。

- 最大４枚まで指定できます。（指定する画像の種類やデータサイズによっては、４枚まで設定できないことがあります。）

12 画像の指定が終われば、◎（完了）を押す。

- タイトル、速さ、画像の修正：「2修正」選択➡◉➡タイトルの入力画面へ（修正の詳細：☞P.12-14）

13「1登録」を選び、◉を押す。

14 ◉を押す。

データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

- 別のフォルダを選んで登　したり、SDメモリカードに登　することもできます。

補足：フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるときは、ファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

簡単アニメを編集する

●データフォルダのメモリが一杯のときは、簡単アニメを登　できません。不要なファイルを消去（☞P.12-46）してから編集してください。

1 ◉4 8 の順に押す。

2「4アニメ作成ツール」を選び、◉を押す。

3「1簡単アニメ」を選び、◉を押す。

4「2データフォルダ」を選び、◉を押す。
データフォルダのアニメーションフォルダが表示されます。

5 簡単アニメを選び、◉を押す。

6 タイトルを修正し、◉を押す。

7 速さを選び、◉を押す。
- 画像追加：番号選択➡◉➡画像選択➡◉
- 指定画像の変更：番号選択➡㋹（メニュー）➡「2画像変更」選択➡◉
- 指定画像の消去：番号選択➡㋹（メニュー）➡「4消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

8 編集が終われば、◎（完了）を押す。

9「1登録」を選び、◉を押す。
登　先の選択画面が表示されます。このあと、操作11へ進みます。
●タイトルを修正していないときは、新規登　するか上書登　するかの確認画面が表示されます。

10 *新しい簡単アニメとして登録するとき*
1「1新規登録」を選び、◉を押す。

編集前の簡単アニメを新しいものに置き換えるとき
1「2上書登録」を選び、◉を押す。
データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。（操作完了）

11 ◉を押す。
データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。
●別のフォルダを選んで登　したり、SDメモリカードに登　することもできます。

補足　フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるときは、ファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00〜99、aa〜zz）が付加されます。

アニメーションの保存形式を変換する

JPEGアニメ、PNGアニメを、「MNGファイル」に変換します。
●JPEGアニメ、PNGアニメをパソコンなどへ送信するときに変換します。
●MNGファイルに変換すると、画質が変わることがあります。
●MNG変換できないアニメーションでは、操作できません。

1 データフォルダから、アニメーションを選び、◉を押す。

2 保存形式を変換するアニメーションを選び、◉を押す。

3 ㋹（メニュー）を押す。

4「MNG変換」を選び、◉を押す。

5 ◉を押す。
新しいアニメーションとして登　されます。

注意
●JPEGアニメをMNGファイルに変換したファイルは、シャープ製ボーダフォンライブ！パケット対応機以外では展開できません。シャープ製以外のボーダフォンライブ！パケット対応機に添付送信するときは、PNGアニメからMNG変換したものをご使用ください。
●アニメーションサイズや内容によっては、MNG変換できないことがあります。

E-アニメータを作成する

内蔵のアニメーション用図形（スタンプ）や文字を組み合わせてアニメーションを作成します。背景画像やBGMを設定できます。

文字やスタンプ、背景画像を配置

文字やスタンプがアニメーション表示

●E-アニメータは、「**E-アニメータ**」（.nva）形式で登　されます。

注意　E-アニメータで作成したファイル（.nva）は、シャープ製ボーダフォンライブ！パケット対応機以外では、展開できません。（J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機でも展開できますが、正しく表示／鳴動しないことがあります。）

E-アニメータの文字／スタンプ入力方法

実際にE-アニメータを作成する前に、E-アニメータの文字の入力方法、スタンプの入力方法を覚えておきましょう。

■文字またはスタンプの選択方法

「スタンプ・文字設定画面」で、「1文字入力」または「2スタンプ選択」を選びます。

- 文字／スタンプは、それぞれ最大3個または最大29Kバイトまで入力できます。

補足 1つのE-アニメータに入力可能な文字数およびスタンプ数は、アニメーションの複雑さによって異なります。非常に複雑なアニメーションには、スタンプが1つしか入力できないこともあります。

■文字の入力方法

1 文字を入力する

文字を入力し、◉を押します。

- 入力した文字が表示されます。
- 文字の四隅には、選択されていることを示す「□」が表示されます。
- 1回あたり最大全角75文字（半角150文字）まで入力できます。

補足 複数の文字やスタンプが入力されているときは、文字を押すたびに四隅の「□」が移動し、移動や消去などを行う対象を選ぶことができます。

2 文字の位置を移動する

◈で文字の位置を指定し、◉を押します。

- ボタンを押したときの移動幅の設定：㋲（メニュー）➡「✕移動幅設定」選択➡◉➡移動幅（01〜20ポイント）入力➡◉
- 文字の消去：㋲（メニュー）➡「2消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

3 文字の色を設定する

㋲（メニュー）を押したあと、「4文字色設定」を選び、◉を押します。

- ◈で色を選び、◉を押します。

4 文字の動作を設定する

㋲（メニュー）を押したあと、「5文字動作設定」を選び、◉を押します。

- 動作を選び、◉を押します。

5 文字を確定する

◉を押して、文字の位置や色、動作設定を登 します。

- 続けて、他の文字やスタンプを入力することができます。
  - 文字やスタンプの順番変更：文字やスタンプ選択➡㋲（メニュー）➡「3移動」選択➡◉➡◈で文字やスタンプを移動➡◉
  - 入力済の文字変更：文字選択➡㋲（メニュー）➡「4 変更」選択➡◉➡文字入力（修正）➡◉

■スタンプの入力方法

1 スタンプの分類を選ぶ

「1固定パターン」（あらかじめ登 されているスタンプ）または「2データフォルダ」（ボーダフォンライブ！などで入手したスタンプ）を選び、◉を押します。

- 「2 データフォルダ」を選んだときは、V602SH のデータフォルダのアニメーションフォルダが表示されます。

2 スタンプを選ぶ

入力するスタンプを選び、◉を押します。

- 選んだスタンプが画面中央に表示されます。
- スタンプの四隅には、選択されていることを示す「□」が表示されます。

補足 複数のスタンプや文字が入力されているときは、文字を押すたびに四隅の「□」が移動し、変形や消去などを行う対象を選ぶことができます。

3 スタンプを変形する

下記のボタンで拡大／縮小を選んだあと◉を押し、スタンプを変形します。

拡大縮小	3	拡大します。
	7	縮小します。
	2	縦方向へ拡大します。
	6	横方向へ拡大します。
	8	縦方向へ縮小します。
	4	横方向へ縮小します。

●上記の各操作は、Ⓥ（メニュー）を押して、メニュー画面から選択することもできます。

- スタンプの反転：スタンプ選択➡Ⓥ（メニュー）➡「7上下反転」／「8左右反転」選択➡◉
- スタンプの消去：Ⓥ（メニュー）➡「2消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

補足 スタンプによっては、変形などができなかったり、制限があるものもあります。

4 スタンプの位置を移動する

◎でスタンプの位置を指定し、◉を押します。

●文字と同様に、ボタンを押したときの移動幅も設定できます。（☞P.12-16）

5 スタンプを確定する

◉を押して、スタンプの位置や形を登　します。

- スタンプや文字の順番変更：スタンプや文字選択➡Ⓥ（メニュー）➡「3移動」選択➡◉➡◎でスタンプや文字を移動➡◉
- 入力済のスタンプ変更：スタンプ選択➡Ⓥ（メニュー）➡「4変更」選択➡◉➡スタンプ選択➡◉

E-アニメータを新規作成する

●データフォルダのメモリが一杯のときは、E-アニメータを登　できません。不要なファイルを消去（☞P.12-46）してから、作成してください。

1 ◉4 8の順に押す。

2「4アニメ作成ツール」を選び、◉を押す。

3「2E-アニメータ」を選び、◉を押す。

一時保存（☞P.12-20）しているE-アニメータがあるときは、「1YES」を選び、◉を押すと、一時保存しているE-アニメータのタイトル修正画面が表示されます。

4 タイトルを入力し、◉を押す。

●全角12文字（半角24文字）以内で必ず入力してください。

5 ステージサイズ（アニメーションの大きさ）を選び、◉を押す。

6 *背景に画像を表示するとき*

1「1データフォルダ」を選び、◉を押す。

2 画像を選び、◉を押す。

3 ◉を押す。

注意 背景に表示させる画像によっては、背景に設定できないことや、文字やスタンプが入力できないことがあります。

背景に画像を表示しないとき

1「2背景なし」を選び、◉を押す。

7 番号を選び、◉を押す。

●ここで指定した番号順に、文字やスタンプが重なって表示されます。

8 *文字を入力するとき*

1「1文字入力」を選び、◉を押す。

2 文字を入力する。

- 文字の入力方法：☞P.12-16

スタンプを入力するとき

1「2スタンプ選択」を選び、◉を押す。

2 スタンプを入力する。

- スタンプの入力方法：☞P.12-17

補足 スタンプの内容によっては、他のスタンプや文字、背景が表示されないことがあります。このときは、スタンプを変形、移動したり、文字の順番を変更（☞P.12-17）すると、表示されるようになります。

9 **操作7～8をくり返し、文字やスタンプを入力する。**

- E-アニメータの再生：Ⓜ（メニュー）➡「1一括再生」選択➡◉
  - ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◉
- 背景の設定：Ⓜ（メニュー）➡「6背景設定」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉
- BGMの設定：Ⓜ（メニュー）➡「7BGM設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡メロディ選択➡◉

10 **文字やスタンプの入力が終われば、◎（完了）を押す。**

- このあと「3修正」を選び、◉を押すと、内容の修正ができます。（☞P.12-20～P.12-21）

補足　E-アニメータは登　すると、あとで編集できなくなります。
作成中に一旦保存したあとで編集したいときは、「一時保存」しておくと便利です。一時保存できるのは1件です。

11 **「1登録」または「2一時保存」を選び、◉を押す。**

- 「2一時保存」選択時：確認画面表示➡◉（操作完了）

12 **「1YES」を選び、◉を押す。**

- 取消：「2NO」選択➡◉➡操作10へ

13 **◉を押す。**

データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

補足　フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるときは、ファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

一時保存したE-アニメータを編集する

- 一時保存しているE-アニメータは編集することができます。一時保存データがないときは、新規作成してください。（☞P.12-19）
- データフォルダのメモリが一杯のときは、E-アニメータを登　できません。不要なファイルを消去（☞P.12-46）してから、編集してください。
- 登　したE-アニメータは、編集できません。

1 **◉4 8の順に押す。**

2 **「4アニメ作成ツール」を選び、◉を押す。**

3 **「2E-アニメータ」を選び、◉を押す。**

- 一時保存したE-アニメータがあるときは、一時保存データを編集するかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1YES」を選び、◉を押す。**

補足　一時保存データを利用しないときは、「2NO」を選び、◉を押します。このあと、新規作成のタイトル入力画面が表示されます。（以降の操作：☞P.12-19）

5 **タイトルを修正し、◉を押す。**

6 **背景を設定し、◉を押す。**

7 **文字やスタンプを選んだあと、◉を押し、内容を修正する。**

- 文字／スタンプの入力方法：☞P.12-16～P.12-18
- 背景の変更：Ⓜ（メニュー）➡「6背景設定」選択➡◉➡Ⓜ（変更）➡画像選択➡◉➡◉
- BGMの設定：Ⓜ（メニュー）➡「7BGM設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡メロディ選択➡◉

8 **編集が終われば、◎（完了）を押す。**

- タイトル、背景設定、文字やスタンプ設定の修正：「3修正」選択➡◉➡操作5からやり直す

9 **「1登録」を選び、◉を押す。**

- 一時保存できます。（☞P.12-20）

10 **「1YES」を選び、◉を押す。**

11 **◉を押す。**

データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

補足　フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるときは、ファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

アニメーションを確認する

1 **◎5の順に押す。**

2 **アニメーションフォルダを選び、◉を押す。**

- SDメモリカード内のアニメーションの確認：Ⓜ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

3 **アニメーションを選び、◉を押す。**

選んだアニメーションが再生されます。

- 再生の停止：◎（戻る）
- アニメーションファイルの操作：☞P.12-22

画像／アニメーションの利用

●画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

画像の表示を切り替える

データフォルダ内の画像やアニメーション、画像付きSMAFファイルを表示中にスケジュールメモを押すと、画像の表示サイズ（「**等倍（アイコンあり）**」、「**等倍（アイコンなし）**」、「**拡大（アイコンあり）**」、「**拡大（アイコンなし）**」）が切り替わります。

●ファイル形式やデータの内容によっては、表示サイズを切り替えられないことや、切り替えられる種類が異なることがあります。また、表示を「**拡大**」にしたとき、画像のすべてを表示できないことがあります。

●等倍時には「■」、拡大時には「■」がディスプレイ上部に表示されます。

画像／アニメーションを壁紙に登録する

1 データフォルダから、壁紙に登録するファイルを選び、◉を押す。

2 ㋱（メニュー）を押す。

3 「壁紙登録」を選び、◉を押す。

●「**壁紙登録**」が選択できない画像やアニメーションは、利用できません。

■ 以降の操作：☞P.7-2「**オリジナル画像を利用するとき**」操作4以降

画像／アニメーションをマイキャラクタに登録する

1 データフォルダから、マイキャラクタに登録するファイルを選び、◉を押す。

2 ㋱（メニュー）を押す。

3 「マイキャラクタ登録」を選び、◉を押す。

●「**マイキャラクタ登録**」が選択できない画像やアニメーションは、利用できません。

■ 以降の操作：☞P.7-6操作５以降

連写画像を個別の画像として登録する

写メールモードで撮影した連写画像（複数の画像＋分割画像）をそれぞれ個別の画像として登　します。また連写画像の内、指定した画像だけを個別の画像として登　することもできます。

●個別の画像は、新しい画像（JPEGファイル）としてデータフォルダのピクチャーフォルダに登　されます。（元の連写画像はそのまま残っています。）

1 データフォルダから、連写フォルダを選び、◉を押す。

2 連写画像を選び、◉を押す。

連写画像の分割画像が表示されます。

●連写画像には、ファイル名の先頭に「■」が表示されています。

3 ***連写画像内のすべての画像を登録するとき***

1 ㋱（メニュー）を押す。

2「全画像個別登録」を選び、◉を押す。

連写画像内の１枚の画像を登録するとき

1 ◎で画像を選び、㋱（メニュー）を押す。

●分割画像も登　できます。

2「表示画像のみ登録」を選び、◉を押す。

フォルダ内の画像を連続して表示する

ピクチャーフォルダ内の画像とデジタルカメラフォルダ内の画像を連続して表示します。

●連続表示のスピード時間を変更したり、次の画像へ切り替わるときに、上下左右のいずれかから徐々に表示（ワイプ）するように設定することもできます。

1 データフォルダから、連続表示を始める画像を選ぶ。

2 ㋱（メニュー）を押す。

3 「連続表示設定」を選び、◉を押す。

4 「連続表示」を選び、◉を押す。

選択している画像から、連続表示が開始されます。

■ 連続表示の停止：◉（**停止**）

▪ 連続表示の再開：上記操作のあと、◉（**再開**）

■ 次の画像へ早送り：連続表示中に㋱（**次へ**）

連続表示のスピード設定

■ お買い上げ時には、「**普通**」に設定されています。連続スピードを変更するときは、上記操作３のあとで、次の操作を行います。

「**スピード設定**」選択➡◉➡速さ選択➡◉

連続表示のワイプ設定

■ お買い上げ時には、「**OFF**」（しない）に設定されています。描画（ワイプ）方向を設定するときは、上記操作３のあとで、次の操作を行います。

「**ワイプ設定**」選択➡◉➡「**2ワイプ↓**」～「**6ミックスワイプ**」選択➡◉

▪ ワイプの中止：ワイプ中に◉

画像の編集

データフォルダの画像（静止画）に対して、画像編集を行うことができます。画像編集の各操作は、編集する画像を表示し（☞P.12-6の操作1～3）、次の操作を行ったあとの画面（画像編集のメニュー画面）から操作します。

　㋳（**メニュー**）➡「**画像編集**」選択➡◉

●ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

編集前の画像を表示
編集中の画像を表示
メニュー項目の内容を表示
画像編集メニュー項目
編集後の画像を保存
編集中の画像を全画面で表示

メニュー画面　　画像編集のメニュー画面

●メニュー項目はダイヤルボタンでも指定できます。

●P.12-25～P.12-31では、編集完了までの操作を説明しています。編集した画像の保存方法については、下記を参照してください。

編集後の画像保存

■画像編集の各項目で、◉（**決定**）または㋳（**決定**）を押すと、画像編集のメニュー画面に戻ります。このときは編集した画像は保存されていません。編集した画像を保存するときは、次の操作を行います。

　㋳（**保存**）➡タイトル入力（最大全角12文字、半角24文字まで）➡◉➡◉

- 登　中止：◎（**取消**）
- 登　先変更：クリア➡フォルダ選択➡◉
- SDメモリカードへ保存：㋳（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

画像サイズを変更する

データフォルダに登　されている画像を、壁紙用やメール添付用などのサイズに変更します。

●固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。

●画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。

●画像サイズが大きいと、画像を表示できないことがあります。

固定サイズに変更する

1 画像編集のメニュー画面（☞P.12-24）で、「サイズ修正」を選び、◉を押す。

●「サイズ修正」が選択できない画像は、利用できません。

2 「1壁紙用」～「5アラーム時表示用」のいずれかを選び、◉を押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（利用できない画像は表示されません。）

壁紙用	横240×縦320ドット
写メール用	横120×縦160ドット
パワー ON/OFF用	横120×縦130ドット
着信時表示用	横120×縦38ドット
アラーム時表示用	横120×縦51ドット

■ 画像サイズ選択のやり直し：クリア

3 ***画像の表示範囲を指定するとき***

1 ◈で表示範囲を指定する。

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できないことがあります。

画像を拡大縮小するとき

1 ◎（リサイズ）を押す。

ディスプレイ下部左に「**移動**」が表示されます。

2 ◌（拡大）または◌（縮小）でサイズを変更し、◉を押す。

●画像をなめらかにするときは、㋳（soft）を押してください。

4 ◉を押す。

5 ㋳（保存）を押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.12-24）

■ 編集のやり直し：0（**元に戻す**）

サイズを自由に変更する

1 画像編集のメニュー画面（☞P.12-24）で、「サイズ修正」を選び、◉を押す。

●「サイズ修正」が選択できない画像は、利用できません。

2「6自由切出」を選び、◉を押す。

画像が表示されます。（「＋」表示）

3 ◈で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、◉を押す。

4 ◈で「＋」を切り出す部分の右下に移動する。

■ 指定のやり直し：◎（戻る）➡操作３からやり直す

5 ◎（完了）を押す。

■ 画像サイズ選択のやり直し：クリア

■ 以降の操作：☞P.12-25の操作３以降

●決定　完了

画像に文字を入力する

1 画像編集メニュー画面（☞P.12-24）で、「テキスト貼付」を選び、◉を押す。

●「テキスト貼付」が選択できない画像は、利用できません。

■ 文字色の設定：◎（文字色）➡文字色選択➡◉

■ 文字を縁取らない：◎（文字色）➡「0縁どり設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

2「1フリーワード」を選び、◉を押す。

■ 日付の入力：「2日付」選択➡◉➡操作４へ

3 文字を入力し、◉を押す。

●最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

●バーコードの読み取りを利用して、文字を入力することはできません。

■ 文字入力のやり直し：◎（戻る）➡操作２からやり直す

4 ◈で文字や日付の位置を指定し、◉を押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.12-24）

■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

画像にマーカーを入力する

1 画像編集のメニュー画面（☞P.12-24）で、「マーカースタンプ」を選び、◉を押す。

2 マーカーの種類を選び、◉を押す。

■ 文字色の変更：◎（文字色）➡文字色選択➡◉

■ 文字を縁取らない：◎（文字色）➡「0縁どり設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

3 ◈でマーカーを付ける位置を指定し、◉を押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.12-24）

■ マーカーの変更：◎（戻る）➡マーカー種類選択➡◉

■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変えることができます。

●画像装飾に利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。連写画像も装飾できます。

●装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分を抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）

1 画像編集のメニュー画面（☞P.12-24）で、「エフェクト」を選び、◉を押す。

●「エフェクト」が選択できない画像は、利用できません。

補足　写メールモードで撮影した連写画像を装飾すると、連写画像内のすべての画像が装飾されます。連写画像内の１枚の画像だけを装飾するときは、◎で個別の画像を表示してから操作してください。

2 装飾の種類を選び、◉を押す。

●次の装飾が行えます。

種類	効果
セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光輝部を十字に輝かせる効果を表現
シャボン玉	背景にシャボン玉を飛ばすような効果を表現
万華鏡	万華鏡のような効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
線検出	線で描いた絵のような効果を表現
アルミ缶	アルミ缶の側面に貼り付けた効果を表現
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

3 ◉を押す。
このあと、編集した画像を保存します。（☞P.12-24）
■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

注意 画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わります。装飾された画像が登　できないことや、メール送信できないことがあります。

顔写真を加工する

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工できます。
（フェイスアレンジ）
●フェイスアレンジに利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。
●フェイスアレンジには、正面を向き顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。
●フェイスアレンジは、あらかじめ設定されている顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工を施します。そのため、画像内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。
また、次のようなときは、うまく加工できないこともあります。
■ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など
●画像に応じて、顔パーツの位置や大きさを指定して加工することもできます。（☞P.12-29）

1 画像編集のメニュー画面（☞P.12-24）で、「フェイスアレンジ」を選び、◉を押す。
●「フェイスアレンジ」が選択できない画像は、利用できません。

2 アレンジの種類を選び、◉を押す。

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔	ほっそり	細くなった顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔	くしゃ顔	上下に圧縮された顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔	色黒	色黒になった顔
怒る	目、口が怒っている顔	色白	色白になった顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔	カチン	怒りマークを合成

■ 顔パーツの位置や大きさの確認：◎（顔抽出）
■アレンジ画像に戻る：上記操作のあと、◎（戻る）
■ アレンジのやり直し：◎（戻る）

3 ◉を押す。
このあと、編集した画像を保存します。（☞P.12-24）
■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

注意 フェイスアレンジを行った画像をスーパーメールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

あらかじめ設定されている顔パーツの位置が、加工する画像の顔とずれているときに、位置や大きさを調整します。
●顔パーツは画像ごとに調整して登　します。
●P.12-28の操作１のあと、次の操作を行います。

1 ◎（顔抽出）を押す。
現在設定されている顔パーツが表示されます。

2 ◎（修正）を押す。
顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 顔の輪郭を指定する。

顔輪郭左上 → ◉ → 顔輪郭右下 → ◉ → 画面上右の目輪郭左上

◎で顔の輪郭の左上に「＋」を移動
◎で顔の輪郭の右下に「＋」を移動
顔の輪郭の位置が指定完了

■ 指定のやり直し：◎（戻る）

4 右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。
●画面上部のガイドに従って、操作３と同様に操作します。

画面上右の目輪郭右下 → ◉ → 画面上左の目輪郭右下 → ◉ → 口輪郭右下

右目の位置を指定
左目の位置を指定
口の位置を指定

5 指定が終われば、◎（完了）を押す。
確認メッセージが表示されたあと、指定した顔パーツがすべて表示されます。
■ 顔パーツの指定のやり直し：操作２からやり直す
■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：◎（リセット）

6 ◉を押す。

7「1YES」を選び、◉を押す。

指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像としてデータフォルダに登録され、フェイスアレンジの画面に戻ります。

- このあと、新規登録した画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工することができます。

その他の画像編集

- 編集後の画像を保存するときは、P.12-24を参照してください。
- 各機能が選択できない画像は、画像編集できません。

フレーム JPEG形式やPNG形式の画像にフレーム（囲み）を付けることができます。

画像編集のメニュー画面で「フレーム」選択 ➡◉➡ フレーム選択➡◉➡◉

- フレームの確認：フレーム選択➡◎（表示）
  - フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと、◎（戻る）
- 編集のやり直し：0（元に戻す）

ムービングフォトフレーム JPEG形式やPNG形式の画像に、内蔵の動くフレームを付け、アニメーション風に仕上げます。

画像編集のメニュー画面で「ムービングフォトフレーム」選択➡◉➡フレーム選択➡◉➡◉

- ムービングフォトフレームの確認：フレーム選択➡◎（再生）
  - ムービングフォトフレーム選択画面に戻る：上記操作のあと、◎（戻る）
- 編集のやり直し：0（元に戻す）
- 作成したアニメーションは、「E-アニメータ」(.nva)形式で登録されます。

注意 ムービングフォトフレームで作成したファイルは、シャープ製ボーダフォンライブ！パケット対応機以外では展開できません。（J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機でも展開はできますが、正しく表示されないことがあります。）

補足 ムービングフォトフレームのサイズには、横120×縦130ドットと横240×縦260ドットの2種類があります。元の画像サイズによって、次のサイズのムービングフォトフレームが自動的に付きます。

- **横120　縦130ドット以下のとき**
  横120×縦130ドットのムービングフォトフレームが付きます。
- **横120　縦130ドットより大きいとき**
  横240×縦260ドットのムービングフォトフレームが付きます。
- **横240　縦260ドットより大きいとき**
  画像の中心に、横240×縦260ドットのムービングフォトフレームが付きます。

うまく加工できないときは、フレームの種類に応じて画像のサイズを変更したり、お好みのサイズに切り出してご利用ください。（☞P.12-26）

画像回転 画像の向きを回転させることができます。

画像編集のメニュー画面で「回転」選択➡◉➡種類選択➡◉※➡◉

※◎（回転）を押すたびに、画像が90度ずつ回転します。

- 編集のやり直し：0（元に戻す）

保存形式／保存サイズの変更 画像の形式をJPEG形式（「JPG」表示）やPNG形式（「PNG」表示）に変更したり、画像のファイルサイズを変更します。

保存形式変更

画像編集のメニュー画面で「保存形式」選択➡◉➡「1形式」選択➡◉➡保存形式選択➡◉➡◎（完了）

サイズ変更

画像編集のメニュー画面で「保存形式」選択➡◉➡「2サイズ」選択➡◉➡サイズ選択➡◉➡◎（完了）

注意 保存形式やファイルサイズを変更すると、画質が変わることがあります。

画像の合成

画像合成編集の各操作は、合成する画像を表示し（☞P.12-6の操作1～3）、次の操作を行ったあとの画面（画像合成のメニュー画面）から操作します。

◎（メニュー）➡「画像合成」選択➡◉

- ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なります。

◎ ➡

メニュー
画像編集
画像合成
壁紙登録
マイキャラクタ登録
簡単アニメ作成
バーコード読み取り
バーコード作成
マーク表示ＯＦＦ
通常表示
プロパティ

メニュー画面

◎◉ ➡

表示中の画像
4分割画像 240 320
メニュー項目の内容を表示
画像合成メニュー項目

画像合成のメニュー画面

分割画像を作成する

最大４枚の画像を縮小し、１枚の画像内に配置して分割画像を作成することができます。
- 分割画像で利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。連写画像も利用できます。
- あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。

分割画像

1 画像合成のメニュー画面（☞P.12-31）で、「４分割画像 240×320」または「４分割画像 120×160」を選び、◉を押す。
- 分割画像の左上に配置する画像を選んで操作してください。

2 番号を選び、◉を押す。
V602SHのデータフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

3 画像を選び、◉を押す。
選んだ画像が表示されます。（利用できない画像は選択できません。）
- 画像の変更：㋱（変更）➡操作２からやり直す
- 指定する番号から選び直し：◎（戻る）

4 ◉を押す。
分割画像用の画像として指定されます。

5 操作２～４をくり返し、画像を指定する。
- 画像の変更：画像選択 ➡◉（メニュー）➡「2 変更」選択➡◉➡操作３～４をやり直す
- 画像の消去：画像選択 ➡◉（メニュー）➡「3 消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

6 画像の指定が終われば、㋱（完了）を押す。
登　日時のファイル名が自動的に表示されます。
- 登　中止：◎（取消）

7 タイトルを入力し、◉を押す。
- タイトルを変更しないときは、そのまま◉を押してください。
- 登　先変更：クリア➡フォルダ選択➡◉
- SDメモリカードへ保存：㋱（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

8 ◉を押す。
新しい画像として登　されます。

写メールモードで撮影した連写画像内の１枚の画像の利用

■ P.12-32操作３で、クリア（画像一覧表示のとき）または◎（ファイル名一覧表示のとき）を押したあと、次の操作を行います。
　連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉➡◎で画像選択➡◉➡P.12-32操作５へ
- ファイル名のあとに「1/4」～「4/4」などが付加されます。

■ 分割画像も指定できます。（ファイル名のあとに「田」が付加されます。）

２枚の画像をパノラマ合成する

２枚の画像を横に並べて、１枚の画像にします。

２枚の画像を選択　　パノラマ合成

パノラマ合成時には、画像に応じて次の効果を選べます。

標準	パノラマ合成の標準モード。 近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらを合成するのにも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。 近距離で撮影した画像を合成するのに適しています。
ドキュメント	説明板などの文字のある画像を合成するのに適しています。

- パノラマ合成に利用できる画像は、横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像です。
- ２枚の画像サイズが異なるときは、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成されます。
- 色味が異なる２枚の画像をパノラマ合成すると、うまく合成されないことがあります。

1 画像合成のメニュー画面（☞P.12-31）で、「パノラマ合成」を選び、◉を押す。
選んだ画像は左側の画面に表示されます。
- パノラマ合成する１枚目の画像を選んで操作してください。
- 「パノラマ合成」が選択できない画像は、利用できません。

2 「2---------------------」を選び、◉を押す。
V602SHのデータフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

3 もう１枚の画像を選び、◉を押す。

4 ◉を押す。
選んだ画像が右側の画面に表示され、2枚目の画像として指定されます。
- 画像サイズが大きすぎるときや、小さすぎるときは、画像選択画面に戻ります。画像を選び直してください。
- ■ 画像の確認：画像選択➡◉➡「1選択画像表示」選択➡◉
  - ▪パノラマ合成に戻る：上記操作のあと、◎（戻る）
- ■ 画像の変更：画像選択➡◉➡「2変更」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉
- ■ 画像の左右入れ替え：◎（入替）

5 「効果」を選び、◉を押す。

6 「1標準」〜「3ドキュメント」のいずれかを選び、◉を押す。

7 画像の指定が終われば、㋮（完了）を押す。
合成された画像が表示されます。
- ✥を押すと、画像が移動し、隠れている部分が表示されます。

8 ◉を押す。
登　日時のファイル名が自動的に表示されます。

9 タイトルを入力し、◉を押す。
- タイトルを変更しないときは、そのまま◉を押してください。
- ■ 登　中止：◎（取消）
- ■ 登　先変更：クリア➡フォルダ選択➡◉
- ■ SDメモリカードへ保存：㋮（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

10 ◉を押す。
新しい画像として登　されます。

分割画像（画像分割メール）を結合する

画像分割メールに添付されてきた画像の１つを指定することで、４枚の画像を自動的に結合できます。
- 受信した画像のファイル名を変更したり、同じファイル名の画像があるときは、正しく結合できないことがあります。
- 画像分割メールで送受信した画像を結合すると、画質が変わることがあります。

1 画像合成のメニュー画面（☞P.12-31）で、「画像分割メール結合」を選び、◉を押す。
結合された画像が表示されます。

2 ◉を押す。
ファイル名が自動的に表示されます。

3 タイトルを入力し、◉を押す。
- タイトルを変更しないときは、そのまま◉を押してください。
- ■ 登　中止：◎（取消）
- ■ 登　先変更：クリア➡フォルダ選択➡◉
- ■ SDメモリカードへ保存：㋮（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

4 ◉を押す。
新しい画像として登　されます。

メロディファイルの利用

データフォルダに保存されているファイルに対して、ファイル形式に応じた各種操作を行うことができます。
「メロディファイルの利用」の各操作は、データフォルダ画面で対象のファイルを選び、㋮（メニュー）を押したあとの画面（メニュー画面）から操作します。
- ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。
- メロディファイル（.smd）で、「データ編集」、「音色設定」、「強弱設定」を行うと、オリジナル着信音（.sjm）形式で保存されます。

メニュー画面

再生音量を設定する

1 メニュー画面で、「サウンド再生音量変更」を選び、◉を押す。

2 ◌で音量を選び、◉を押す。

着信パターン／効果音に設定する

- ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるサウンドは、着信パターンに設定できません。

1 メニュー画面で、「着信音設定」または「効果音設定」を選び、◉を押す。
- 各項目が選択できないサウンドは、利用できません。

2 着信の種類を選び、◉を押す。

メロディファイルの編集

■ ⓞ5 ➡メロディフォルダ選択➡◉➡メロディ選択➡㋱（メニュー）➡「その他の編集機能」選択➡◉➡「データ編集」選択➡◉（以降の操作：☞P.8-15操作６以降）

メロディの音色／強弱の設定

■ ⓞ5 ➡メロディフォルダ選択➡◉➡メロディ選択➡㋱（メニュー）➡「その他の編集機能」選択➡◉➡「音色設定」／「強弱設定」選択➡◉
- 音色設定の以降の操作：☞P.8-13〜P.8-14の操作12〜15
- 強弱設定の以降の操作：☞P.8-14の操作17〜20

メロディのメール添付

■ ⓞ5 ➡メロディフォルダ選択➡◉➡メロディ選択➡㋱（メニュー）➡「メール添付」選択➡◉（以降の操作：☞ⓞP.3-3）

着うた®の利用

「着うた®」は、（株）ソニー・ミュージックエンタテインメントの登　商標です。

再生する

データフォルダのオーディオフォルダ内に保存されている、着うた®を再生します。

1 **ⓞ5 の順に押す。**

2 **オーディオフォルダを選び、◉を押す。**
- 作成したフォルダに保存しているときは、このあとフォルダを選び、◉を押してください。

3 **着うた®を選び、◉を押す。**
- 着うた®を選び、㋱（メニュー）を押すと、着信音に設定することもできます。（☞P.12-37操作４以降）

4 **◉を押す。**
- 再生の停止：◉（押すたびに「停止」⇔「再生」）
- 音量調整：ⓞ（上げる）／ⓞ（下げる）
- スキップ再生：＊（前曲再生）／＃（次曲再生）
- 再生に関する設定：☞P.12-37

15:05
AUDIO PLAYER
PLAY
STATUS VOLUME ELAPSED TIME
00 00:00:01
32 kbps 32 kHz
TITLE
No Title
ARTIST
No Artist Name
戻る ●停止 ﾒﾆｭｰ

注意 スピーカーでの再生時に、曲や再生音量によっては、ひずんだように聞こえることがあります。このときは、再生音量を下げてください。

再生中にできること

再生中の曲を最初から再生する	ⓞを押します。 くり返し押すと、前の曲を再生します。
次の曲を再生する	ⓞを押します。 くり返し押すと、次の曲を再生します。
一時停止する	◉（停止）を押します。 もう一度◉を押すと、再生が再開します。

再生に関する設定

再生設定 曲を再生するときの再生方法を設定します。

■１曲リピート再生に設定するときは、その曲の表示中（再生中または停止中）に操作してください。

お買い上げ時 １曲リピート再生

再生画面（再生停止中）で㋱（メニュー）➡「再生設定」選択➡◉➡再生モード選択➡◉

着信音に設定する

1 **ⓞ5 の順に押す。**

2 **オーディオフォルダを選び、◉を押す。**

3 **着うた®を選び、㋱（メニュー）を押す。**

4 **「着信音設定」を選び、◉を押す。**

5 **着信の種類を選び、◉を押す。**

12 データ管理

vファイルの利用

vファイルのしくみ

vファイルとは

「**vファイル**」とは、V602SHのメモリダイヤルやスケジュールなどのデータを、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間でやりとりし、相互で利用できるようにしたファイル形式の総称のことです。
vファイルを利用すると、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで作成したメモリダイヤルやスケジュールなどのデータをV602SHに取り込んだり、V602SHのメモリダイヤルをパソコンで管理することなどが可能になります。
vファイル対応機能と各ファイル形式は、次のとおりです。

機能	アイコン	ファイル形式	機能	アイコン	ファイル形式
メモリダイヤル（オーナー情報）	（.vcf）	vCard形式	テキストメモ※1	（.vnt）	vNote形式、Text形式
			メッセージ	（.vmg）	vMessage形式
スケジュール	（.vcs）	vCalendar形式	ブックマーク※2	（.vbm）	vBookmark形式

※1　メモ形式では、「」（.txt）が表示されます。
※2　拡張子「.url」もあります。

vファイルの利用方法

vファイルは、V602SHの専用メモリのデータをデータフォルダに保存すると自動的に作成されます。（V602SHでは、ブックマークのvファイルは作成できません。）
作成されたvファイルは、メールやウェブを利用したり、SDメモリカードを経由して、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとやりとりします。

専用メモリ
メモリダイヤル
スケジュール
テキストメモ
メールボックス
ブックマーク
メッセージフォルダ
保存情報
vファイル対応機能
vファイルとして保存
各機能に取り込み
etcフォルダまたは新規作成したフォルダに保存可能
ファイルBOX
データフォルダ
ピクチャー
メロディ
アニメーション
ムービー
オーディオ
etc
新規作成フォルダ
Vアプリライブラリ
デジタルカメラフォルダ
モーションカメラフォルダ
ビデオカメラフォルダ
ボイスフォルダ
バーコード
他のボーダフォン携帯電話やパソコンなど
スーパーメール添付
SDメモリカード経由
ダウンロード
ウェブサービス

メールを利用するとき

メールを利用するときのvファイルの送信／受信について、簡単に説明します。
操作の詳細については、操作文中の各ページを参照してください。

■メールを利用してvファイルを送信するとき

1. **各機能から、vファイルを作成する。（☞P.12-40）**
2. **データフォルダから添付して、メールを送信する。（☞Ⓞ P.3-9）**
   - メールに対応していないボーダフォン携帯電話へは、vファイルは送信できません。

■メールやウェブを利用してvファイルを受信したとき

1. **受信したvファイルを、データフォルダに保存する。（☞Ⓞ P.4-27）**
2. **データフォルダのvファイルを、各機能へ取り込む。（☞P.12-41）**

メモリカードを利用するとき

SDメモリカード内のデータフォルダにvファイルを保存します。このSDメモリカードを他の機器へ直接取り付けると、vファイルが利用できます。また、他の機器でvファイルを保存したSDメモリカードを、V602SHに取り付けて利用することもできます。

注意　SDメモリカードに保存したブックマークは、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどでは利用できません。また、SDメモリカードに保存したvファイルは、内容によって、他の機器では利用できないことがあります。

ボーダフォン携帯電話とのやりとり

■ vNote形式のテキストメモは、赤外線通信対応のボーダフォン携帯電話で送受信できます。（☞P.13-2）

ボーダフォン携帯電話以外の機器とのやりとり

■ パソコンなどでvファイルを利用するには、vファイルに対応したソフトウェアが必要になります。データの内容によっては、V602SHに取り込めないことや、パソコンなどで利用できないことがあります。
■ パソコンやメモリカードドライブの種類によっては、V602SHでフォーマットしたSDメモリカードや、保存したvファイルが読み込めないことがあります。
■ パソコンなどでフォーマットしたSDメモリカードや保存したvファイルは、V602SHで読み込めないことがあります。

vファイルを作成（保存）する

vファイルは、メモリダイヤルなどvファイル対応機能のデータを、データフォルダに保存することにより作成します。

1 ***メモリダイヤルから作成するとき***

1 メモリダイヤルを呼び出す。（☞P.5-13）

●オーナー情報から作成するときは、オーナー情報画面を表示します。（☞P.2-24）

2 ◉を押す。

> **注意**
> 指定着信音、メールコール、メールフォルダが登　されているメモリダイヤルは削除して保存されます。
> また、ピクチャーコール／メールが登　されているメモリダイヤルは、登　されている画像のサイズによっては、削除して保存されます。

スケジュールから作成するとき

1 スケジュールの一覧画面を表示する。（☞P.15-19の操作１～３）

2 スケジュールを選び、◎（メニュー）を押す。

テキストメモから作成するとき

1 テキストメモの一覧画面を表示する。（☞P.4-24の操作１～２）

2 テキストメモを選び、◎（メニュー）を押す。

メールから作成するとき

1 メールのリスト画面を表示する。（☞◎P.4-2の操作１～２）

2 メールを選び、◎（メニュー）を押す。

2 「データフォルダに保存」を選び、◉を押す。

3 タイトルを入力し、◉を押す。

V602SHのetcフォルダのファイル表示画面が表示されます。

●新規作成したフォルダにも登　できます。

■ SDメモリカード内のデータフォルダにコピー：◎（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉（☞P.12-48）

4 ◉を押す。

vファイルを各機能に取り込む

受信したvファイルは、データフォルダに保存（☞◎P.4-27）したあと、各機能に取り込むことで利用できるようになります。

1 データフォルダ画面（☞P.12-3）**で、vファイルが保存されているフォルダを選び、◉を押す。**

2 vファイルを選び、◎（メニュー）を押す。

3 ***メモリダイヤルを取り込むとき***

1「メモリダイヤルへ登録」を選び、◉を押す。

2 メモリ番号を入力して登録する。（☞P.5-5）

スケジュールを取り込むとき

1「スケジュールへ登録」を選び、◉を押す。

2「1YES」を選び、◉を押す。

テキストメモを取り込むとき

1「テキストメモへ登録」を選び、◉を押す。

2「1YES」を選び、◉を押す。

メールを取り込むとき

1「メールボックスへ登録」を選び、◉を押す。

●V602SH の受信メールボックス、送信メールボックス、送信トレイのいずれかに、自動的に登　されます。

ブックマークを取り込むとき

1「ブックマークへ登録」を選び、◉を押す。

2「1本体」または、「2メモリカード」を選び、◉を押す。

SVGファイルの利用

V602SHでは、　クトルグラフィックスフォーマット「SVG-T」（Scalable Vector Graphics-Tiny）のファイルが表示できます。SVGファイルの表やグラフ、地図などの画像を閲覧することが可能です。

●「SVG-T」の詳細な情報については「http://www.sharp.co.jp/j/」でご案内しています。

●SVGファイルの表示中に◎（ガイド）を押すと、利用できるボタン操作が表示されます。

上下左右スクロール	◈
ページスクロール	2（上）／4（左）／6（右）／8（下）
拡大／縮小	3（拡大）／#（やや拡大）／1（縮小）／*（やや縮小）／0（元に戻る）／5（キーアクションモード）

電子ブックの利用

SDメモリカードに保存されている電子書籍用のデータフォーマット（XMDF形式やText形式）で作成されたデータ（電子ブック）を閲覧することができます。電子ブックには通常の「**書籍データ**」と、言葉の意味などを検索できる「**辞書データ**」があります。

- 電子ブックにご利用いただける書籍データの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞P.8-12）でご案内しています。
- 書籍データによっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、V602SHではご利用になれないことがあります。
- SDメモリカードの取り扱いについては、P.11-2をご確認ください。

書籍データを読む

- 一時停止中のVアプリがあるときは、書籍データは読めません。

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2 「8電子ブック」を選び、◉を押す。

電子ブックフォルダの書籍データのリスト画面が表示されます。

- 前回◉を押して閲覧を終了していたときは、終了時のページが表示されます。
- ■ 音楽再生中：音楽再生中止確認➡「1YES」選択➡◉（リスト画面または前回閲覧中の画面へ）
- ■ Vアプリ一時停止中：終了確認画面表示➡「1YES」選択➡◉（リスト画面または前回閲覧中の画面へ）
- ■ 電子ブックフォルダ以外のフォルダ内の電子ブックの閲覧：◉（**メニュー**）➡「**表示フォルダ切替**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉
（次回からもここで選択したフォルダが表示されます。）
- ■ タイトルや著者などの情報表示：◉（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉

3 データを選び、◉を押す。

- ディスプレイ上部に表示される「○%」は、現在のページが書籍データ全体の何%ぐらいの位置にあたるかを示しています。
- ■ パスワードが必要なデータ：パスワード入力画面表示➡パスワード入力➡◉➡閲覧画面へ

4 閲覧を終わるときは、クリアまたは◉を押す。

- クリアを押すと、書籍データのリスト画面に戻ります。
- 「◉**リスト**」が表示されているときは、◉（**リスト**）を押しても書籍データのリストが表示されます。
- 次回閲覧時に続きから読むときは、◉を押します。

補足　書籍データをユーザーショートカットに登　することができます。（☞P.15-22）

閲覧画面での基本操作

■ 横書きか、縦書きかによって操作が異なります。

	横書き	縦書き
◉上	上にスクロール（行戻り）	前のページへ（ページ戻し）
◉下	下にスクロール（行送り）	次のページへ（ページ送り）
◉左	前のページへ（ページ戻し）	左にスクロール（行送り）
◉右	次のページへ（ページ送り）	右にスクロール（行戻り）

閲覧画面でできること

■ データの先頭や最後に移動
閲覧画面で◉（**メニュー**）➡「**先頭へ**」／「**最後へ**」選択➡◉

■ 先頭からおおよその位置を%で指定して、移動
閲覧画面で◉（**メニュー**）➡「**%指定移動**」選択➡◉➡位置（00〜99%）入力➡◉

■ 目次を利用し、読みたい章を表示（目次に対応した書籍データで有効）
閲覧画面で◉（**メニュー**）➡「**目次**」選択➡◉➡章選択➡◉

■ しおりの利用：☞P.12-44

■ 閲覧画面の表示方法
閲覧画面で◉（**メニュー**）➡「**表示設定**」選択➡◉➡項目選択➡◉➡内容選択➡◉

項目	内容	お買い上げ時の設定
文字サイズ設定	文字サイズを「**小**」、「**やや小**」、「**中**」、「**やや大**」、「**大**」のいずれかに設定します。	中
縦横設定	縦書きと横書きを切り替えて表示します。	縦書き
ルビ表示	ルビを表示するかどうかを設定します。	OFF

- 書籍データによっては、上記の表示設定が利用できないことがあります。

情報の利用／文字列のコピー

■ 書籍データ内に電話番号やE-mailアドレス、URLが入っているとき、これらの情報を利用することができます。（電話発信、メール送信、インターネット接続）
情報選択➡◉➡確認画面表示➡「1OK」選択➡◉➡電話発信画面／メール作成画面／情報画面表示

- 操作中に他の機能を呼び出しているとき（☞P.1-28）は、利用できません。
- データの内容によっては、利用できないことがあります。

■ 書籍データ内の文字列（最大20文字）を、他の場所にコピーできます。
閲覧画面で◉（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡◉（以降の操作：☞P.4-21操作3以降）

マスク情報／ジャンプ情報

■ 書籍データによっては、特定の文字列や画像を隠す情報（マスク情報）やコンテンツ内の他のページに移動する情報（ジャンプ情報）が埋め込まれていることがあります。

- マスク情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、文字列や画像のマスクが反転します。再度◉を押すと、文字列または画像が表示されなくなります。
- ジャンプ情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで◉（**戻る**）を押すと、元のページに戻ります。

しおりを利用する

読みかけのページにしおりを登　しておけば、次回簡単な操作で続きから閲覧することができます。

●しおりは１書籍につき最大２個（最大５書籍）まで登　できます。

1 しおりを登録するページで、（メニュー）を押す。

2「しおりをはさむ」を選び、◉を押す。

3「1しおり１」または「2しおり２」を選び、◉を押す。

指定したページにしおりが登　されます。

自動しおり

■書籍データの閲覧を終了すると、自動的に最後に表示していたページにしおりが登　されます。（自動しおり１）
次に同じ書籍データの閲覧を行い終了すると、最後に表示していたページが自動しおり１に登　され、前回の自動しおり１は自動しおり２に登　されます。
●自動しおりは１書籍につき最大２個まで登　され、古いものから順に自動的に消去されます。

しおりを登録したページの表示

■メニュー画面で、「**しおりへ移動**」を選び、◉を押したあと、「**しおり１**」、「**しおり２**」、「**自動しおり１**」、「**自動しおり２**」のいずれかを選び、◉を押します。

書籍データ内の画像を利用する

画像の壁紙設定　書籍データ内の画像を壁紙に設定します。

画像選択➡◉➡「壁紙登録」選択➡◉

■ 以降の操作：☞P.7-2「オリジナル画像を利用するとき」操作4以降

■ 壁紙登　の中止：[クリア]

●画像によっては、壁紙に設定できないものがあります。

画像内情報の利用　画像に埋め込まれた情報を利用します。

画像選択➡◉➡「リンクへ移動」／「マスクの切替」／「動画の実行」選択➡◉

リンクへ移動	ジャンプ情報では、書籍内の他のページへジャンプします。ウェブへのアクセスやメール送信など、リンク情報を実行するときは、電子ブックの終了確認が表示されます。（情報の利用／文字列のコピー：☞P.12-43）
マスクの切替	隠された特定の文字列または画像を表示します。
動画の実行	指定のパラパラアニメが動きます。

■ 中止：[クリア]

辞書データを利用する

文字列の検索　辞書データを利用して言葉の意味などを検索し、検索結果を表示できます。

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「8電子ブック」選択➡◉➡辞書選択➡◉➡検索文字列の入力欄選択➡◉➡文字列入力➡◉

●検索結果画面から見たい情報を選び、◉を押すと、辞書データの項目が表示されます。

●項目画面での操作は、閲覧画面での基本操作（☞P.12-43）を参考にしてください。

辞書データ／書籍データの情報の確認　辞書データや書籍データの情報を確認します。

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「8電子ブック」選択➡◉➡（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

フォルダ／ファイルの編集

新しいフォルダを作成する

作成したフォルダは、あらかじめ登　されているetcフォルダと同様に、すべての形式のファイルを保存できます。（☞P.12-3）

●フォルダは第１階層から第２階層までに作成できます。（☞P.12-8）

●あらかじめ登　されているフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、オーディオ、etcなど）内にも新しいフォルダを作成できます。
（同じ階層に、同じフォルダ名では作成できません。）

1 ◉[5]の順に押す。

●あらかじめ登　されているフォルダ内にフォルダを作成するときは、このあとフォルダを選び、◉を押します。

2 （メニュー）を押す。

3「フォルダ作成」を選び、◉を押す。

4 フォルダ名を入力し、◉を押す。

■ 他のフォルダの作成：操作２～４をくり返す

フォルダ名／ファイル名を変更する

- あらかじめ登　されているフォルダの名前は変更できません。
- ファイルの拡張子は変更できません。
- 同じ階層に、同じフォルダ名やファイル名は使えません。
- フォルダ保護されているフォルダの名前を変更するときは、あらかじめ保護設定を解除しておいてください。（☞P.12-47）

1 データフォルダから、フォルダやファイルを選ぶ。

2 ㋹（メニュー）を押す。

3 「名前の変更」を選び、◉を押す。

■ 着信音設定／効果音設定／グループ設定登　済のファイル名変更：確認画面表示➡「1YES」選択➡◉

4 名前を変更し、◉を押す。

■ 使用できない文字：半角の「¥」／「/」／「:」／「;」／「.」／「<」／「>」／「|」／「?」／「*」／「"」、絵文字

フォルダ／ファイルを消去する

- フォルダを選択すると、フォルダ内のファイルもすべて消去されます。
- あらかじめ登　されているフォルダは消去できません。
- フォルダ保護されているフォルダを消去するときは、あらかじめ保護設定を解除しておいてください。（☞P.12-47）
- あらかじめ登　されているメロディフォルダ内のファイルは消去できます。

1 データフォルダから、フォルダやファイルを選ぶ。

■ 複数ファイルの選択：☞P.12-47

2 ㋹（メニュー）を押す。

3 「消去」を選び、◉を押す。

4 「1YES」を選び、◉を押す。

「YS6DATA」フォルダ

■「YS6DATA」フォルダは、Vアプリ「**イースVIナピシュテムの匣**」で使用するフォルダです。「YS6DATA」フォルダやフォルダ内のファイルは、名前を変更したり、消去することができます。ただし、名前を変更したり消去すると、Vアプリが正常に動作しないことがあります。

複数ファイルの選択

■ データフォルダ内のファイルを複数選択するときは、データフォルダ画面で次の操作を行います。

ファイル選択➡◎（**チェック**）（ファイル選択➡◎をくり返す）

- 選択を解除するときは、「☑」が表示されているファイルを選んで、◎（**チェック**）を押してください。（最大50件まで選択できます。）
- Vアプリで使用中のファイルは、選択できません。

■ 選択をすべて解除するときは、次の操作を行います。

㋹（メニュー）➡「**チェックリセット**」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

フォルダを保護する

データフォルダ内のデータを、操作用暗証番号を入力しないと操作できないようにします。

- 最大10個まで、フォルダ単位で設定できます。
- あらかじめ登　されているフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、オーディオ、etcなど）のほか、新規作成したフォルダに対しても保護設定できます。

1 データフォルダから、フォルダを選ぶ。

2 ㋹（メニュー）を押す。

3 「便利機能」を選び、◉を押す。

4 「フォルダ保護」を選び、◉を押す。

5 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

6 「1ON」を選び、◉を押す。

■ フォルダ保護の解除：「2OFF」選択➡◉

注意

- 次のフォルダは保護設定できません。
  - ■ SDメモリカード内のフォルダ
  - ■ モバイルカメラ（ショートカット）のフォルダ
- SDメモリカードからV602SHにデータを一括転送すると、データ保護設定は解除されます。

ファイルをコピー／移動する

データフォルダ内のファイルを、別のフォルダにコピー／移動します。
●コピー／転送不可ファイルは、コピーできません。
●あらかじめ登　されているフォルダへは、該当するファイル形式のファイル（☞P.12-3）だけコピー／移動できます。
●ファイルの種類やデータの内容によっては、コピー／移動できないことがあります。
●連写画像はコピー／移動できません。

1 データフォルダから、ファイルを選ぶ。
■ 複数ファイルの選択：☞P.12-47

2 ㊫（メニュー）を押す。

3「コピー」または「移動」を選び、◉を押す。

4「1 本体」を選び、◉を押す。
■ SDメモリカードへのコピー／移動：「2 メモリカード」選択➡◉
■ 着信音設定／効果音設定／グループ設定登　済のファイル移動：確認画面表示 ➡「1YES」選択➡◉
■移動の中止：「2NO」選択➡◉
■ファイルを移動すると、そのファイルに設定されている各設定は無効になります。

5 コピー先／移動先のフォルダを選び、◉を押す。

6 ◉（登録）を押す。

注意
●SDメモリカードが書き込み禁止になっているときは､SDメモリカードへはコピー／移動できません。
●SDメモリカードへコピー／移動したファイルの種類やデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。

補足
同じ名前のファイルがあるフォルダに、ファイルをコピー／移動すると、コピー／移動したファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されることがあります。

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信機能を搭載したボーダフォン携帯電話などと、データを送受信できます。
赤外線通信モードでは、次のことが行えます。

1件データ送信	メモリダイヤルやメールなどの画面で選んだデータを、1件ずつ送信します。
1件データ受信	赤外線通信画面で、送信側の操作によりデータを1件ずつ受信します。受信したデータは自動的に識別され、該当する機能のデータとして追加されます。
フォルダ単位送信	データフォルダ全体またはデータフォルダ画面で、選んだフォルダおよびフォルダ内のすべてのデータを送信します。
フォルダ単位受信	赤外線通信画面で、送信側の操作によりデータフォルダ全体または指定したフォルダおよびフォルダ内のすべてのデータを受信します。
全件データ送信	赤外線通信画面で選んだ機能ごとに、すべてのデータを送信します。
全件データ受信	赤外線通信画面で、送信側の操作により指定した機能のすべてのデータを受信します。

- 通信中やボーダフォンライブ!の利用中(メールや情報の送受信中)は、赤外線通信は行えません。
- V602SHの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。
  ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 赤外線通信機能を利用中は、自動的にオフラインモード(☞P.3-6)に設定されます。そのため、着信、通話、ボーダフォンライブ!、ミュージックプレイヤー、カード手動シンクロ、メールやデータの編集中などには利用できません。赤外線通信が終了すると、自動的にオフラインモードが解除されます。

赤外線通信利用時のご注意

- 受信側、送信側のボーダフォン携帯電話を、20cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。
- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線通信ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
- 直接日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。

20cm以内

- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。

補足 正常に通信できないときは、再接続の確認の画面が表示されます。上記のご注意を確認していただいたあと、再接続してください。(「1YES」を選び、◉を押します。)

送受信できるデータ

機能	1件	全件	備考
メモリダイヤル	○	○	1件データ送受信では、グループ指定、シークレット設定、指定着信音、メールコール、メールフォルダは送受信できません。全件送信するときは、オーナー情報(電話番号を除く)も転送されます。
スケジュール	○	○	1件データ送受信では、シークレット設定は送受信できません。
テキストメモ	○	○	ノート形式だけ送受信できます。
メール	○	○	
データフォルダ※	○	○	全件送受信は、データフォルダ全体またはフォルダ単位で行えます。また、著作権で保護されているファイルは送受信できません。
デジタルカメラデータ	○		900KバイトまでのDCF形式のファイルの送受信ができます。

※ 着うた®(.mp4)を受信したときは、etcフォルダに不明ファイルとして保存されます。
- SDメモリカード内のデータは全件送信できません。
- 100Kバイトを超えるファイルは送受信できません。(デジタルカメラデータを除く)
- ブックマークデータも受信できます。

認証パスワード設定

「認証パスワード」は赤外線通信のための専用パスワードです。データの全件送受信では、受信側/送信側とも同じ認証パスワードを入力する必要があります。
この認証パスワードは、初めて赤外線受信を行うときなどに表示される、認証パスワード入力画面で入力すると自動的に設定されます。設定された認証パスワードは、このページの操作で変更できます。
- 認証パスワードは、あらかじめ設定されていません。

1 ◉◉(赤外線)の順に押す。

2「赤外線通信」を選び、◉を押す。

3「3認証パスワード設定」を選び、◉を押す。

4 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。

5 認証パスワード(4ケタ)を入力する。

認証パスワードが設定され、赤外線通信の画面に戻ります。

補足 初めて赤外線受信を行う前にこのページの操作を行うと、あらかじめ認証パスワードを設定しておくこともできます。このときは、次に赤外線受信を行っても、認証パスワードの入力画面は表示されません。

赤外線通信の利用

データを１件ずつ送受信する

データを１件ずつ送信する

赤外線通信を利用した１件送信は、各機能（☞P.13-3）の画面から行います。

1 各機能のリスト画面で、送信するデータを表示する。
- メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモは、各詳細画面からでも操作できます。

15:05
[No.000 - 009]
005 植田ミキオ
03123XXXX3
006 青木一郎
007 岡田典子
008 浜田伸吾
切替 ●選択 ﾒﾆｭｰ

メモリダイヤル
リスト画面

2 ◎（メニュー）を押す。
- データフォルダ内のデータを送信するときは、このあと「赤外線通信」を選び、◉を押します。

3「赤外線１件送信」を選び、◉を押す。
自動的にオフラインモードになり、タイトルの入力画面が表示されます。
- 自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、各機能のリスト画面に戻ります。

4 タイトルを修正し、◉を押す。
- タイトルを変更しないときはそのまま◉を押し、操作５へ進みます。タイトルを変更しても、元のデータの登　名は変更されません。
- デジタルカメラデータはタイトルの変更はできません。

5 受信側を待機状態にする。

6 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。
送信を開始します。送信が完了すると、各機能のリスト画面に戻ります。

データを１件ずつ受信する

1 ◉◎（ﾂｰﾙ）の順に押す。

2「赤外線通信」を選び、◉を押す。

3「2赤外線受信」を選び、◉を押す。

4 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信します。
- 受信中止：◎
- 受信強制終了：◎

補足
認証パスワードの入力画面が表示されたとき
- 初めて赤外線受信を行うときなどには、認証パスワードの入力画面が表示されます。認証パスワード（４ケタ）を入力すると、受信が開始されます。
- 一度入力した認証パスワードは自動的にV602SHに設定されますが、状況に応じて変更することができます。（☞P.13-3）
- 認証パスワードを間違えたときは、赤外線通信画面に戻ります。

5 受信が終われば、登録の確認画面が表示される。

6 ***受信したデータを登録するとき***

1「1YES」を選び、◉を押す。
データ登　完了後、赤外線通信の画面に戻ります。

受信したデータを登録しないとき

1「2NO」を選び、◉を押す。
情報を破棄してよいかの確認画面が表示されます。

2「1YES」を選び、◉を押す。
通信を終了し、赤外線通信の画面に戻ります。

データを全件送受信する

- 全件データの送受信には、「**暗証番号**」と「**認証パスワード**」の入力が必要です。
  - 「**暗証番号**」は、V602SHに設定した４ケタの操作用暗証番号（☞P.1-32）です。
  - 「**認証パスワード**」は、赤外線通信のための専用パスワードです。受信側の認証パスワードを設定しておくこともできます。（☞P.13-3）
- データフォルダの全件送受信については、P.13-7を参照してください。

データを全件送信する

1 ◉◎（ﾂｰﾙ）の順に押す。

2「赤外線通信」を選び、◉を押す。

3「1赤外線一括送信」を選び、◉を押す。
自動的にオフラインモードになります。
- 自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、赤外線通信の画面に戻ります。

4 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

5 送信する機能を選び、◉を押す。

6 受信側を待機状態にする。

7 認証パスワード（４ケタ）を入力する。

■ メモリダイヤル選択時：画像データ転送の確認画面表示➡「1YES」／「2NO」選択➡◉➡送信の確認画面表示

8 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。

送信を開始します。送信が完了すると、送信する機能の選択画面に戻ります。

●認証パスワードを間違えたときも、送信する機能の選択画面に戻ります。

データを全件受信する

1 ◉◎（ ）の順に押す。

2「赤外線通信」を選び、◉を押す。

3「2赤外線受信」を選び、◉を押す。

4 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信します。

補足

認証パスワードの入力画面が表示されたとき

●初めて赤外線受信を行うときなどには、認証パスワードの入力画面が表示されます。認証パスワード（４ケタ）を入力すると、受信が開始されます。

●一度入力した認証パスワードは自動的にV602SHに設定されますが、状況に応じて変更することができます。（☞P.13-3）

●認証パスワードを間違えたときは、赤外線通信画面に戻ります。

5 受信が開始されると、登録の確認画面が表示される。

■ 受信中止：◎

■ 受信強制終了：

6 *追加登録をするとき*

1「1追加登録」を選び、◉を押す。

データ受信を開始します。受信が完了すると、赤外線通信の画面に戻ります。

すべてのデータを消して登録するとき

1「2全消去して登録」を選び、◉を押す。

2「1YES」を選び、◉を押す。

データ受信を開始します。受信が完了すると、赤外線通信の画面に戻ります。

注意

メモリダイヤルを全件受信するときに、「全消去して登録」を選択すると、ご自分の電話番号以外のオーナー情報は消去されます。

フォルダ単位でデータを送受信する

フォルダ単位で送信する

1 ◎5の順に押す。

2 送信するフォルダを選び、（メニュー）を押す。

●データフォルダ全体を送信するときは、フォルダを選ぶ必要はありません。

3「赤外線通信」を選び、◉を押す。

4「赤外線フォルダ送信」または「赤外線データフォルダ送信」（データフォルダ全体の送信）を選び、◉を押す。

自動的にオフラインモードになります。赤外線フォルダ送信のときは、タイトルの入力画面が表示されます。

●自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、データフォルダの画面に戻ります。

●データフォルダ全体を送信するときは、このあと操作６に進みます。

5 フォルダ名を修正し、◉を押す。

6 受信側を待機状態にする。

7 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。

送信を開始します。送信が完了すると、データフォルダの画面に戻ります。

フォルダ単位で受信する

1 ◉◎（ ）の順に押す。

2「赤外線通信」を選び、◉を押す。

3「2赤外線受信」を選び、◉を押す。

4 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信します。

●受信が完了すると、赤外線通信の画面に戻ります。

●すでに同じ名前のフォルダがあるときは、登 の確認画面が表示されます。このときは、操作５へ進みます。

5 *受信したデータを保存するとき*

1「1YES」を選び、◉を押す。

保存完了後、赤外線通信の画面に戻ります。

受信したデータを保存しないとき

1「2NO」を選び、◉を押す。

通信を終了し、赤外線通信の画面に戻ります。

セキュリティ機能

操作用暗証番号の変更

現在使用している操作用暗証番号を新しい番号に変更します。
●交換機用暗証番号の変更はできません。

1 ◉28の順に押す。

2 現在の操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
■ 操作用暗証番号：☞P.1-32
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 新しい操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

4 もう一度、新しい操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
新しい操作用暗証番号を間違えたときは、待受画面に戻ります。

無断で利用されたくないとき

ダイヤル操作禁止を設定する

操作用暗証番号を入力しないと、電話をかけられないようにします。

1 ◉20の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
「🔒」が表示され、ダイヤル操作禁止が設定されます。

ダイヤル操作禁止設定中にできること

■ 待受中
- ●長押し（電源のON／OFF）、◉長押し（誤動作防止の設定／解除）、0～9／クリア（操作用暗証番号入力／入力中の消去）
- 緊急ダイヤル通話（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）

■ 通話中
- （終話）、◎（オプションサービスの割込通話サービス利用時の通話切替）、0～9／クリア（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

■ 着信中
- エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）で電話に出る、◉（着信中の着信手動転送）、（応答保留）

ダイヤル操作禁止を解除する

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
「🔒」が消え、ダイヤル操作禁止が解除されます。
●通話中でも同様の操作で解除できます。
●電源を切ってもダイヤル操作禁止は解除されません。

電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定する

電源を入れるたびに自動的にダイヤルの操作を禁止します。（簡易ロック）

1 ◉21の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 「1ON」を選び、◉を押す。
このあと電源を切ると、電源を入れるたびにダイヤル操作禁止が設定されます。

簡易ロックを解除する

ダイヤル操作禁止が設定されているときの解除方法を説明します。

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
「🔒」が消え、ダイヤル操作禁止が解除されます。

2 ◉21の順に押す。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

4 「2OFF」を選び、◉を押す。

メモリダイヤルの使用を禁止する

メモリダイヤルを誤って削除したり、他人が使用できないようにします。（メモリ使用禁止）

1 ◉23の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 「1ON」を選び、◉を押す。
■ メモリ使用禁止の解除：「2OFF」選択➡◉

注意 メモリ使用禁止設定中は、次の機能は利用できません。
■ メモリダイヤルの検索、登 、修正、発信（スピードダイヤルでの発信：☞P.5-15も含む）
■ メモリダイヤルやオーナー情報を使ったバーコードの作成（☞P.15-31）

ダイヤルボタンでの発信を禁止する

ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにします。（ダイヤル禁止）

1 ◉[2][4]の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 「1ON」を選び、◉を押す。

■ ダイヤル禁止の解除：「2OFF」選択➡◉

ダイヤル禁止設定中にできること

■ 緊急ダイヤル通話（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）

電話の着信制限

相手を限定して電話を受けたり、特定の相手からの電話は受けられないようにします。

指定着信許可	登　した電話番号からの着信に限りつながります。それ以外の相手には、話中音が流れます。
指定着信拒否	登　した電話番号からの着信は受けつけず、相手には話中音が流れます。

- 着信拒否した電話は、不在時の着信お知らせ表示（☞P.2-19）で「不在着信：○件」と表示され、着信履歴には「着信拒否」として記憶されます。
- 電話番号を通知してきた相手に限り有効です。
- 非通知や公衆電話からの着信拒否もできます。（☞P.14-5）
- 指定着信許可と指定着信拒否は、同時には設定できません。

リストに電話番号を登録する

着信許可または着信拒否の相手先は、最大10件まで登　できます。相手先を登　したあと「指定着信許可」または「指定着信拒否」を「ON」に設定すると、それぞれの機能が有効になります。

1 *着信許可のとき*

1 ◉[2][5]の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

着信拒否のとき

1 ◉[2][6]の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 「1電話番号指定」を選び、◉を押す。

2 「3リスト登録」を選び、◉を押す。

登　済の相手先があるときは、名前または電話番号が表示されます。

■ 相手先の消去：番号選択➡（消去）➡「1YES」選択➡◉

3 登録先番号を選び、◉を押す。

- 新規に登　するときは、「-----------------」が表示されている番号を選んでください。

4 電話番号を入力する。

■ メモリダイヤルの利用：（TEL）➡メモリダイヤル検索（☞P.5-13～P.5-14）

5 ◉を押す。

直接電話番号を入力した時は電話番号が、メモリダイヤルから選んだときは名前が表示されます。（メモリダイヤルに登　している電話番号と同じ番号を入力しても、登　している名前は表示されません。）

■ 他の相手先の登　：操作３～５をくり返す

指定した電話番号の着信を許可する

- あらかじめ、着信許可リストに相手先の電話番号を登　しておいてください。（☞P.14-4）
- 指定着信拒否を「ON」に設定しているときは、利用できません。

1 ◉[2][5]の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 指定着信許可の解除：「2OFF」選択➡◉

指定した電話番号の着信を拒否する

- あらかじめ、着信拒否リストに相手先の電話番号を登　しておいてください。（☞P.14-4）
- 指定着信許可を「ON」に設定しているときは、利用できません。

1 ◉[2][6]の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 「1電話番号指定」を選び、◉を押す。

4 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 指定着信拒否の解除：「2OFF」選択➡◉

非通知の電話／公衆電話からの着信を拒否する

着信があると、着信音を鳴らさずに着信応答し、おことわりのメッセージを流します。

1 ◉[2][6]の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 「2非通知拒否」または「3公衆電話拒否」を選び、◉を押す。

4 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 着信拒否の解除：「2OFF」選択➡◉

秘密にしたい電話番号の登録

シークレットメモリを登録する

他人に知られたくないメモリダイヤルを、シークレットメモリとして登　します。
- シークレットメモリに登　したメモリダイヤルは、シークレットモード（☞P.14-7）のときだけ表示されます。

1 メモリダイヤルを修正状態にする。（☞P.5-16）
- メモリダイヤルを新規登　する場合にシークレットメモリにするときは、通常のメモリダイヤルと同様に、名前／ヨミ／電話番号などを登　します。（☞P.5-3）

2 「🔑:」を選び、◉を押す。

3 「1ON」を選び、◉を押す。
「🔑:」の行に「ON」が表示されます。

4 ㋹（登録）を押したあと、メモリ番号を入力する。

シークレットメモリの解除

■ シークレットメモリを通常のメモリダイヤルに戻すときは、次の操作を行います。
◉2 2➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡シークレットメモリ呼出（☞P.5-14）➡◉➡「修正」選択➡◉➡「🔑:」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉➡㋹（登録）➡以降の操作：☞P.5-5

注意 操作用暗証番号を知らない人でも偶然番号が合い、メモリダイヤルを見られることも考えられます。重大な秘密などの記　用としてではなく、便利なメモリダイヤルとしてお使いになることをおすすめします。

シークレットメモリを呼び出す

シークレットモードに設定し（☞P.14-7）、通常のメモリダイヤルと同様に呼び出します。
電話をかけるときは、㋣を押します。
- 通常のメモリダイヤルは「🔑」が点灯し、シークレットメモリは「🔑」が点滅します。
- シークレットメモリの修正／削除なども、通常のメモリダイヤルと同様に行います。

シークレットモードを設定する

1 ◉2 2の順に押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。
「🔑」が表示され、シークレットモードが設定されます。

注意 電源を切るとシークレットモードは解除されます。

シークレットモードを解除する

1 ◉2 2の順に押す。
「🔑」が消え、シークレットモードが解除されます。

シークレットモードを解除すると

■ シークレットメモリとして登　されている相手から電話がかかってきたり、メールが送られてくると、相手の名前やフォト設定されている画像は表示されません。
（指定着信音、メールコールの設定も無効となります。）
また、リダイヤルや着信履歴、受信メールボックスの画面でも表示されません。
ただし、シークレットメモリ登　する前のリダイヤルや着信履歴の名前は、表示されます。

登録内容をお買い上げ時の状態に戻す

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客様が設定されていた項目を、お買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。（設定リセット）

- メモリダイヤルなどの登　内容は消去されません。
- お買い上げ時の状態に戻る項目：☞P.18-2～P.18-5

1 **◉2 9の順に押す。**

2 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

3 **「1実行」を選び、◉を押す。**

■ 設定リセットの取消：「**2キャンセル**」選択➡◉

メモリダイヤルなどの登録内容を消去する

操作用暗証番号以外の登　内容（メモリダイヤルやオリジナル着信音など）や履歴などのデータ（メール、ウェブを含む）は、すべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。（オールリセット）

1 **◉2 7の順に押す。**

2 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

3 **「1実行」を選び、◉を押す。**

■ オールリセットの取消：「**2キャンセル**」選択➡◉

注意　一度、オールリセットで消去された登　内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。

その他の機能

通話時の便利な機能

電波が弱いことをお知らせする

電波状況などにより、通話が途中で切れてしまう恐れがあるときは、アラーム音でお知らせします。(通話品質アラーム)
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 ◉38の順に押す。

2 「1ON」を選び、◉を押す。
■ 通話品質アラームの解除:「2OFF」選択➡◉

注意 「ON」に設定していても、急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音を鳴らさずに通話が切れてしまうことがあります。

プッシュトーンを送る

V602SHからポケット　ルに文字メッセージを送ったり、自宅の留守番電話を遠隔操作します。

メモリダイヤルに登録した番号を一括して送る

よく送るポケット　ルのメッセージなどを登　しておくと便利です。
●あらかじめメモリダイヤルにプッシュトーンを登　しておいてください。(☞P.5-3)
●この方法で送る場合、メモリダイヤルには送りたいプッシュトーンだけを登　してください。

1 相手とつながったあと、◎(TEL)を押し、送りたいプッシュトーンを登録したメモリダイヤルを呼び出す。(☞P.5-13〜P.5-14)

2 ◉を押す。

3 「PB一括送信」を選び、◉を押す。

補足 メモリダイヤルの番号の中に「,(ポーズ)」を入力すると、「,(ポーズ)」までの番号を一区切りとして送信します。

ダイヤルボタンを押して送る

電話をかけ、相手とつながったあとダイヤルボタンを押し、プッシュトーンを送ります。

1 相手とつながったあと、送りたい番号を押す。
●アナウンスやアラーム音などに従って、ダイヤルボタンを押してください。詳しくは、接続先の機器やサービスの取扱説明書などを参照してください。
●送ることのできるプッシュトーンは「0」〜「9」、「*」、「#」です。

サイドキー設定

Ⓒを長く(1秒以上)押したときの動作を設定します。
●クローズポジションのときだけ動作します。
●お買い上げ時には、「**着信時:簡易留守録/待受時**:OFF」に設定されています。

着信時の動作を設定する

1 ◉39の順に押す。

2 「1着信時」を選び、◉を押す。

3 動作を選び、◉を押す。
●それぞれの動作は次のとおりです。

応答保留	相手にアナウンスを流し、電話を保留にする	☞P.2-9
クイックサイレント	かかってきた着信に限り、着信音を「**サイレント**」にする	☞P.2-7
着信拒否	かかってきた電話を切る	☞P.2-9
簡易留守録	V602SHで相手のメッセージを　音する	☞P.15-4
留守電センター転送	留守番電話センターに転送し、相手の伝言を　音する(関東・甲信/東海/関西地域でご契約され、関東・甲信/東海/関西地域でご利用の場合)	☞P.16-4

待受時の動作を設定する

1 ◉39の順に押す。

2 「2待受時」を選び、◉を押す。

3 「1ボイスレコーダー(着信有)」または「2ボイスレコーダー(着信無)」を選び、◉を押す。
■ 動作の解除:「3OFF」選択➡◉

電話を受けられないときに相手からのメッセージを録音する

電話を受けられないとき、相手のメッセージを　音します。（簡易留守　）

簡易留守録を設定する

簡易留守　は電源が切れていたり、オフラインモードにしているときや「圏外」の表示が出ているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。（☞P.16-4）

●簡易留守　できるのは、音声メモ（☞P.15-7）やマイボイスメモ（☞P.15-7）と合わせて20件まで、または最大約90秒です。

1 ◉文字の順に押す。

音可能秒数が表示され、簡易留守　に設定されます。
（設定完了後、待受画面に戻り「留」が表示されます。）

- 応答文再生：◉➡「電話」選択➡◉➡「**7簡易留守**」選択➡◉ ➡「**3応答文再生**」選択➡◉
- 留守　応答／　音中の受話音量の変更：◉➡「電話」選択➡◉➡「**7 簡易留守**」選択➡◉➡「**4音量設定**」選択➡◉➡「**1受話音量連動**」／「**2サイレント**」選択➡◉

応答時間変更

■電話がかかってきてから簡易留守　が応答するまでの時間を、0～59秒の間で設定します。（お買い上げ時：９秒）
◉44➡設定時間入力（00～59秒）➡◉
▪着信音を鳴らさずに簡易留守　で応答：設定時間入力「00」を入力➡◉

■簡易留守　をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと併せてご利用になる場合は、設定されている呼出時間の短い機能が優先されます。また、簡易留守　を優先していても、　音件数が一杯になると、留守番電話サービスや転送電話サービスが優先されます。

シガーライター充電器に接続すると（車載簡易留守）

■オプション品のシガーライター充電器に接続すると、安全運転のため自動的に簡易留守に設定されます。この車載簡易留守を解除するときは、次の操作を行います。
◉42➡「**2OFF**」選択➡◉

簡易留守録が設定できない状態

■マナーモード（☞P.3-3）設定中は、簡易留守　の設定／解除はできません。マナーモードを解除してください。

■　音できる時間が７秒以下のときや、すでに20件　音されているときは、簡易留守　に設定できません。不要なメッセージを消去してください。（☞P.15-6）

簡易留守録を設定すると

■着信があると、相手に応答文が流れたあと　音が始まります。
- 　音中にV602SHをクローズポジションにしても、　音は止まりません。
- 　音中に電話に出る：◯（　音内容は残りません。）

■　音が終わると、「留」が表示されます。
- 　音後、簡易留守　が設定できない状態（☞P.15-4）になったときは、簡易留守　は自動的に解除され、「留」表示が消えます。（「留」は用件を消去するまで表示したままです。）

簡易留守録を設定していないときに着信があると

■着信中に◉文字の順に押すと、応答文が流れたあと、　音が始まります。この場合、その着信に限り留守　音します。（簡易留守　は「OFF」の設定のままです。）

■サイドキー設定の着信時の動作（☞P.15-3）を「**簡易留守録**」に設定しているときは、着信中にⓒを長く（１秒以上）押すと、応答文が流れたあと、　音が始まります。
●簡易留守　が設定できない状態（☞P.15-4）のときには、不要なメッセージを消去してください。（☞P.15-6）

簡易留守録を解除する

1 ◉文字の順に押す。

簡易留守　の設定が解除され、待受画面に戻ります。

注意　簡易留守　音中は、簡易留守　を解除することはできません。

録音された用件を聞く

1 ◉[スケジュール/メモ]の順に押す。

音件数表示後、新しいものから順に再生されます。最後の用件を再生し終わると、自動的に止まり、待受画面に戻ります。

■ メニュー操作での再生：◉➡「電話」選択➡◉➡「7簡易留守」選択➡◉➡「2録音再生」選択➡◉

■ 再生途中の停止：再生中に[終話]

補足 再生中に電話がかかってくると
●再生は自動的に止まります。電話に出るときは、[通話]を押してください。

■再生中にできること（例：3件録音されているとき）

再生中に次の用件を聞く	再生中の用件の頭に戻す	再生中の１つ前の用件に戻す
再生中に[下]を押す。	再生中に[上]を押す。	再生中に[上]を２回押す。
3件目 / 2件目 / 1件目	3件目 / 2件目 / 1件目	3件目 / 2件目 / 1件目
再生→ 再生→	再生→ 再生→	再生→ 再生→

用件消去

■ 再生中に、次の操作を行います。
[クリア]➡「1YES」選択➡◉
●次の用件が　音されているときは、続けて再生されます。用件をすべて消去すると、「[アイコン]」が消えます。

通話内容や自分の声を録音する

通話中の相手の声（音声メモ）や、待受中の自分の声（マイボイスメモ）をV602SHに　音します。

● 音できる時間は、簡易留守　（☞P.15-4）と合わせて最大約90秒です。ただし、　音できる時間が３秒以下になったときや、用件やメモが20件　音されると、それ以上　音できなくなります。

●待受中に、長時間（V602SH　音時には最大100分）の音声を　音することもできます。（ボイスレコーダー：☞P.10-3）

1 ***音声メモを録音するとき***

1 通話中に、[スケジュール/メモ]を長く（１秒以上）押す。

マイボイスメモを録音するとき

1 待受中に、[スケジュール/メモ]を長く（１秒以上）押す。

2「1マイボイスメモ」を選び、◉を押す。

2 録音が開始される。

●音声メモのときは、相手の声だけが　音されます。

●マイボイスメモのときは、送話口に向かってお話ください。送話口からの距離の目安は、5～10cm位です。

■　音終了：再度[スケジュール/メモ]

補足 音声メモの場合、クローズ終話設定（☞P.2-12）が「ON」に設定されているときにV602SHをクローズポジションにすると、電話が切れ、　音も終わります。（このときは、残りの　音可能時間は表示されません。）

注意 マイボイスメモを　音中に電話がかかってくると、　音は中止されます。このとき、エニーキーアンサー（☞P.2-6）で電話に出ることができます。（途中までの　音は保存されています。）

補足
●電源を切っても　音内容は保存されています。
●マイボイスメモの再生方法や消去方法は、簡易留守　と同様です。（☞P.15-6）

アラーム設定

アラームを設定する

あらかじめ指定した時刻に毎日アラームでお知らせします。指定した曜日にだけアラームを鳴らすこともできます。（リピートアラーム）
- 最大５件まで登　できます。
- アラーム動作時にメッセージや電話番号も表示できます。また、アラーム音の鳴動時間／音量／種類／ランプ／バイブ設定も変更できます。

1 **◉ 5 0 の順に押す。**
リピートアラーム設定画面が表示されます。

2 **番号を選び、◉を押す。**
- 新規に登　するときは、「--------------」が表示されている番号を選んでください。

3 **「2時刻入力」を選び、◉を押す。**

4 **アラームの時刻を入力し、◉を押す。**
- 時刻は24時間制で必ず入力してください。

5 **「3曜日設定」を選び、◉を押す。**

6 ***毎日アラームを鳴らすとき***

1「1デイリー」を選び、◉を押す。

指定した曜日にアラームを鳴らすとき

1「2曜日指定」を選び、◉を押す。

2 曜日を選び、◉を押す。
曜日が指定され、「☑」が表示されます。
- すでに指定されている曜日を選び、◉を押すと、指定が解除されます。

3 2をくり返し、必要な曜日を指定する。

4 指定が終われば、◎（完了）を押す。

7 ***メッセージを表示するとき***

1「4メッセージ」を選び、◉を押す。

2 メッセージを入力し、◉を押す。
- 最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

アラーム音の詳細を設定するとき

1「5サウンド設定」を選び、◉を押す。
■ 以降の操作：☞P.15-10

オプション（☞P.15-10）を設定するとき

1「6オプション」を選び、◉を押す。
■ 以降の操作：☞P.15-10～P.15-11

8 **◎（完了）を押す。**
アラームが設定されます。
- 続けて他の時刻にアラームを設定するときは、操作２～８をくり返します。

9 **設定を終わるときは、⊜を押す。**
待受画面に戻り、「🔔」が表示されます。予告アラーム（☞P.15-11）を設定したときは、リピートアラーム設定画面に「🔔」が表示されます。

アラームの設定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。
- マイキャラクタを設定している場合、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。
- アラームを解除するまで毎日または設定した曜日にお知らせします。

補足
- 通話中にアラーム設定時刻になると、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後アラームが動作します。
- アラーム音量調整を「**サイレント**」に設定している場合、マナーモード設定中（☞P.3-3）は、マナー設定変更で着信音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。
- サブディスプレイにアラームの画面が表示されているときに、Ⓒを押すと、登　されているメッセージや電話番号がサブディスプレイに流れます。もう一度Ⓒを長く（１秒以上）押すと、待受画面に戻ります。（スヌーズ設定時を除く）

アラーム音の停止

■ ⊜を押します。Ⓒやエニーキーアンサー（☞P.2-6）を押しても止まります。

電話番号表示／メール予約を設定していると

■ 電話番号表示の設定時は、アラーム音停止後に表示された相手先へ電話をかけられます。
電話番号表示➡⌒➡発信（表示を消すとき：⊜）
■ メール予約の設定時は、アラーム音停止後に表示された相手先へメールを送信できます。
宛先表示➡㋱（**メニュー**）➡「**2メール送信**」選択➡◉➡メール画面表示➡㋱（送信）➡送信

スヌーズを設定すると

■ 設定したスヌーズ間隔で、くり返しアラームが鳴ります。
- ⊜を押してアラームを止めても、スヌーズは解除されません。スヌーズを解除するときは、エニーキーアンサーの各ボタンを押したあと、「1YES」を選び、◉を押します。
- 着信があったときは、電話を受けることができます。通話終了後を⊜押すと、スヌーズ待機状態に戻ります。
- 電話番号や予約している送信メールが表示されたときは、スヌーズ設定を解除すると、表示している相手先へ発信／送信することができます。
- スヌーズ開始から60分経過すると、スヌーズは自動的に解除されます。

注意
あらかじめ登　していたメッセージや電話番号を表示しているときに、別のアラーム設定時刻になっても、メッセージや電話番号の表示を消すまでアラームは動作しません。

アラームの各種設定

アラームや自動電源ON、スケジュールの設定時刻のアラーム動作を設定します。

アラーム音選択	アラーム音のパターンを設定します。
アラーム音量調節	アラーム音の音量を設定します。
鳴動時間	アラーム音の鳴っている時間を設定します。
バイブ設定	バイブレータでお知らせするように設定します。
ランプ設定	ランプの点灯方法（モバイルライト／スモールライト）を設定します。
スヌーズ設定※1	アラームをくり返し鳴らすとき、何分ごとに鳴らすかを設定します。
予告アラーム設定※1	設定したアラームやスケジュールを、いつから予告するかを設定します。
電話番号※1	電話番号を表示して、そのあと電話をかけることができます。
メール予約※1	アラームが動作したあと、保存したメールを送信します。

※1 自動電源ONでは設定できません。

●P.15-10〜P.15-11の各操作は、次の操作を行ったあとの画面から行います。

■アラーム設定時：P.15-8操作７「5サウンド設定」／「6オプション」選択➡◉

■自動電源ON設定時：P.15-12操作４「3アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉

■スケジュール設定時：P.15-15操作７「アラーム」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「3サウンド設定」／「4オプション」選択➡◉

アラーム音選択

固定パターンや固定メロディ、データフォルダに登　したメロディなどから選択できます。

「アラーム音選択」選択➡◉➡アラーム音の種類選択➡◉➡アラーム音の選択➡◉➡⊙

●アラーム音の設定方法は、着信パターンと同様です。（☞P.8-3）

アラーム音量調節

「サイレント」、「音量１」〜「音量５」、「ステップ」に設定できます。

「アラーム音量調節」選択➡◉➡音量調節➡◉➡⊙

鳴動時間

２〜99秒の間で、１秒単位で設定できます。

「鳴動時間」選択➡時間入力（02〜99秒）➡◉➡⊙

バイブ設定

バイブレータでお知らせするように設定します。

バイブの設定

「バイブ設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡⊙

●バイブパターンは通常着信音の設定となります。

バイブの解除

「バイブ設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉➡⊙

ランプ設定

点灯させるランプの種類やカラーパターン、点滅パターンが設定できます。

モバイルライト設定時

「ランプ設定」選択➡◉➡「1モバイルライト」選択➡◉➡カラーパターン選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉➡⊙

スモールライト設定時

「ランプ設定」選択➡◉➡「2スモールライト」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉➡⊙

ランプ消灯

「ランプ設定」選択➡◉➡「3OFF」選択➡◉➡⊙

スヌーズ設定

２〜20分の間で、１分単位で設定できます。

「スヌーズ設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡くり返す間隔入力（02〜20分）➡◉➡⊙

予告アラーム設定

設定時刻前にアラームが鳴るように設定できます。

アラーム設定時

「予告アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡予告時間入力（02〜99分）➡◉➡⊙

■ 予告アラームなし：「予告アラーム設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉➡⊙

スケジュール設定時

「予告アラーム設定」選択➡◉➡「2分単位設定」〜「6月単位設定」選択➡◉➡予告設定（15分前や１　間前など）➡◉➡⊙

■ 予告アラームなし：「予告アラーム設定」選択➡◉➡「1OFF」選択➡◉➡⊙

電話番号

電話番号を表示して、アラーム音停止後、電話をかけることができます。

■「メール予約」を設定しているときは、利用できません。

「電話番号」選択➡◉➡電話番号入力➡◉➡⊙

■ メモリダイヤルの利用：⊙（TEL）➡以降の操作：☞P.5-13

メール予約

アラーム動作時に、送信トレイに保存したメールを送信します。

■「電話番号表示」を設定しているときは、利用できません。

「メール予約」選択➡◉➡送信メール選択➡◉➡⊙

アラーム を解除する／再設定する

アラーム解除 設定したアラームを解除します。

◉5 0 ➡解除する番号選択➡◉➡「2解除」選択➡◉

- アラームが解除され「」や「」が消えます。
- 解除しても登　内容は消えません。同じ内容でアラームを動作するときは、アラームの再設定を行ってください。

アラーム消去 設定したアラームを消去します。

◉5 0 ➡消去する番号選択➡◉➡「3消去」選択➡◉

アラーム再設定 解除したアラームを同じ内容で再設定します。また、一部を変更して設定もできます。

アラームの再設定

◉5 0 ➡再設定する番号選択➡◉➡「1設定」選択➡◉➡◎（完了）

アラームの内容変更

◉5 0 ➡変更する番号選択➡◉➡「1設定」選択➡◉➡☞P.15-8の操作２以降

指定時刻に自動的に電源を入れる

あらかじめ指定した時刻に、自動的にV602SHの電源を入れます。（自動電源ON）

- 自動電源ONを「ON」に設定すると、「OFF」に設定するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- 自動電源ON動作時に、アラーム音を鳴らすこともできます。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 ◉5 1 **の順に押す。**

2 **「1ON」を選び、◉を押す。**

自動電源ONの解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

3 **「2時刻入力」を選び、◉を押す。**

4 **自動電源ONの時刻を入力し、◉を押す。**

- 時刻は24時間制で入力します。

アラームの設定：「3アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉（詳細設定：☞P.15-10）

5 **◎（完了）を押す。**

自動電源ONの設定時刻になると

■**電源が切れていたとき**

自動的に電源が入ります。アラーム音を「ON」に設定していたときは、自動電源ONの設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプでお知らせします。

- マイキャラクタを設定している場合、キャラクタが表示されます。（画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。）

■**電源が入っていたとき**

アラーム音を「ON」に設定していたときは、自動電源ONの設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプでお知らせします。

- アラーム音を「OFF」に設定していたときは、何も動作を行いません。

補足
- 通話中に自動電源 ON の設定時刻になると、アラームを「ON」に設定していても、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後⊖を押すとアラームが動作します。
- アラーム音量調整を「**サイレント**」に設定している場合、マナーモード設定中（☞P.3-3）は、マナー設定変更で着信音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。
- アラーム音を止めるときは、⊖／Ⓒ／エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンを押します。

指定した時刻に電源を切る

あらかじめ指定した時刻に、自動的にV602SHの電源を切ります。（自動電源OFF）

- 自動電源OFFを「ON」に設定すると、「OFF」に設定するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 ◉5 2 **の順に押す。**

2 **「1ON」を選び、◉を押す。**

自動電源OFFの解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

3 **時刻を入力し、◉を押す。**

- 時刻は24時間制で入力します。

補足
- 時刻が設定されていない状態で、自動電源OFFを選択すると確認メッセージが表示されます。現在時刻を設定して◉を押すと、操作を続けることができます。

自動電源OFFの設定時刻になると

自動的に電源が切れます。

- 通話中の場合は通話終了後、メール作成中やカメラ撮影中などのときはすぐに確認画面が表示されます。
  - ■約１分間何も操作せずそのままにしておくか、「1YES」を選び、◉ を押すと電源が切れます。（編集中のデータは消去されます。）
  - ■操作を継続するときは、「2NO」を選び、◉を押します。
- 送信予約メールを設定していても、確認画面は表示されずに電源が切れます。

スケジュール機能

日時の決まった予定（スケジュール）と、期限の決まった用件（アクションアイテム）の２種類の予定が登　できます。

- V602SH／SDメモリカードともに、スケジュールとアクションアイテムを合わせて400件まで登　できます。
- 画像の表示方法の設定など、各種設定が行えます。（P.15-17）
- アクションアイテムは、用件が終わったあと、完了操作を行ってください。（☞P.15-17）

補足 赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間でスケジュール／アクションアイテムのやりとりができます。（☞P.13-3）
ただし、シークレットを「ON」に設定しているスケジュール／アクションアイテムは送信できません。

スケジュールを登録する

スケジュールの登録

- アラームを設定したり、アラームのオプションも設定できます。

1 【スケジュール/メモ】**を押す。**
スケジュール画面が表示されます。

スケジュール画面

2 【スケジュール/メモ】**（新規スケジュール作成）を押す。**
- もう一度【スケジュール/メモ】を押すと、カレンダー画面から月日が選べます。

3 **開始／終了日時を入力する。**
- 開始日時と終了日時を、西暦４ケタ、月日時分２ケタずつで入力します。
- 開始日時は必ず入力してください。

4 ***１回だけの予定のとき***
1 ◉を押す。

くり返しの予定のとき
1 ◎（周期）を押す。
2「2 毎日○○：○○」～「5 毎年○○／○○」のいずれかを選び、◉を押す。
- 日時を29～31日に設定し、「4毎月」を選択したとき、29～31日が存在しない月では、スケジュールは設定されません。

3 くり返す回数（00～99回）を入力し、◉を押す。
- 「5毎年」を選んだ場合、くり返す回数は設定できません。
- くり返す回数変更：【icon】（回数）

4 ◉を押す。

5「件名」を選び、◉を押す。

6 件名を入力し、◉を押す。
- 件名は最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。必ず入力してください。

7 ***スタンプを設定するとき***
1「スタンプ」を選び、◉を押す。
2 スタンプを選び、◉を押す。

内容を入力するとき
1「内容」を選び、◉を押す。
2 内容を入力し、◉を押す。
- 最大全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

アラームを設定するとき
1「アラーム」を選び、◉を押す。
2「1ON」を選び、◉を押す。
- このあと「1 アラーム時刻」を設定しないと、スケジュールの開始時刻にアラームが鳴動します。
- メッセージを表示する：「2メッセージ」選択➡◉➡メッセージ入力➡◉
- アラームの詳細を設定：「3サウンド設定」選択➡◉➡☞P.15-10
- オプション（☞P.15-10）を設定：「4オプション」選択➡◉➡☞P.15-10

3 ◎（完了）を押す。

各種設定を行うとき
1「オプション」を選び、◉を押す。
- 以降の操作：☞P.15-18、P.15-19

8 すべての項目の設定が終われば、◎（完了）を押す。
登　の確認画面が表示されます。
- 他の日時に登　：操作２～８をくり返す
- SDメモリカードへ登　：◎（【icon】）
  - 登　先の変更：上記操作のあと、◎（【icon】）

9「1YES」を選び、◉を押す。
スケジュールを登　した日付のカレンダーに、アンダーラインが表示されます。スタンプを設定したときは、選んだスタンプが表示されます。

登録したスケジュール当日

■ まだ設定時刻になっていないスケジュールがあると、待受画面に「[icon]」（アラームONの場合）または「[icon]」（アラームOFFの場合）が表示されます。（その日の最後の予定の時刻が過ぎると消えます。）

アクションアイテムの登録

1 スケジュール/メモを押す。

2 文字（新規アクションアイテム作成）を押す。

3 件名を入力して、◉を押す。

●件名は最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。必ず入力してください。

4「期限」を選び、◉を押す。

●期限日時は西暦４ケタ、月日時分２ケタずつで入力します。必ず入力してください。

5 *１回だけの予定のとき*

1 ◉を押す。

●このあと、操作６へ

くり返しの予定のとき

1 ◎（周期）を押す。

2「2毎日○○：○○」～「5毎年○○／○○」を選び、◉を押す。

●日時を29～31日に設定し、「4毎月」を選択したとき、29～31日が存在しない月では、アクションアイテムは設定されません。

3 くり返す回数（00～99回）を入力し、◉を押す。

●「5毎年」を選んだときは、くり返す回数は設定できません。

■ くり返す回数変更：㋲（回数）

4 ◉を押す。

6 *スタンプを設定するとき*

1「スタンプ」を選び、◉を押す。

2 スタンプを選び、◉を押す。

内容を入力するとき

1「内容」を選び、◉を押す。

2 内容を入力し、◉を押す。

●最大全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

優先順位を決めておくとき

1「優先度」を選び、◉を押す。

2「1未設定」～「3低」を選び、◉を押す。

各種設定を行うとき

1「オプション」を選び、◉を押す。

■ 以降の操作：☞P.15-18、P.15-19

7 すべての項目の設定が終われば、◎（完了）を押す。

■ 他の日時に登録：操作２～７をくり返す

■ SDメモリカードへ登録：◎（SD）

▪登録先の変更：上記操作のあと、◎（本体）

8「1YES」を選び、◉を押す。

完了済のアクションアイテム

■ 完了したアクションアイテムは、次の操作で完了日時を入力できます。

スケジュール/メモ➡㋲（メニュー）➡表示切替選択➡◉➡「6全件一覧表示」選択➡◉➡完了したアクションアイテム選択➡◎（完了）➡「1YES」選択➡◉

●完了済のアクションアイテムは、スケジュール画面には表示されません。

■ 完了済アクションアイテムの自動消去：☞P.15-21

アラーム設定の指定時刻になると

アラーム設定を「ON」に設定していたときは、アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

●SDメモリカード内のスケジュールの開始時刻になっても、アラームは動作しません。

●アラーム設定を「OFF」に設定しているときは、何も動作を行いません。

●マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

●アラーム音の停止、電話番号表示設定、スヌーズ設定は、P.15-9を参照してください。

補足

●通話中に予定時刻になると、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後◎を押すとアラーム音が鳴ります。

●アラーム音量調節を「サイレント」に設定している場合、マナーモード設定中（☞P.3-3）は、マナー設定変更で着信音量を「ステップ」に設定していても、「サイレント」になります。

●サブディスプレイに予定の画面が表示されているときに、Ⓒを押すと、登録されているメッセージや電話番号がサブディスプレイに流れます。もう一度Ⓒを長く（１秒以上）押すと、待受画面に戻ります。

スケジュールの各種設定

スケジュールやアクションアイテムの設定時刻の動作を設定します。

シークレット設定	予定をシークレットデータにします。
ピクチャーメモ※1	スケジュールに画像を設定し、予定時刻に表示します。
電話※2	予定時刻に電話番号を表示して、電話をかけることができます。
メール予約※2	予定時刻に送信するメールを設定します。
日付色	カレンダーに表示される日付色を設定します。
待受表示設定	待受表示内容の設定を有効にするかどうかを設定します。
自動消去保護	登録内容を自動的に保護するかどうかを設定します。
優先度※1	設定方法は、アクションアイテムの「優先度」と同じです。（☞P.15-16操作６）
アラーム※3	設定方法は、スケジュールの「アラーム」と同じです。（☞P.15-15操作７）
状態	予定の状態を設定します。

※1　スケジュールだけに設定できます。

※2「電話」「メール予約」の設定方法については、P.15-11を参照してください。

※3　アクションアイテムだけに設定できます。

●P.15-18、P.15-19の各操作は、次の各操作を行ったあとの画面から行います。

▪スケジュール登録時：P.15-15操作７「オプション」選択➡◉

▪アクションアイテム登録時：P.15-16操作６「オプション」選択➡◉

シークレット設定　「ON」に設定した予定は、シークレットモード（☞P.14-7）設定時だけで表示されます。

お買い上げ時OFF

シークレット設定にする

「シークレット設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉

●「ON」に設定したスケジュールは、シークレットモードで表示されます。

シークレット設定を解除する

「シークレット設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

ピクチャーメモ　撮影した静止画や動画、データフォルダの画像などが設定できます。

■スケジュールだけに設定できます。

静止画を撮影して登録する

「ピクチャーメモ」選択➡◉➡「1モバイルカメラ」選択➡◉➡「1写メールモード」選択➡◉➡撮影（☞P.6-10）➡◉（登録）

動画を撮影して登録する

「ピクチャーメモ」選択➡◉➡「1モバイルカメラ」選択➡◉➡「2ムービー写メールモード」選択➡◉➡「1Nancyモード」／「2MPEGモード」選択➡◉➡撮影（☞P.6-19）➡「1登録」選択➡◉

データフォルダから選択する

「ピクチャーメモ」選択➡◉➡「2データフォルダ」選択➡◉➡「1ピクチャー」～「3ムービー」選択➡◉➡画像選択➡◉

ピクチャーメモの解除

「ピクチャーメモ」選択➡◉➡「3設定解除」選択➡◉

日付色　7色の中から設定できます。

お買い上げ時カレンダー設定色

「日付色」選択➡◉➡カラー選択➡◉

●日付色を設定していても、表示内容が「1　間詳細表示」のときは、表示されません。

待受表示設定　待受画面に予定を表示するかどうかを設定します。（予定1件ごとに設定できます。）

お買い上げ時ON

「待受表示設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

●他人に見られたくない予定は「OFF」にすることをおすすめします。

スケジュールの表示

■ スケジュールを待受画面に表示するときは、カレンダー表示形式（☞P.7-4）を「2スタンプ＋スケジュール表示」に設定します。

待受詳細表示の設定

■ スケジュールを待受画面で表示するときに、詳細を表示するかどうかを設定します。
スケジュール➡Ⓜ（メニュー）➡「待受表示内容」選択➡◉➡設定する表示内容選択➡◉

自動消去保護　「ON」に設定すると、消去したくないスケジュールを自動的に保護します。

お買い上げ時OFF

「自動消去保護」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

状態　予定の状態を、「予定」、「完了」のいずれかに設定します。

「状態」選択➡◉➡「1予定」／「2完了」選択➡◉

スケジュールを確認する

1 スケジュールを押す。

2 スケジュールを確認する日を選び、◉を押す。

3 確認するスケジュールを選び、◉を押す。

■ データフォルダ登　：Ⓜ（メニュー）➡「データフォルダに保存」選択➡◉➡タイトル入力➡◉➡登　先選択➡◉

●優先度／状態マークの表示は、以下のとおりです。

マーク	優先度	状態	マーク	優先度	状態
□（緑）	未設定	予定	☑（緑）	未設定	完了
□（黄）	低	予定	☑（黄）	低	完了
□（赤）	高	予定	☑（赤）	高	完了

15:05
誕生日
開始:04/07/28(水)
19:30
繰返:1回
内容:□
プレゼント持って行く！
戻る　メニュー

優先度／状態マーク

4 確認を終了するときは、Ⓒ（戻る）を押す。

表示内容の切り替え

■「スケジュールを確認する」の操作1のあとⓈ（切替）を押すと、「アクションアイテム表示」→「1　間詳細表示」→「1ヶ月スタンプ表示」→「スケジュール表示」→「全件一覧表示」→「スタンプ＋詳細表示」の順に表示が切り替わります。

■ 表示される内容は設定（制限）できます。（☞P.15-21）

スケジュールの件数／作成者／管理番号の確認

■ 登　済のスケジュールの件数は、次の操作で確認します。
スケジュール➡Ⓜ（メニュー）➡「件数確認」選択➡◉

■ 登　済のスケジュールの作成者／管理番号は、次の操作で確認します。
スケジュール➡「スケジュールを確認する日」選択➡◉➡「スケジュール」選択➡Ⓜ（メニュー）➡「詳細」選択➡◉

●スケジュールの新規登　時に自動的に設定された管理番号が表示されます。作成者はオーナー情報（☞P.2-24）の名前が表示されます。

●表示内容を「スタンプ＋詳細表示」、「1　間詳細表示」、「1ヶ月スタンプ表示」のいずれかに設定しているときは、詳細メニューは表示されません。

スケジュールを編集する

1 [スケジュール/メモ]を押す。

2 スケジュールを確認する日を選び、◉を押す。

3 編集するスケジュールを選び、◉を押す。

4 ㋱（メニュー）を押す。

5「編集」を選び、◉を押す。

6 変更する項目を選び、◉を押す。
- 編集方法は、スケジュールの登　時と同様です。（☞P.15-14の操作３以降）

7 編集が終われば、◎（完了）を押す。

8「1新規登録」または「2上書登録」を選び、◉を押す。

スケジュールを消去する

1件消去	スケジュールを1件ずつ消去します。

[スケジュール/メモ]➡スケジュールを確認する日選択➡◉➡消去するスケジュール選択➡◉➡㋱（メニュー）➡「1件消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

1日消去	スケジュールを1日単位で消去します。

[スケジュール/メモ]➡スケジュールを消去する日選択➡◉➡㋱（メニュー）➡「全消去」選択➡◉➡「21日スケジュール全消去」／「61日アイテム全消去」選択➡◉➡「1全て」／「2保護以外」選択➡操作用暗証番号入力（4ケタ）➡◉➡「1YES」選択➡◉

過去／全件消去	過去またはすべてを消去します。

[スケジュール/メモ]➡スケジュールを消去する日選択➡◉➡㋱（メニュー）➡「全消去」選択➡◉➡「1過去スケジュール全消去」／「3スケジュール全消去」／「4完了アイテム全消去」／「5予定アイテム全消去」／「7アクションアイテム全消去」／「8全データ消去」選択➡◉➡「1全て」／「2保護以外」選択➡◉➡操作用暗証番号入力（4ケタ）➡「1YES」選択➡◉

その他のスケジュール関連機能

自動消去設定	最大登　件数を超えた、スケジュール／アクションアイテム（完了）を古い順から消去します。

お買い上げ時 OFF

[スケジュール/メモ]➡㋱（メニュー）➡「自動消去設定」選択➡◉➡「1スケジュール」／「2アクションアイテム」選択➡◉➡「1自動消去ON」／「2自動消去OFF」選択➡◉

カレンダー曜日色設定	曜日ごとに色を設定できます。

[スケジュール/メモ]➡㋱（メニュー）➡「カレンダー曜日色設定」選択➡◉➡曜日選択➡◉➡色選択➡◉

表示設定	スケジュールの表示方法を設定します。

[スケジュール/メモ]➡㋱（メニュー）➡「表示切替」選択➡◉➡「1スタンプ＋詳細表示」～「6全件一覧表示」選択➡◉

切替表示設定

■ スケジュール画面で◎（切替）を押すと、表示内容が切り替わります。（☞P.15-19）
- このときに表示される内容を設定（制限）することができます。
  [スケジュール/メモ]➡㋱（メニュー）➡「表示切替」選択➡「7切替表示設定」選択➡◉➡表示方法選択（※）➡◎（チェック）➡（表示方法選択➡◎をくり返す）➡◉
  ※表示するときは「□」の行を、表示しないときは「☑」の行を選択します。

簡単な操作で機能を呼び出す

よく使う機能やデータなどをユーザーショートカットに登　しておけば、簡単な操作で、その機能やデータの画面を表示できます。
- ユーザーショートカットに登　できる画面では、「」が表示されます。

ユーザーショートカットに登録する

- お買い上げ時に登　されている画面は、次のとおりです。（お買い上げ時に登　されているユーザーショートカットは消去できません。）

キー	機能	キー	機能
1（長押し）	メモリダイヤル検索	5（長押し）	画面表示設定
2（長押し）	簡易電卓	0（長押し）	バウリンガル コネクト
3（長押し）	リピートアラーム設定	ⓥ（長押し）	Vアプリライブラリ
4（長押し）	着信設定		

- お買い上げ時に登　されているユーザーショートカットに、上書き登　できます。ただし、0には登　できません。
- Vアプリをⓥ（長押し）に登　することもできます。（☞P.11-3）
- 上書き登　した内容を消去すると、お買い上げ時の登　内容に戻ります。

1 登録する機能一覧またはファイル一覧で、登録する機能名やファイル名を選ぶ。

2 スケジュール/メモを長く（1秒以上）押す。

3 登録する番号のダイヤルボタン（1～9、*、#）またはⓥを押す。
- すでに登　されている番号に登　するときは、上書き登　の確認メッセージが表示されたあと、「1YES」を選び◉を押します。

補足　ユーザーショートカットに登　すると、自動的に登　名がつきます。登　名は変更することもできます。（☞P.15-23）

ユーザーショートカットを利用する

1 表示する画面のダイヤルボタン（1～9、*、#）またはⓥを長く（1秒以上）押す。
登　している画面が表示されます。

補足
- ⓥを押したあと、表示する画面のダイヤルボタンを押しても利用できます。
- データが登　されているときは、登　されているデータが表示／再生されます。

ユーザーショートカットが利用できないとき
- 次のときは、その機能内へのユーザーショートカットは利用できません。
  - メール機能、ウェブ機能、ステーション機能、Vアプリ機能を機能停止（OFF）にしているとき
  - SDメモリカードが取り付けられていないとき

ユーザーショートカットに登録しているデータを消去していたとき
- ユーザーショートカットでデータを表示しようとすると、確認メッセージが表示されます。
「1YES」を選び◉を押すと、ユーザーショートカットが消去され、ユーザーショートカットの画面に戻ります。

ユーザーショートカットの設定

名前変更　ユーザーショートカットの名前を変更します。

ⓥ→名前変更する項目を選択→ⓥ（メニュー）→「名前変更」選択→◉→名前修正→◉
- 絵文字は入力できません。

消去　ユーザーショートカットを消去します。

ⓥ→消去する項目を選択→ⓥ（メニュー）→「消去」選択→◉→「1YES」→◉

F55

ストップウォッチ

最長24時間まで、1/10秒単位でタイムを計測できます。計測中に途中までの所要時間（ラップタイム）も記　できます。

●計測したタイムは、最新の5件までのラップタイムと合わせて、V602SHまたはSDメモリカードのテキストメモに登　できます。

1 ◉5 5の順に押す。

ストップウォッチの画面が表示されます。

■ 登　済のタイムの確認：Ⓥ（**メニュー**）➡「**テキストメモ参照**」選択➡◉➡登　箇所選択➡◉

2 ◉（開始）を押す。

計測がスタートします。

■ ラップタイムの記　：Ⓥ（LAP）

■ビューアポジション操作時：Ⓒ（長押し）／⊡

3 止めるときは、もう一度◉（停止）を押す。

途中でラップタイムを記　すると、最新の5件まで保持されます。ストップウォッチを終了すると、すべて消去されます。

■ テキストメモ登　：Ⓥ（**メニュー**）➡「**テキストメモ登録**」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

■ 再スタート：◉（**再開**）

■ 計測タイムの消去：◎（**リセット**）

■ビューアポジション操作時：Ⓢ（長押し）

補足

- ストップウォッチを終了すると、計測したデータはすべて消去されます。保存したいときは、計測終了後テキストメモに登　してください。
- 計測中に着信があったときは、通話中もストップウォッチの動作は継続します。Ⓔで通話終了後、計測中の画面に戻ります。
- 電池残量が少なくなると、ストップウォッチの動作は中止されます。
- リピートアラームやスケジュールアラームを設定しているときは、ストップウォッチ終了後に鳴動します。（ストップウォッチ動作中は、お知らせしません。）
- ストップウォッチ動作中は、スポットライトを点灯させることはできません。

F56

キッチンタイマー

設定した時間が経過したことを、アラームとランプでお知らせします。

●最長60分まで、1秒単位で設定できます。

1 ◉5 6の順に押す。

タイマー起動時間の入力画面が表示されます。

2 セットする時間（00分01秒～60分00秒）を入力し、◉（完了）を押す。

●60分（60：00）以上の数字を入力したときは、タイマー起動時間の入力画面に戻ります。

■ 時間の変更：Ⓥ（**編集**）➡時間入力➡◉

3 ◉（開始）を押す。

タイマーのカウントダウンが始まります。

■ 途中の停止：◉（**停止**）

設定時間になったときの動作

■ メッセージが表示され、アラームとランプでお知らせします。（アラーム音：パターン1（固定）、音量：「**サウンド再生音量**」に連動、ランプ：「**サウンドランプ設定**」に連動、バイブ：OFF）

- アラームを止めるときは、60秒間そのままにしておくか、◉を押します。
- マナーモードに設定しているときは、バイブレータ：バイブ1でお知らせします。（バイブパターン：バイブ1、音量／ランプ：マナーモードの設定内容に連動）
- 着信や通話中にタイマー起動時間になったときは、通話終了後Ⓔを押すと、起動時間のお知らせが表示されます。

補足

- アラーム音とマナーモード設定中のバイブレータは固定です。変更することはできません。
- キッチンタイマー動作中に着信があったときは、通話中も動作は継続します。Ⓔで通話終了後、キッチンタイマー動作中の画面に戻ります。
- 操作中に文字を長く（1秒以上）押して、マナーモードを設定／解除することができます。
- リピートアラームやスケジュールアラームを設定しているときは、キッチンタイマー終了後に鳴動します。（キッチンタイマー動作中は、お知らせしません。）
- キッチンタイマー動作中は、スポットライトを点灯させることはできません。

バーコード読み取り

バーコードの読み取り方法には、次の種類があります。

通常モード	1つのバーコード（JANコード）またはQRコードを読み取ります。（複数に分割されているQRコードを自動的に認識し、読み取ることもできます。）
連続モード	複数のバーコード（JANコード）またはQRコードを連続して読み取ります。

- モバイルカメラで撮影して読み取るときは、V602SHを縦向きしてお使いください。
- フォーカスロックすると、自動的にフォーカスを合わせたあと、バーコードを読み取りできます。また、マニュアルで自由にフォーカス位置を設定できます。
- 光学ズーム／デジタルズームは利用できません。
- 印刷されたバーコードをモバイルカメラで撮影して読み取ったり、ボーダフォンライブ！などで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取ることができます。
- Vアプリ起動中に読み取ることもできます。
- バーコード（JANコード）、QRコードのいずれかを自動的に判別し、読み取ることができます。
- 連続モードで読み取れる回数は、バーコード（JANコード）が最大50回、QRコードが最大16回までです。ただし、データ内容やデータサイズによっては、連続して読み取りできないことがあります。

注意
- 操作中に他の機能を呼び出しているとき（☞P.1-28）は、バーコード読み取りはできません。
- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは、読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取るときに、体の一部やV602SHの影がバーコードにかかっている場合は、読み取れないことがあります。このようなときは、モバイルライトを利用されることをおすすめします。
- ディスプレイ内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。

補足
- JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。（ただし、JANコード以外の一次元バーコード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は、読み取ることができません。）
- QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登　商標です。

モバイルカメラで撮影して読み取る

バーコード専用モードで読み取る方法と、文字入力中に読み取る方法があります。

バーコード専用モードで読み取る

読み取った文字を、コピーして他の画面にペーストできます。また、「TEL:」や「MAILTO:」など、特別な意味を持った文字が含まれている場合、メモリダイヤルやメールに文字を入力したり、インターネットに接続できます。

1 待受中に、◉◎（オススメ）の順に押す。

2「バーコード」を選び、◉を押す。

3「1バーコード読み取り」を選び、◉を押す。

接写モードでモバイルカメラが起動します。
- V602SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、バーコード読み取りは起動できません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。

■ モード切替：スケジュール（**通常⇔連続**）
■ モバイルライトの利用：#記号（「**点灯（接写撮影用）**」⇔「**消灯**」切替）
■ 明るさの調整：◎（☞P.6-26）

4 読み取るバーコードをディスプレイ中央部に表示させる。

5 ◉（認識）を押す。

ピントの自動調整（☞P.6-7）を行ったあと、バーコードの読み取りが開始されます。
- 接写モードで読み取りにくいときはAFモードを切り替えてください。

■ ＡＦモード切替：文字（押すたびに「**標準**」→「**マニュアル**」→「**接写**」切替）
■ 読み取りの中止：◎（**中止**）（操作3の状態に戻る）

補足
フォーカスロック（☞P.6-7）を行って、バーコードを読み取ることや、マニュアルでフォーカス位置を設定することもできます。（☞P.6-26）

6 ***通常モードの場合***

1 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、読み取り結果が表示される。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.15-28

補足
分割されているバーコードのとき
- 次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- 「1YES」を選び◉を押すと、次のバーコードの読み取りができる（操作3の状態）になります。◉を押して、バーコードを読み取ってください。
- 「2NO」を選び◉を押すと、情報破棄の確認メッセージが表示されます。「1YES」を選び◉を押すとすでに読み取ったバーコード内の情報は破棄され、新たにバーコードの読み取りができる（操作3の）状態になります。
- 分割個数分のバーコードをすべて読み込まないと、表示・保存できません。
- 読み取り中は、分割されている個数と、読み取っている個数が画面1行目に表示されます。（例：1/4…4分割の1個目）

連続モードの場合

1 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示される。

2 連続して読み取るときは、「1YES」を選び、◉を押す。

読み取り後、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
2をくり返し、必要なバーコードをすべて読み取ります。
（画面1行目には、現在の読み取り個数を示すアイコン（「1」など）が表示されます。）

3 読み取りを終了するときは、「2NO」を選び、◉を押す。

読み取り結果が表示されます。
■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.15-28

読み取り結果の表示サイズ変更

■ お買い上げ時には、文字サイズは「**中**」、画像サイズは「**等倍**」に設定されています。
■ 読み取り結果表示中に、㋱（**メニュー**）を押したあと、「**表示サイズ設定**」を選び◉を押します。「**1文字サイズ設定**」または「**2画像サイズ設定**」を選び、◉を押したあと、切り替えるサイズを選び◉を押します。
■ 読み取り結果表示中に[スケジュール/メモ]を押しても、画像サイズを切り替えることができます。（画像等倍時には「▣」、画像２倍時には「▣」がディスプレイ上部に表示されます。）
■ 読み取り結果表示中の表示サイズ切替は、受信メール、送信メールやウェブの設定には反映されません。

読み取りのやり直し

■ 読み取り結果表示中に、◎（**戻る**）を押します。情報破棄の確認メッセージが表示されますので、「**1YES**」を選び◉を押します。操作３の状態に戻りますので、操作４以降をやり直してください。

■バーコード読み取り結果を利用した各操作

電話をかける※1	「TEL:」の付いている番号※2を選択➡◉➡「**➡電話**」選択➡◉➡⌒
メール送信する※3	「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡◉➡「**➡メール送信**」選択➡◉➡「**1スーパーメール送信**」／「**2スカイメール送信**」選択➡◉（以降の操作：☞P.3-3）
メール本文に利用してメール送信する	㋱（**メニュー**）➡「**メール送信**」選択➡◉➡「**1スーパーメール送信**」／「**2スカイメール送信**」選択➡◉➡読み取り結果確認➡◉ 読み取った文字の利用：読み取り結果確認画面で㋱（**切出**）➡切り出す最初の文字にカーソル移動➡◉➡切り出す最後の文字にカーソル移動➡◉（メール送信操作：☞P.3-3）
メモリダイヤルに登録する※1、※3	「TEL:」の付いている番号※2／「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡◉➡「**➡メモリダイヤル登録**」選択➡◉（以降の操作：☞P.5-6操作４以降）
インターネットに接続する※4	先頭に「http://」の付いているURLを選択➡◉➡「**➡ウェブアクセス**」選択➡◉（以降の操作：☞P.4-26）
データフォルダに登録する（画像／メロディ）	画像／メロディ選択➡◉➡「**データフォルダに保存**」選択➡◉➡タイトル入力➡◉➡登　先選択➡◉
登録	㋱（**メニュー**）➡「**読取データの登録**」選択➡◉➡タイトル入力➡◉ 登　できるのは最大10件です。（登　した読取データの確認：☞P.15-30）
コピーする	㋱（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡◉➡コピーする最初の文字にカーソル移動➡◉➡コピーする最後の文字にカーソル移動➡◉ 選んだ文字が記憶されます。このあと他の画面にペーストします。

※1　含まれている文字が「TEL:¥」のときに利用できます。
※2　０から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列についても、「TEL:」と同様の扱いになります。
※3　含まれている文字が「¥@¥」のときに利用できます。
※4　含まれている文字が「http://¥」のときに利用できます。
●「¥」は英数字１文字以上を示します。

注意　先頭に「TEL:」の付いている電話番号（０から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列についても同様）、「@」が含まれているメールアドレス、先頭に「http://」の付いているURLがない場合、それらを利用した各操作は行えません。

読み取り結果に「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれている

■ 操作６の画面で右のように、メモリダイヤル（「MEMORY:」の場合）やメール（「MAILTO:」の場合）用の項目と内容が表示されます。このあと◉を押すと、表示されている内容をメモリダイヤル登　画面やメール送信画面にまとめて入力することができます。まとめて入力できるものには破線のアンダーラインがつきます。（ただし、文字列の中に規定以外の文字があった場合は、その文字以降は破線のアンダーラインはつきません。）

文字入力中に読み取る

読み取った文字を、文字入力画面のカーソル位置に入力します。
●読み取ったときの文字入力状態によっては、読み取った文字がすべて入力されないことがあります。

1 **文字入力画面で、㋱を２回押す。**

2 **「1バーコード読み取り」または「2文字読み取り」を選び、◉を押す。**

●V602SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、起動することはできません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。
■「**1バーコード読み取り**」選択時：☞P.15-27操作４～６を行う
■「**2文字読み取り**」選択時：☞P.15-34~P.15-35操作３～７を行う
■ 読み取った文字の一部利用（「**1バーコード読み取り**」選択時）：㋱（**切出**）➡切り出す最初の文字にカーソル移動➡◉（**開始**）➡切り出す最後の文字にカーソル移動

3 **◉（決定）を押す。**

読み取った文字が、文字入力画面に入力されます。

注意
●次のときは、文字入力中のバーコード読み取り／文字読み取りはできません。
■ バーコード読み取り結果を保存するときのタイトル入力中
■ テキスト貼付／マーカースタンプの文字入力中
■ 通話をしているときの文字入力中
■ 赤外線通信時のタイトル入力中
■ 通話中のメモリダイヤル作成時
■ 操作中に他の機能を呼び出しているとき（☞P.1-28）
■ 画像編集して保存するときのタイトル入力中
■ 電子ブック使用中
■ Vアプリ起動中

データフォルダ内のバーコードを直接読み取る

1 **◉8 5の順に押す。**

2 **「ピクチャー」を選び、◉を押す。**

■ フォルダ表示中：フォルダ選択➡◉

3 **読み取るバーコードファイルを選び、◉を押す。**

バーコードの画像が表示されます。

4 **㋱（メニュー）を押したあと、「バーコード読み取り」を選び、◉を押す。**

読み取り結果が表示されます。

■ 読み取った結果を利用した各操作：☞P.15-28

分割されているバーコードの読み取り

■ 分割された次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。

- 自動的に読み取るときは次の操作を行います。
  「2自動選択」選択➡◉
  ■ 自動読み取り不可：「1個別選択」選択➡◉➡ファイル指定➡◉
- 読み取りを中止するときは、次の操作を行います。
  「3キャンセル」選択➡◉➡情報破棄の確認画面表示➡「1YES」選択➡◉

注意

- 拡大縮小（リサイズ）したバーコードは読み取りできないことがあります。
- 対応していないコードの場合、確認メッセージが表示され、読み取りできないことがあります。

読取データを確認する

登　した読み取り結果（読取データ）を確認します。

1 **◉◎（オススメ）の順に押す。**

2 **「バーコード」を選び、◉を押す。**

3 **「3読取データ確認」を選び、◉を押す。**

- このあと読取データを選び㋱（メニュー）を押すと、読取データの情報確認（プロパティ）や名前の変更、消去などが行えます。操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。（☞P.12-11、P.12-46）

4 **確認する読取データを選び、◉を押す。**

読み取り結果が表示されます。

- 表示した読み取り結果を再び登　することはできません。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.15-28
■ 読取データ確認画面に戻る：◎（戻る）

バーコード作成

V602SHのオーナー情報、メモリダイヤル、メール、テキストやデータフォルダのメロディ、画像（ピクチャー）を利用して、バーコードファイルを作成します。作成したバーコードファイルはデータフォルダに登　したり、スーパーメールに添付して送信できます。

- 操作中に他の機能を呼び出しているとき（☞P.1-28）は、バーコード作成はできません。

バーコード専用モードを利用する

1回の操作につき、1つの情報（オーナー情報、メモリダイヤル、メール、テキスト、メロディ、画像）を選び、バーコードとして作成します。

- すでにV602SHに登　されている情報から選んで作成したり、新たにメモリダイヤルやメールの内容などを入力して作成することもできます。
- 1つのバーコードに登　できる文字数の目安は、数字だけを入力したときは513文字、漢字だけを入力したときは131文字となります。
- 情報量が多いときは、自動的に分割バーコードが表示されます。（一度に最大3416バイト（16分割）まで）
- 作成したバーコードは、V602SHのピクチャーフォルダに登　されます。

入力した情報量（バイト）
可能情報量
15:05
バーコード作成
メモリダイヤル
0/3416(0/16)
:<未登録>
:<未登録>
:<未登録>
取消 選択 参照
現在の分割数
最大分割数
バーコード作成画面（メモリダイヤル）

オーナー情報からバーコード作成　名前／ヨミ／電話番号／E-mailアドレス／パーソナルデータからバーコードを作成します。

■オーナー情報の郵便番号はバーコード化されません。

◉◎（オススメ）➡「バーコード」選択➡◉➡「2バーコード作成」選択➡◉➡「1オーナー情報」選択➡◉➡操作用暗証番号入力（4ケタ）➡◉➡㋱（作成）➡◉（登録）

メモリダイヤルからバーコード作成　名前／ヨミ／電話番号／E-mailアドレス／パーソナルデータからバーコードを作成します。

■グループ名／オプションはバーコード化されません。

◉◎（オススメ）➡「バーコード」選択➡◉➡「2バーコード作成」選択➡◉➡「2 メモリダイヤル」選択➡◉➡㋱（参照）➡メモリダイヤル選択➡◉➡◉➡㋱（作成）➡◉（登録）

■ バーコード作成中に、新しい情報の入力：「2メモリダイヤル」選択➡◉➡項目選択➡◉➡内容入力➡◉（メモリダイヤル：☞P.5-3）

メールからバーコード作成　メールの宛先／件名／本文／添付の情報からバーコードを作成します。

◉◎（オススメ）➡「バーコード」選択➡◉➡「2バーコード作成」選択➡◉➡「3メール」選択➡◉➡Ⓥ（参照）➡「1受信メール」～「3送信トレイ」選択➡◉➡メール選択➡◉➡Ⓥ（作成）➡◉（登録）

■ バーコード作成中に、新しい情報の入力：「3メール」選択➡◉➡項目選択➡◉➡内容入力➡◉（メール作成：☞📖P.3-3）

テキスト（文字）からバーコード作成　入力したテキスト文、電話番号の情報からバーコードを作成します。

◉◎（オススメ）➡「バーコード」選択➡◉➡「2バーコード作成」選択➡◉➡「4テキスト」選択➡◉➡「テキスト文」／「電話番号」選択➡◉➡テキスト入力／電話番号入力➡◉➡Ⓥ（作成）➡◉（登録）

メロディ／画像からバーコード作成　データフォルダ内のメロディや画像からバーコードを作成します。

◉◎（オススメ）➡「バーコード」選択➡◉➡「2バーコード作成」選択➡◉➡「5メロディ」／「6ピクチャー」選択➡◉➡メロディ／画像選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡◉（登録）

●オリジナル着信音を選んだときは、変換するデータ形式を選択する画面が表示されます。

登録先の変更

■ バーコードを登録する（◉を押す）前に、次の操作を行います。
Ⓥ（メニュー）➡「1登録先」選択➡◉➡「1本体」／「2メモリカード」選択➡◉

スーパーメールに添付して送信

■ バーコードを登録する（◉を押す）前に、次の操作を行います。
Ⓥ（メニュー）➡「2メール添付」選択➡◉➡（メール作成：☞📖P.3-3）

作成したバーコードデータの消去

■ バーコードを登録する（◉を押す）前に、次の操作を行います。
Ⓥ（メニュー）➡「3データ消去」選択➡◉➡消去するデータ選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

バーコード作成中に着信があると

■ 作成中の内容は保存されています。通話終了後、バーコード作成画面に戻ります。

15 その他の機能

各情報の画面からバーコードを作成する

V602SHに登録しているオーナー情報、メモリダイヤル、メール、テキストメモ、データフォルダ内のメロディや画像から、バーコードを作成します。

1 各情報の画面で、◉（メニュー）またはⓋ（メニュー）を押す。

●メールの場合は、バーコード作成するメッセージを選んで操作します。

■ データフォルダ内のデータのバーコード作成：上記操作のあと、「**便利機能**」選択➡◉

2「バーコード作成」を選び、◉を押す。

操作を開始した情報の種類に応じて、各画面が表示されます。

3 Ⓥ（作成）を押す。

■ 登録先の変更：☞P.15-32
■ スーパーメールに添付して送信：☞P.15-32
■ 作成したバーコードデータの消去：☞P.15-32

4 ◉（登録）を押す。

文字を読み取る

URL、E-mailアドレス、電話番号、英語名などをモバイルカメラで撮影し、読み取ります。また、読み取ったあとに、種類に応じた操作も行えます。

●モバイルカメラで撮影して読み取るときは、V602SHを縦向きにしてお使いください。
●フォーカスロックすると、自動的にフォーカスを合わせたあと、文字を読み取りできます。また、マニュアルで自由にフォーカス位置を設定できます。
●光学ズーム／デジタルズームは利用できません。
●一度に読み取り可能な文字数は最大半角60文字まで、行数は3行です。
●Vアプリ起動中に文字を読み取ることはできません。
●一部記号などで読み取ることができない場合があります。
●次のときは文字読み取りは起動できません。
　■ミュージックプレイヤー再生中
　■SDメモリカード手動シンクロ中

1 待受中に◉◎（オススメ）の順に押す。

2「文字読み取り」を選び、◉を押す。

接写モードでモバイルカメラが起動します。

●V602SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、起動することはできません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。

■ ミュージックプレイヤー再生中、SDメモリカード手動シンクロ中：終了確認画面表示➡「1YES」選択➡◉
■ モバイルライトの利用：#（「**点灯（接写撮影用）**」⇔「**消灯**」切替）
■ 明るさの調整：◎

15 その他の機能

3 読み取る文字を、ディスプレイの中央に表示する。

- ディスプレイ内の〔〕枠中央に入るように調整してください。〔〕の端の文字は読み取りにくい場合があります。
- 文字読み取り起動時には、反転モード「自動」に設定されています。白抜きの文字など、反転モード「自動」でうまく読み取れないときは、反転モードを切り替えてください。
- オートフォーカスの接写モードで読み取りにくいときは、AFモードを切り替えてください。

■ 反転モード切替：スケジュール/メモ（押すたびに「2通常文字」（「A」表示）→「3反転文字」（「A」表示）→「1自動」切替）
■ AFモード切替：文字（押すたびに「標準」→「マニュアル」→「接写」切替）

15:05 文字読み取り
①〔〕内に文字を入れる
②バーが最も青いとき撮影する
●認識 機能

ピント調整バー（色が濃くなるほどピントが合います）

補足 フォーカスロック（☞P.6-7）を行って、文字を読み取ることや、マニュアルでフォーカス位置を設定することもできます。（☞P.6-26）

4 ●を押す。

ピントの自動調整（☞P.6-7）を行ったあと、文字の読み取りが開始されます。
複数の行を撮影したときは、このあと◎で読み取る行を指定します。（文字の読み取りは1行単位で行います。）
■ 読み取りの中止：クリア➡操作3へ

5 ●を押す。

文字の読み取りを開始します。

6 読み取りが成功すると、読み取り結果が表示される。

読み取った文字を自動的に判別し、URL、E-mailアドレス、電話番号、英語名などで表示します。種類が異なっているときは種類を変更し、再認識することができます。
■ 読み取りの種類変更：「3モード切替」選択➡●➡切り替える種類選択➡●（切り替えた種類により、読み取り結果や変換候補で表示される内容が変わります。）
■ 読み取り結果修正：「2候補選択（編集）」選択➡●➡編集画面へ➡修正する文字にカーソル移動➡候補選択／文字入力
■ 読み取りのやり直し：◎（再読）➡「1YES」選択➡●➡操作3からやり直す

補足 **読み取り可能文字数を超過したとき**
- 文字数カットの確認メッセージが表示され、カット後の読み取りデータが表示されます。
- 続けて読み取るときは、㋱（メニュー）を押したあと、「続き読み取り」または「追加読み取り」を選び、●を押します。（すでに256バイト読み取り済のときは、「続き読み取り」または「追加読み取り」は行えません。）
  - ■続き読み取り…改行をカットしたデータを、前回読み取った結果の末尾に追加します。（前に読み取ったものと同じ種類で読み取ります。）
  - ■追加読み取り…改行も含むデータを、前回読み取った結果の次行に追加します。

7 「1OK」を選び、●を押す。

- このあと、下表のとおり利用することができます。

URL	ウェブアクセス、コピー
E-mailアドレス	メール送信、メモリダイヤル登録、コピー
電話番号	電話をかける、メモリダイヤル登録、コピー

■ 読み取り結果を利用した各種操作：☞P.15-28
■ 読み取り結果の表示サイズ変更：☞P.15-28

注意 読み取り可能な文字数であっても、35文字を越えると読み取りにくい場合があります。

電池の消費を抑える

電池パックの消費を抑える

通話中の電波の出力を抑え、電池パックの消費を少なくします。（バッテリーセーブ）
- 「ON」に設定すると、こちらの話し始めの声が相手側に聞こえにくくなることがあります。
- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

1 ●33の順に押す。
2 「1バッテリーセーブ」を選び、●を押す。
3 「1ON」を選び、●を押す。
■ バッテリーセーブの解除：「2OFF」選択➡●

ディスプレイの消費を抑える

V602SHは、操作をしない状態（クローズポジションを除く）が一定時間以上続くと、電池の消耗を防ぐため、自動的に画面表示が消えます。（パネルセーブ）
パネルセーブが動作するまでの時間を2分〜20分の間（1分単位）で変更したり、動作しないようにします。
- 通話中やボーダフォンライブ！利用中など、利用状態によっては、パネルセーブが動作しない場合があります。

パネルセーブを設定する

- お買い上げ時には、5分後にパネルセーブが動作するよう「ON」に設定されています。

1 ●33の順に押す。
2 「2パネルセーブ」を選び、●を押す。
3 「1ON/OFF設定」を選び、●を押す。
4 「1ON」を選び、●を押す。
■ パネルセーブの解除：「2OFF（微点灯あり）」／「3OFF（微点灯なし）」選択➡●（操作完了）

5 パネルセーブが動作するまでの時間（02～20分）を入力し、◉を押す。

パネルセーブの動作

■ 自動的に画面表示が消えます。
- ●パネルセーブは何かボタンを押したり、着信などがあると、解除されます。
（最初に押したボタンは、パネルセーブ解除用としてだけ動作します。ダイヤル入力や各種操作などは、パネルセーブを解除してから行ってください。）
- ●パネルセーブ動作中にV602SHをクローズポジションにすると、効果音設定の「3パワーON」（☞P.8-6）で設定されている音が鳴り、パネルセーブ動作中であることをお知らせします。このあとV602SHをオープンポジションにすると、パネルセーブは解除されます。

補足 パネルセーブが動作するまでの時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

パネルセーブ動作時にスモールライト（橙色点滅）を表示する

●お買い上げ時には、点灯しないよう「**ランプ表示なし**」に設定されます。

1 ◉[3][3]の順に押す。

2「2パネルセーブ」を選び、◉を押す。

3「2ランプ表示設定」を選び、◉を押す。

4「1ランプ表示あり」を選び、◉を押す。
■ ランプ点灯なし：「2ランプ表示なし」選択➡◉

簡易電卓

12ケタまでの四則演算やパーセント計算、税込みの計算に便利です。
●お買い上げ時には、税率は「5％」に設定されています。

1 ◉[4][9]の順に押す。
- ●待受中に金額を入力し◉を押しても、簡易電卓が表示されます。
- ●簡易電卓の機能は、次のボタンに割り当てられています。

機能	ボタン	機能	ボタン
＋（足す）	◀	RM（メモリ呼出）	文字
－（引く）	▶	M+（メモリ加算）	メニュー
（掛ける）	▲	.（小数点）	＊
÷（割る）	▼	+/−（符号反転）	＃
＝（イコール）	◉	％（パーセント）	◎
C・CE（クリア）	クリア	tax（税計算）	↶
CM（クリアメモリ）	スケジュール/メモ		

■ 税率の変更：税率（01～99%）入力➡↶（1秒以上）

2 簡易電卓を終わるときは、⌒を押す。

計算結果の利用

■ 簡易電卓で行った最後の計算結果やメモリ計算で記憶した数値は、文字入力画面に貼り付けることができます。
文字入力画面➡メニュー（**メニュー**）➡「**各種情報入力**」選択➡◉➡「**4簡易電卓**」選択➡◉➡計算結果を選択➡◉➡以降の操作：☞P.4-21操作５以降

補足
- ●計算中に着信があったとき、入力した数値や計算結果、メモリに記憶された数値は消去されません。
- ●メモリ計算では[スケジュール/メモ]を押して、メモリ内容を消去してから始めてください。
- ●メモリに記憶した数値は簡易電卓を終了しても消去されません。
電源を切ると消去されます。

マネー積算メモ

順次入力した金額の合計を自動的に計算します。出張時の経費の計算などに便利です。
●積算メモには最大31件の金額が入力できます。（合計金額は30,999,969円まで、１回の入力は999,999円まで）

マネー積算メモ入力 待受中にダイヤルボタンで金額を入力し、明細名をつけて登録できます。

金額を入力➡[スケジュール/メモ]➡明細名を選択➡◉
- ●自動的に入力した日時で登録されます。
- ●時刻設定（☞P.1-25）がされていないときは、日時には「--/----:--」が登録されます。

補足 通話中にマネー積算メモは入力できません。

確認 入力した積算メモを確認します。

◉[4][1]➡「**1メモ確認**」選択➡◉
■ 他の金額を確認：◎

変更 明細名や金額を変更します。

◉[4][1]➡「**1メモ確認**」選択➡◉➡変更する明細を選択➡メニュー（メニュー）➡「**1明細変更**」／「**2金額変更**」選択➡◉➡変更内容入力➡◉（決定）

消去 明細を消去します。

◉[4][1]➡「**1メモ確認**」選択➡◉➡変更する明細を選択➡メニュー（メニュー）➡「**3１件消去**」／「**4全消去**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉

明細名変更	あらかじめ登　されている明細名を変更します。

◉4 1 ➡「2明細変更」選択➡◉➡変更する明細名を選択➡◉➡明細名変更➡◉

- 最大全角５文字（半角10文字）まで入力できます。
- あらかじめ登　されていた明細名に戻すときは、変更した明細名を消去し、◉を押します。

スポットライト

V602SHを懐中電灯のように利用できます。

点灯	スポットライトを点灯します。

待受中に、Ⓒを連続して２回押す

消灯	スポットライトを消灯します。

Ⓒまたは、エニーキーアンサーの各ボタンを押す

- V602SHを開いても消灯できます。（クローズポジション時）

点灯時間設定	スポットライトを継続して点灯させる時間を設定します。

お買い上げ時 1 分

◉➡「ツール」選択➡◉➡「1スポットライト」選択➡◉➡「2スポットライト設定」選択➡◉➡「1継続点灯時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

補足 スポットライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

点灯カラー設定	スポットライトの点灯カラーを設定します。

お買い上げ時ライチフルーツ（白色系統）

◉➡「ツール」選択➡◉➡「1スポットライト」選択➡◉➡「2スポットライト設定」選択➡◉➡「2点灯カラー」選択➡◉➡カラー選択➡◉

■ 点灯カラーの確認：カラー選択時に◎（点灯）

注意
- スポットライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してから、ご使用ください。
- 次のようなときには、スポットライトが点灯しません。
  - ■カメラモード中 ■誤動作防止中 ■ダイヤル操作禁止中 ■通話中
  - ■メール受信中 ■ボイスレコーダー録音中 ■SMAF動作中 ■発信中
  - ■ストップウォッチ動作中 ■キッチンタイマー動作中
  - ■メロディファイル動作中

補足
- スポットライト点灯中に電話などの着信があったときは、スポットライトが消灯し、ディスプレイ／サブディスプレイのパネル照明が点灯します。
- 次のようなときにスポットライトを点灯すると、設定した点灯時間終了後、ディスプレイのパネル照明が点灯します。
  - ■Vアプリ起動中（Vアプリの「パネル照明」（☞P.12-2）を「常時ON」に設定しているとき）

外部出力

テレビやビデオなど他の機器とV602SHを接続し、他の機器にV602SHのディスプレイ画面を出力して見ることができます。

- V602SHと他の機器は、付属品のL型ビデオ出力ケーブルで接続します。
- 画像や音声によっては、外部出力できないものがあります。
- ビデオカメラモードのファイルやＶアプリなどを外部出力しているときは、V602SHのディスプレイでは表示されません。
- V602SHに取り付けたSDメモリカード内のデータも見ることができます。
- 外部出力に対応したＶアプリもテレビやビデオなどの他の機器で表示することができます。（☞P.10-5）
- クローズポジションのときは、外部出力できません。

テレビなどの接続方法

外部出力の設定

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 V602SHと他の機器を接続する。

2 ◉4 0 の順に押す。

3「6外部出力設定」を選び、◉を押す。

4「1ON」を選び、◉を押す。

●V602SHのディスプレイにも映ります。

■ 他の機器への出力をしない：「2OFF」選択➡◉

■ 表示サイズの切替：「3表示サイズ切替」選択➡◉➡「1等倍」／「2拡大」選択➡◉

■ 静止画や動画を回転：「4画像回転表示設定」選択➡◉➡「1回転なし」～「4270°」選択➡◉

注意

●テレビなどと接続するときやプラグを抜くときは、次の点にご注意ください。
- ■接続するときやプラグを抜くときは、接続する機器側の電源を一旦「切」にしてください。
- ■付属品のL型ビデオ出力ケーブルはテレビ側のビデオ入力に接続してください。誤ってビデオ出力端子など他の端子に接続すると、故障する場合があります。また、付属品のL型ビデオ出力ケーブルはV602SH以外へは接続しないでください。
- ■付属品のL型ビデオ出力ケーブルのプラグは、ゆっくりと確実に差し込んでください。また、抜くときは、プラグを持ってゆっくり抜いてください。
- ■付属品のL型ビデオ出力ケーブルを強くひっぱったり、プラグ付近をねじったり、無理な力を加えないでください。V602SHのVIDEO OUT端子や付属品のL型ビデオ出力ケーブルが破損する恐れがあります。

●外部出力をご利用になる際には、V602SHと接続したテレビなどの機器で、音量調整を行ってください。また、V602SHを抜く前にはテレビなどの音量が大きくなりすぎていないことをご確認の上、テレビなどの電源を切ってください。

●お使いのテレビなどによっては、画面にノイズが出たり乱れることや、表示サイズ切替を「2拡大」にしているときは、画像の一部（上下）が表示されないことがあります。

補足

●「ON」に設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池の利用時間が短くなります。

●撮影中の静止画や動画は、外部出力できません。

●ビデオカメラモードのファイルを外部出力している場合、再生中に[*]を押すと、他の機器への出力を中止し、ディスプレイで最初から再生されます。

●表示できない画像が1つでも含まれているとき、メモリダイヤル画面、メモリダイヤルリスト表示、データフォルダ画像一覧表示、メールリスト表示は外部出力できません。

●ウェブは表示できません。

●外部出力中に、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンや光変換アダプタなどを接続したときは、外部出力が停止します。

連続表示について

●外部出力が「ON」に設定されている状態で、静止画を連続して表示（☞P.12-23）すると、接続している他の機器側でも連続して表示されます。（連続表示ワイプ設定（☞P.12-23）は、他の機器では表示されません。）

マイク付液晶オーディオリモコンの利用

ワンタッチで電話をかける

メモリ番号000に登　したメモリダイヤル（☞P.5-5）には、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンのスイッチを押すだけで、電話をかけることができます。

1 **イヤホンマイク端子に、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンの接続プラグを差し込む。**

2 **スイッチを「ピピッ」と音がするまで、長く（１秒以上）押し続ける。**

●相手が出たら、お話しください。

3 **通話が終わったら、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（１秒以上）押し続ける。**

電話が切れます。⊖を押しても、電話を切ることができます。

●V602SHをクローズポジションにしても、電話は切れません。

注意

メモリ番号000をシークレットデータにしているときは、シークレットモードにしてから、スイッチの操作で電話をかけてください。（☞P.14-7）

補足

●ダイヤル操作禁止やメモリ使用禁止が設定中は、電話をかけられません。（☞P.14-2、P.14-3）

●オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンのコードを、V602SH本体や内蔵アンテナ部分に巻き付けないでください。アンテナが正しく働かないことがあります。また、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンのコードを、内蔵アンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。ご注意ください。

●プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえないことがあります。

ワンタッチで電話を受ける

1 **イヤホンマイク端子に、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンの接続プラグを差し込む。**

着信音を鳴る設定にしているときに電話がかかってくると、着信音出力切替（☞P.15-42）の設定により、イヤホンのみ、またはイヤホンとスピーカーの両方から着信音が聞こえます。

2 **スイッチを長く（１秒以上）押し続ける。**

電話がつながります。相手とお話しください。

●電話を切る操作は上記と同様です。

イヤホンからのみ着信音を出す

イヤホンマイク端子にオプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを差し込んでいる場合、着信音はイヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。
これをイヤホンからのみ鳴るように設定します。
- お買い上げ時には、「**イヤホン＋スピーカー**」に設定されています。

1 **◉ 1 5 の順に押す。**

2 **「1イヤホンのみ」を選び、◉を押す。**

■ イヤホンとスピーカーの両方から鳴らす：「**2イヤホン＋スピーカー**」選択➡◉

補足
イヤホンマイク端子にステレオヘッドホンなどが差し込まれていないときは、「**イヤホンのみ**」に設定していても、スピーカーから着信音が鳴ります。

外部機器を利用したデータ通信

FAX通信	データ／FAX通信カードなどを介して、FAX通信をします。

データ／FAX通信カードを接続する
- G3 FAXが送信または受信状態になると、確認画面が表示されます。

パソコン通信	データ／FAX通信カードなどを介して、パソコン通信をします。

データ／FAX通信カードを接続する
- パソコンが通信状態になると、確認画面が表示されます。

注意
- FAX 通信やパソコン通信を行うときは、電波の安定した場所で行われることをおすすめします。
- ボーダフォン携帯電話は電波を利用していますので電波の弱い地域などでは、FAX通信やパソコン通信ができないことがあります。

補足
- パソコン通信を行っているときは、ボーダフォン携帯電話の画面表示が接続されたデータ／FAX通信カードによって変わります。
- ボーダフォン携帯電話は、9600bps高速データ通信対応です。
- データ／FAX通信カードなどの接続方法、FAX通信やパソコン通信の方法については、データ／FAX通信カードなどの取扱説明書をご参照ください。

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスが利用できます。
- 電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは一般電話から操作してください。
- 一般電話からの操作、サービスの詳細については「**サービスガイドブック**」をご覧ください。

転送電話サービス	電波の届かない場所や電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。（☞P.16-3）
留守番電話サービス※	電波の届かない場所や電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.16-4）
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。（☞P.16-6）
三者通話サービス※	２人での通話中にもう１人に電話をかけ、３人同時に通話することができます。また、相手を切り替えながら交互に通話することもできます。（☞P.16-7）
発信者番号通知サービス※	お客様の電話番号を相手に通知したり、相手の電話番号を表示させることができます。

※ 別途お申し込みが必要です。

転送電話サービス

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

転送先電話番号登録

転送先の電話番号を登　します。

◉ 7 1 2 ➡ 転送先電話番号入力 ➡ ◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、登　した転送先電話番号が表示されます。
- 一般電話の場合は、市外局番から入力してください。

補足 **転送先として登録できない電話番号**
- 「１」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
- 「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
- 「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービス開始

転送電話サービスを開始します。

■あらかじめ転送先の電話番号を登　しておいてください。

◉ 7 1 1 ➡「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択 ➡ ◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
- 「2なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

転送電話サービス停止

転送電話サービスを停止します。

◉ 7 3 ➡「1YES」選択 ➡ ◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、停止の確認メッセージが表示されます。

転送電話サービス設定確認

転送電話サービスの設定状況を確認します。

◉ 7 4 ➡「1YES」選択 ➡ ◉

- 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

転送電話サービス開始後に着信があると

■ 着信音が鳴っている間に⌒を押すとそのまま通話できます。
- 転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、そのまま転送先に転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

留守番電話サービス

別途お申し込みが必要です。

留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は、「**サービスガイドブック**」をご覧ください。

●留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
●すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始　留守番電話サービスを開始します。

◉72➡「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択➡◉

●接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
●「**2なし**」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

留守番電話サービス開始後に着信があると

■着信音が鳴っている間に◯を押すとそのまま通話できます。
●転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、そのまま留守番電話センターに転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合）

留守番電話サービス停止中に着信があると
（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

■着信中に◉◯の順に押すと、その着信に限り留守番電話サービスセンターに転送されます。（留守番電話サービスは停止のままです。）
■留守番電話センターに転送できなかったときは、確認メッセージが表示され、着信中の画面に戻ります。
■サイドキー設定の着信時の動作（☞P.15-3）を「**5留守電センター転送**」に設定しているときは、着信中にⓢを長く（1秒以上）押しても、留守番電話センターに転送されます。

留守番電話サービス停止　留守番電話サービスを停止します。

◉73➡「1YES」選択➡◉

●接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

伝言メッセージ再生　留守番電話センターに入っている伝言メッセージを確認します。

◉77➡「1YES」選択➡◉➡◎

●留守番電話センターに接続後は、アナウンスに従って操作します。
■メッセージ確認後：◯
■留守番電話センター番号変更して確認：◉77➡「1YES」選択➡◉➡◯➡センター番号入力➡◉➡◎
■お買い上げ時のセンター番号：「1416」

補足　「🖭」はV602SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

留守番電話サービス設定確認　留守番電話サービスの設定状況を確認します。

◉74➡「1YES」選択➡◉

●設定状況が表示されます。

転送電話／留守番電話の呼出し時間設定

東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、ご利用になれません。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V602SHにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V602SHの着信音が鳴る時間）を5～30秒（5秒単位）の間で設定できます。

●電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。
●着信音を鳴らさないようにしているときは、ここでの設定は無効になります。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

呼出し時間設定　転送電話／留守番電話の呼出時間を設定します。

お買い上げ時 20秒

◉70➡呼出し時間選択➡◉

●接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

注意　転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV602SHの簡易留守　（☞P.15-4）と合わせてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。
　例：**各サービスの呼出し時間…10秒**
　　　簡易留守録の呼出し時間… 9秒
と設定すると、簡易留守　が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
また、簡易留守　を優先していても、　音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。

割込通話サービス

別途お申し込みが必要です。

割込通話サービス設定 割込通話サービスを設定します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、設定できません。

◉7 5➡「1ON」選択➡◉

●ネットワーク接続後、確認メッセージが表示されます。

割込通話サービス解除 割込通話サービスの設定を解除します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、設定できません。

◉7 5➡「2OFF」選択➡◉

●確認メッセージが表示され、待受画面に戻ります。

割込通話サービス設定確認 割込通話サービスの設定状況を確認します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、確認できません。

◉7 6➡「1YES」選択➡◉

●ネットワーク接続後、設定状況に応じて、確認メッセージが表示されます。

割込通話着信 通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けます。

通話中に割り込み音が聞こえたら⌒

■ 保留中の相手との通話：⌒（**切替**）

■ 通話する相手の切替：⌒（**切替**）

補足 割込通話サービスをご利用中は、通話中に着信があっても、バイブレータは動作しません。（着信音も鳴りません。）専用の割り込み音が聞こえ、着信中のメッセージが表示されます。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合

■ 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスで「**着信音なし**」に設定しているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

割込通話中に、⌒を押した場合

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、ディスプレイに保留通話ありのメッセージが表示されます。⌒または⌒を押すと、保留中の相手との通話になります。

割込通話中に、通話中の相手が電話を切った場合

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、ディスプレイに保留通話ありのメッセージが表示されます。⌒または⌒を押すと、保留中の相手との通話になります。

三者通話サービス

別途お申込みが必要です。

通話中発信 通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけます。

通話中に電話番号を入力➡⌒

●相手につながると、通話できます。それまで通話していた相手は、保留になります。
●メモリダイヤル、リダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリを使ってかけることもできます。

切替通話 相手を切り替えながら通話します。

通話中に⌒

●それまで通話していた相手が保留になり、もう一方の相手と通話できます。
●⌒（**切替**）を押すたびに、通話する相手を切り替えることができます。

切替通話中に、⌒を押した場合

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、ディスプレイに保留通話ありのメッセージが表示されます。⌒または⌒を押すと、保留中の相手との通話になります。

切替通話中に、通話中の相手が電話を切った場合

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、ディスプレイに保留通話ありのメッセージが表示されます。⌒または⌒を押すと、保留中の相手との通話になります。

通話中転送　切替通話中に、他の２人だけの通話にします。

■関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用できます。

切替通話中に◉➡「6通話中転送」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

- 転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた相手と、保留中の相手の通話になります。（自分から電話をかけた場合は、引き続き通話料金が課金されます。）
- ⊝を押すと、待受画面に戻ります。

三者通話　３人で同時に通話できます。

切替通話中に◉➡「5三者通話」選択➡◉

- 三者通話中に「**切替通話**」（☞P.16-7）に切り替えることはできません。

三者通話中転送　三者通話中に、他の２人だけの通話にします。

■関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用できます。

三者通話中に◉➡「4通話中転送」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

- 転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた残りの２人の通話になります。（自分から電話をかけた場合は、引き続き通話料金が課金されます。）
- ⊝を押すと、待受画面に戻ります。

三者通話中に、⊝を押した場合

■ ２人の相手との電話が同時に切れます。

三者通話中に、通話中の相手のどちらかが電話を切った場合

■ 残された相手との通話になります。

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone K.K. Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

Contents

Accessories 17-2
Safety Precautions 17-2
General Notes 17-8
Minding Mobile Manners 17-10
■ Basic Handset Etiquette 17-10
■ Manner-Related Features 17-10
Handset Parts & Functions 17-11
■ Handset (Front) 17-11
■ Handset (Side & Back) 17-13
■ Charging Battery 17-14
■ Display 17-16
■ Symbols 17-19
■ Handset Codes 17-19
Basic Handset Operations 17-20
■ Turning Handset On/Off 17-20
■ Display Language 17-20
■ Your Phone Number 17-20
■ Setting Clock 17-20
■ Initiating a Call 17-21
■ Redial 17-21
■ Total Charges & Talk Time ... 17-22
■ Incoming Call 17-22
■ Placing a Caller on Hold 17-22
■ Message Recorder & Voice Mail 17-22
■ Forwarding a Call 17-23
■ Calling from Call History 17-23
■ Manner Mode 17-23
Entering Characters 17-24
■ Character Types 17-24
■ Key Assignments 17-25
■ Symbols, Pictographs & Emoticons 17-26
Saving to Phone Book 17-27
■ Phone Book Entry Items 17-27
■ New Phone Book Entries 17-28
■ Editing Phone Book 17-29
■ Saving from Call History 17-29
Dialing from Phone Book 17-30
■ Entry Number Search 17-30
■ Search by Reading 17-30
Mobile Camera 17-31
■ Before Using Camera 17-31
■ Capturing Still Images 17-32
Data Folder 17-32
■ Data Folder Contents 17-32
■ Opening Data Folder 17-33
■ Super Mail Attachments 17-33
Function Shortcuts 17-34
Specifications 17-38
Customer Service 17-40

*Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check Vodafone Website again at a later date.

Accessories

■ Battery (SHBU01)*
(Type 1 lithium-ion battery)

■ Desktop Holder (SHEU01)*

■ Rapid Charger (SHCQ01)*

■ Video Cable (SHPU01)*

*Additional quantities may be purchased separately.

Tip
- For more about accessories, call Customer Service, General Information (☞P.17-40).
- V602SH accepts SD Memory Card (not included). At time of purchase, a plastic Slot-Saver is inserted into Memory Card Slot to protect it. Purchase SD Memory Card separately to use Memory card-related handset functions. When no SD Memory Card is inserted, always insert Slot-Saver.

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others or damage to property.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

■ Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

⚠ DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

■ Symbols

	Prohibited Actions
	Compulsory Actions
⚠	Attention Required

⚠ DANGER

Handset, Battery & Charger

Use only the specified battery, charger or holder
Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit charger terminals
Keep metal objects away from charger terminals. Keep handset away from jewelry. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire.
Do not:
- Heat or dispose of battery in fire.
- Disassemble, modify or break battery.
- Damage or solder battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or in extreme heat.
- Use battery for other equipment.

If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

⚠ WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into handset
Do not put metal or flammable objects in handset, charger or holder. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

Keep handset out of rain or extreme humidity
Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers
Keep handset, charger and holder away from chemicals/liquids. Fire/electric shock may result.

Avoid sources of fire
Prevent fire or explosion. Do not use handset in the presence of gas or fine particles (coal, dust, metal, etc.).

Do not use Mobile Light near people's faces
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Keep handset, charger or holder away from microwave ovens
Battery or handset may leak, burst, overheat or ignite and cause accidents.

Do not disassemble or modify handset
- Do not open handset, battery or holder; may cause electric shock or injury. Contact Vodafone Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, charger or holder. Fire or electric shock may result.

Do not subject handset to shocks
Subjecting handset, charger or holder to shocks may cause malfunction or injury. Should the handset break, remove the battery and contact Vodafone Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If water or foreign matter should get inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug charger and contact Vodafone Customer Assistance.

If an abnormality occurs:
Should there be unusual sound, smoke or odor, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery and unplug charger and contact Vodafone Customer Assistance.

Handset

Preventing accidents
For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand.

Do not swing handset by handstrap
May result in injury or breakage.

Turn handset power off before boarding aircraft
Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjust vibration and ring tone settings:
Select settings carefully if you have a heart condition or pacemaker.

During lightning storms, turn power off and take shelter
There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger

Use only the specified voltage
Non-specified voltages may cause fire or electric shock.
- Charger: AC 100 V
- In-Car Charger: DC 12 V/24 V

Do not use In-Car Charger in cars with a positive earth
Fire may result. Use In-Car Charger only in cars with a negative earth.

Charger Care
Do not touch plug with wet hands. Electric shock may occur.

- Do not use multiple cords in one outlet. May generate excess heat or fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.

Do not short-circuit charger terminals
Keep metal away from terminals. May cause overheating, fire or electric shock.

Do not use Desktop Holder in automobiles
Extreme temperature or vibration may cause fire or breakage.

If Charger or In-Car Charger cord is damaged:
May cause fire or electric shock; contact Vodafone Customer Assistance to replace.

Preventing accidents
Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

During lightning storms:
Unplug charger to avoid breakage, fire or electric shock.

Keep Charger & Desktop Holder out of the reach of children
Failure to do so may result in electric shock or injury.

Battery

- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or cause fire.
- If there is leakage or abnormal odor, avoid fire sources. It may catch fire/burst.

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Persons with implanted pacemakers or defibrillators should keep handset more than 22 cm away
Radio waves may cause implanted pacemakers or defibrillators to malfunction.

Turn handset power off in crowded places such as trains. People with implanted pacemakers or defibrillators may be near.
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules when visiting medical institutions:
- Do not take handset into operating rooms, Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical institutions.

Consult manufacturer for radio wave effects on electronic medical equipment.

⚠ CAUTION

Handset, Battery & Charger

Handset Care
- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside cars, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage Environment
- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may enter resulting in malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Avoid leaving handset in extreme heat (inside a car, etc.)
Handset may heat up and lead to burns.

Inside automobiles:
Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

Charger

Charger & In-Car Charger
Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.

- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.
- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Do not touch Desktop Holder while in use
May cause burns.

Long periods of disuse
Be sure to unplug Charger or In-Car Charger after use.

Handset Maintenance
When cleaning, disconnect Charger/In-Car Charger to prevent shock/injury.

Use only the specified fuse
1A fuse for In-Car Charger. Or may cause breakage/fire.

Always charge handset in a well-ventilated area
Avoid covering/wrapping Charger/Desktop Holder. May cause damage/fire.

Installing In-Car Charger
Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Do not use In-Car Charger when engine is off
Start engine before use. Or car battery may be weakened.

Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or cause fire.

Do not leave battery in direct sunlight or inside cars. Overheating/fire may occur and battery performance may deteriorate.

Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.

If battery fluid gets on skin or clothes, rinse with clean water immediately.

- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over charger terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop. Follow local regulations regarding battery disposal.
- Keep battery out of the reach of children.

- Charge battery within a range of 5℃ - 35℃. Or may leak/overheat. Performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call Vodafone Customer Assistance.

General Notes

General Use

- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset or SD Memory Card data. Please keep separate records of Phone Book data, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law.
  Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- Beware of Eavesdropping
  Digital signals reduce interception, however transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

In Automobiles

- Do not use handset while driving. Doing so is dangerous.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect an automobile's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off).
Handset use may impair aircraft operation.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5℃ - 35℃ and 35% - 85% humidity. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset displays.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the display.
- Handset is not water-proof. Keep it away from fluids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid dropping handset in a wet area (restroom, bathroom, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Always turn off handset before removing battery.
  If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Observe Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide.

Basic Handset Etiquette

Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or automobile traffic.

Manner-Related Features

Take advantage of built-in features to help you use your handset in public places without disturbing or endangering others.

■ Off-Line Mode

Use Off-Line Mode to suspend all handset transmissions. When Off-Line Mode is active, incoming and outgoing calls/mail as well as incoming Vodafone live! information are blocked.

■ Manner Mode

Press the Manner Key to automatically silence all ring tones and activate Vibration Mode for incoming calls, mail and information.

■ Vibration Mode

Activate Vibration Mode to use handset vibration to alert you to incoming calls, mail, etc. in public places.

■ Volume Settings

Lower or silence Ring Tone Volume for incoming calls/mail/information as well as tones for Web or V-Applications when carrying handset in public places.

■ Whisper Mode

Use Whisper Mode to increase microphone sensitivity, allowing you to lower your voice and speak softly when you must use handset in public places.

■ Message Recorder

Use Message Recorder to handle incoming calls when it is inappropriate or unsafe to answer them.

Handset Parts & Functions

Handset (Front)

1 Display

2 Vodafone live! Key/Mobile Camera Key
Initiate Vodafone live! service. Press for 1+ seconds to activate mobile camera.

3 Start Key
Initiate/answer calls.

4 Clear Key
Delete entries/return to previous window.

5 Schedule/Memo and A/a Key
Save/check schedule or record/play Voice Memos. Toggle between upper/lower case roman letters or normal/small hiragana/katakana in text entry windows and change image display sizes.

6 Keypad

7 * Key
In mobile camera, toggle between Display/Sub Display. While image or mail message is open, use this key to open the newer image/message.
In alphanumerics entry, open web/mail address prefixes & suffixes, and in kanji (hiragana) entry, toggle through Pictograph & Symbol lists.

8 Earpiece

9 Multi Selector
Select menu items, move cursor, scroll, etc. or use for the following:
1 Redial/Notepad Memory Key
Select dialed numbers. Press for 1+ seconds to open Notepad Memory.
2 Mail Key
Open Mail menu/send mail. Press for 1+ seconds to adjust Earpiece Volume.
3 Phone Book Key
Open entries to make calls/send messages. Press for 1+ seconds to save new entries.
4 Function Key/Key Guard
Access Functions menu. Press for 1+ seconds to set or release Key Guard.
5 Call History Key
Open records of received calls. Press for 1+ seconds to adjust Earpiece Volume.
10 Microphone
11 Direct Key
List User Shortcuts, etc.
12 Power On/Off & End Key
End calls, place callers on hold or cancel operations. Press for 2+ seconds to turn handset power on/off.
13 Text/Manner Key ()
Toggle character types or create Phone Book entries. Press for 1+ seconds to activate/cancel Manner Mode.
14 # Key
When handset is opened for mobile camera (clamshell open), turn Mobile Light On/Off. While image or mail message is open, use this key to open the older image or message. In text entry windows, toggle through Symbol & Pictograph lists.
15 0 Key
Press for 1+ seconds to open Bowlingual CONNECT (V-Appli) setup window.
16 Microphone

Handset (Side & Back)

17 Infrared Port
Use for infrared data transmissions.
18 Video Out/Earphone/Optical Digital/Line In Connector
Connect included Video Cable, optional LCD Remote/Mic, etc.
19 Charger Terminal
20 External Device Connector
Connect Charger here.
21 Strap Eyelet
Attach straps as shown.
22 Memory Card Slot
Insert SD Memory Card here.
23 Small Light
Illuminates red while charging; flashes orange when Panel Saving is active; and flashes red, green and orange for Off-Line Mode. Set to flash for incoming calls.
24 Zoom/Select Key
Select menu items, move cursor, etc.
25 Shutter Key
With handset closed and Display in Viewer position, press to open selected menu items or execute functions.

㉖ C Key
With handset closed and Display in Viewer position, press to cancel the current operation or return to the previous window, etc. In Standby, press to open User Shortcut menu.
㉗ Mobile Light
Flashes for incoming calls/mail; serves as a strobe or penlight.
㉘ Camera
Capture still and video images.
㉙ Sub Display
㉚ Speaker
㉛ Battery Cover
㉜ Internal Antenna

Note
About Internal Antenna
- V602SH has no external antenna. Handset transmits and receives signals via Internal Antenna.
- Avoid covering area over Internal Antenna.
- Do not place stickers on area over Internal Antenna.

Charging Battery

Battery & Charger

Charge a new battery before use or after a period of disuse.

■ Battery Life
- Do not use or store battery at extreme temperatures. May shorten battery life. Ideal working temperature is between 5℃ - 35℃.
- Use specified charger only. Battery may deteriorate, overheat or cause fire.
- Replace battery if operating time is noticeably shorter than normal.

■ Charging
- Do not use Charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Charger and battery may become warm during charging.
- Move charger away from TV or radio if interference occurs.

■ Precautions
- Use a dry cotton swab to keep handset, battery and charger terminals clean.
- Avoid:
  - Extreme temperatures
  - Humidity, dust and vibration
  - Direct sunlight
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.
- Use a case when carrying battery separately.

■ Battery Disposal
- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over charger terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop.
Follow local regulations.

Charging with Desktop Holder

1 Insert charger connector into Desktop Holder until it clicks

2 Plug in Charger

3 Gently insert handset into Desktop Holder
- Fit tabs into slots as shown in 1 and push handset as indicated in 2 until it clicks. Small Light illuminates red (goes out when charging is complete).
- Charging takes approximately 115 minutes* (with handset power off).

* May vary with temperature.

4 After charging, unplug Charger from outlet and remove handset

Tip
Rapid Charger
Insert charger connector into External Device Connector.

Display

Display Indicators

1 Battery Strength / Pen Light
Strong Moderate Low Empty
and flash when Pen Light is in use
2 Manner Mode Active
3 Information
Unconfirmed Mail, Web/Station Information or Delivery/Auto Send Report
4 Speaker Phone Active / Speaker Active / (gray) Station Menu Manual Update
5 Active V-Application / Paused V-Application
6 Line Active / Video Out Active
Mail Server or Service Center Transmission in Progress.
7 Music Player Active/ Voice Recorder Active
8 SD Memory Card Status
9 Set User Shortcut / Mobile Internet Site Supports SSL
10 Secret Mode Active
11 Signal Strength / Off-Line Mode / Infrared Transmission
: Strong : Moderate : Low : Weak OUT: Out-of-Range
12 / Scroll
Scrolling options
13 New Voice Mail
14 Mail
Unread mail except Super Mail
15 Super Mail
Unread Super Mail on the Server
Appears only when you signed up for Super Mail.
16 Handset / SD Memory Card
Accessing handset or SD Memory Card files.

17 Entry Mode
Character Type Icons

漢	Kanji and Hiragana
ア	Double-byte Katakana
ｱ	Single-byte Katakana
Ａ	Double-byte Alphanumerics (upper/lower case)
ａ	Double-byte Alphanumerics (lower case)
A	Single-byte Alphanumerics (upper/lower case)
a	Single-byte Alphanumerics (lower case)
1	Single-byte Numbers
絵	Pictograph Code
区	Character Code
Ｐ*	Double-byte Upper Case
P*	Single-byte Upper Case
ｐ*	Double-byte Lower Case
p*	Single-byte Lower Case

*Available in Pager Mode
18 Original / Enlarged
Mail, Web or Data Folder image display size
19 Web
Unread Web Information
20 (red) Station
Unread Station Information
21 Delivery Report
New Delivery Report
22 Message Recorder Active
23 Message
24 / Schedule
Schedule Alarm On: / Off:
25 Alarm Set
26 Keypad Lock Active
27 Vibration Active
28 Silent / Rising Tone
Ringer is Silent or Rising Tone.
29 Weather Indicators
Current forecast (A separate subscription is required.)
30 Key Guard Active

Tip Although Vibration and Ring Tone Level for incoming calls and Vodafone live! functions are set separately, V , S , and are Incoming Call indicators.

Sub Display

Sub Display & Display indicators (☞P.17-16 - 17-18) represent the same functions.

1 2 3 4

1 Battery Strength / Missed Call / Mail / Message / Voice Mail / Web / Station / Alarm / Pen Light
   always appears in Standby. , , , or appears with message for Alarm, incoming calls, information, etc. When appears, press Ⓢ for 1+ seconds to see specific indicators.
   and flash when Pen Light is in use.

2 Signal Strength / Off-Line Mode

3 Information
   Unconfirmed Mail, Web/Station Information, Missed Calls, Message Recorder or Voice Mail messages.

4 Time/Music Player or Voice Recorder Status
   Current time or elapsed time for Stopwatch and Kitchen Timer.

Tip Sub Display Backlight illuminates when handset is closed (clamshell closed) or Side Key is pressed, except when Backlight Settings for Sub Display is canceled.

Using Viewer

V602SH features a rotating Display. Rotate Display into Viewer position for use with Mobile Camera, etc. (☞P.17-31 "Mobile Camera") with handset closed.

To use Display as Viewer with handset closed: 1) Open handset; 2) rotate Display 180 degrees clockwise; and 3) close handset with Viewer facing outward.

1 2 3

Symbols

Multi Selector

Use Multi Selector to select menu items, move cursor, scroll, etc.
In this manual, Multi Selector operations are indicated as follows:

Press to return

Press to select functions

Basic Multi Selector Operations

- : Press or
- : Press or
- : Press , , or

Menu Items

Use or to select menu items. (Example: Select 5 ***Text*** and press ◉.)

Handset Codes

Security Code and Center Access Code are needed for handset use.

Security Code

9999 or the 4-digit number selected at initial subscription. Security Code is required to use/change some handset functions. ⁑ appears when Security Code is entered.
If incorrect, ***Invalid Code*** appears.

Center Access Code

The 4-digit number in the contract, required to access optional service via landlines.

Note
- Write down Center Access Code. If lost, contact Vodafone Customer Center, General Information (☞P.17-40).
- Do not reveal Security Code and Center Access Code. Vodafone is not liable for damages resulting from misuse.

Tip
- Change Security Code as needed.
- Do not attempt to change Center Access Code. Contact Vodafone Customer Center, General Information (☞P.17-40) for details.

Basic Handset Operations

Turning Handset On/Off

Activate Handset Power

1 Open handset (clamshell open)
2 Press for 1+ seconds

Deactivate Handset Power

1 Open handset (clamshell open)
2 Press for 2+ seconds

Display Language

1 Press 3 5
2 Select 2 *English* and press

Your Phone Number

1 Press 0
2 Press to exit

Setting Clock

1 Press 5 9
2 Enter current date and time
3 Press

Initiating a Call

1 Enter a phone number
2 Press

Making an International Call

International calls can be made directly from handset. An additional contract is required to use this service. (No basic monthly charges or application fees.)
Enter 0 0 4 6 + 0 1 0 + country code + area code + phone number.
Call Vodafone Customer Center, General Information at 157 from a Vodafone handset or the number for your Subscription Area in "Customer Service".

Example: Calling the United Kingdom

1 Enter 0 0 4 6 0 1 0
2 Enter 4 4 (Country Code)
3 Enter the phone number with the area code
4 Press

Note Omit the first 0 of the area code except when calling a number in Italy.

Redial

1 Press
2 Select a phone number and press
3 Press

Total Charges & Talk Time

1 Press ◉ 6 0 (Total Charges) or ◉ 6 2 (Total Talk Time)
2 Press ⊜ to exit

Incoming Call

1 Handset rings/vibrates and Mobile Light flashes for an incoming call.
Open handset
2 Press ⊙
Alternatively, answer calls by pressing: 0 - 9, *, #, スケジュール, クリア, ◉, ⊙, ⊙, ⊙

Placing a Caller on Hold

1 Handset rings/vibrates and Mobile Light flashes for an incoming call.
Open handset
2 Press ⊜ to place caller on hold
3 Press ⊙ to talk

Message Recorder & Voice Mail

Use Message Recorder or Voice Mail to record caller messages.

	Message Recorder	Voice Mail
Message Recorded	Handset	Voice Mail Center
Setting	Press ◉ 文字	Press ◉ 7 2, select Ring Tone option and press ◉
Additional Contract	Not Required	Required
Message Indicator		
Play	Press ◉ スケジュール	Press ◉ 7 7 and choose 1 *Yes* and press ◉ Press ⊙
Delete	During playback, press クリア, choose 1 *Yes* and press ◉	After playback, press 7
When Handset Power is Off	Not Available	Available
When Handset is Out-of-Range	Not Available	Available

Tip When Voice Mail is off, press ◉ and ⊜ to forward a call to Voice Mail Center. Initiating Voice Mail cancels Call Forwarding.

17 Abridged English Manual

Forwarding a Call

Forward a call to a specified phone number.

Saving Forwarding Number

1 Press ◉ 7 1
2 Select 2 ***Set Fwd Number*** and press ◉
3 Enter a phone number and press ◉

Initiating Call Forwarding

1 Press ◉ 7 1
2 Select 1 ***Start Fwd*** and press ◉
3 Select Ring Tone option and press ◉
1 ***Call***: Ring Tone On or 2 ***No Call***: Ring Tone Off

Note Initiating Call Forwarding cancels Voice Mail.

Calling from Call History

1 Press ⊙
2 Select a phone number and press ◉
3 Press ⊙

Manner Mode

Activate Manner Mode to use handset without disturbing others.

1 In Standby, press 文字 for 1+ seconds
Default Manner Mode Settings:
①Silences Keypad Sound, Power On/Off, Error and Barcode recognition tones.
②Simultaneously invokes: Message Recorder (On), Ring Tone Level (Silent), Vibration (On), LED Indicator (Small Light), Whisper Mode (On), Sound Volume (Silent), V-Appli Volume (Silent), V-Appli Vibration (On). Adjust settings as required.

Tip Canceling Manner Mode
In Standby, press 文字 for 1+ seconds.

17 Abridged English Manual

Entering Characters

Character Types

Press [文字] to toggle between character types.

漢アｱAA1絵
New Message
0/128
Cancel ● OK Menu

- 漢アｱaa1絵 — Single-byte Alphanumerics
- ↓ 文字
- 漢アｱaa1絵 — Single-byte Numbers
- ↓ 文字
- 漢アｱaa1絵 — Pictograph Code 1 - 6 & Character Code
- ↓ 文字
- 漢アｱaa1絵 — Kanji (Hiragana)
- ↓ 文字
- 漢アｱaa1絵 — Double-byte Katakana
- ↓ 文字
- 漢アｱaa1絵 — Single-byte Katakana
- ↓ 文字
- 漢アｱaa1絵 — Double-byte Alphanumerics
- 文字 (returns to Single-byte Alphanumerics)

Key Assignments

Key	Single-byte Alphanumerics: Upper & Lower Case	Single-byte Alphanumerics: Lower Case	Single-byte Numbers	Pictograph Code 1 - 6 & Character Code
1	@./_-1 (Space)	@./_-1 (Space)	1	1
2	ABCabc2	abc2	2	2
3	DEFdef3	def3	3	3
4	GHIghi4	ghi4	4	4
5	JKLjkl5	jkl5	5	5
6	MNOmno6	mno6	6	6
7	PQRSpqrs7	pqrs7	7	7
8	TUVtuv8	tuv8	8	8
9	WXYZwxyz9	wxyz9	9	9
0	,.0 (Line Break)[1]	,.0 (Line Break)[1]	0	0
*	Single-byte Mail/Web Extensions[2]		* - , (Pause)[3]	
#	Single-byte Symbols/Double-byte Pictographs		#	
Up	Cursor Up			
Down	Cursor Down (Line Break)[1]			
Left	Cursor Left			
Right	Cursor Right			
文字	Change Character Type			
スケジュール/メモ	Toggle Case + Toggle Mode (upper & lower/lower case)			
クリア (Short Press)	Delete One Character			Delete Code/ One Character
クリア (Long Press)	Delete All			
↺	Recover up to 64 deleted characters[4]			
●	OK			
⦿				Switch Pictograph Code 1 - 6 & Character Code

[1] Insert line breaks in Mail Text, Text Memo and BBS. Use (Down) only at the end of text.
[2] Portion of e-mail address or URL appears.
[3] Use - and , (Pause) for phone number entry.
[4] Press ↺ once for each character to recover immediately after deleting.

Tip

Entering Consecutive Characters Assigned to the Same Key
Press (Right) to move cursor to the right, then enter the next character.

Editing Characters
Use (multi-selector) to move cursor to a character. Press [クリア] to delete it and then enter another.

Symbols, Pictographs & Emoticons

Symbols & Pictographs

1. Press [#] to open Log List (up to 20 recently entered Symbols/Pictographs are saved)
2. Press ◎ to toggle the lists: Symbol List, Pictograph Code List (1 - 6) and Log List
3. Use ◈ to select a Symbol or Pictograph and press ◉
4. Press ㋹ Back to exit

Tip In double-byte character entry, three Symbol Lists appear. Press ◎ to toggle between them.

Emoticons

1. Press ㋹ Menu in a text entry window
2. Select 8 *Emoticons* and press ◉
3. Select an emoticon and press ◉

Saving to Phone Book

Save names with phone numbers, e-mail addresses, etc. to Phone Book.
Save up to three phone numbers and three mail addresses per entry.

Phone Book Entry Items

Item		Description
Name :		Up to 18 single-byte characters.
Reading :		Katakana, Alphanumerics and Symbols appear as you enter names (up to 18 single-byte characters including ゛ and ゜).
Phone Number :		Up to three phone numbers (24 digits each).
E-mail :		Up to three e-mail addresses (60 single-byte characters each).
Group :		Sort entries into ten Groups (0 - 9). Change Group names or set Ring Tone by Group.
Personal Data :		Add personal details. Use up to 60 single-byte characters.
Secret Mode :		Restrict access to Phone Book entries by saving them as Secret.
Photo :		Select an image in Data Folder or an image taken with mobile camera to appear when you open a Phone Book entry. Activate Picture Call/Mail to see the image set here for incoming calls/ mail.
Option Settings	Personal Ring Tone	Set Ring Tone by caller.
	Incoming Notice	Set Ring Tone by sender.
	Picture Call/ Mail	Set images to appear by caller or sender.
	Mail Folder	Messages are sorted into folders.

- Save up to 500 entries (000 to 499) in Phone Book (handset).
- Save up to 10,000 entries (0000 to 9999) in Phone Book (SD Memory Card).

Note **Back-up Important Information**
Keep a separate copy of important information. When battery is exhausted or removed for long periods, Phone Book entries may be lost. Handset damage may also affect files. Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration.

New Phone Book Entries

Enter a name, reading, phone number and e-mail address.

1 Press 文字
2 Enter a name
3 Press ◉
Characters entered for names appear after ▭:
Confirm the reading.

Tip **Correcting Spelling, etc.**
Select ▭: and press ◉. Correct spelling and press ◉.

4 Select ☎: and press ◉
5 Enter a phone number and press ◉
6 Select an icon and press ◉
7 Select ✉: and press ◉
8 Enter an e-mail address and press ◉
9 Select an icon and press ◉
10 Press ⓥ Save
11 Enter a 3-digit Memory Number (000 - 499)

Note Enter a name, phone number or mail address to create a Phone Book entry.

Tip **Saving to SD Memory Card**
After Step 10, press ⓞ SD to switch to SD Memory Card, then enter Memory Number (0000 - 9999) in Step 11.

Editing Phone Book

1 Open a Phone Book entry (☞P.17-30 "Dialing from Phone Book")
2 Press ◉ Menu
3 Select *Edit* and press ◉
4 Select an item and press ◉
5 Make corrections and press ◉
6 Press ⓥ Save to finish
7 Press ◉
8 Choose 1 *Yes* and press ◉

Saving from Call History

1 Select a phone number (☞P.17-23 "Calling from Call History")
2 Press ◉ Menu, select ***Add to Phone Book*** and press ◉
3 Select 1 ***New Entry*** or 2 ***New Item*** and press ◉
4 ***New Entry***
1 Follow Steps 2 -11 on ☞P.17-28
New Item
1 Open a Phone Book entry (☞P.17-30) and press ◉.
Select an icon and press ◉, then perform Steps 6 - 8 in "Editing Phone Book."

Dialing from Phone Book

Entry Number Search

1 Press TEL
The search method used last appears.

2 Press Menu, select *Memory No. Search* and press ◉

3 Enter Memory No. (000 - 499)

4 Select a name and press ◉

> **Tip** Multiple Numbers/Addresses
> Use to select other numbers/addresses.

5 Press

Search by Reading

1 Press TEL
The search method used last appears.

2 Press Menu, select *Search by Reading* and press ◉

3 Enter reading and press ◉
Use up to 18 single-byte characters.

4 Select a name and press ◉

> **Tip** Multiple Numbers/Addresses
> Use to select other numbers/addresses.

5 Press

Mobile Camera

Before Using Camera

Select from five different shooting modes.
Use ***Sha-mail*** and ***Camera*** for still images and ***Movie Sha-mail***, ***Motion Camera*** and ***Video Camera*** for videos.

	Sha-mail	Camera
Image Size	W 240 × H 320 dots W 120 × H 160 dots W 120 × H 128 dots	W 1632 × H 1224 dots W 1280 × H 960 dots W 1024 × H 768 dots W 640 × H 480 dots
Save to	Handset or SD Memory Card	Handset or SD Memory Card
File Format	JPEG (.jpg)	JPEG (.jpg)

	Movie Sha-mail		Motion Camera	Video Camera
	Nancy Mode	MPEG Mode		
Image Size	W 80 × H 60 dots	W 128 × H 96 dots W 80 × H 60 dots	W 176 × H 144 dots W 128 × H 96 dots	W 320 × H 240 dots
Save to	Handset or SD Memory Card		Handset or SD Memory Card	Handset or SD Memory Card
File Format	Nancy (.noa)	MPEG-4 (.3gp)	MPEG-4 (.3gp)	MPEG-4 (.ASF)

Camera Shake
If handset moves while shooting, images may blur. Hold handset firmly or place it on a stable surface and use Self Timer.

> **Note**
> Lens Cover
> Use a soft cloth to wipe fingerprints and oil off the lens cover.
> CCD Camera
> - Mobile camera is a precision instrument; however, some pixels may appear brighter or darker.
> - Shooting/saving images while handset is hot may affect the image quality.
> - Subjecting the lens to direct sunlight will damage the camera's color filter.

Using Camera with Handset Closed

Open handset and rotate Display 180 degrees clockwise (☞P.17-18 "Using Viewer"). Then close handset with Display in Viewer position. Holding handset horizontally with Side Keys up, press Shutter Key twice to activate Camera mode.

Using Viewer for Self Portraits

Open handset and activate handset Camera. Then rotate Display 180 degrees clockwise. Turn handset around in your hand so the lens is facing you. Your image appears on Display as a mirror image. After shutter is released, preview image appears reversed.

Capturing Still Images

1. In Standby, open handset (clamshell open) and press ◉
2. Select *Camera* and press ◉
3. Select 1 *Sha-mail* or 2 *Camera* and press ◉
4. Frame image on Display
5. Press ◉ Shoot or Side Key
6. Press ◉ Save to save image
7. Press ⊜ to exit

Data Folder

Data Folder Contents

Saved files are organized in separate folders according to file format.
Data Folder supports the file formats listed below.

<Data Folder>	
Camera (Shortcut)	Mobile Camera Data Shortcut to still and video images captured in Sha-mail, Camera, Movie Sha-mail, Motion Camera or Video Camera mode.
Images	Image Files including Still Images
Melodies	Melody Files such as Original Ring Tones
Animation	Animation Files
Movies	Video Images, etc.
Audio	Downloaded Chaku-Uta files
Etc.	All of the above as well as vfiles, HTML files, MML files, EML files, SVG files, Dictionary files, etc.
Movie Mask	Downloaded Movie Mask files
YS6DATA	File for V-Appli *イースVIナピシュテムの匣* (Ys VI: The Ark of Napishtim)
New Folder	Create additional folders. (Format is the same as Etc. folder.) New Folder (連写) is created when the first Burst Shot is taken.
⋮	

Note File extensions and icons inside < > indicate file format. File extensions do not appear for JPEG Animation, PNG Animation and PNG/JPEG Animation.

Data Folder Structure

Create up to three layers to organize files.
Example: Create *My Folder* and *My Pictures*.

First Layer	Second Layer	Third Layer
<Data Folder>: Images, Melodies, Animation, Movies, Audio, Etc., YS6DATA, My Folder, ⋮	<Images>: Files, My Pictures, ⋮	<My Pictures>: Files

Opening Data Folder

1. Press ◉ 8 5
2. Select a folder and press ◉
3. Select a file and press ◉
4. Press ⊜ to exit

Super Mail Attachments

Example: Attaching an image from Images folder to Super Mail

1. Press ◉ 8 5
2. Select *Images* and press ◉
3. Select a file and press ✉ Menu
4. Select *Attachment* and press ◉
5. Select Attachment type and press ◉
6. Enter an address, title, text, and press ✉ to send Super Mail

Function Shortcuts

Select and execute handset functions by pressing the indicated keys.

[1] Available while talking
[2] Currently not available in Hokkaido, Hokuriku, Kyushu, Okinawa areas.
[3] Currently not available in Tohoku, Niigata, Chugoku, Shikoku areas.
[4] Available only when changing between two open lines. Break Away is currently not available in Hokkaido, Tohoku, Niigata, Hokuriku, Chugoku, Shikoku, Kyushu, Okinawa areas.

● Sounds

Shortcut	Function	Description
● 1 0	Call Functions	Set Ring Tones
● 1 1 [1]	Volume	Adjust Volume
● 1 3	Sound Effects	Set Sound Effects
● 1 5	Ringer Out	Set Ringer Output for Earphone use
● 1 6 [1]	Speaker	Set Speaker Phone or Speaker
● 1 7	Original Tones	Save Original Tones/Original Voice
● 1 8	Instrument Effects	Save Instrument Effects
● 1 9	Tone Octave	Set Tone Octave

● Privacy

Shortcut	Function	Description
● 2 0	Keypad Lock	Disable Keypad
● 2 1	Auto Key Lock	Disable Keypad when power is activated
● 2 2 [1]	Secret Mode	Enable to see Secret Mode Phone Book entries
● 2 3	Phone Book Lock	Disable Phone Book
● 2 4	Restrict Dial	Restrict calling from Keypad
● 2 5	Accept Call	Accept calls from designated numbers
● 2 6	Reject Call	Reject calls from designated numbers
● 2 7	Reset All	Delete all saved information, restore defaults
● 2 8	Change Code	Change Security Code
● 2 9	Reset Defaults	Reset settings to default values

● Settings 1

Shortcut	Function	Description
● 3 0 [1]	Guide	Key ops for functions other than Function Shortcuts
● 3 1	Memory	Phone Book, Mail, Web Station Memory Status
● 3 2	Off-Line Mode	Suspend Handset Transmissions
● 3 3	Battery Saving	Set Power/Panel Saving
● 3 4	Light Settings	Adjust Backlight, Keypad Light, In-Car Backlight and Brightness
● 3 5	言語選択 (Language)	Toggle between Japanese and English Menus
● 3 6	Font Settings	Change Font Size, Font Weight and Font Style
● 3 7	Group Settings	Change Group Names/Ring Tones
● 3 8	Signal Alert	Activate or cancel weak signal alarm
● 3 9	SideKey Settings	Set functions for Side Key Long Press

● Settings 2

Shortcut	Function	Description
● 4 0	Display Settings	Set or adjust Display related settings
● 4 1 [1]	Spending Memo	Open total expenditures and item list
● 4 2	In-Car Recorder	Set/Cancel In-Car Message Recorder
● 4 3	User Dictionary	Save dictionaries or save/edit entries
● 4 4	Answer Time	Set Message Recorder Answer Time
● 4 5	Disney Style	Set Disney-themed indicators and animation
● 4 6	Manner Settings	Change Manner Mode Settings
● 4 7	Sub Display	Set Sub Display detail
● 4 8	Animation	Set/Create animation
● 4 9	Calculator	Open Calculator

● Clock

Shortcut	Function	Description
● 5 0	Alarm	Set Alarm
● 5 1	Auto Power On	Auto Power On
● 5 2	Auto Power Off	Auto Power Off
● 5 3	Clock Display	Show Clock and Calendar in Standby
● 5 5	Stopwatch	Use Stopwatch
● 5 6	Kitchen Timer	Use Kitchen Timer
● 5 9 [1]	Clock Settings	Set Date & Time

● Charges

Shortcut	Function	Description
● 6 0	Total Charges	Show Total Charges
● 6 1	Call Charge	Show Last Call Charge
● 6 2	Total Talk Time	Show Total Talk Time
● 6 3	Call Time	Show Last Call Talk Time
● 6 4	Instant Display	Show Charge/Talk Time after a call

17 Abridged English Manual

Shortcut	Function	Description

● Services

Shortcut	Function	Description
● 7 0 [3]	Ring Time	Set Call Forwarding/Voice Mail Answer Time
● 7 1	Call Forwarding	Activate VM and set Forwarding Number
● 7 2	Voice Mail	Activate Voice Mail
● 7 3	Cancel Secretary	Cancel Call Forwarding or Voice Mail
● 7 4	Check Secretary	Confirm Call Forwarding or Voice Mail Status
● 7 5 [2, 3]	Call Waiting	Set/Cancel Call Waiting
● 7 6 [2, 3]	Confirm Service	Check Call Waiting Setting
● 7 7	Play Voice Mail	Listen to caller messages
● 7 8 [1, 4]	3 Way Calling	Switch between two lines or talk on two lines simultaneously
● 7 9	Setup Preset	Set Prefix when dialing from Phone Book

● Mail

Shortcut	Function	Description
● 8 1 0	Mail Box	Open Mail Box
● 8 1 1	Super Mail	Compose Super Mail
● 8 1 2	Sky Mail	Compose Sky Mail
● 8 1 3	Greeting	Compose message to open at a specific time
● 8 1 4	Sky Melody	Request Sky Melodies
● 8 1 5	Mail Settings	Adjust/Customize Mail Settings

● Web

Shortcut	Function	Description
● 8 2 1	Vodafone Web	Open Vodafone live! main menu Info
● 8 2 2	Home	Open Mobile Internet site set as Home
● 8 2 3	Favorites	Open info saved from Mobile Internet sites
● 8 2 4	Bookmarks	Open links to Mobile Internet sites
● 8 2 5	Internet	Enter Mobile Internet URLs directly or select Log List items
● 8 2 6	Unread Messages	Open and access Auto Delivery info
● 8 2 7	Message Folder	Open Cache Memory or Message Folder
● 8 2 8	Web Settings	Adjust and customize Web Settings

Shortcut	Function	Description

● Station

Shortcut	Function	Description
● 8 3 1	New Information	Open unread, updated information
● 8 3 2	Main List	Open Main List
● 8 3 3	My List	Open My List
● 8 3 4	Update List	Update Main list
● 8 3 5	Weather Indicator	Show weather forecast in Standby
● 8 3 6	Saved Information	Access saved Station information
● 8 3 7	Location Info	Open Location Information Log
● 8 3 8	Confirm Request	Confirm fee-based information
● 8 3 9	Station Settings	Set Station details

● V-Appli

Shortcut	Function	Description
● 8 4 1	V-Appli Library	Open V-Appli Library
● 8 4 2	V-Appli Settings	Set V-Appli details
● 8 4 3	Save Direct Key	Set V-Application as User Shortcut

● Data Folder

Shortcut	Function	Description
● 8 5	Data Folder	Open Data Folder

● Network Settings

Shortcut	Function	Description
● 8 6 1	Call Waiting	Accept incoming calls while browsing the Mobile Internet
● 8 6 2	Network Setup	Manually request Automatic Network Setup
● 8 6 3	Clear DNS Cache	Delete DNS Cache contents

● Others

Shortcut	Function	Description
● (Long Press)	Key Guard	Disable Keypad
● [1]	Index Menu	Open Index Menu
● 0 [1]	My Number	Show Handset Number
● 文字	Message Recorder	Activate/Cancel Message Recorder
● スケジュール/メモ	Play	Play Messages/Voice Memos
● ☎ [2, 3] (Incoming call)	Transfer Voice Mail	Transfer calls to Voice Mail
● * #	On/Off	Enable/Disable Mail, Web, Station or V-Appli
● V	V-Appli Library	Open V-Appli Library
● ◎ (In Standby)	Handy Features	Open Handy Features graphic menu

Specifications

V602SH

Weight	Approximately 134 g (with battery, protection card)
Continuous Call Time	Approximately 130 minutes
Continuous Standby Time	Approximately 450 hours (when closed)
Charging Time (Power off)	Rapid Charger: Approximately 115 minutes In-Car Charger: Approximately 115 minutes
Dimensions (W × H × D)	Approximately 50 × 99 × 25 mm (when closed)
Maximum Output	0.8 W

- Values above were calculated with battery installed.
- Continuous Call Time is an average measured with a new, fully-charged battery, with both Power Saving and Panel Saving off, with stable signal reception. Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully-charged battery, with handset closed without calls or operations, in Standby with normal signal reception. Standby Time may be less than half this value if handset is out-of-range or signal quality is poor. Battery life may vary by environment (battery status, temperature, etc.).
- Battery life is a nominal value, measured under stable signal conditions. Battery life may be less than half this time if handset is used in weak signal conditions.
- Talk Time and Standby Time will decrease if Display/Keypad Backlights are used frequently.
- Talk Time and Standby Time may decrease when V-Applications are active.
- Station Service may consume more power through automatic updates.
- Talk Time and Standby Time may decrease by handset operations or settings.
- Displays employ precision technology, however, some pixels may appear brighter or darker.

Rapid Charger

Power Source	AC 100 V, 50/60 Hz
Power Consumption	8 VA
Output Voltage/Current	DC 5.6 V/500 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 48 × 17 × 46 mm (without protruding parts, cord)
Cord Length	Approximately 1.5 m

Desktop Holder

Input Voltage/Current	DC 5.6 V/500 mA
Output Voltage/Current	DC 5.6 V/500 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 58.5 × 27 × 123 mm (without protruding parts)

Battery

Voltage	3.7 V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	720 mAh
Dimensions (W × H × D)	Approximately 36 × 5.6× 40 mm (without protruding parts)

Customer Service

If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information. For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centers

From a Vodafone handset, dial toll free at
157 for General Information or
113 for Customer Assistance

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area	Service Center	Phone Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能一覧

：設定リセットで各種設定は初期状態に戻ります。

※1　通話中も実行できます。

※2　北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合、ご利用できません。

※3　東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、ご利用できません。

※4　切替通話中に限り操作できます。また、北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄地域でご契約の場合、現在「**通話中転送**」はご利用できません。

ファンクションメニューの項目	説明
0.ご自分の電話番号	V602SHの電話番号を表示します。
1.音関連機能	音に関するメニューを表示します。
2.管理機能	ダイヤル禁止や簡易ロックなど、管理（セキュリティ）に関するメニューを表示します。
3.表示／設定1	ディスプレイの照明設定やグループ設定、サイドキー設定などの表示、設定に関するメニューを表示します。
4.表示／設定2	画面表示設定やユーザ辞書登　などの表示、設定に関するメニューを表示します。
5.時計／アラーム機能	時計、アラームに関するメニューを表示します。
6.時間／料金機能	通話時間、料金に関するメニューを表示します。
7.付加サービス	オプションサービスに関するメニューを表示します。
8.ボーダフォンライブ！	ボーダフォンライブ！メニューを表示します。
メモリ検索	メモリダイヤルを検索します。（☞P.5-13）
メモリ登	メモリダイヤルを登　します。（☞P.5-3）
リダイヤル	以前かけた電話番号を表示します。（[☞P.2-4）
着信履歴	着信履歴を表示します。（☞P.2-8）
ノートパッドメモリ	通話中に入力した数字を表示します。（☞P.2-14）

■1.音関連機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.着信設定	－	P.8-2
1.受話音量調節※1	音量5	P.2-12
3.効果音設定	－	P.8-6
5.着信音出力切替	イヤホン＋スピーカー	P.15-42
6.スピーカー設定※1	OFF	P.8-22
7.オリジナル着信音	－	P.8-13
8.オリジナル音色	－	P.8-21
9.音色オクターブ設定	－	P.8-22

■2.管理機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.ダイヤル操作禁止	OFF	P.14-2
1.簡易ロック	OFF	P.14-3
2.シークレットモード※1	OFF	P.14-7
3.メモリ使用禁止	OFF	P.14-3
4.ダイヤル禁止	OFF	P.14-4
5.指定着信許可	OFF	P.14-5
6.指定着信拒否	－	P.14-5
7.オールリセット	－	P.14-8
8.暗証番号変更	－	P.14-2
9.設定リセット	－	P.14-8

■3.表示／設定1のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.ガイド機能※1	<オープンポジション>文字長押し：マナーモード設定／解除	P.1-31
1.メモリ確認	－	P.5-6 P.12-3
2.オフラインモード	OFF	P.3-6
3.省電力設定	バッテリーセーブモード：ON、パネルセーブモード：ON／OFF設定：ON（5分）、ランプ表示設定：ランプ表示なし	P.15-35
4.照明設定	パネル照明ON／OFF設定：ON（15秒）、キー照明ON／OFF設定：ON（15秒）、車載時設定：OFF、パネル明るさ調整：明るさ4	P.7-7
5.Language	日本語	P.7-10
6.文字表示設定	文字サイズ設定：すべて中、文字太さ設定：ふつう、書体設定：通常	P.7-5
7.グループ設定	－	P.5-11
8.通話品質アラーム	OFF	P.15-2
9.サイドキー設定	着信時：簡易留守　、待受時：OFF	P.15-3

■4.表示／設定２のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.画面表示設定	壁紙設定：OFF 、マイキャラクタ：すべてOFF、ウェイクアップ：OFF、背景パターン設定：背景１、マーク表示設定：ON、外部出力設定：OFF、インデックスメニュー設定：3D	P.7-2
1.マネー積算メモ※1	―	P.15-37
2.車載簡易留守	ON	P.15-4
3.ユーザー辞書	―	P.4-18
4.応答時間	９秒	P.15-4
5.Disneyスタイル	OFF	P.7-9
6.マナー設定変更	簡易留守　：ON、着信音量：すべてサイレント、バイブレータ：すべてON、ランプ設定：スモールライト、マナートークモード：ON、サウンド再生音量：サイレント、Vアプリ再生音量：サイレント、Vアプリバイブレータ：ON	P.3-4
7.サブディスプレイ	サブディスプレイON／OFF：ON、照明設定：ON、濃度調整：濃度５、相手表示設定：ON	P.7-7 P.7-10
8.アニメーション設定	スクリーンアニメ：OFF、背景アニメ：ON、ボーダフォンライブ！アニメ：すべてON	P.7-9 P.7-10
9.簡易電卓	―	P.15-36

■5.時計／アラーム機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.リピートアラーム設定	―	P.15-8
1.自動電源ＯＮ	OFF	P.15-12
2.自動電源ＯＦＦ	OFF	P.15-13
3.時計表示設定	時計大１	P.7-3
5.ストップウォッチ	―	P.15-24
6.キッチンタイマー	―	P.15-25
9.時刻設定	―	P.1-25

■6.時間／料金機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.累積通話料金	０円	P.2-22
1.通話料金	０円	P.2-22
2.累積通話時間	０時間０分	P.2-21
3.通話時間	０分０秒	P.2-21
4.即時表示	OFF	P.2-23

■7.付加サービスのメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.呼出時間設定※3	20秒	P.16-5
1.転送サービス	―	P.16-3
2.留守番サービス	留守呼出あり	P.16-4
3.秘書停止（転送／留守番サービス停止）	―	P.16-3、 P.16-4
4.秘書確認（転送／留守番サービス確認）	―	P.16-3、 P.16-5
5.割込設定※2※3	―	P.16-6
6.割込確認※2※3	―	P.16-6
7.留守　再生	―	P.16-5
8.三者サービス※4	―	P.16-7
9.プリセット登	―	P.2-5

■8.ボーダフォンライブ！のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
1.メール	―	別冊
2.ウェブ	―	別冊
3.ステーション	―	別冊
4.Vアプリ	―	別冊
5.データフォルダ	画像一覧表示	P.12-5
6.ネットワーク設定	―	別冊

■初期状態に戻る項目（ファンクションメニュー項目以外）

機能	初期設定
マナーモード	解除
簡易留守	解除
メモリダイヤル検索モード	メモリNo検索
メモリカードの暗号化設定	メモリダイヤル、メール、スケジュール：すべてOFF
スポットライト	継続点灯時間：１分、点灯カラー：ライチフルーツ（白色系統）
スケジュール表示切替	スタンプ＋詳細表示
バーコード読み取り／文字読み取り表示サイズ設定	文字サイズ設定：中、画像サイズ設定：等倍
ユーザーショートカット	[1]メモリダイヤル検索、[2]簡易電卓、[3]リピートアラーム設定、[4]着信設定、[5]画面表示設定、[0]バウリンガルコネクト、[V]（長押し）Vアプリライブラリ

18 付録

故障かな？と思ったら

症状	確認すること	処置
電源が入らない	●⊖を長く（１秒以上）押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックがV602SHに装着されていますか？	●⊖を長く（１秒以上）押してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。 ●正しく装着してください。
ボタン操作ができない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「⊖!」が表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「🔒」が表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-24） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.14-2）
ダイヤルしても通話音（プープー…）が出る	●市外局番など０からはじまる相手の電話番号をダイヤルしていますか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ●オフラインモードが設定されていませんか？（「✈」が表示）	●市外局番など０からはじまる相手の電話番号をダイヤルしてください。 ●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●オフラインモードを解除してください。（☞P.3-6）
「圏外」が表示され、電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるのでは？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●電池切れになっていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。
ダイヤルを押しても電話がかけられない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「⊖!」が表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「🔒」が表示） ●ダイヤル禁止が設定されていませんか？	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-24） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.14-2） ●ダイヤル禁止を解除してください。（☞P.14-4）
メモリダイヤルを使って電話がかけられない	●かけたいメモリダイヤルをシークレットメモリに登　していませんか？ ●メモリ使用禁止が設定されていませんか？	●シークレットモードにしてください。（☞P.14-7） ●メモリ使用禁止を解除してください。（☞P.14-3）
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	―

症状	確認すること	処置
充電ができない	●急速充電器の接続コネクターがV602SHまたは卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか？ ●急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ●電池パックがV602SHに装着されていますか？ ●V602SHが卓上ホルダーに確実に装着されていますか？ ●V602SH、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、V602SHの外部機器端子、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか？ ●周囲温度が５℃～35℃以外になると、充電しないことがあります。 ●電池パックの寿命、または電池パックが異常です。	●もう一度、確実に差し込んでください。 ●もう一度、確実に差し込んでください。 ●正しく装着してください。 ●もう一度、確実に装着し直してください。 ●端子部を綿棒などで清掃してください。 ●５℃～35℃の温度範囲でご使用ください。 ●新しい電池パックと交換してください。
充電時間が短い	●電池パックに容量が残っている場合は、充電時間が短くなります。	―
熱くなる	●充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。長時間通話すると、V602SHが熱くなることがあります。手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。	―
電池の消耗が早い	●使用環境（気温・充電状況・電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。	●電池パックの利用可能時間、持ちについて、消耗を軽減するを参照してください。（☞P.1-15～P.1-16）
ディスプレイの表示がちらつく	●蛍光灯の下では、ディスプレイの表示がちらつくことがあります。	―
バックライト消灯時ディスプレイの表示が暗い	●ディスプレイの特性によるもので、故障ではありません。	―
スピーカーで音楽が再生できない	●マナーモードが設定されていませんか？	●マナーモードを解除してください。（☞P.3-3）

補足　故障の際の連絡先やアフターサービス：☞P.18-20

こんなときはご利用になれません

■「圏外」表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいるためです。「圏外」表示が消え、受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所へ移動してください。

■「」表示が出ているとき

オフラインモードが設定されています。（☞P.3-6）

設定を解除しないと、電話の発信／着信、ボーダフォンライブ！の利用／受信など、電波のやりとりを行う機能は利用できません。

■「充電して下さい」のメッセージが出て、電池アラーム音が鳴っているとき

電池残量がなくなっています。（☞P.1-16、P.1-17）

電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

■「」表示が出ているとき

誤動作防止が設定されています。（☞P.1-24）

設定を解除しないとボタン操作はできません。ただし、電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止は解除されます。エニーキーアンサー（☞P.2-6）で電話に出ることができます。

■「」表示が出ているとき

ダイヤル操作禁止が設定されています。（☞P.14-2）

ダイヤル操作禁止を解除しないと電話はかけられません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサー（☞P.2-6）で電話に出ることができます。

区点コード一覧

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜							ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
						あ				
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
						い				
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
						う				
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
						え				
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
						お				
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
						か				
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
						き				
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
						く				
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
						け				
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
						こ				
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
						さ				
261										些

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
—し—										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
—す—										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
—せ—										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
—そ—										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
—た—										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
—ち—										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
—つ—										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
—て—										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
—と—										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
—な—										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
—に—										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
—ぬ～の—										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
—は—										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
—ひ—										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
—ふ—										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
—へ—										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
—ほ—										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
—ま—										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
440		漫	蔓							
—み—										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
—む—										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
—め—										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
—も—										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
—や—										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
—ゆ—										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
—よ—										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
—ら—										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
—り—										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
—る～れ—										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
—ろ—										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
—わ—										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					

区点1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘

区点1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋

区点1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

主な仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。

■V602SH

質量	約134g(電池パック、保護カード装着時)
連続通話時間	約130分
連続待受時間	約450時間(クローズポジション時)
充電時間 (V602SHの電源を切って充電した場合)	急速充電器 :約115分 シガーライター充電器:約115分
サイズ(幅 高さ 奥行)	約50×99×25mm (クローズポジション時)
最大出力	0.8W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能を「OFF」に設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
  連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V602SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所(ビル内、車内、カバンの中など)や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境(充電状態、気温など)によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- パネル照明およびキー照明が点灯している状態での利用(ボーダフォンライブ!ご利用時など)が多いときは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
- ステーションでは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池を消耗することがあります。
- 操作や設定状態によっては、通話時間および待受時間が短くなることがあります。
  (☞P.1-15)
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください

■急速充電器

電源	AC100V、50/60Hz共用
消費電力	8VA
出力電圧／出力電流	DC5.6V／500mA
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ（幅　高さ　奥行）	約48×17×46mm（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1.5m

■卓上ホルダー

入力電圧／入力電流	DC5.6V／500mA
出力電圧／出力電流	DC5.6V／500mA
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ（幅　高さ　奥行）	約58.5×27×123mm（突起部 除く）

■電池パック

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	720mAh
外形サイズ（幅　高さ　奥行）	約36×5.6×40mm（突起部 除く）

索引

英数字

１文字変換 4-14
1/4サイズで添付 ..... 6-39、12-10
240　320サイズで添付 6-39
４分割画像 240　320(120　160) ... 12-32
AFモード切替 6-25
Disneyスタイル 7-9
DPOF 6-41
E-アニメータ 12-15
E-mailアドレス 5-2
FAX通信 15-42
Language 7-10
MNG変換 12-15
PB一括送信 15-2
SDローカルコンテンツ 11-12
SVGファイル 12-41
TRAIN ..... 9-17、10-7
Vアプリバイブレータ設定 3-5
vファイル 12-38
YS6DATA ..... 12-3、12-46

あ

相手表示設定 7-10
アカサタナ検索 5-14
明るさ選択 6-26
アクションアイテム 15-16
アニメ作成ツール 12-12
アラーム 15-8
暗証番号 1-32
インデックスプリント指定 6-42
インデックスメニュー 1-26
インデックスメニュー設定 7-9
インフォメーションメニュー 2-16
インフォメーションリセット 2-20
ウェイクアップ 7-10
エニーキーアンサー 2-6
エフェクト 12-27
絵文字 4-7
応答時間変更 15-4
応答保留 2-9
オートフォーカス 6-7
オートラン 11-13
オートリセット設定 6-28
オーナー情報 2-24
オープンポジション 1-11
オーバーラップ連写 6-14
オールリセット 14-8
オススメメニュー 1-27
オフラインモード 3-6
オリジナル着信音 8-9
オリジナル音色 8-17
音訓変換 4-13
音質設定 9-16
音声メモ 15-7

か

カーソル 1-25
カーソル前(後)消去 4-22
カード手動シンクロ 11-13
ガイド機能 1-31
外部出力設定 15-39
外部出力･連続表示 12-23
顔文字 4-9
拡大表示 7-2
各ボタンに割り当てられた文字 4-3
画質設定 6-27
画像一覧表示 ..... 12-5、12-7
画像回転 12-31
画像合成 12-31
画像装飾 12-27
画像分割メール添付 ..... 6-39、12-10
画像分割メール結合 12-34
画像編集 12-24
カット(切り取り) 4-21
カナ英数字変換 4-15
壁紙設定 7-2
カレンダー 7-4
カレンダー作成 6-44
簡易電卓 15-36
簡易留守 2-10
簡易留守録 ..... 2-10、15-4
簡易ロック 14-3
簡単アニメ 12-12

キー操作ガイド 6-23
記号 4-7
キッチンタイマー 15-25
機能一覧 18-2
急速充電器 1-20
切替通話 16-7
切り出し .... 6-33、10-8
切り抜き 6-34
近似予測変換 4-13
クイックオペレーション 1-30
クイックサイレント 2-7
区点コード一覧 18-9
区点コード入力 4-11
グループ検索 5-14
グループ設定 5-11
グループ着信音設定 5-11
クローズ終話設定 2-12
クローズポジション 1-11
圏外 18-8
言語選択（日本語／英語） 7-10
効果音設定 8-6
光学ズーム .... 6-6、6-26
交換機用暗証番号 1-32
国際発信登録 2-5
誤動作防止 1-24
コピー（複写） 4-21

さ

サービス呼出し時間 16-5
再生設定 9-16
サイドキー設定 15-3
サイドボタン iii
サウンド再生音量変更 8-7
サウンドランプ設定 8-5
撮影サイズ設定 6-26
サブディスプレイ .... 1-10、7-7
サムネイル90度回転 6-12
サムネイル添付 6-40
サムネイル登録 6-12
サムネイル表示 6-30
三者通話サービス 16-7
シークレット設定 14-7
シークレットモード 14-7
シーン別撮影 6-27
しおりをはさむ 12-44
シガーライター充電器 1-22
実画像表示 6-30
実画像添付 .... 6-39、12-10
指定着信音設定 5-8
指定着信許可 14-5
指定着信拒否 14-5
自動消去保護設定 15-19
自動電源OFF 15-13
自動電源ON 15-12
自動保存設定 6-28
自分の電話番号を表示する（自局電話番号） 2-24
車載簡易留守 15-4
車載時設定 7-8
シャッター音設定 6-23
受信メール自動振分け 5-10
写メールモード .... 6-8、6-10
自由切出 12-26
縮小 12-25
受話音量調節 2-12
省電力設定 15-35
新規メモ（ノート） .... 4-24、4-25
照明設定 7-7
シンクロ録音設定 9-10
推測頭出し変換 4-17
スクリーンアニメ 7-9
スクロールイン（アウト） 6-38
スケジュール 15-14
ストップウォッチ 15-24
スヌーズ設定 15-9
スピーカー受話 8-22
スピーカーホン 8-22
スピードダイヤル 5-15
スポットライト 15-38
スモールライト 1-6
赤外線送受信 .... 13-4～13-7
赤外線通信 13-2
接写撮影用 6-25
設定リセット 14-8
セット発信登録 2-5
セルフショットポジション 1-12
セルフタイマー 6-24
センタリング表示 7-2
操作用暗証番号 1-32
送信メール自動振分け 5-10
ソフトキー 1-29

た

タイマー設定 6-24
タイムアウト設定 2-20
ダイヤルボタンの割り当て 4-3
ダイヤル禁止 14-4
ダイヤル操作禁止 14-2
着うた® 12-36
ダウンロード辞書 4-19
ダウンロード辞書登録 4-19
卓上ホルダー 1-21
着信 2-6
着信音出力切替 15-42
着信拒否 2-9
着信設定 8-2
着信通話 2-15
着信メニュー 2-6
着信優先設定 9-17
着信用ボイス録音 8-8
着信呼出時間 8-6
着信履歴 2-15
着信留守電転送 16-4
通常撮影用 6-25
通話時間／通話料金の自動表示 2-23
通話時間表示 2-21
通話中転送 16-8
通話中メニュー 2-3
通話品質アラーム 15-2
通話料金表示 2-22
ディスプレイ 1-8
データフォルダ 12-2
データ一括転送 11-10
テキストメモ 4-24
デジタルカメラモード .... 6-8、6-10
デジタルズーム 6-5
テロップ編集 6-36
電子ブック 12-42
転送電話サービス 16-3
電源の入れ方／切り方 .... 1-23、1-24
電池パック 1-14
電池レベル表示 .... 1-16、1-17
電話の受け方 2-6
電話のかけ方 .... 2-2、2-8
電話の切り方 2-2
電話番号通知／非通知の設定 2-2
登録先設定 6-28
時計表示設定 7-3
トラック情報編集 9-18

な

入力方式切替 4-11
認証パスワード設定 13-3
音色オクターブ設定 8-22
ノート形式へ変換 4-26
ノートパッドメモリ 2-14

は

バーコード作成 15-31
バーコード読み取り 15-26
パーソナルデータ設定 5-4
背景アニメ 7-10
背景パターン設定 7-10
バイブ設定 8-4
バイブパターン 8-4
パソコン通信 15-42
バッテリーセーブ 15-35
パネル明るさ調整 7-8
パネル照明ON／OFF 7-7
パネルセーブ 15-35
パノラマ合成 12-33
早送り（早戻し） .... 9-15、10-7
パワーON／OFF効果音 8-6
ピクチャーコール／メール 5-10
秘書停止（確認） .... 16-3、16-4、16-5
日付／時刻の設定 1-25
ビットレート設定 9-10
ビデオカメラモード .... 6-17、6-19
ビューアポジション 1-12
表示切替 6-23
ファンクションメニュー 1-27
フェイスアレンジ 12-28
フォト設定 5-4
フォト付メモリダイヤルリスト表示 5-13
ファイルBOX 12-2
不在着信 2-15
プッシュトーン 15-2
ブラケット連写 6-14
フリーワード 12-26
プリント指定（DPOF） 6-41
フレーム 6-13

フレーム設定 6-13
プロパティ 12-11
ペースト(貼り付け) 4-21
変換履歴消去 4-18
ボイスレコーダー 10-2
ボーダフォンライブ！アニメ 7-9
ボイスフォルダ 10-3
ポケベルコード一覧 4-12
ポケベルコード入力 4-11
ポストカードメーカー 6-43
保留 16-6

ま

マーク表示ON／OFF 6-23
マーク表示設定 7-3
マイキャラクタ 7-6
マイク設定 6-27
マイク付液晶オーディオリモコン ... 15-41
マイボイスメモ 15-7
前部分消去 6-35
マスクの切替 12-44
待受画面 1-23
マナートークモード 3-4
マナーモード 3-3
マニュアル撮影 6-26
マネー積算メモ 15-37
マルチガイドボタン iii
ミュージックプレイヤー 9-2
ムービー写メールモード .... 6-17、6-19
ムービー変装 .... 6-14、6-22
ムービングフォトフレーム 12-30
無音検出レベル設定 9-10
メールコール設定 5-9
メールフォルダ 5-10
メニュー 1-26
メモリNo検索 5-14
メモリカードデータ確認 11-6
メモリカードフォーマット 11-2
メモリ確認 6-31
メモリ使用禁止 14-3
メモリダイヤル 5-2
メモリダイヤル消去 5-16
メモリダイヤルの登録件数確認 5-6
メモリダイヤルリスト 5-13
メモリダイヤル検索 5-13
メモリダイヤル修正 5-16
メモリダイヤル登録 5-2
メモリ番号 5-5
文字削除 4-20
文字修正 4-20
文字入力方法 4-4
文字入力モード 4-2
文字表示設定 7-5
文字読み取り 15-33
モーションカメラ(MPEG)モード .. 6-17、6-19
モバイルカメラ 6-2
モバイルライト 6-25

や

ユーザーショートカット 15-22
ユーザー辞書 4-18
読み検索 5-14

ら

ランプ設定 8-5
リダイヤル 2-4
リピートアラーム設定 15-8
リンクの移動 12-44
累積通話時間 2-21
累積通話料金 2-22
留守番電話サービス 16-4
留守録再生 16-5
連携予測変換 4-13
連写設定 6-15
連続表示 12-23
録音モニター音量 9-10
録画設定 6-27

わ

割込通話サービス 16-6
割込設定(確認) 16-6
ワンコールサイレント 2-11
ワンタッチ１文字学習 4-17
ワンタッチ変換 4-16

保証書とアフターサービス

■保証書

V602SH本体をお買い上げいただいた場合は、保証書がついています。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書に記載しております。

■アフターサービスについて

修理をご依頼になる前に、「故障かな？と思ったら」(☞P.18-6）に掲載されている項目をもう一度ご確認ください。該当する症状がないときや、異常を解決できないときは、ご契約いただいたボーダフォンの故障受付（☞P.18-20）にご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

その他アフターサービスの詳細は、お買い上げいただいた「取扱店」、最寄りの「ボーダフォンショップ」または「お問い合わせ先」(☞P.18-20）までご連絡ください。

なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後６年です。

注意

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客さま、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登　・設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切なメモリダイヤルなどは控えをとっておかれることをおすすめします。
  なお、故障または修理の際にV602SHに登　したデータ（メモリダイヤル／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内　ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付　ボーダフォン携帯電話から113（無料）

■一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）